

平成 29 年度産業技術調査事業  
(産業振興に寄与する理工系人材の需給実態等調査)

参考資料

平成 30 年 4 月 20 日

経済産業省 産業技術環境局

大学連携推進室

## 目次

参考資料1(社会人アンケートの集計結果) .....	1
参考資料2(分類表) .....	187
参考資料3(企業アンケート) .....	191
参考資料4(社会人アンケート) .....	196
参考資料5(平成28年度産業技術調査事業アンケート票) .....	205

k

本調査事業は株式会社日本能率総合研究所に調査を委託し、その結果を取りまとめたものである。

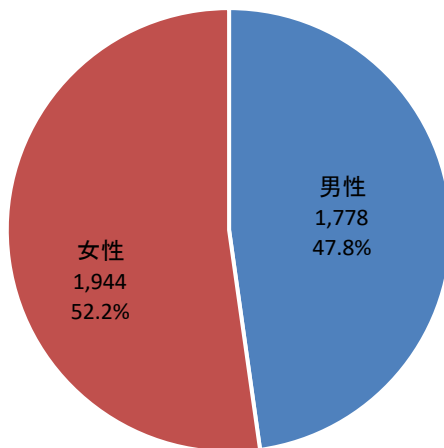
## 参考資料1(社会人アンケートの集計結果)

### a) 基本項目

問1 あなたの性別をお答えください。(1つ選択)
【選択肢】
1. 男性
2. 女性

### 【単純集計結果】

図表 1 回答者の性別



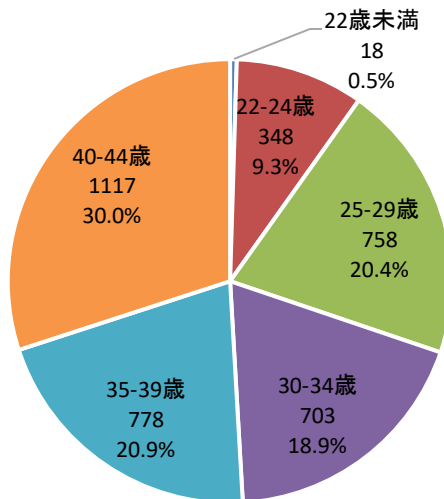
問2 現在の年齢をお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

- 1. 22 歳未満
- 2. 22-24 歳
- 3. 25-29 歳
- 4. 30-34 歳
- 5. 35-39 歳
- 6. 40-44 歳
- 7. 45-49 歳
- 8. 50-54 歳
- 9. 55-59 歳
- 10. 60 歳以上

【単純集計結果】

図表 2 回答者の年齢



**問3 現在の勤務先の雇用形態をお選びください。(1つ選択)**

**【選択肢】**

1. 自営業
2. 経営者・役員
3. 正規社員、正規教職員・研究員(公務員等)等
4. 契約・非正規の社員・教職員・研究員、嘱託等
5. 派遣の社員・教職員等
6. アルバイト・パート
7. 求職中
8. その他

**【単純集計結果】**

本調査では最初から「3. 正規社員、正規教職員・研究員(公務員等)等」のみを対象としているため、集計は行わない。

問4 あなたのお住まいの地域をお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

※47 都道府県リストから選択

【単純集計結果】

図表 3 回答者の住まい

都道府県	N	%
東京都	762	20.5
大阪府	347	9.3
神奈川県	342	9.2
愛知県	271	7.3
埼玉県	244	6.6
兵庫県	197	5.3
千葉県	169	4.5
福岡県	138	3.7
北海道	112	3.0
京都府	110	3.0
広島県	70	1.9
静岡県	60	1.6
岡山県	57	1.5
宮城県	50	1.3
茨城県	49	1.3
奈良県	46	1.2
岐阜県	45	1.2
三重県	40	1.1
群馬県	37	1.0
栃木県	36	1.0
香川県	35	0.9
山口県	34	0.9
長野県	33	0.9
熊本県	31	0.8

都道府県	N	%
滋賀県	29	0.8
新潟県	27	0.7
石川県	25	0.7
和歌山県	25	0.7
沖縄県	24	0.6
青森県	22	0.6
富山県	22	0.6
大分県	22	0.6
岩手県	21	0.6
愛媛県	20	0.5
福島県	18	0.5
福井県	17	0.5
佐賀県	17	0.5
長崎県	17	0.5
徳島県	15	0.4
鹿児島県	14	0.4
秋田県	13	0.3
山梨県	13	0.3
高知県	12	0.3
宮崎県	12	0.3
山形県	9	0.2
鳥取県	7	0.2
島根県	6	0.2

問5 あなたの勤務地をお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

※47 都道府県リストから選択

【単純集計結果】

図表 4 回答者の勤務地

都道府県	N	%
東京都	1,087	29.2
大阪府	407	10.9
愛知県	276	7.4
神奈川県	230	6.2
兵庫県	163	4.4
福岡県	139	3.7
埼玉県	129	3.5
北海道	107	2.9
京都府	105	2.8
千葉県	79	2.1
広島県	70	1.9
静岡県	62	1.7
岡山県	58	1.6
宮城県	50	1.3
茨城県	50	1.3
三重県	40	1.1
岐阜県	37	1.0
香川県	35	0.9
長野県	34	0.9
山口県	34	0.9
群馬県	32	0.9
熊本県	31	0.8
栃木県	30	0.8
滋賀県	29	0.8

都道府県	N	%
新潟県	28	0.8
奈良県	28	0.8
石川県	26	0.7
沖縄県	24	0.6
岩手県	23	0.6
富山県	23	0.6
青森県	22	0.6
愛媛県	21	0.6
大分県	21	0.6
和歌山県	20	0.5
長崎県	18	0.5
福島県	17	0.5
福井県	17	0.5
徳島県	16	0.4
佐賀県	16	0.4
秋田県	13	0.3
高知県	13	0.3
鹿児島県	13	0.3
山形県	12	0.3
山梨県	12	0.3
宮崎県	12	0.3
鳥取県	7	0.2
島根県	6	0.2

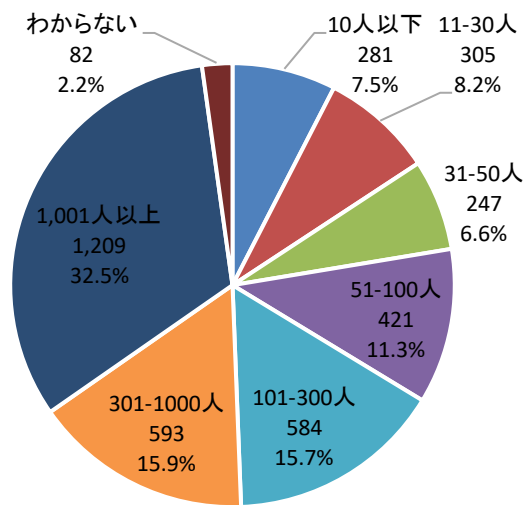
問6 あなたの勤務先の従業員数をお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

1. 10人以下
2. 11-30人
3. 31-50人
4. 51-100人
5. 101-300人
6. 301-1000人
7. 1,001人以上
8. わからない

【単純集計結果】

図表 5 回答者の勤務先の従業員数





問7 あなたの業務は、次のどの製品・サービス群を対象としていますか。最も当てはまる（一番近い）ものをお選びください。（1つ選択）

【選択肢】

※業種リストから選択

【単純集計結果】

図表 6 回答者の業種

製品・サービス群	N	%
36.金融・保険・証券・ファイナンシャル	278	7.5
52.官庁、自治体、公的法人、国際機関等	261	7.0
46.病院・医療	227	6.1
27.ソフトウェア、情報システム開発	190	5.1
29.建設全般(土木・建築・都市)	154	4.1
38.商社・卸・輸入	146	3.9
39.小売(百貨店、スーパー、コンビニ、小売店等)	130	3.5
47.福祉・介護	121	3.3
10.コンピュータ、情報通信機器	118	3.2
1.自動車・機器	110	3.0
25.化学・化粧品・繊維／化学工業製品・衣料・石油製品(プラントは除く)	105	2.8
37.不動産、賃貸・リース	102	2.7
6.一般機械・機器、産業機械(工作機械・建設機械等)等	91	2.4
22.食品・食料品・飲料品／タバコ・飼料・肥料	91	2.4
33.交通・運輸・輸送	88	2.4
23.薬剤・医薬品	83	2.2
9.電気機械・機器(重電系は除く)	67	1.8
49.小・中学校、高等学校、専修学校、各種学校等	67	1.8
40.外食・娯楽サービス等	66	1.8
50.大学・短大・高専等、教育機関・研究機関	57	1.5
21.その他の材料・製品	52	1.4
41.ホテル・宿泊・旅行・観光	52	1.4
43.法律・会計・司法書士・特許等事務所等	50	1.3
11.半導体・電子部品・デバイス	47	1.3
31.通信	47	1.3
42.マスコミ(放送、新聞、出版、広告)	43	1.2
51.学習支援(塾、フィットネスクラブ、各種教室、通信講座等)	42	1.1
28.ネットサービス／アプリ・コンテンツ	35	0.9
4.鉄道	31	0.8
14.精密機械・機器(医療機器・光学機器を除く)	31	0.8
48.保育・幼稚園等	31	0.8
32.電気・ガス・水道・熱供給業	30	0.8
12.医療機器	27	0.7
15.その他の電気・電子系機器、精密機器	27	0.7
5.その他の輸送用機械・機器(自動車・船・航空機・鉄道以外)	26	0.7
7.その他の自動車等輸送機械・機器、および一般機械・機器	24	0.6
16.鉄鋼	23	0.6
3.航空機・航空機器	22	0.6
19.金属製品	20	0.5
17.非鉄	16	0.4
20.木・紙・皮製品	15	0.4
26.その他の化学系	15	0.4
30.住宅設備(電気工事等)	15	0.4
2.船舶・機器	14	0.4
35.農業、林業、水産業	14	0.4
44.コンサルタント・学術系研究所	14	0.4
8.重電系	10	0.3
45.デザイン・著述、翻訳、芸術家等	10	0.3
24.プラント	8	0.2
18.セラミクス、ガラス、炭素	7	0.2
13.光学機器	5	0.1
34.鉱業・資源	3	0.1
53.その他	364	9.8

問8 あなたの職種は何ですか。最も当てはまる（一番近い）ものをお選びください。（1つ選択）

【選択肢】

※職種リストから選択

【単純集計結果】

図表 7 回答者の職種

職種	N	%
31.一般・営業事務	576	15.5
28.営業、営業企画、事業統括	532	14.3
27.総務	277	7.4
24.経理・会計・財務・金融・ファイナンス、その他会計・税務・金融系専門職	225	6.0
30.サービス・販売系業務(店長・マネージャーも含む)	195	5.2
7.製造・施工	112	3.0
26.人事・労務・研修、その他人事系専門職	106	2.8
39.その他医療系専門職(臨床検査技師・理学療法士等)	91	2.4
40.福祉・介護関連業務・関連専門職	88	2.4
3.(製品・建築等)設計(システム系は15)	83	2.2
16.システム系エンジニア開発	83	2.2
21.事業推進・企画、経営企画	83	2.2
1.(製品<デバイス・材料も>・建築等)基礎・応用研究、先行開発 <国研も> (IT・システム系は13)	75	2.0
8.生産管理・施工管理	55	1.5
23.商品企画、マーケティング(調査)	55	1.5
9.品質管理・評価	51	1.4
38.看護・助産・保健等業務	51	1.4
25.法務、知的財産・特許、その他司法業務専門職	49	1.3
14.システム系エンジニアプロジェクトマネージャー	48	1.3
4.(製品・建築等)開発(システム系は16)	46	1.2
32.調達、物流、資材・商品管理	45	1.2
37.薬剤師等	45	1.2
13.IT・システム系の基礎・応用研究、先行開発<国研も>	41	1.1
15.システム系エンジニア設計	40	1.1
17.システムの運用・保守、アドミニストレーター(一般企業等のシステム担当も含む)	40	1.1
44.中学校・高校教員	37	1.0
10.(製品・建築等)運用・保守・メンテナンス・維持管理、サービスエンジニア	33	0.9
5.生産技術-プラント系	32	0.9
2.(製品・建築等)設計・開発のプロジェクトマネージャー(システム系は14)	31	0.8
6.生産技術(プラント系以外)	28	0.8
29.宣伝、広報、IR	28	0.8
47.その他教育機関教員、インストラクター	28	0.8
34.保安(警察・消防・警備等)等	26	0.7
46.幼稚園教員、保育士等	26	0.7
33.輸送・運搬、清掃、包装	22	0.6
20.コンテンツ制作・編集(Web、アプリ、グラフィック、デザイン、動画、ゲーム、アニメ等)	21	0.6
12.(製品・建築等)技術系企画・調査・コンサルタント	20	0.5
43.小学校教員	17	0.5
45.大学等研究機関所属の教員・研究者	17	0.5
18.システムの技術営業・セールスエンジニア・Sler	12	0.3
19.システムの技術系企画・調査・コンサルタント(一般企業等のIT企画・社内コンサル含む)	11	0.3
22.コンサルタント(ビジネス系等<システム関連は18、技術関連は12>)	11	0.3
36.医師・歯科医師	9	0.2
41.獣医師、獣医関連業務	9	0.2
42.栄養・調理関連業務	9	0.2
11.(製品・建築等)技術営業・セールスエンジニア	7	0.2
35.経営者、会社役員	2	0.1
48.その他	194	5.2

**問9 あなたの年収をお答えください。(1つ選択)**

**【選択肢】**

1. 100 万円以下
2. 101～150 万円
3. 151～200 万円
4. 201～250 万円
5. 251～300 万円
6. 301～350 万円
7. 351～400 万円
8. 401～450 万円
9. 451～500 万円
10. 501～550 万円
11. 551～600 万円
12. 601～700 万円
13. 701～800 万円
14. 801～900 万円
15. 901～1000 万円
16. 1,001 万円以上
17. 答えたくない

**【単純集計結果】**

図表 8 回答者の年収

年収	N	%
100万円以下	29	0.8
101～150万円	31	0.8
151～200万円	82	2.2
201～250万円	251	6.7
251～300万円	338	9.1
301～350万円	421	11.3
351～400万円	445	12.0
401～450万円	399	10.7
451～500万円	291	7.8
501～550万円	250	6.7
551～600万円	200	5.4
601～700万円	283	7.6
701～800万円	142	3.8
801～900万円	100	2.7
901～1000万円	55	1.5
1,001万円以上	95	2.6
答えたくない	310	8.3

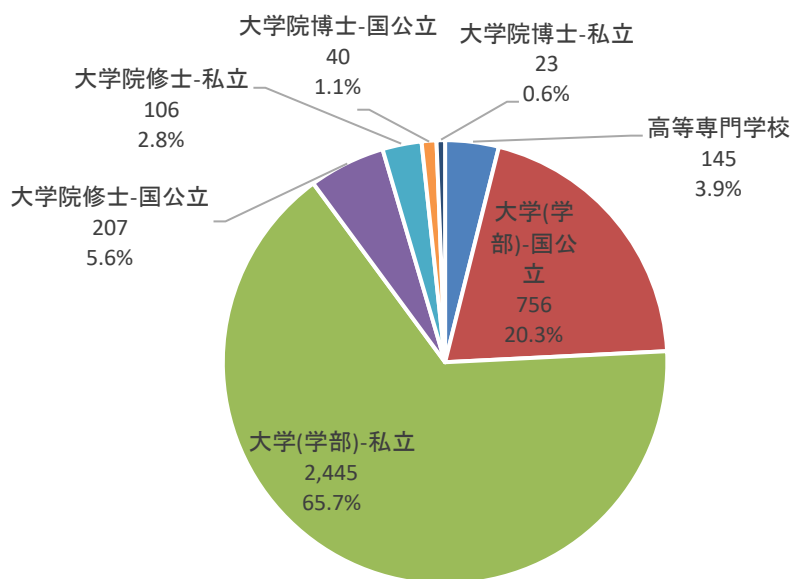
問10 あなたの最終学歴をお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

- 1. 高校
- 2. 専門学校
- 3. 短期大学
- 4. 高等専門学校
- 5. 大学(学部)-国公立
- 6. 大学(学部)-私立
- 7. 大学院修士-国公立
- 8. 大学院修士-私立
- 9. 大学院博士-国公立
- 10. 大学院博士-私立

【単純集計結果】

図表 9 回答者の最終学歴



問11 最終学歴の学校を卒業・修了（あるいは中退等も含む）した年次をお答えください。（1つ選択）

【選択肢】

※1980～2017 まで1年刻＋在学中

【単純集計結果】

図表 10 回答者の卒業・修了した年次

年次	N	%
1980	6	0.2
1981	7	0.2
1982	7	0.2
1983	9	0.2
1984	6	0.2
1985	8	0.2
1986	10	0.3
1987	7	0.2
1988	16	0.4
1989	7	0.2
1990	15	0.4
1991	9	0.2
1992	20	0.5
1993	18	0.5
1994	32	0.9
1995	74	2.0
1996	142	3.8
1997	174	4.7
1998	180	4.8
1999	177	4.8
2000	231	6.2
2001	149	4.0
2002	205	5.5
2003	143	3.8
2004	165	4.4
2005	125	3.4
2006	124	3.3
2007	150	4.0
2008	135	3.6
2009	130	3.5
2010	158	4.2
2011	156	4.2
2012	192	5.2
2013	175	4.7
2014	141	3.8
2015	179	4.8
2016	132	3.5
2017	103	2.8

問12 あなたの最終学歴の教育機関の所在地をお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

※47 都道府県+海外

【単純集計結果】

図表 11 回答者の最終学歴の教育機関の所在地

所在地	N	%
東京都	1081	29.0
大阪府	384	10.3
愛知県	281	7.5
京都府	230	6.2
神奈川県	187	5.0
兵庫県	167	4.5
福岡県	157	4.2
北海道	105	2.8
埼玉県	104	2.8
千葉県	96	2.6
岡山県	81	2.2
広島県	79	2.1
宮城県	59	1.6
茨城県	47	1.3
海外	44	1.2
石川県	33	0.9
滋賀県	32	0.9
青森県	31	0.8
岐阜県	30	0.8
静岡県	30	0.8
新潟県	29	0.8
群馬県	27	0.7
熊本県	27	0.7
三重県	26	0.7

所在地	N	%
奈良県	24	0.6
栃木県	22	0.6
大分県	21	0.6
岩手県	20	0.5
沖縄県	20	0.5
和歌山県	19	0.5
山口県	19	0.5
鹿児島県	19	0.5
福島県	18	0.5
愛媛県	18	0.5
長野県	17	0.5
富山県	15	0.4
山梨県	15	0.4
宮崎県	15	0.4
山形県	14	0.4
香川県	14	0.4
長崎県	14	0.4
徳島県	12	0.3
秋田県	8	0.2
福井県	8	0.2
島根県	7	0.2
鳥取県	6	0.2
高知県	6	0.2
佐賀県	4	0.1

問13 あなたの最終学歴につき、その学部・学科（研究科・専攻）について最も近いものをお選びください。（1つ選択）

【選択肢】

※＜学部学科リスト＞

【単純集計結果】

図表 12 回答者の学部・学科

学部・学科	N	%
43.経済学系	389	10.5
34.文学系	320	8.6
44.経営学・商学系	295	7.9
40.法律学系	268	7.2
35.語学・外国語系	203	5.5
13.情報系(情報学、情報工学、情報科学等)	187	5.0
39.社会学系・教養系(観光・地域、コミュニケーション学、社会情報学等も含む)	168	4.5
38.教育学系、教員養成系	152	4.1
4.電気・電子系(工学)	141	3.8
1.機械系(工学)	124	3.3
28.看護・保健・医療系	110	3.0
37.心理系	95	2.6
29.福祉・介護系	82	2.2
9.経営・管理工学、事業創造系(工学)	81	2.2
31.家政・生活科学系(栄養・ファッション等も含む)	76	2.0
6.応用化学・物質系(工学)	68	1.8
32.芸術・デザイン(音楽・映像・グラフィックなど)系	67	1.8
42.国際関係系	66	1.8
26.薬学系	64	1.7
12.建築系	59	1.6
41.政治学系・政策系	59	1.6
36.史学系	54	1.5
23.農学系(バイオ系、化学系・食品系など)	49	1.3
14.生物工学、生命科学系、理工系バイオ	48	1.3
19.化学(理学)	48	1.3
11.土木系(工学)	47	1.3
17.数学(理学)	44	1.2
27.医学・歯学系	38	1.0
30.スポーツ・体育・健康系	36	1.0
7.化学工学系	35	0.9
45.会計学系	30	0.8
24.農学系(バイオ以外、環境系・工学系など)	26	0.7
15.環境系	23	0.6
5.材料系＜金属・セラミックス等＞(工学)	22	0.6
18.物理(理学)	22	0.6
20.生物(理学)	20	0.5
25.獣医学系・動物系	20	0.5
10.応用物理系＜光など＞(工学)	18	0.5
2.造船・海洋系(工学)	16	0.4
3.航空・宇宙系(工学)	13	0.3
16.資源・エネルギー系	13	0.3
33.哲学系	11	0.3
8.繊維系(工学)	7	0.2
21.地球・惑星(理学)	6	0.2
22.天文(理学)	2	0.1

b) 実態調査項目

問14-1～3 あなたが、在学中に学んだ専門知識（スキル）分野において、最も（2番目、3番目）専門性が高いものをお選びください。（1つ選択）

【選択肢】

※<22 学系→267 小分類（の専門知識（スキル）分野リスト）>

【単純集計結果】

当設問は、需給ギャップ分析の供給量を把握するための設問である。需給ギャップについては、「2.1.1 社会人アンケートによる需給分析結果」を参照のこと。

【クロス集計結果】

需給ギャップのクロス集計については、性別、業種、職種、最終学歴、学部・学科で実施している。詳細は「2.1.1 社会人アンケートによる需給分析結果」を参照のこと。

ここでは、最も専門性が高い分野と、2番目、3番目に専門性が高い分野とのクロス集計を実施した。



図表 13 最も専門性の高い専門知識と2番目・3番目の専門知識とのクロス集計(%表示)

専門知識	最も専門性の高い専門知識	2番目の専門知識	3番目の専門知識	...
マーケティング	100%	5%	2%	...
経営企画	100%	8%	3%	...
財務	100%	12%	4%	...
人事	100%	15%	5%	...
総務	100%	18%	6%	...
IT	100%	22%	8%	...
法律	100%	25%	10%	...
建設	100%	28%	12%	...
製造	100%	30%	15%	...
販売	100%	35%	18%	...
研究開発	100%	40%	22%	...
生産	100%	45%	25%	...
物流	100%	50%	30%	...
情報システム	100%	55%	35%	...
環境	100%	60%	40%	...
社会貢献	100%	65%	45%	...
その他	100%	70%	50%	...

図表 14 最も専門性の高い専門知識と2番目・3番目の専門知識とのクロス集計(N値表示)

専門知識の項目名	最も専門性の高い専門知識		2番目の専門知識		3番目の専門知識	
	1	2	1	2	1	2
税務専門知識						
簿記士						
簿記検定 1級						
簿記検定 2級						
簿記検定 3級						
簿記検定 4級						
簿記検定 5級						
簿記検定 6級						
簿記検定 7級						
簿記検定 8級						
簿記検定 9級						
簿記検定 10級						
簿記検定 11級						
簿記検定 12級						
簿記検定 13級						
簿記検定 14級						
簿記検定 15級						
簿記検定 16級						
簿記検定 17級						
簿記検定 18級						
簿記検定 19級						
簿記検定 20級						
簿記検定 21級						
簿記検定 22級						
簿記検定 23級						
簿記検定 24級						
簿記検定 25級						
簿記検定 26級						
簿記検定 27級						
簿記検定 28級						
簿記検定 29級						
簿記検定 30級						
簿記検定 31級						
簿記検定 32級						
簿記検定 33級						
簿記検定 34級						
簿記検定 35級						
簿記検定 36級						
簿記検定 37級						
簿記検定 38級						
簿記検定 39級						
簿記検定 40級						
簿記検定 41級						
簿記検定 42級						
簿記検定 43級						
簿記検定 44級						
簿記検定 45級						
簿記検定 46級						
簿記検定 47級						
簿記検定 48級						
簿記検定 49級						
簿記検定 50級						
簿記検定 51級						
簿記検定 52級						
簿記検定 53級						
簿記検定 54級						
簿記検定 55級						
簿記検定 56級						
簿記検定 57級						
簿記検定 58級						
簿記検定 59級						
簿記検定 60級						
簿記検定 61級						
簿記検定 62級						
簿記検定 63級						
簿記検定 64級						
簿記検定 65級						
簿記検定 66級						
簿記検定 67級						
簿記検定 68級						
簿記検定 69級						
簿記検定 70級						
簿記検定 71級						
簿記検定 72級						
簿記検定 73級						
簿記検定 74級						
簿記検定 75級						
簿記検定 76級						
簿記検定 77級						
簿記検定 78級						
簿記検定 79級						
簿記検定 80級						
簿記検定 81級						
簿記検定 82級						
簿記検定 83級						
簿記検定 84級						
簿記検定 85級						
簿記検定 86級						
簿記検定 87級						
簿記検定 88級						
簿記検定 89級						
簿記検定 90級						
簿記検定 91級						
簿記検定 92級						
簿記検定 93級						
簿記検定 94級						
簿記検定 95級						
簿記検定 96級						
簿記検定 97級						
簿記検定 98級						
簿記検定 99級						
簿記検定 100級						

問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）

1. その知識やスキルは、これまでに従事してきた業務に活かされていると思う

【選択肢】

そう思う

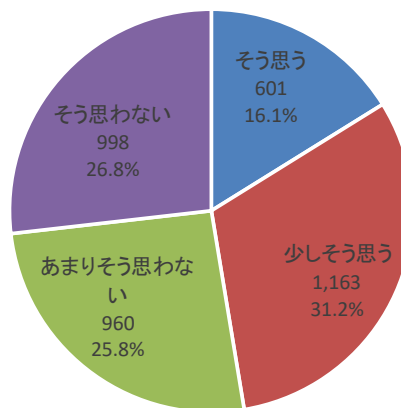
少しそう思う

あまりそう思わない

そう思わない

【単純集計結果】

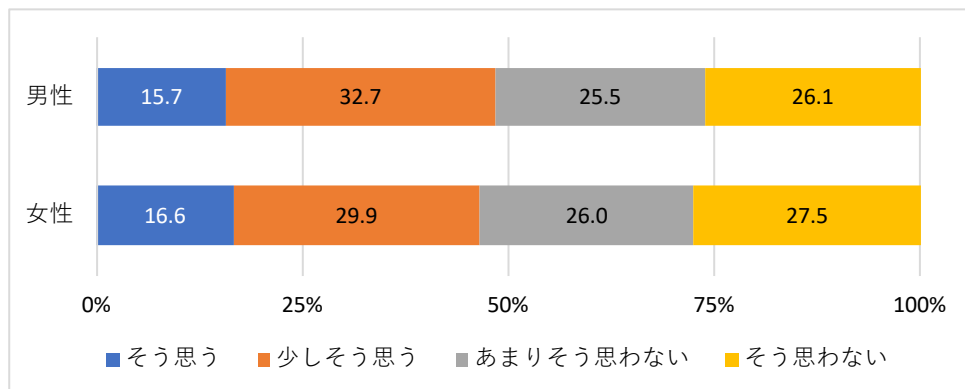
図表 15 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか



【クロス集計結果】

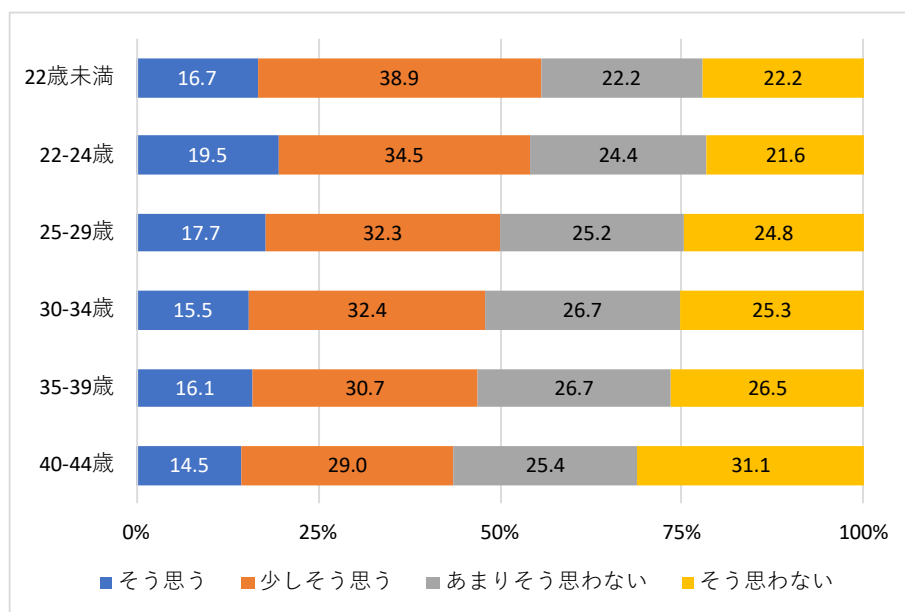
a) 性別

図表 16 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか(性別)



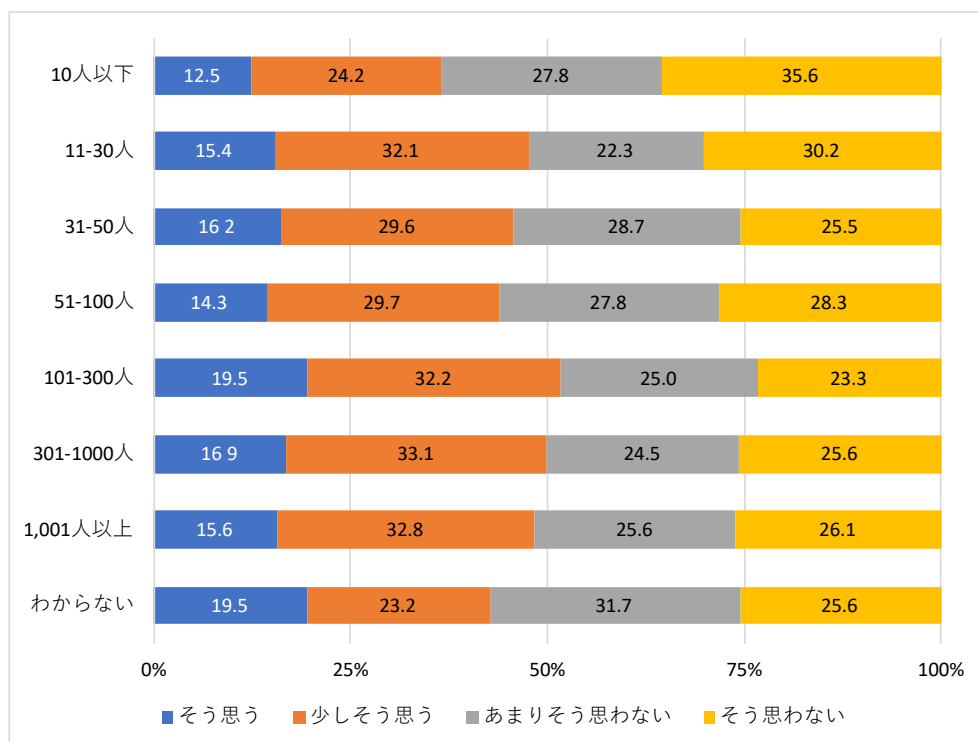
b) 年齢

図表 17 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか(年齢別)



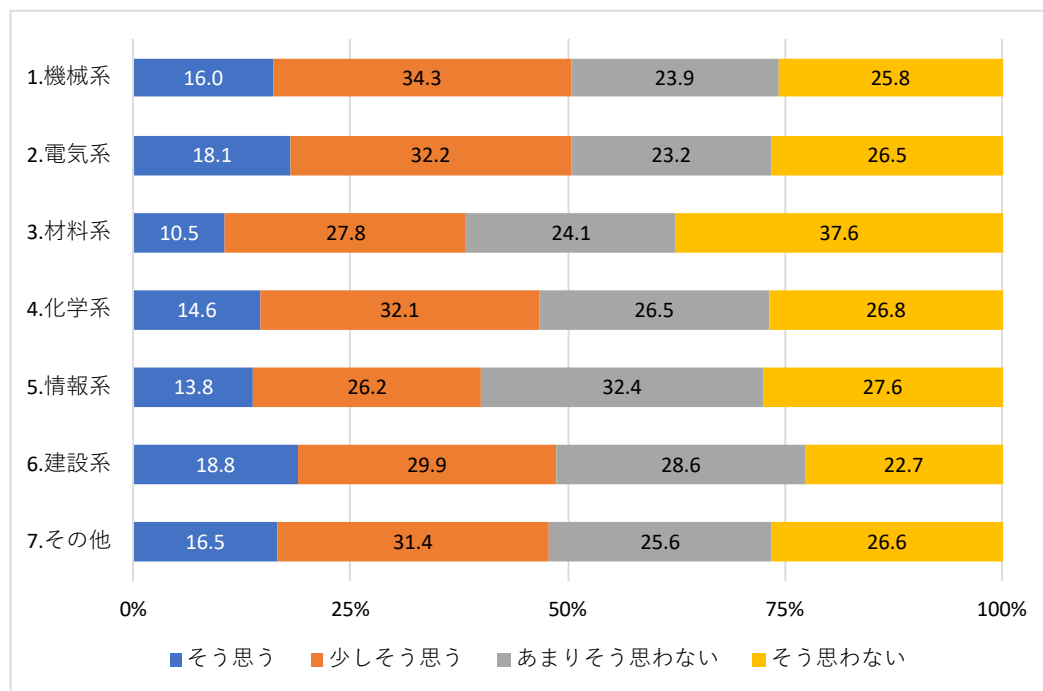
c) 従業員数

図表 18 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか(従業員数別)



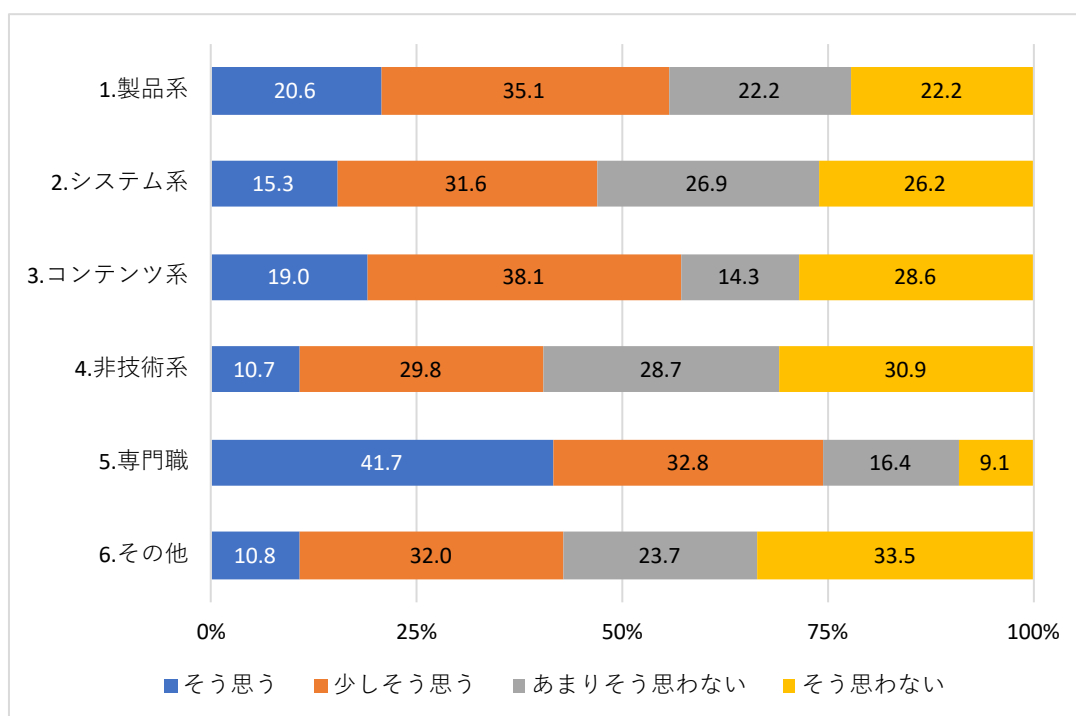
d) 業種

図表 19 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか(業種別)



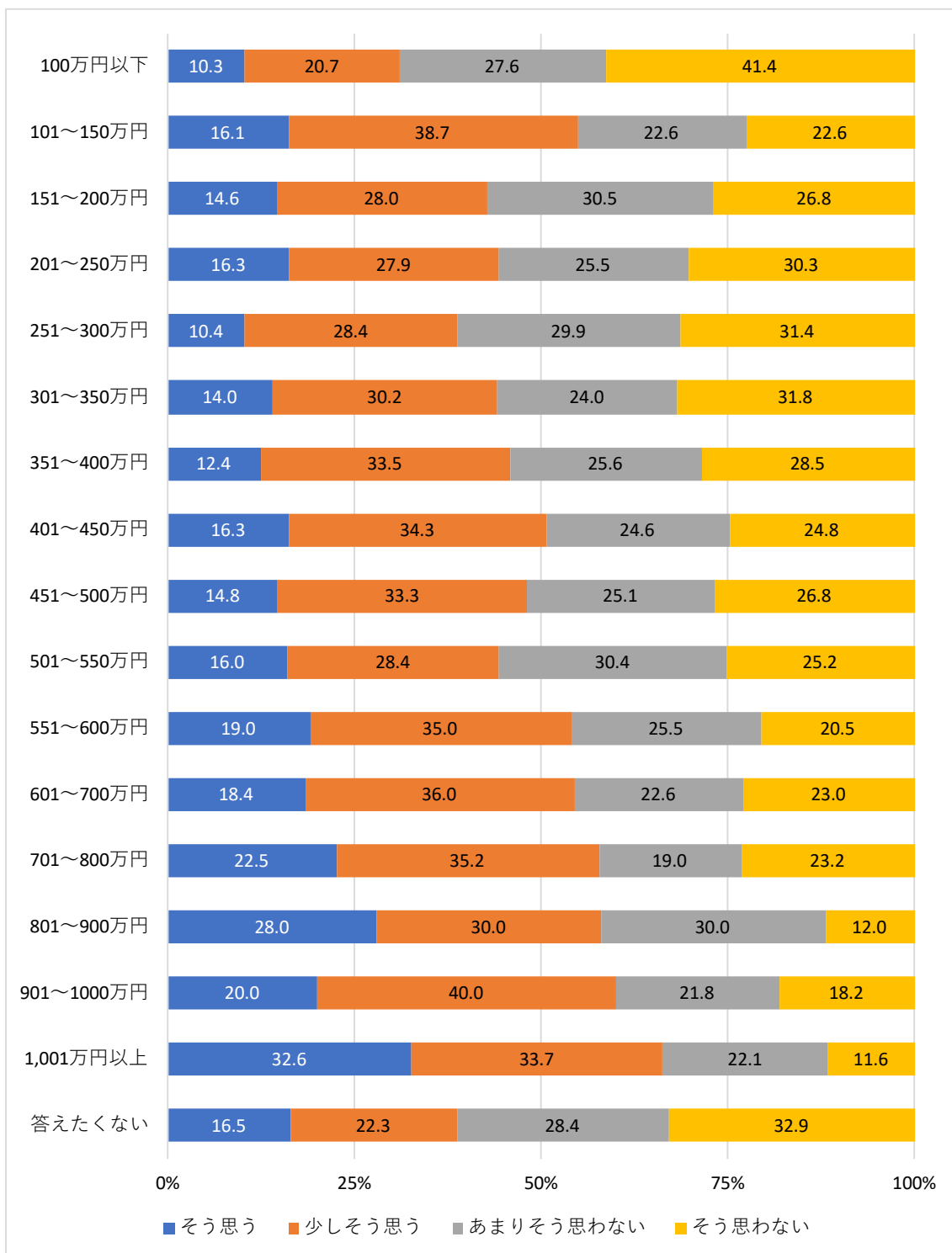
e) 職種

図表 20 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか(職種別)



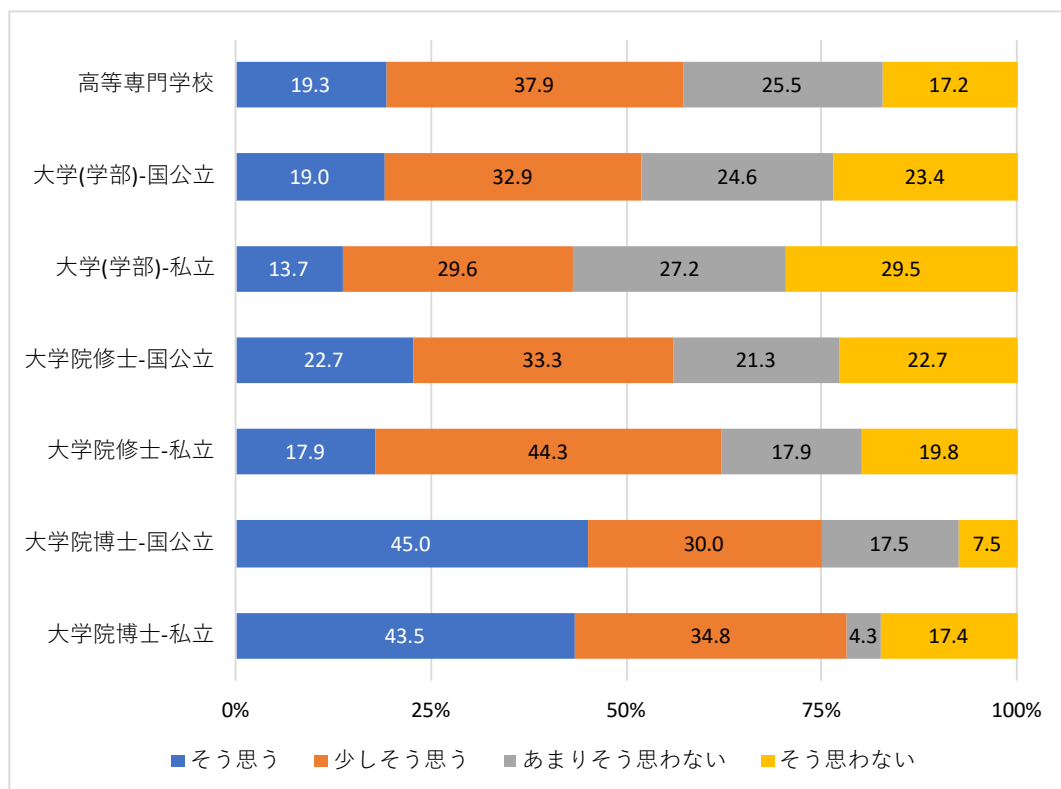
f) 年収

図表 21 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか(年収別)



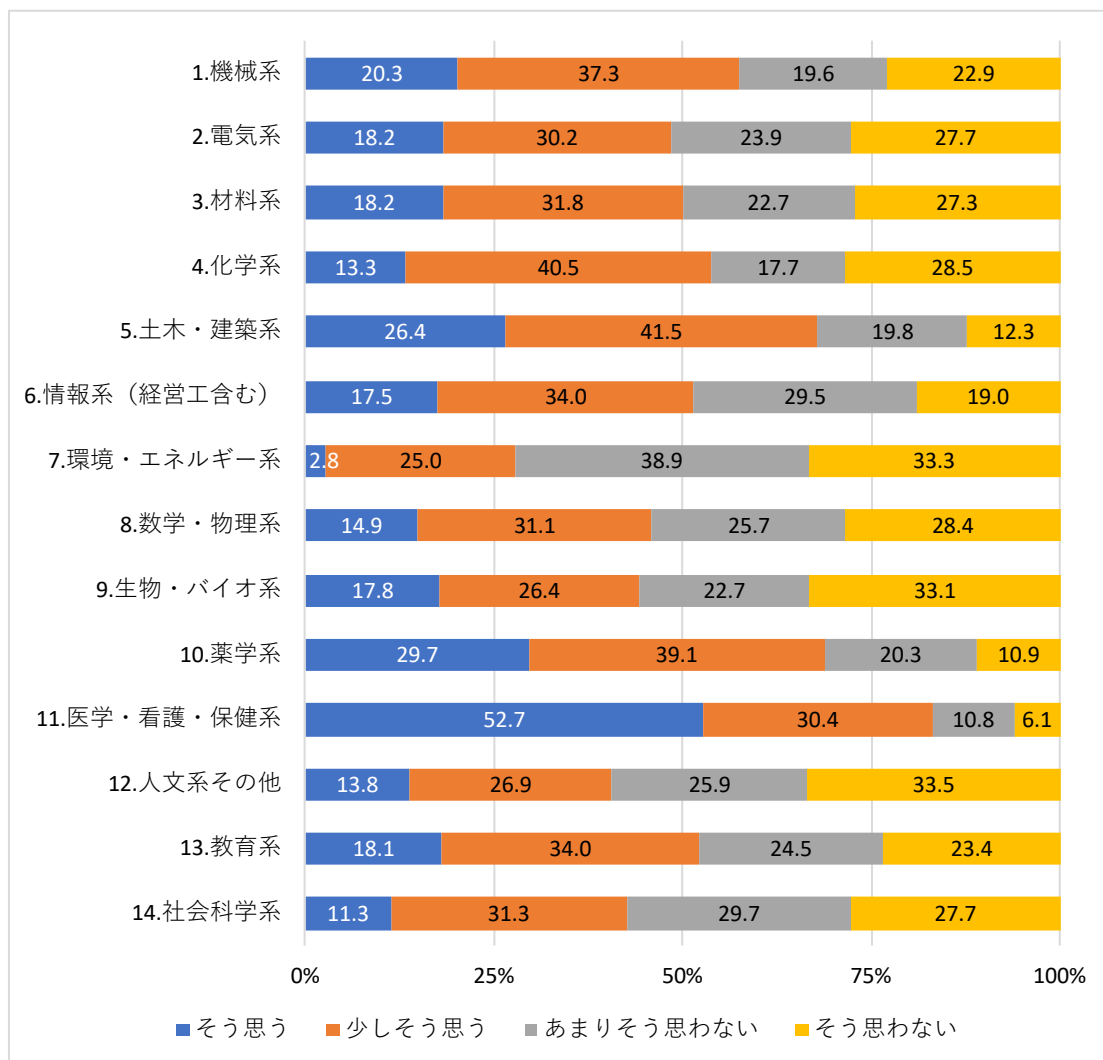
g) 最終学歴

図表 22 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 23 在学中学んだ専門知識が従事してきた業務に活かされているか(学部・学科別)





問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）

2. その知識やスキルは、昇進や収入に有利に働いていると思う

【選択肢】

そう思う

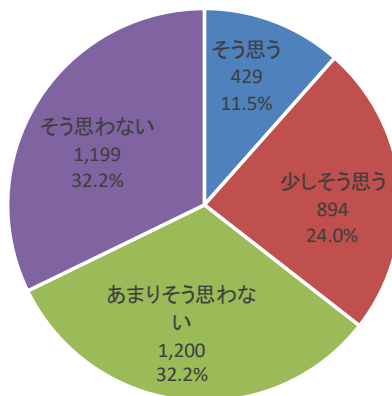
少しそう思う

あまりそう思わない

そう思わない

【単純集計結果】

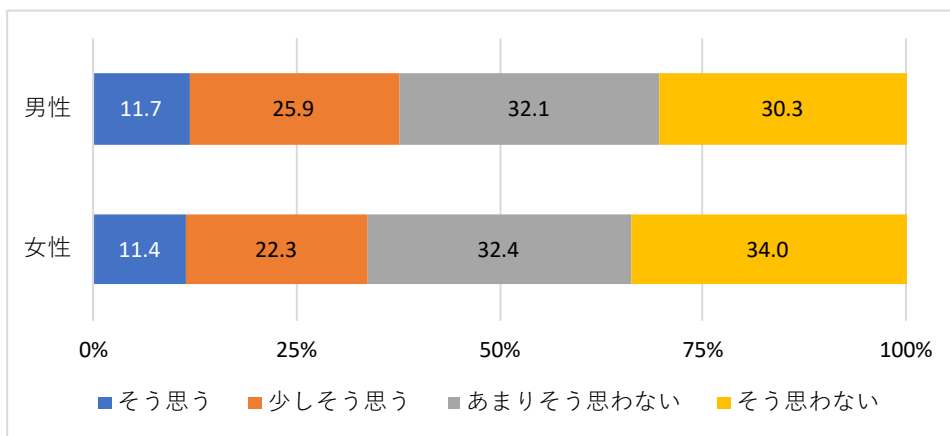
図表 24 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか



【クロス集計結果】

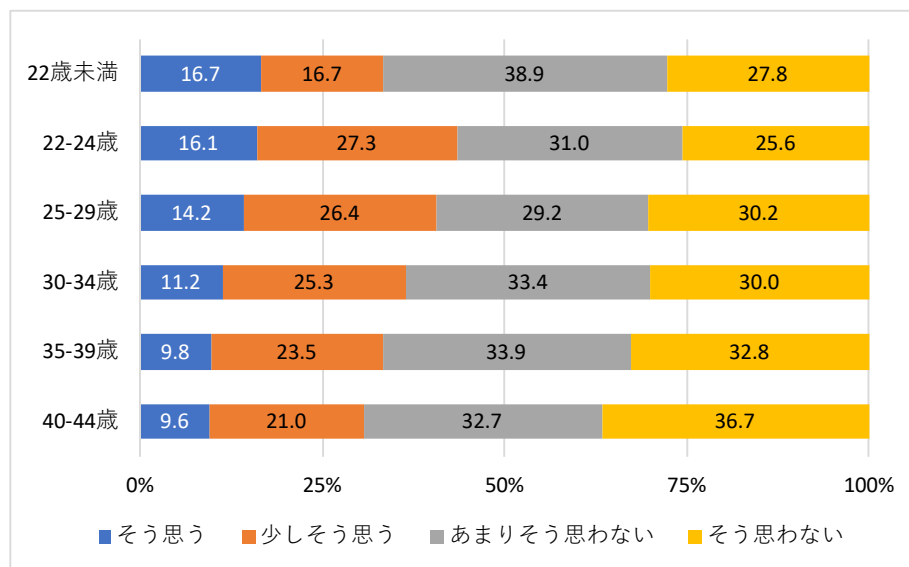
a) 性別

図表 25 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか（性別）



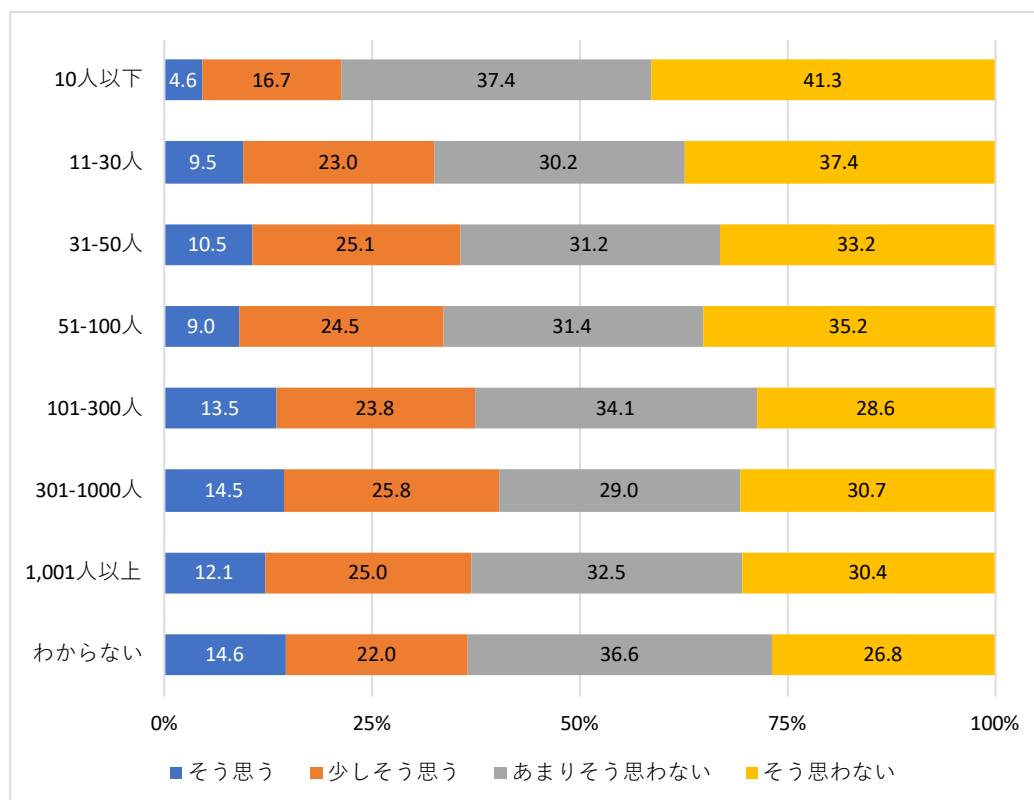
b) 年齢

図表 26 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか(年齢別)



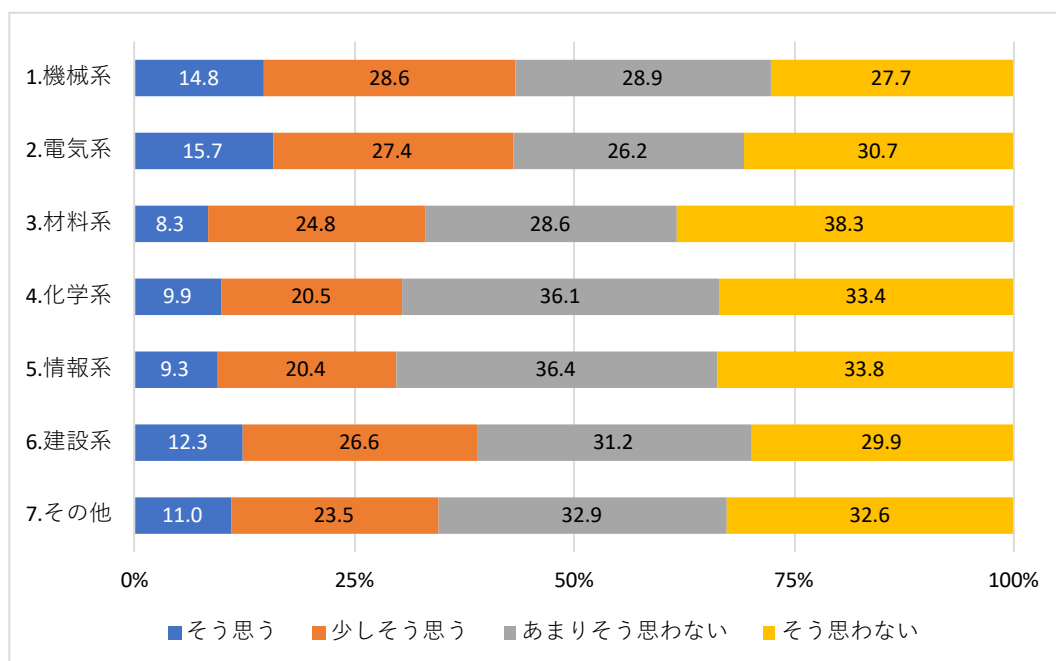
c) 従業員数

図表 27 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか(従業員数別)



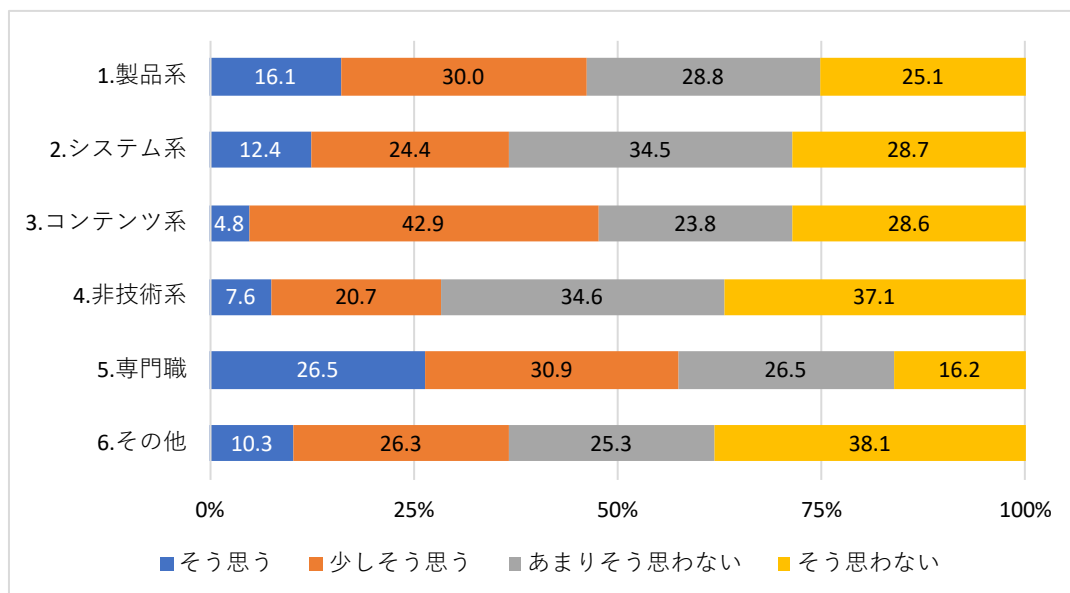
d) 業種

図表 28 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか(業種別)



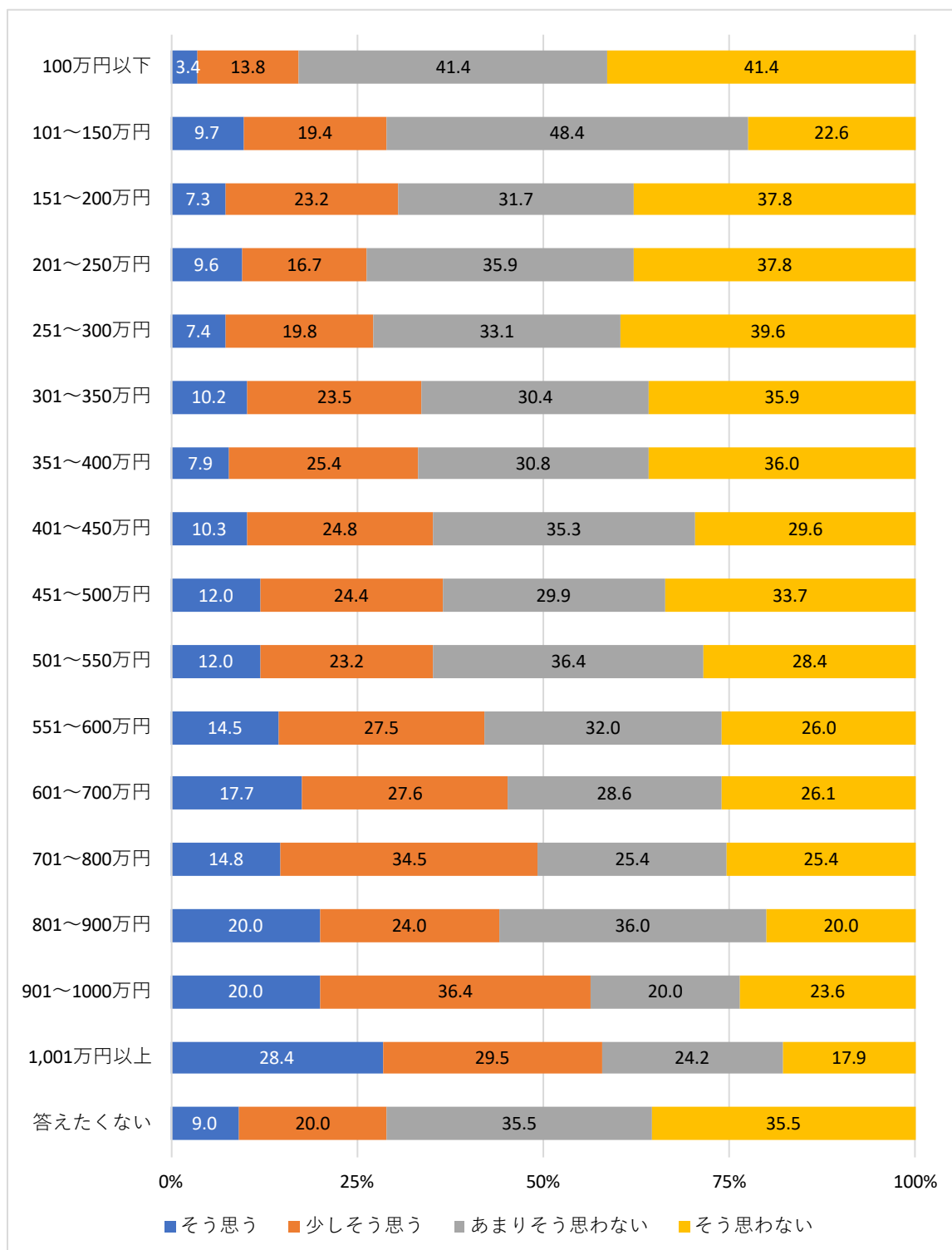
e) 職種

図表 29 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか(職種別)



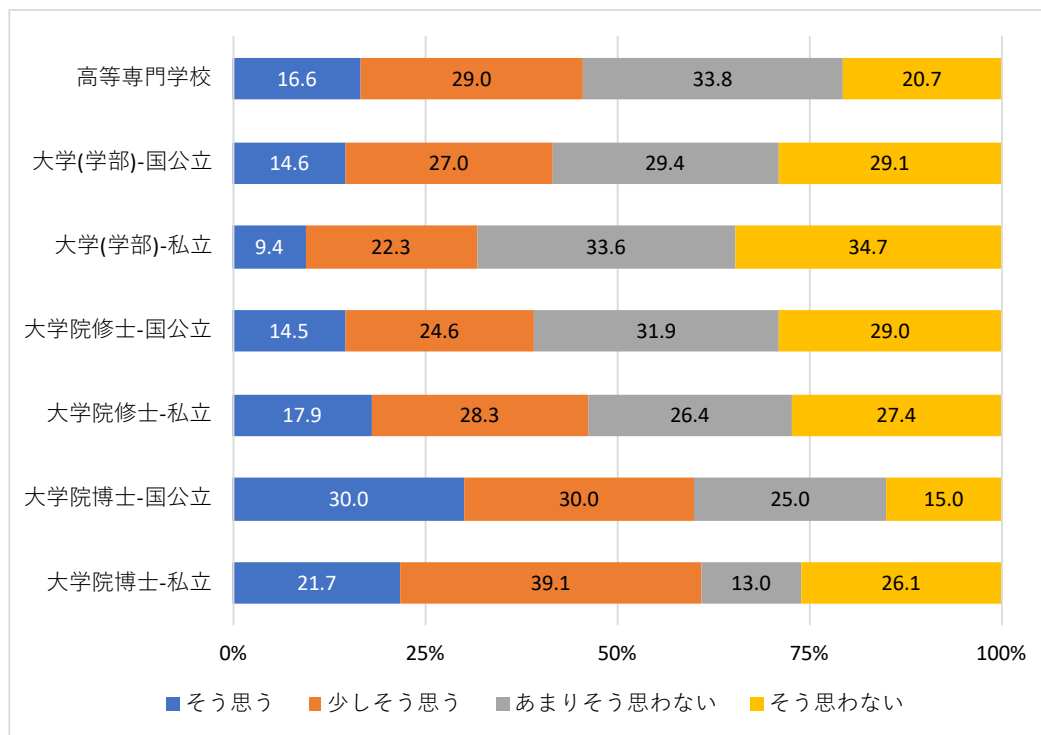
f) 年収

図表 30 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか(年収別)



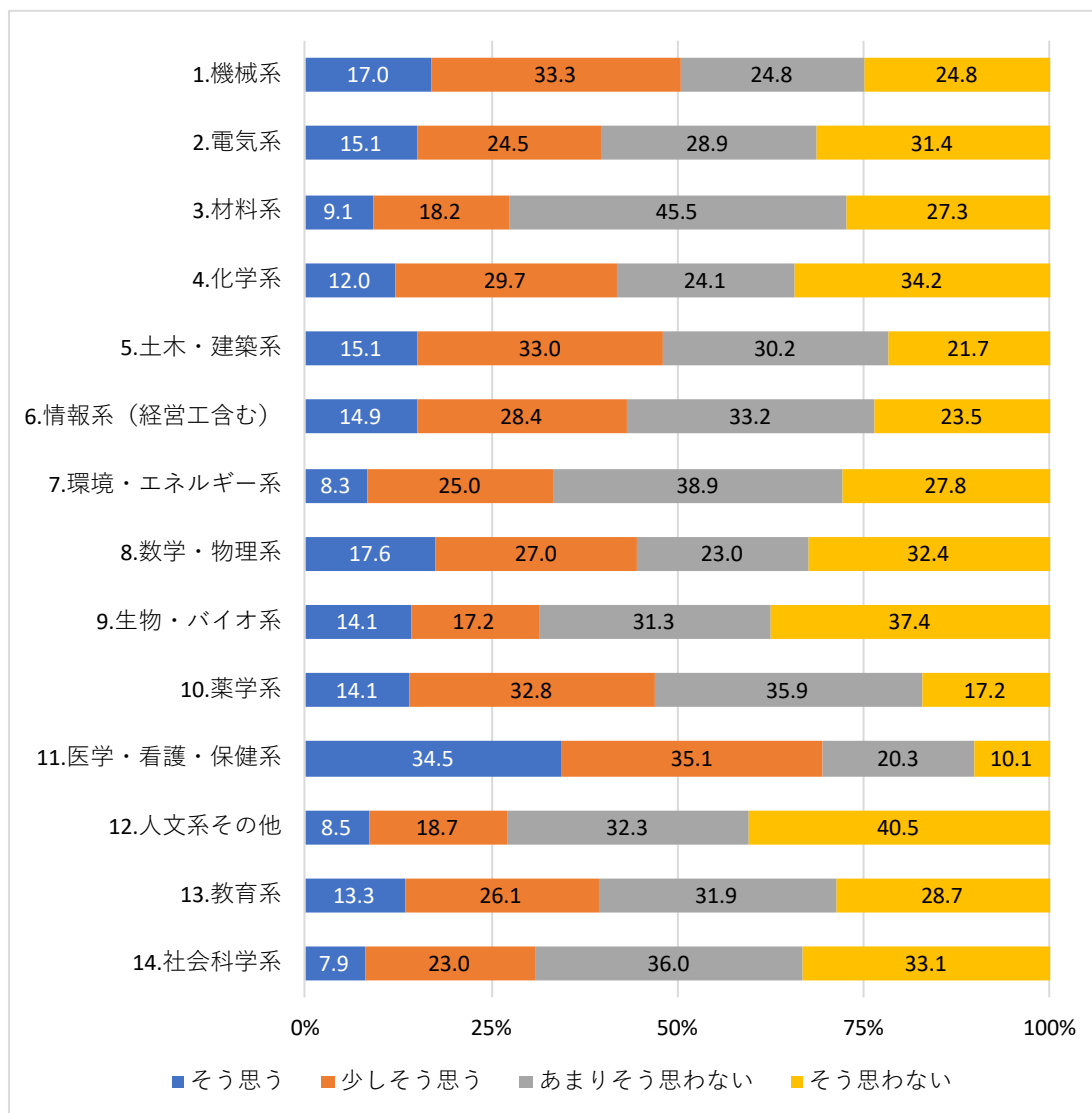
g) 最終学歴

図表 31 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか(最終学歴別)



h) 学部・学科

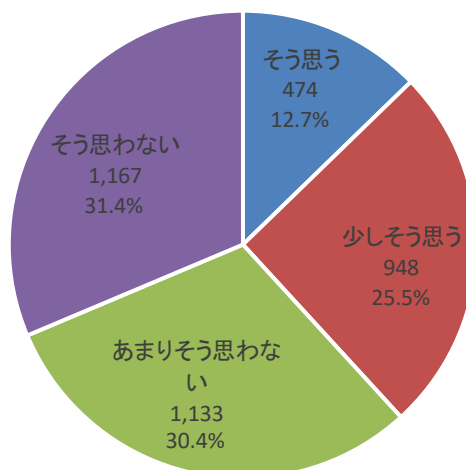
図表 32 在学中学んだ専門知識が昇進や収入に有利に働いているか(学部・学科別)



<p>問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）</p> <p>3. その知識やスキルは、従事した業務を通してさらに高めることができていると思う</p>
<p>【選択肢】</p> <p>そう思う</p> <p>少しそう思う</p> <p>あまりそう思わない</p> <p>そう思わない</p>

【単純集計結果】

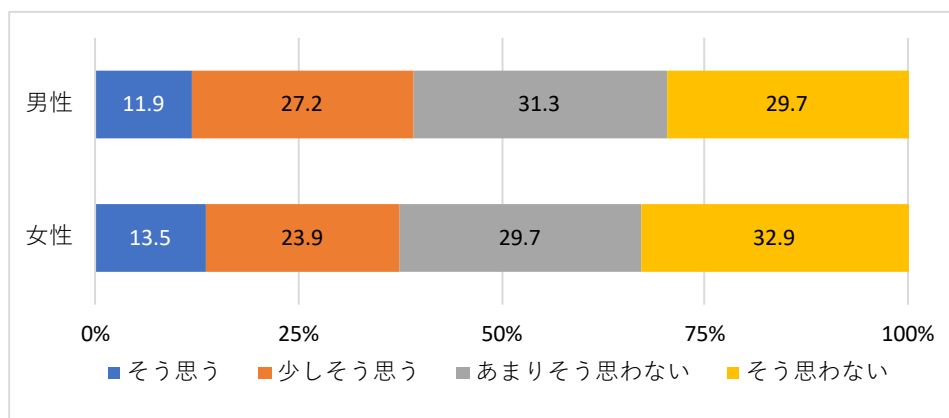
図表 33 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか



【クロス集計結果】

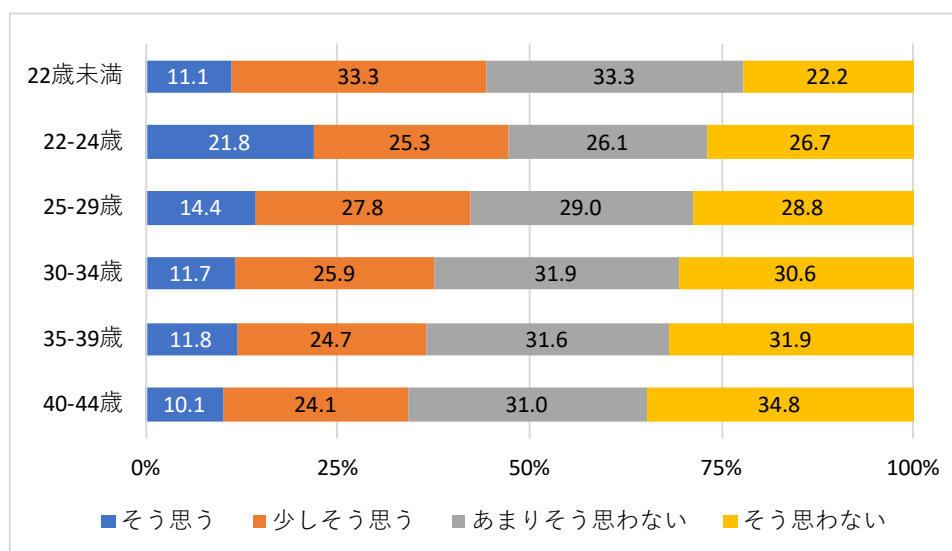
a) 性別

図表 34 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか(性別)



b) 年齢

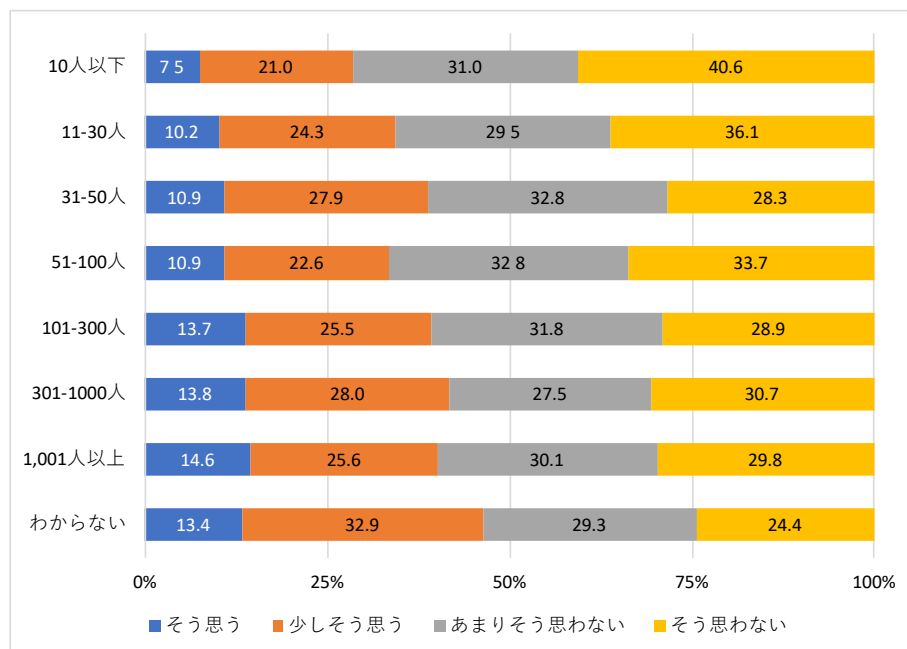
図表 35 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか(年齢別)





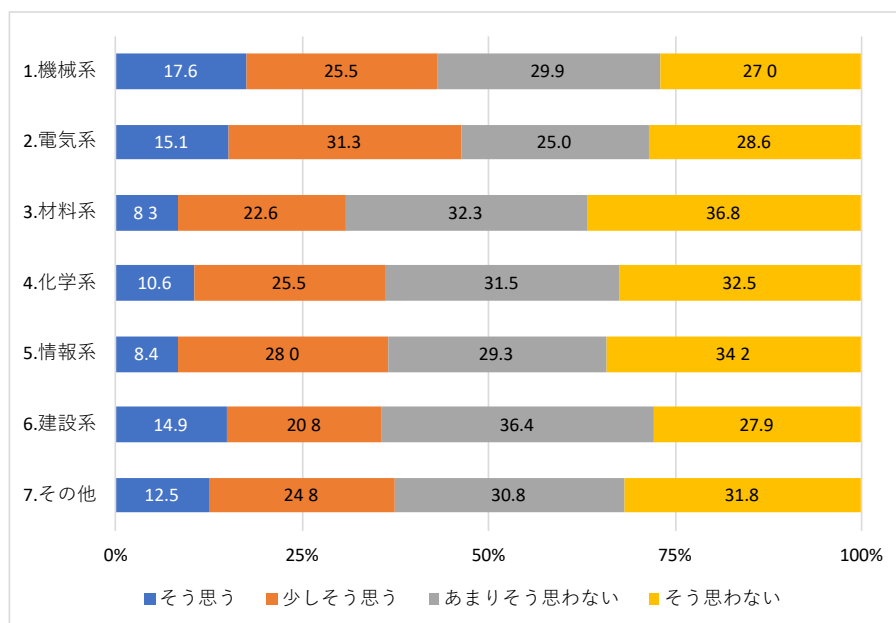
c) 従業員数

図表 36 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか(従業員数別)



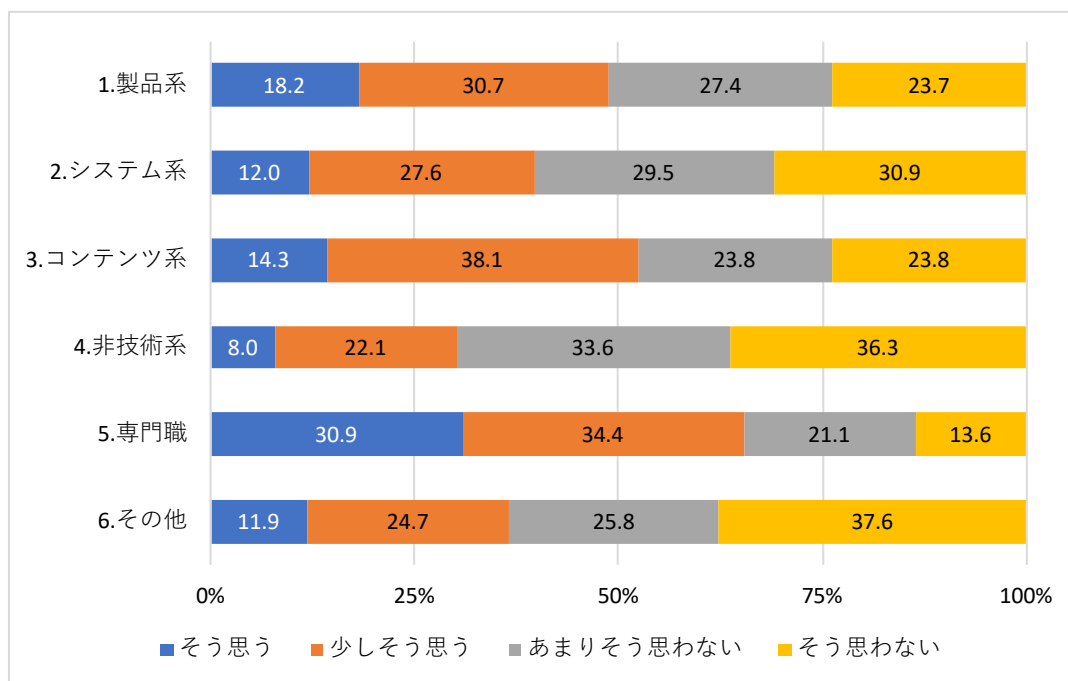
d) 業種

図表 37 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか(業種別)



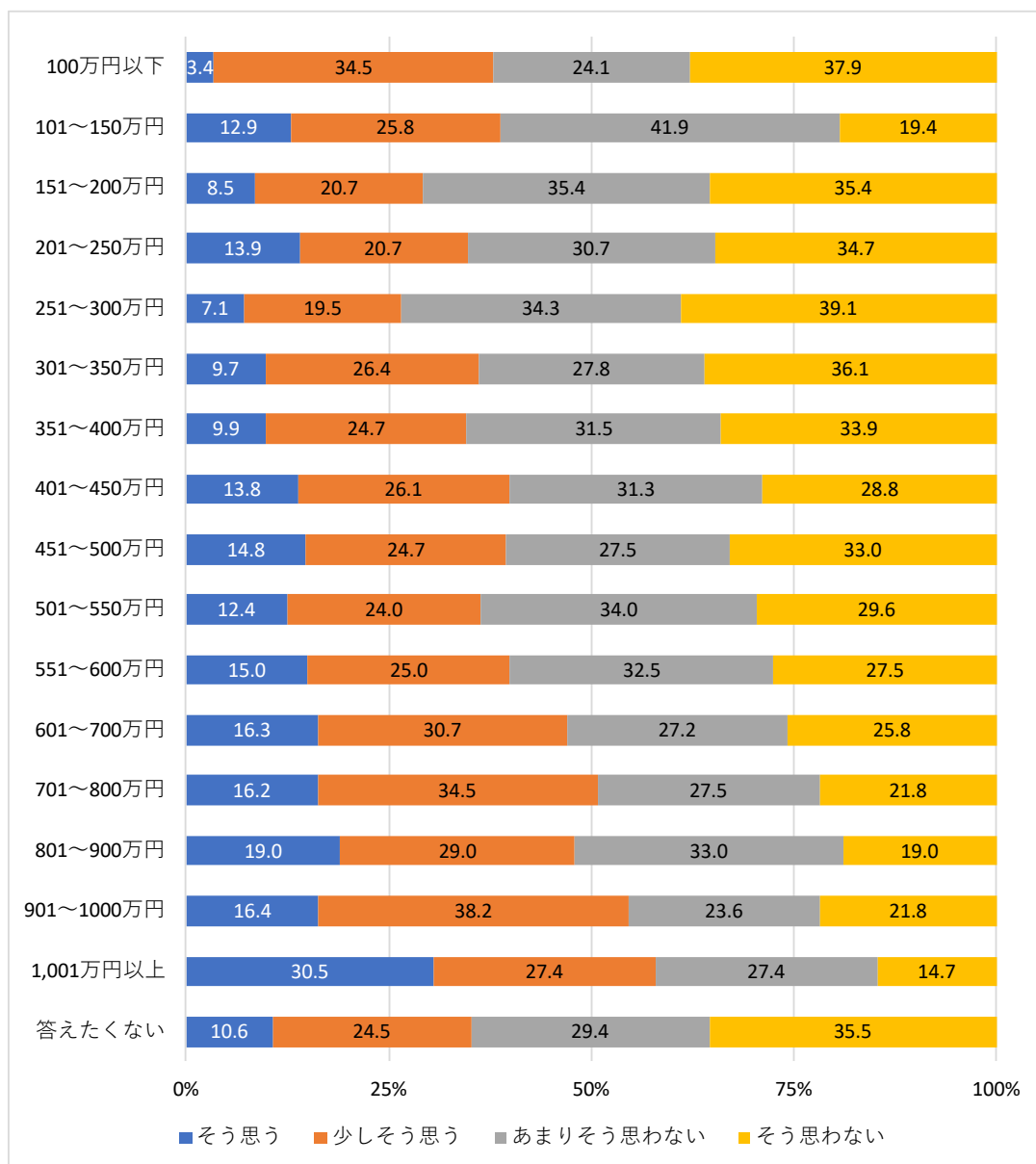
e) 職種

図表 38 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか(職種別)



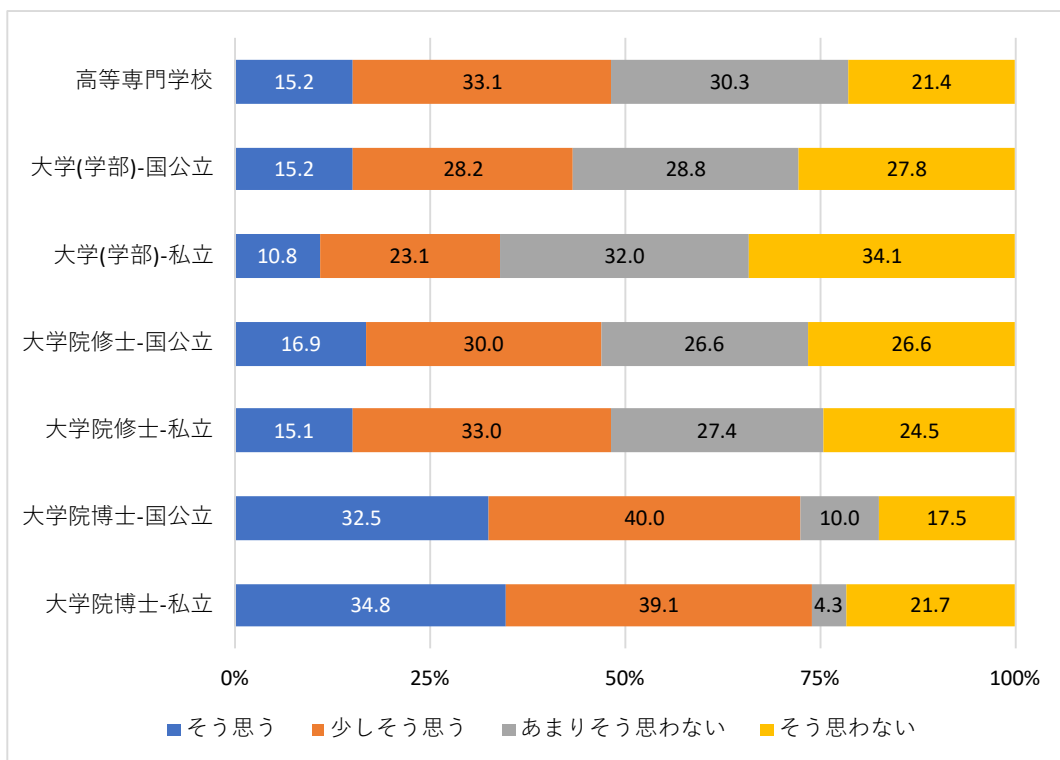
f) 年収

図表 39 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか(年収別)



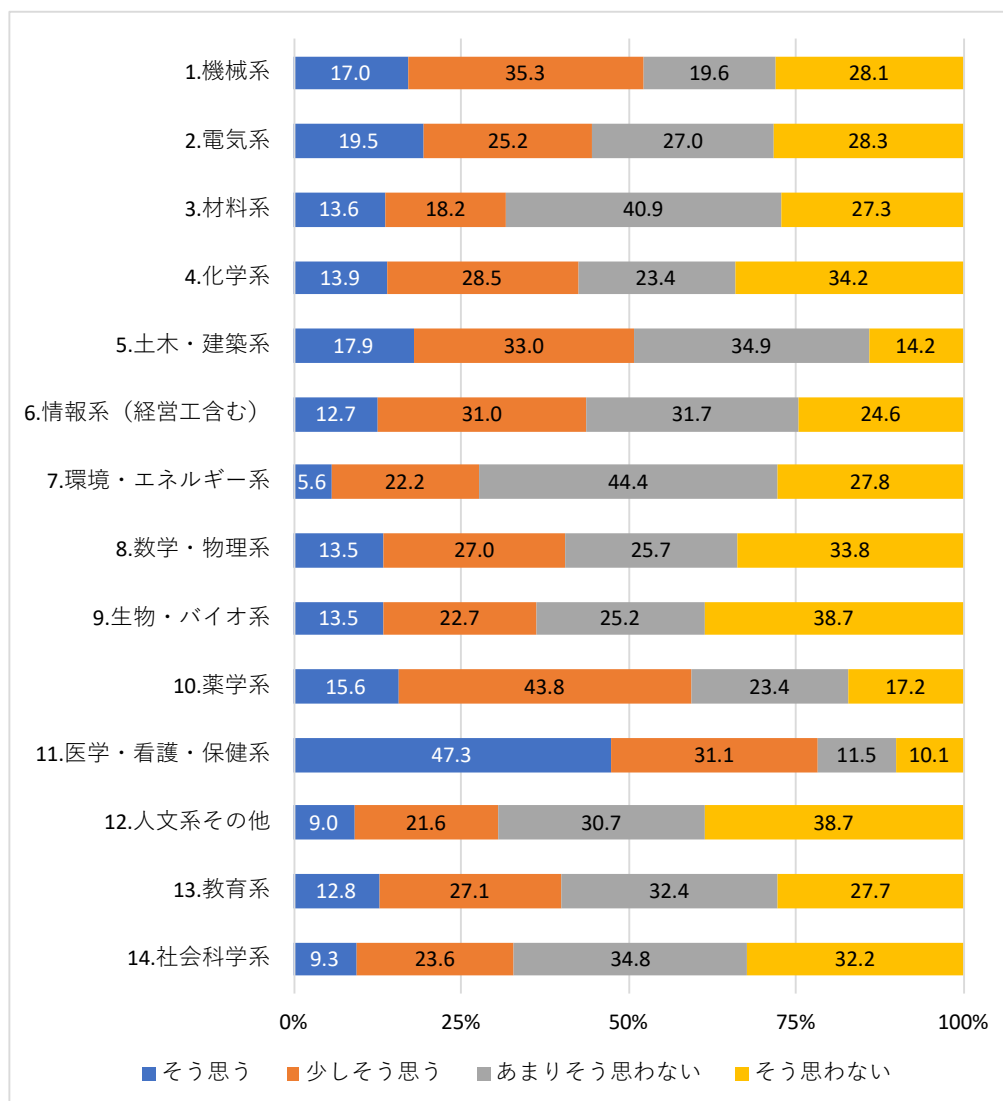
g) 最終学歴

図表 40 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか(最終学歴別)



h) 学部・学科

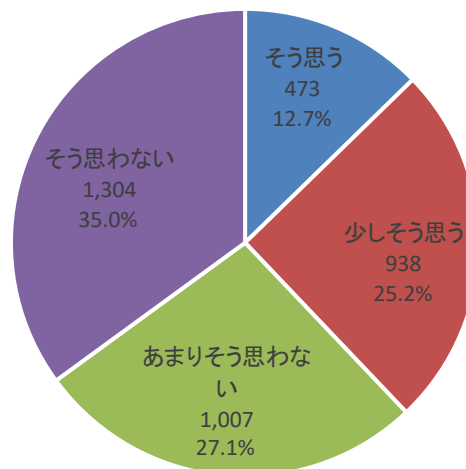
図表 41 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、従事した業務を通してさらに高めることができていると思うか(学部・学科別)



<p>問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）</p> <p>4. その知識やスキルは、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思う</p> <p>【選択肢】</p> <p>そう思う</p> <p>少しそう思う</p> <p>あまりそう思わない</p> <p>そう思わない</p>
--

【単純集計結果】

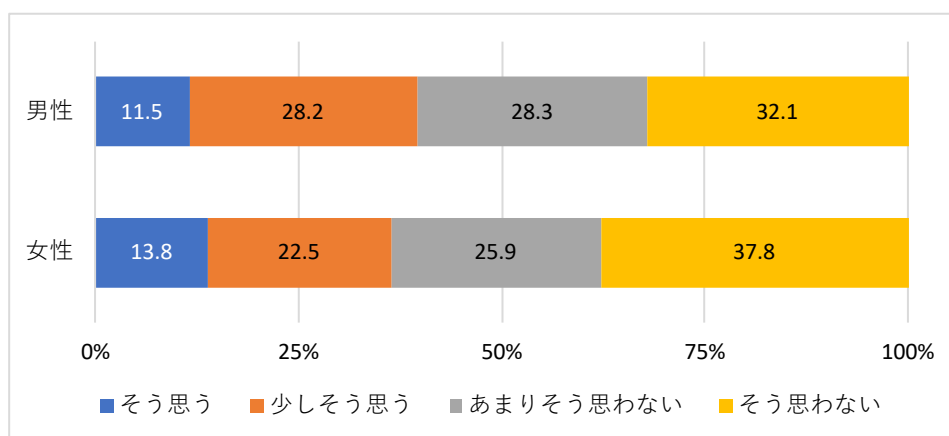
図表 42 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか



【クロス集計結果】

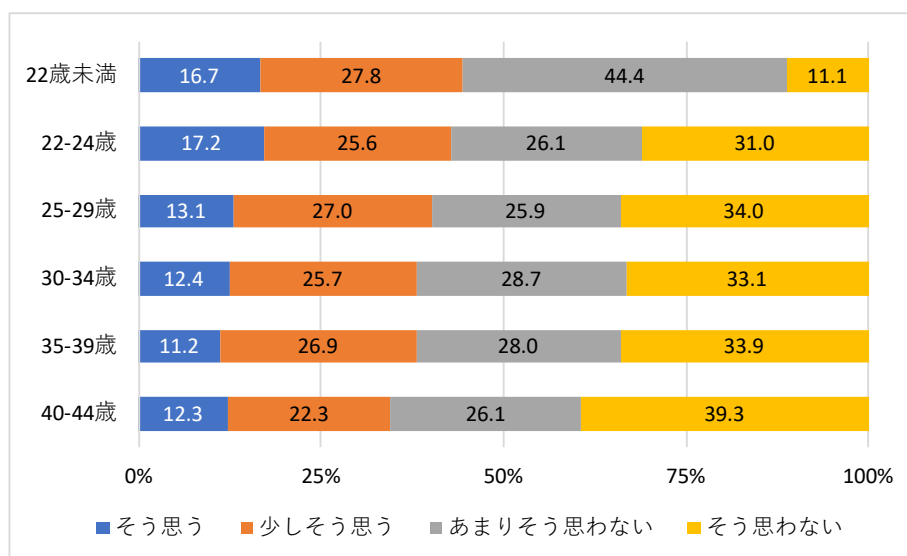
a) 性別

図表 43 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか(性別)



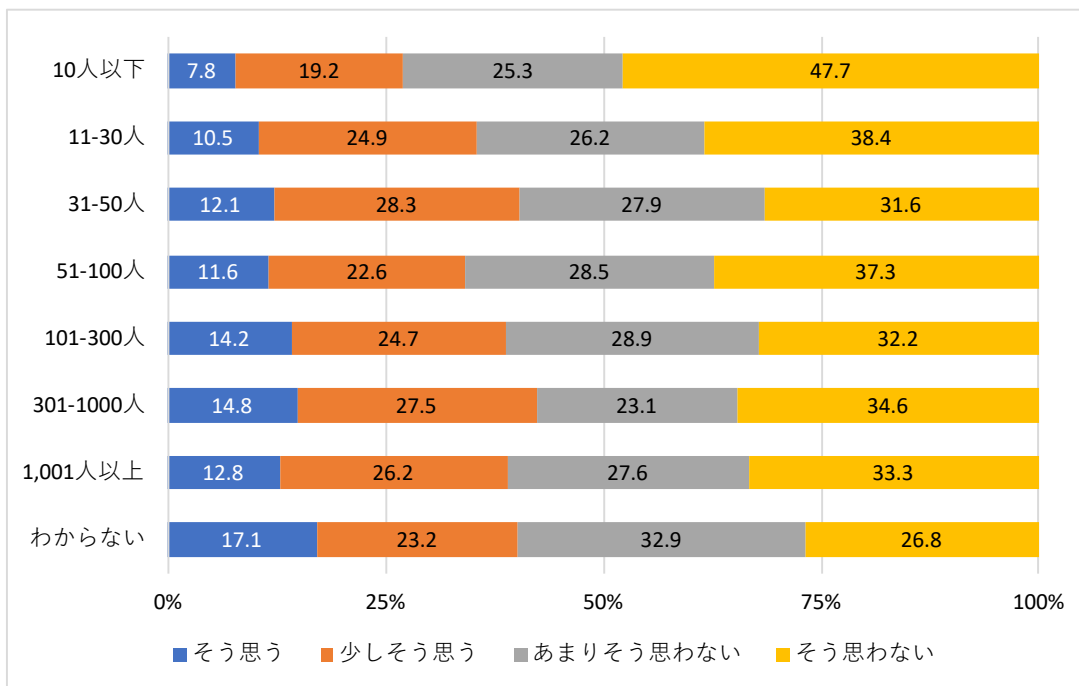
b) 年齢

図表 44 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか(年齢別)



c) 従業員数

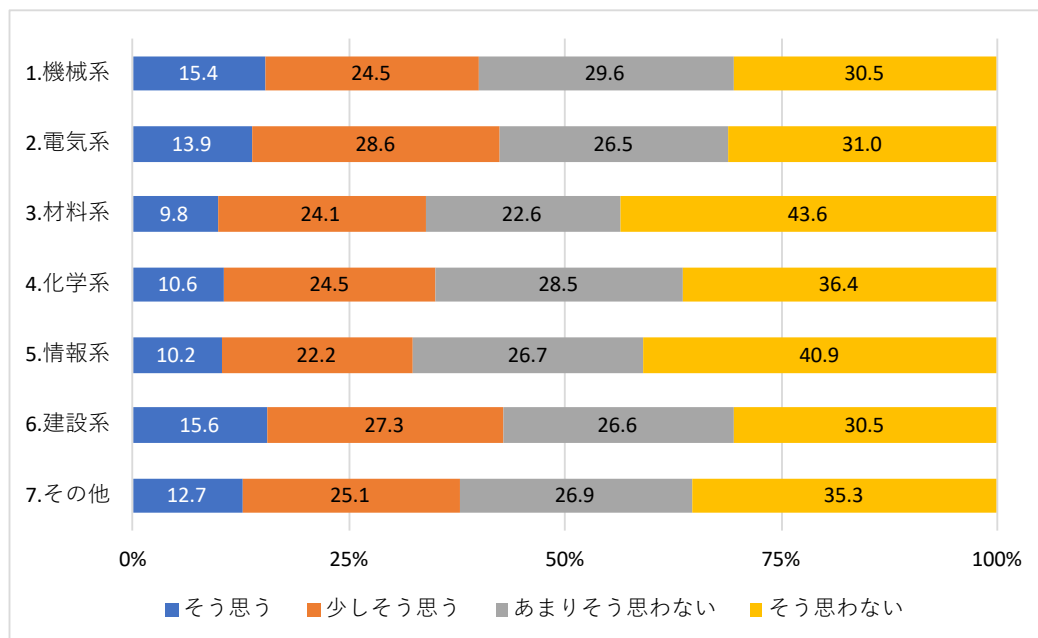
図表 45 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか(従業員数別)





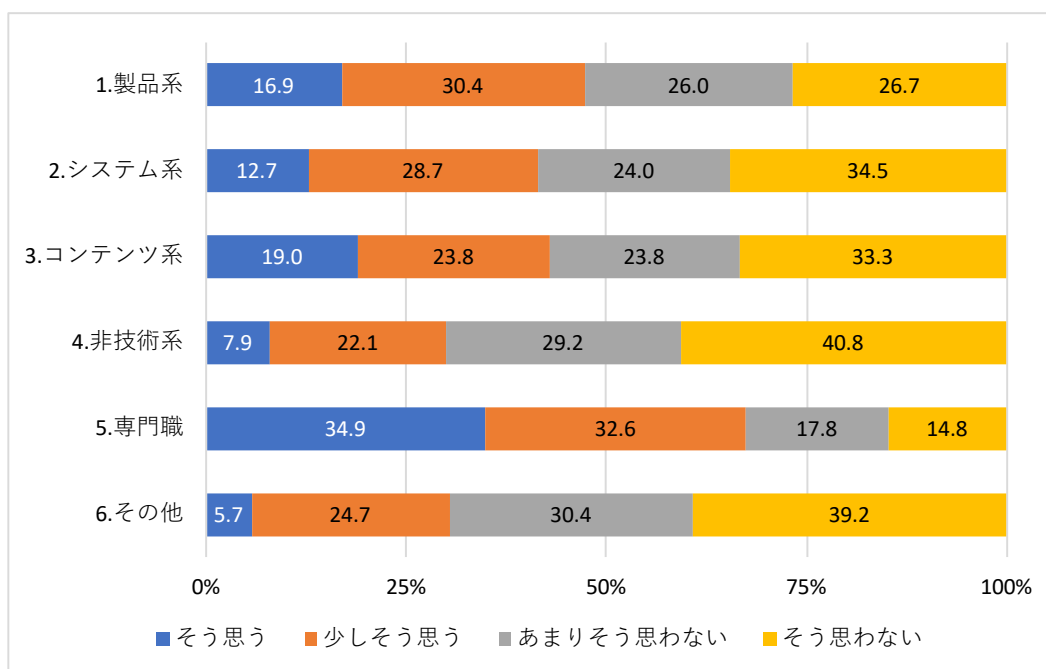
d) 業種

図表 46 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか(業種別)



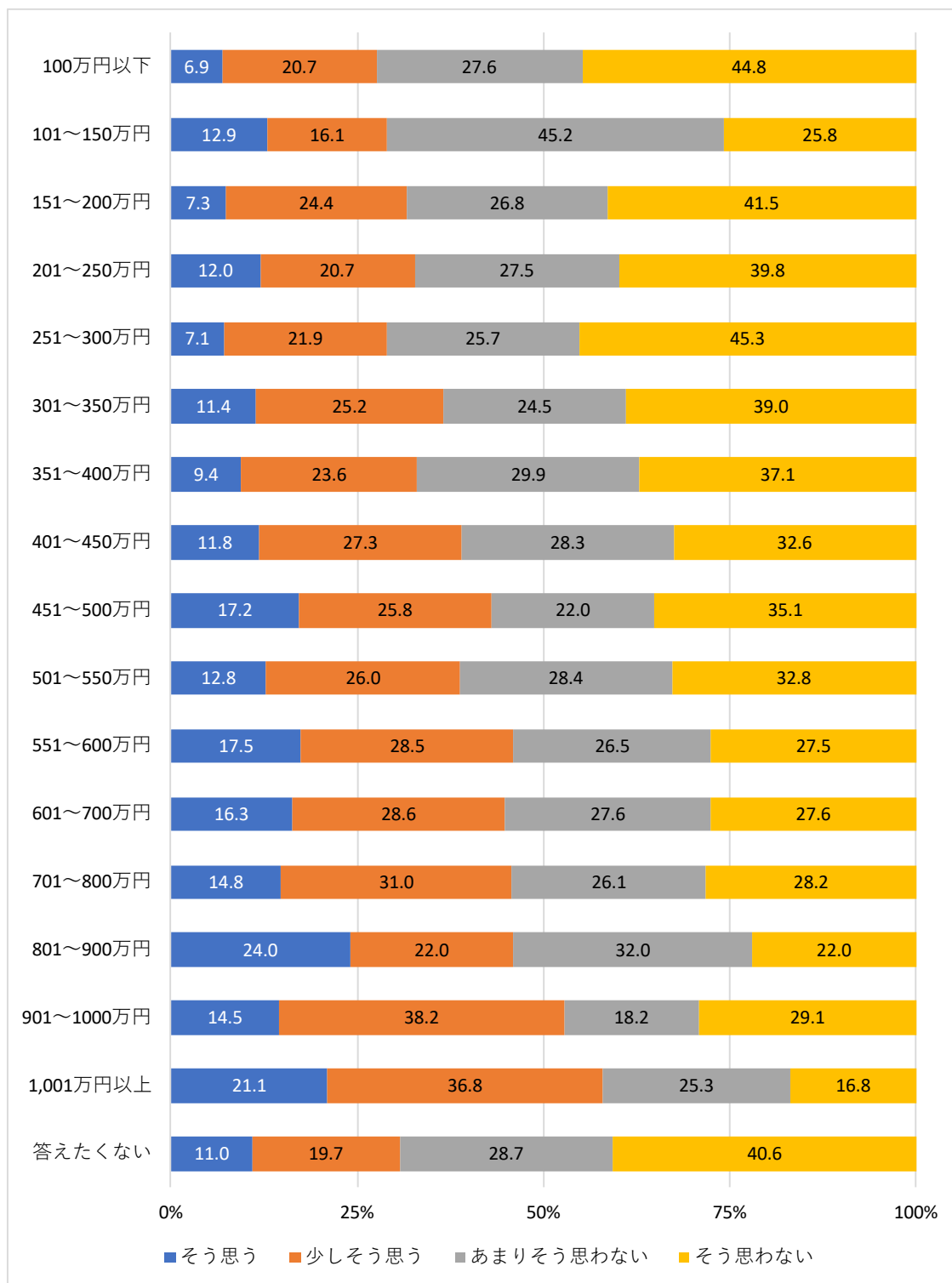
e) 職種

図表 47 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか(職種別)



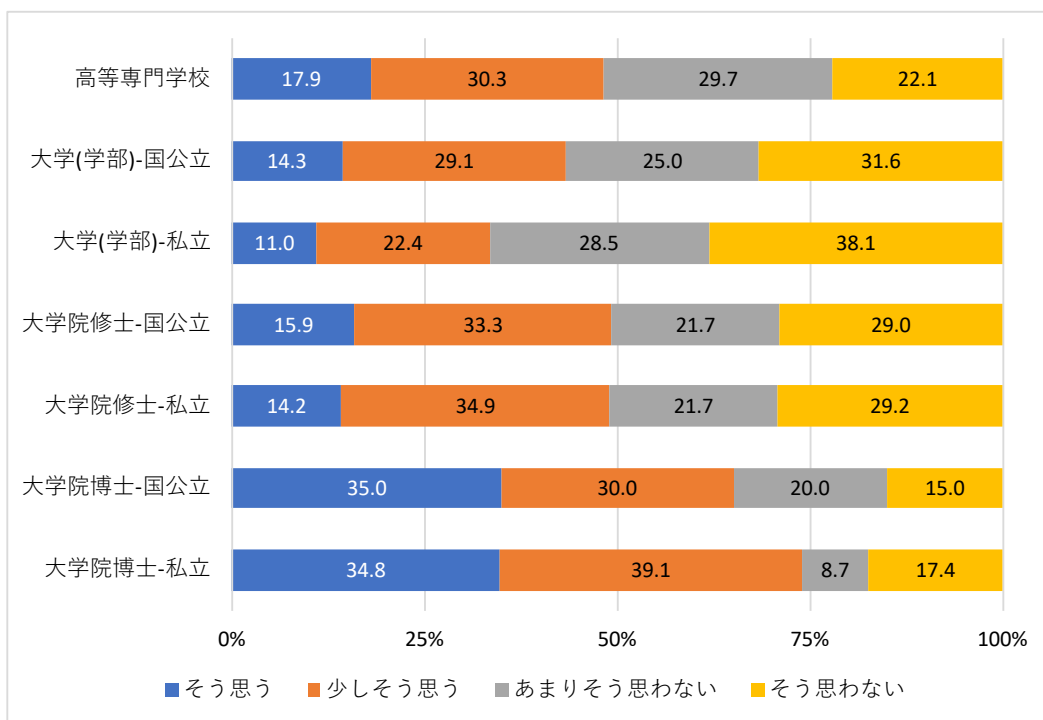
f) 年収

図表 48 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか(年収別)



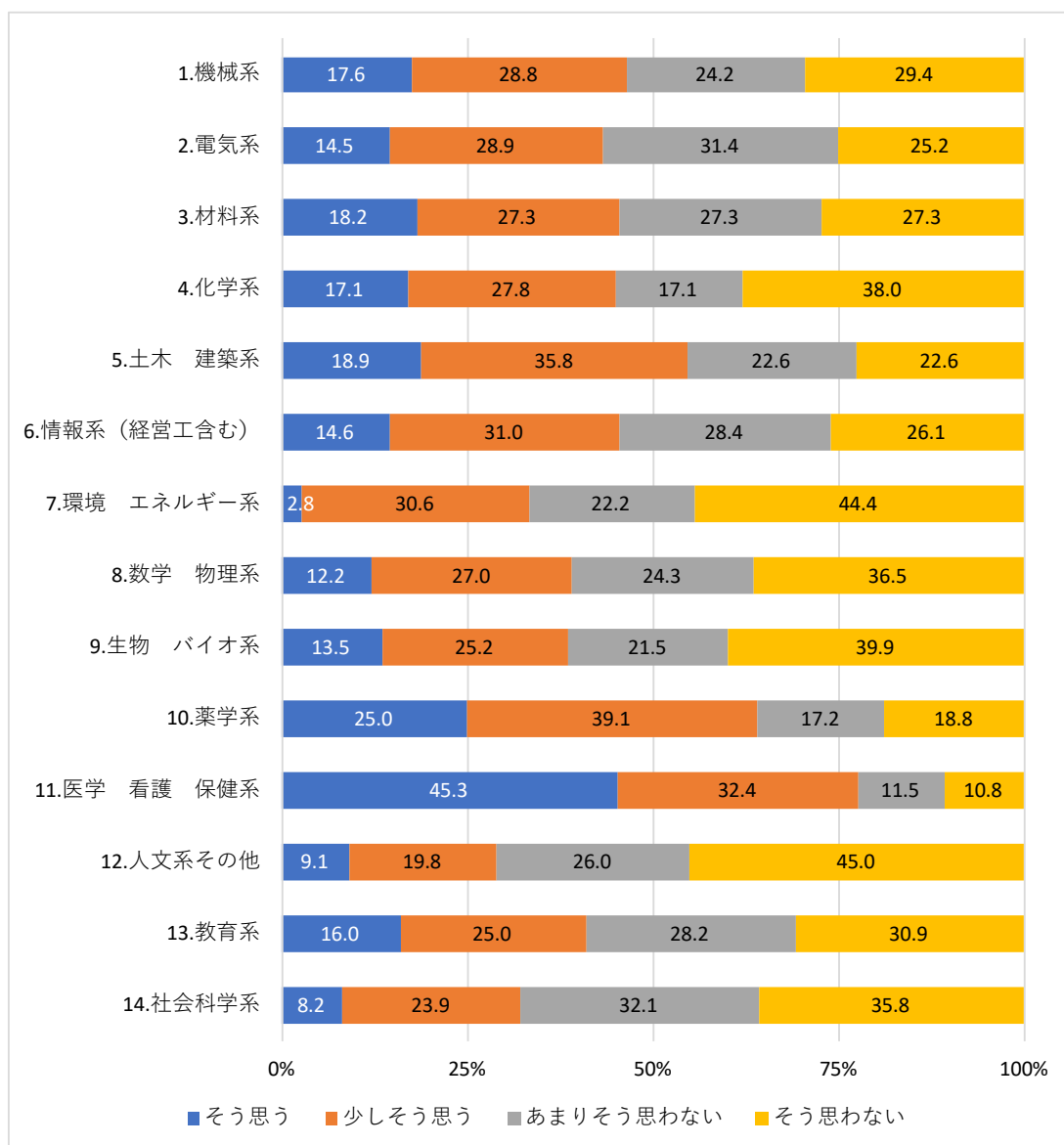
g) 最終学歴

図表 49 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 50 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか(学部・学科別)



問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）

5. その知識やスキルは、就職の際に有利に働いたと思う

【選択肢】

そう思う

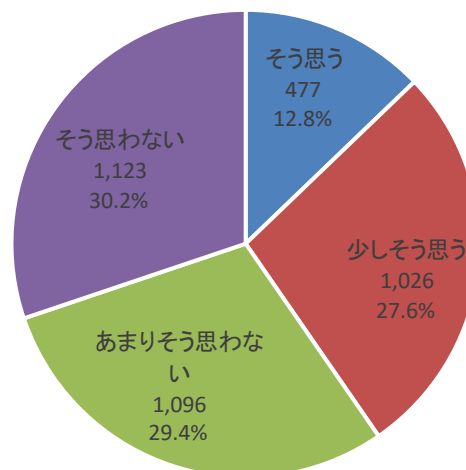
少しそう思う

あまりそう思わない

そう思わない

【単純集計結果】

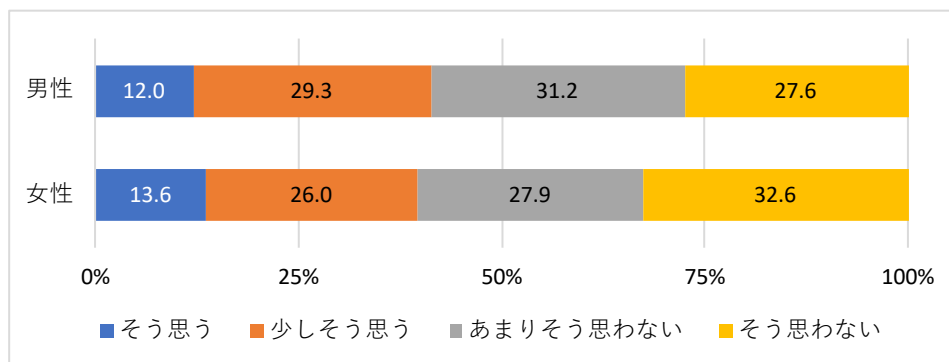
図表 51 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野は、就職の際に有利に働いたと思うか



## 【クロス集計結果】

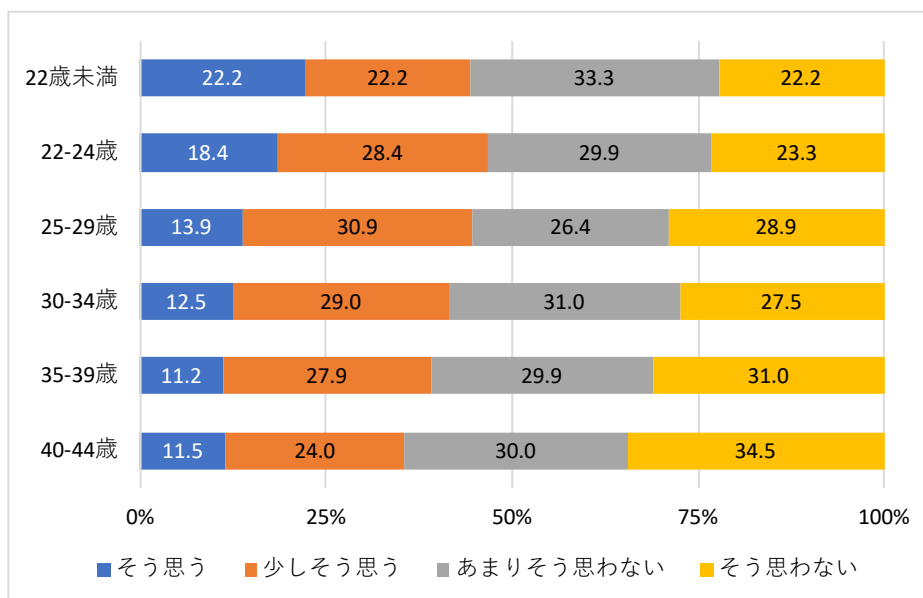
### a) 性別

図表 52 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職の際に有利に働いたと思うか(性別)



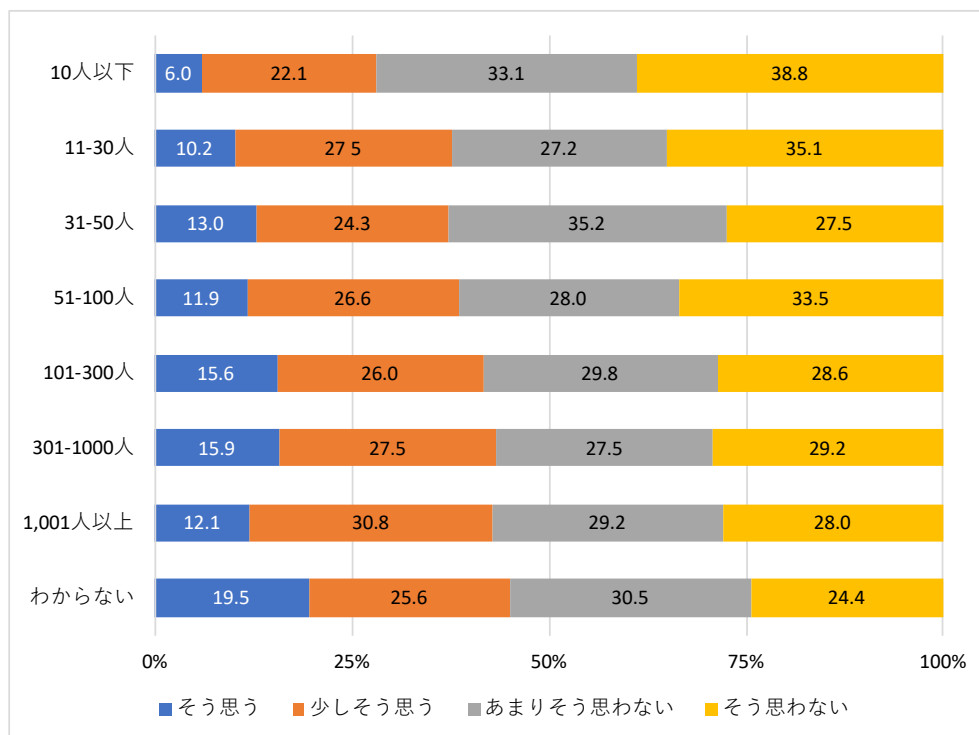
### b) 年齢

図表 53 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職の際に有利に働いたと思うか(年齢別)



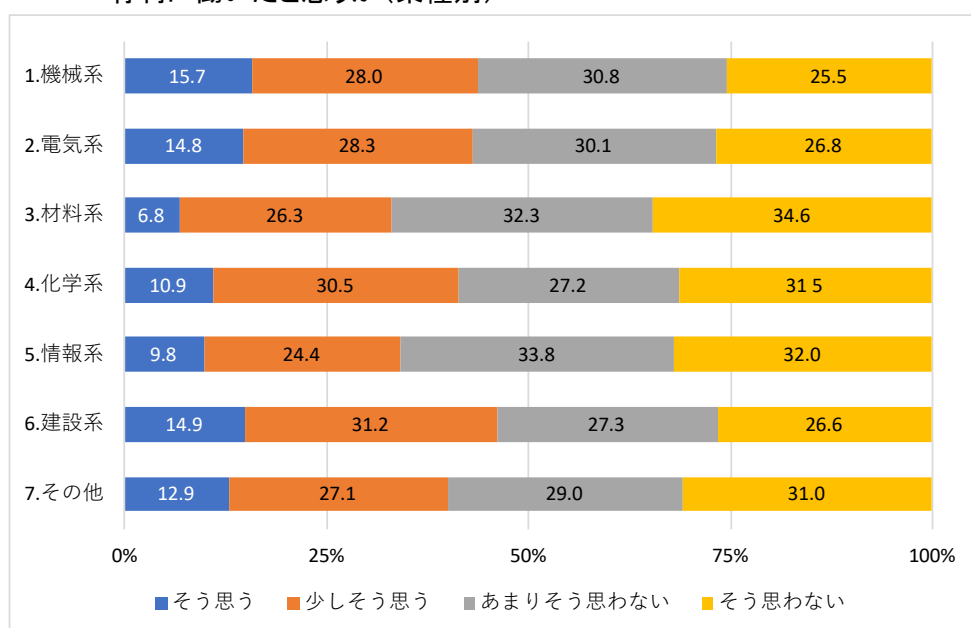
c) 従業員数

図表 54 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職の際に有利に働いたと思うか(従業員数別)



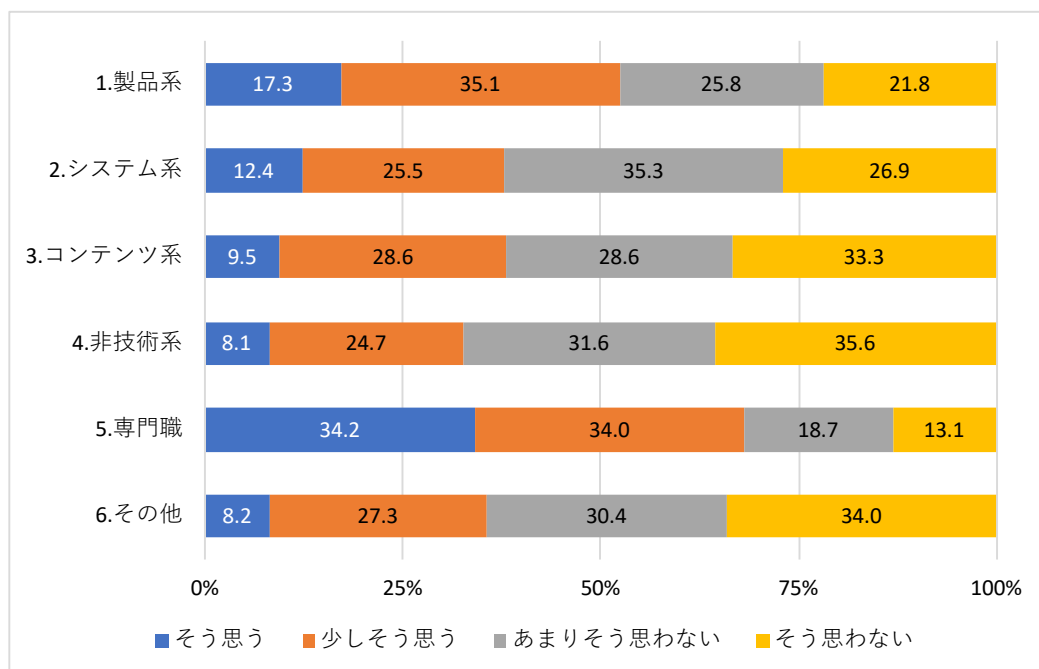
d) 業種

図表 55 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職の際に有利に働いたと思うか(業種別)



e) 職種

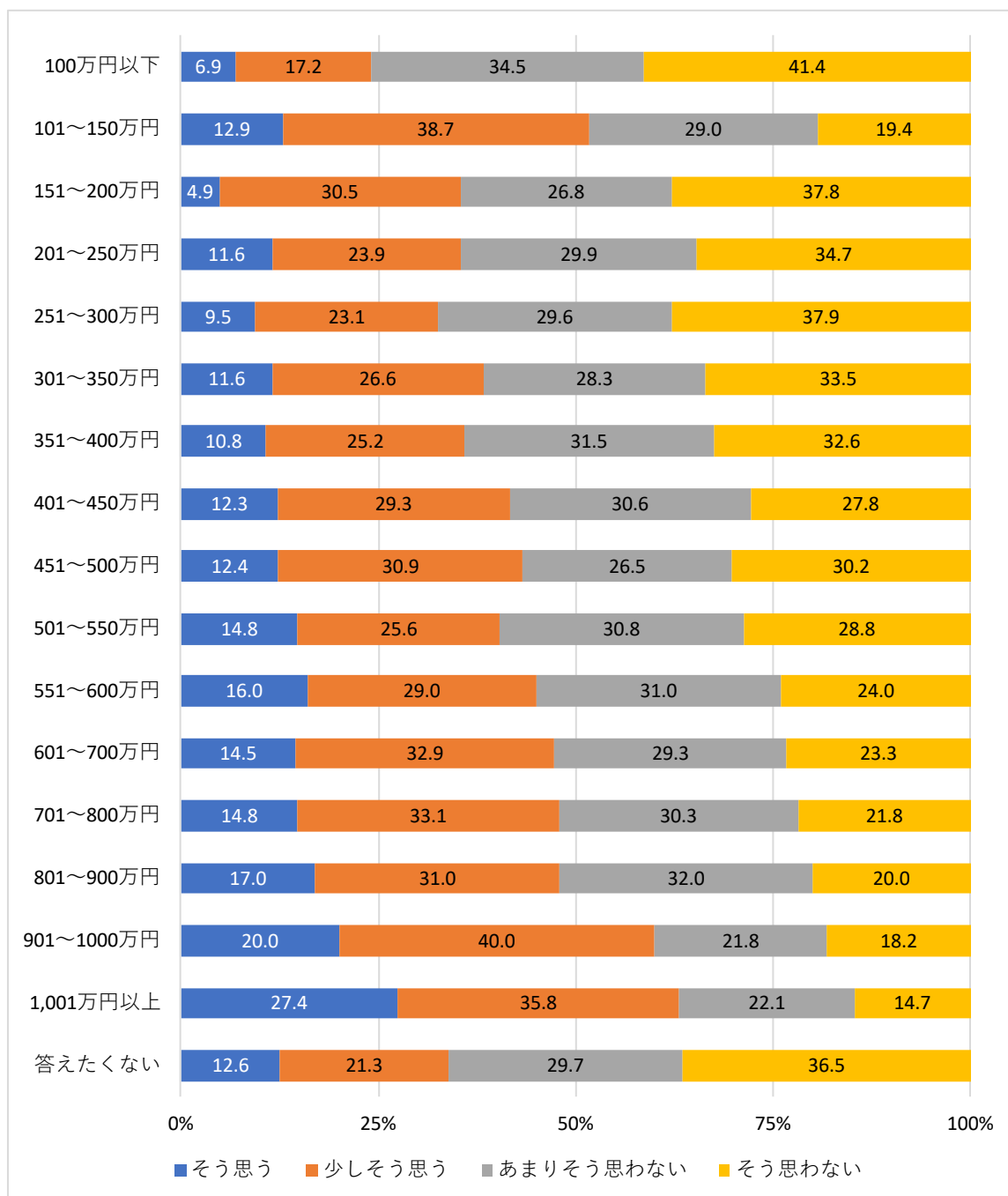
図表 56 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職の際に有利に働いたと思うか(職種別)





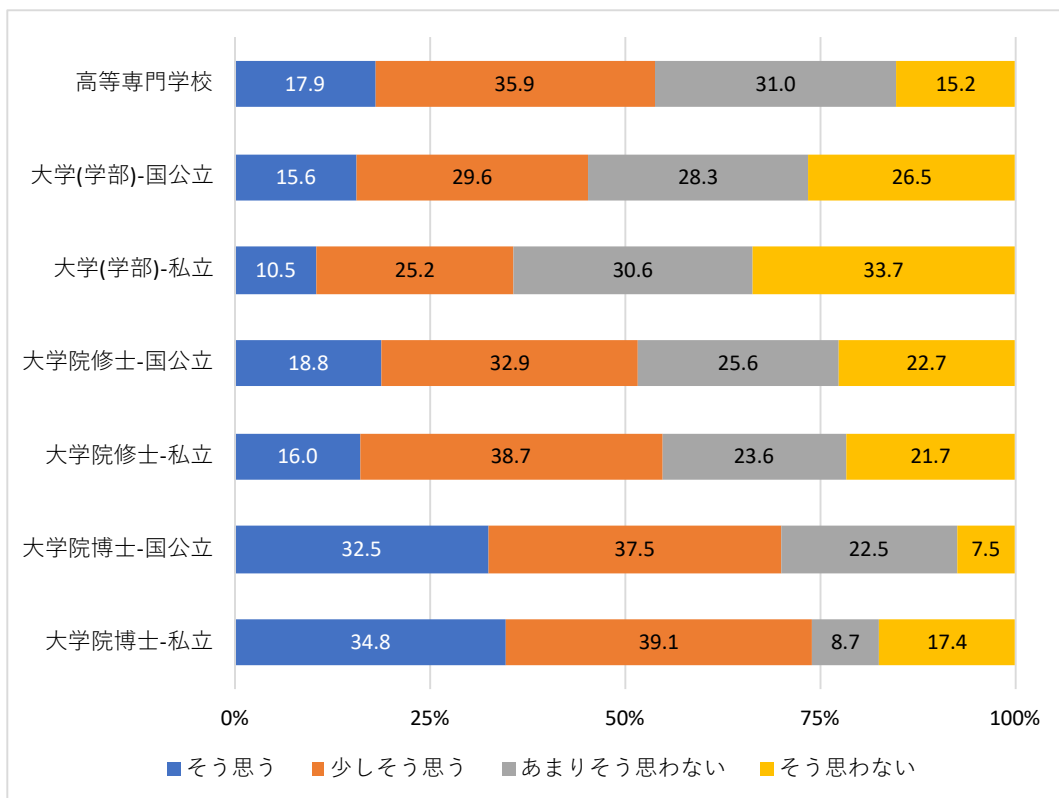
f) 年収

図表 57 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職の際に有利に働いたと思うか(年収別)



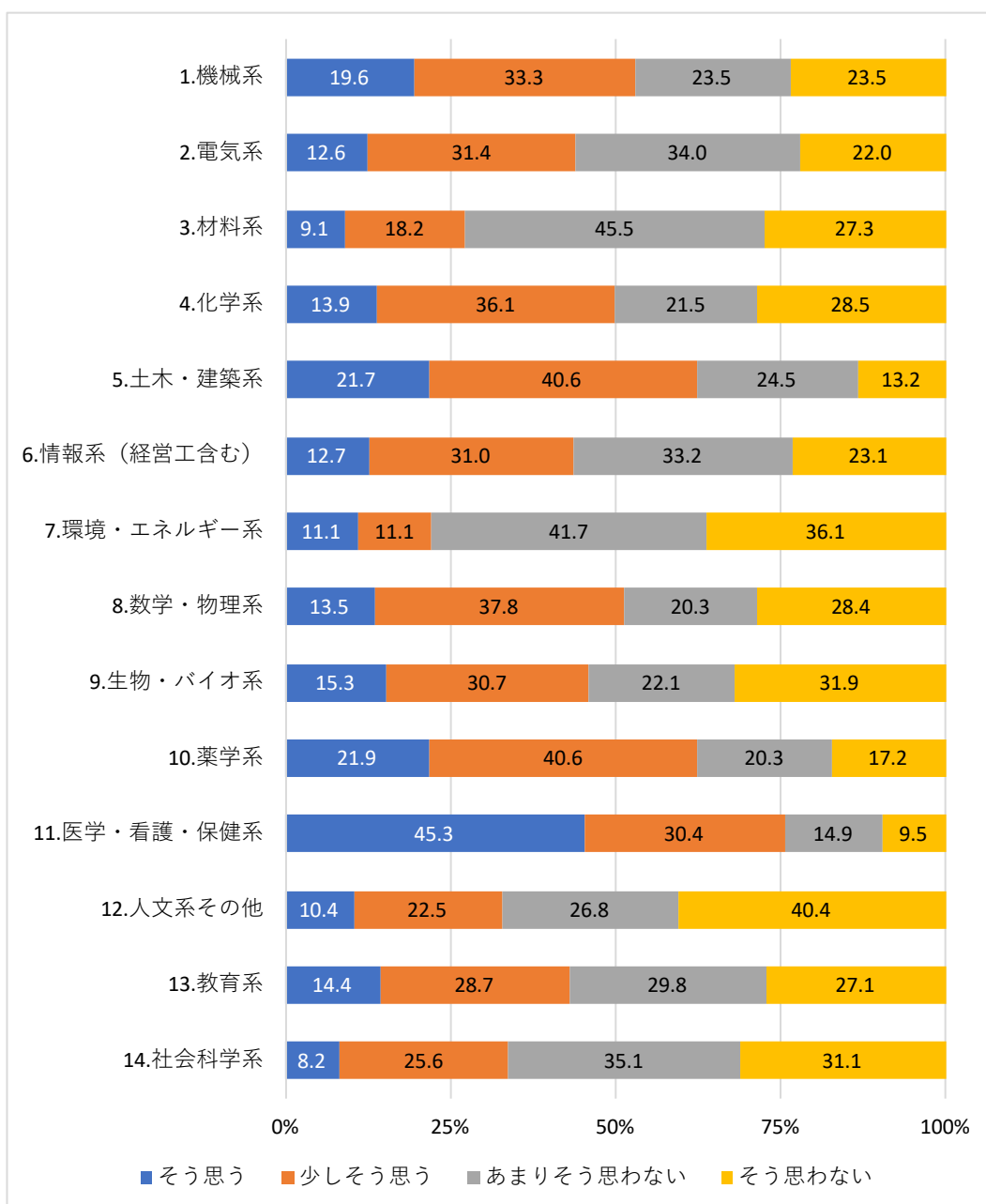
g) 最終学歴

図表 58 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職の際に有利に働いたと思うか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 59 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野は、就職の際に有利に働いたと思うか(学部・学科別)



問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）

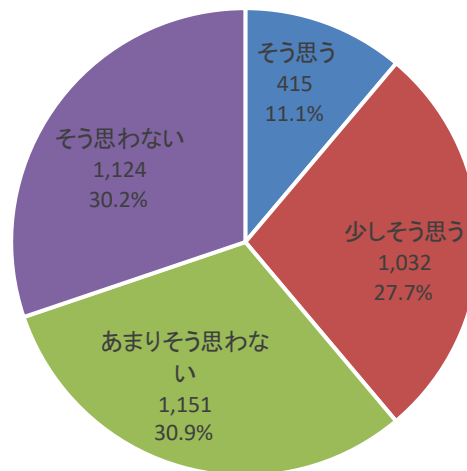
6. その分野と実社会や産業界との関連性について、研究室やゼミで学んだ

【選択肢】

- そう思う
- 少しそう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない

【単純集計結果】

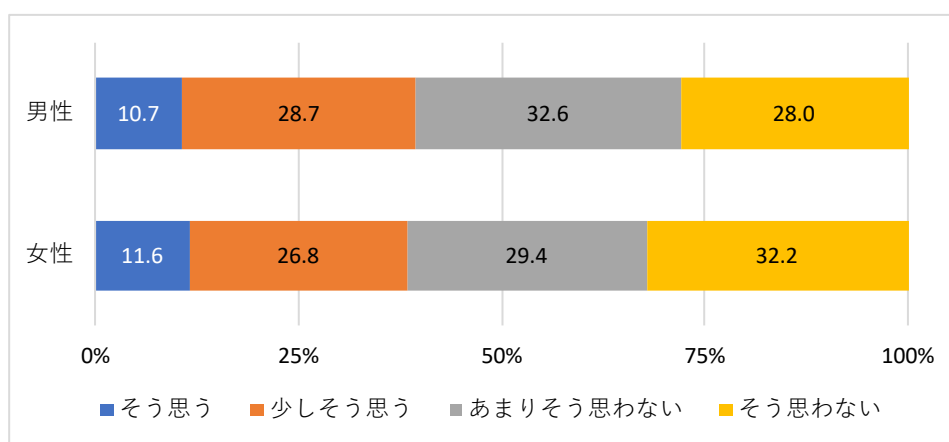
図表 60 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか



## 【クロス集計結果】

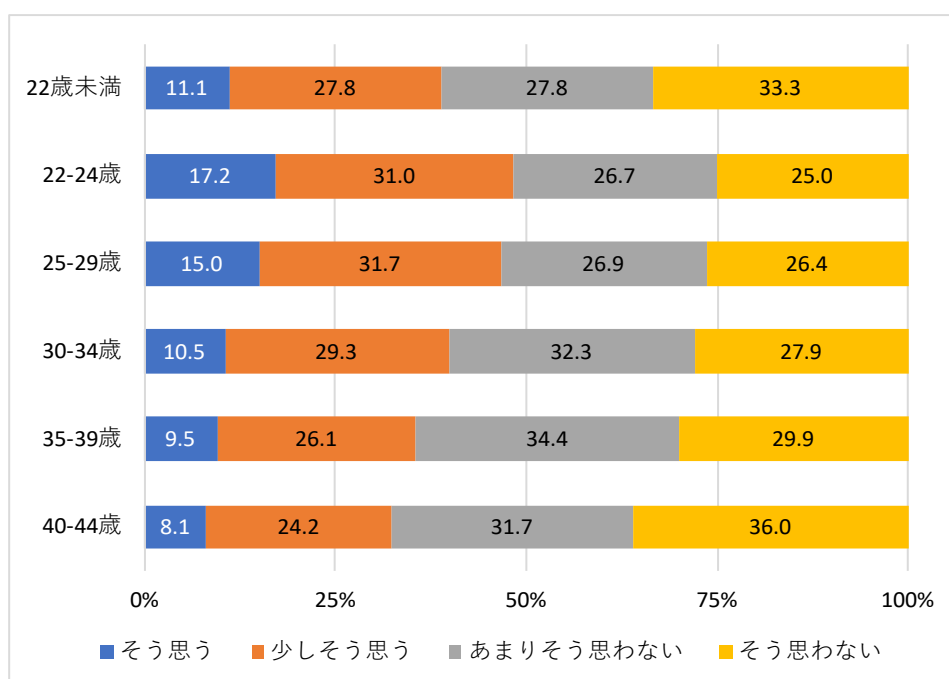
### a) 性別

図表 61 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか(性別)



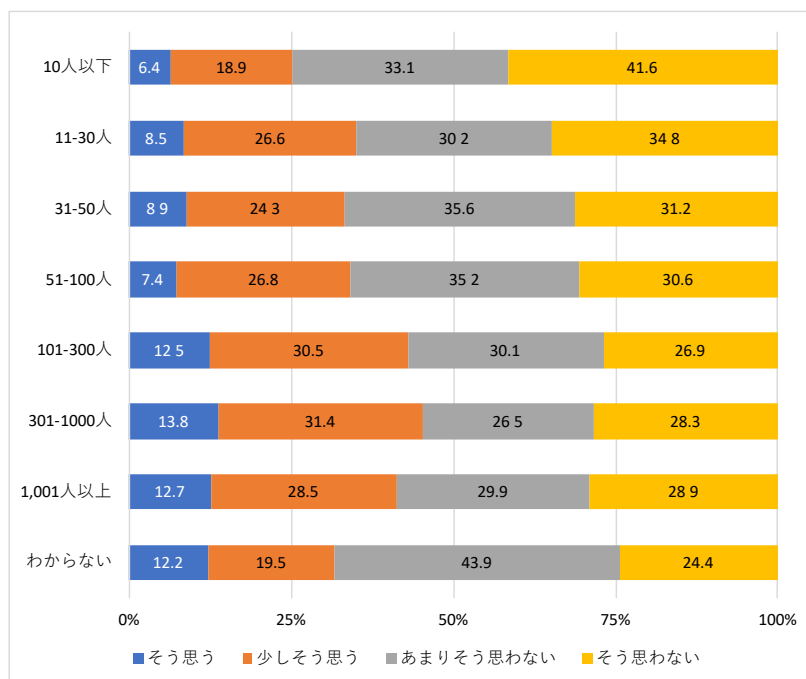
### b) 年齢

図表 62 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか(年齢別)



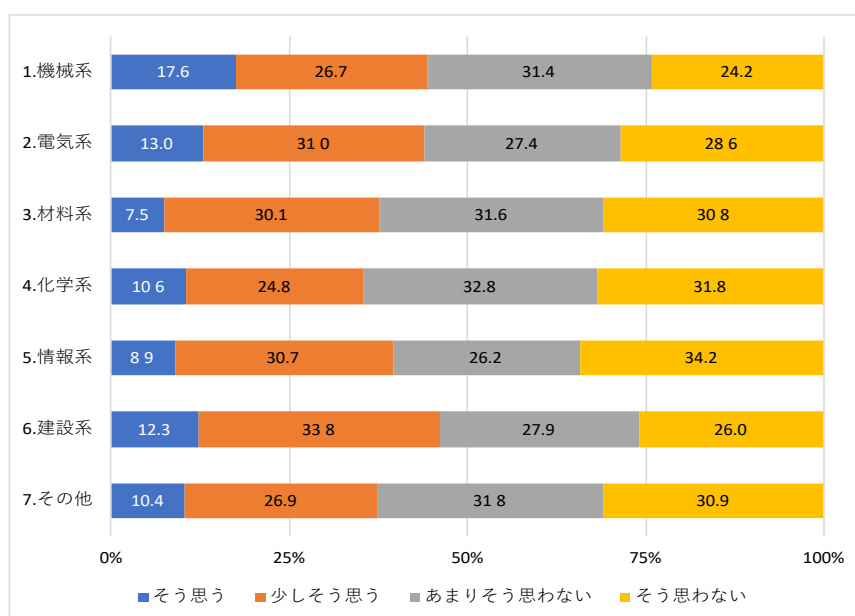
c) 従業員数

図表 63 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか(従業員数別)



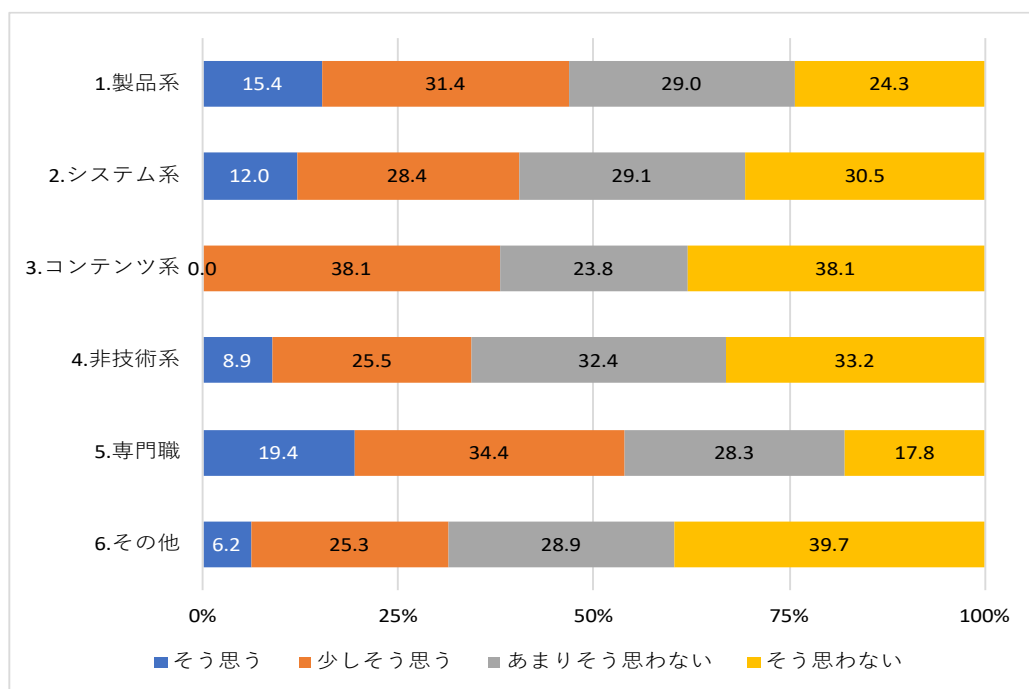
d) 業種

図表 64 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか(業種別)



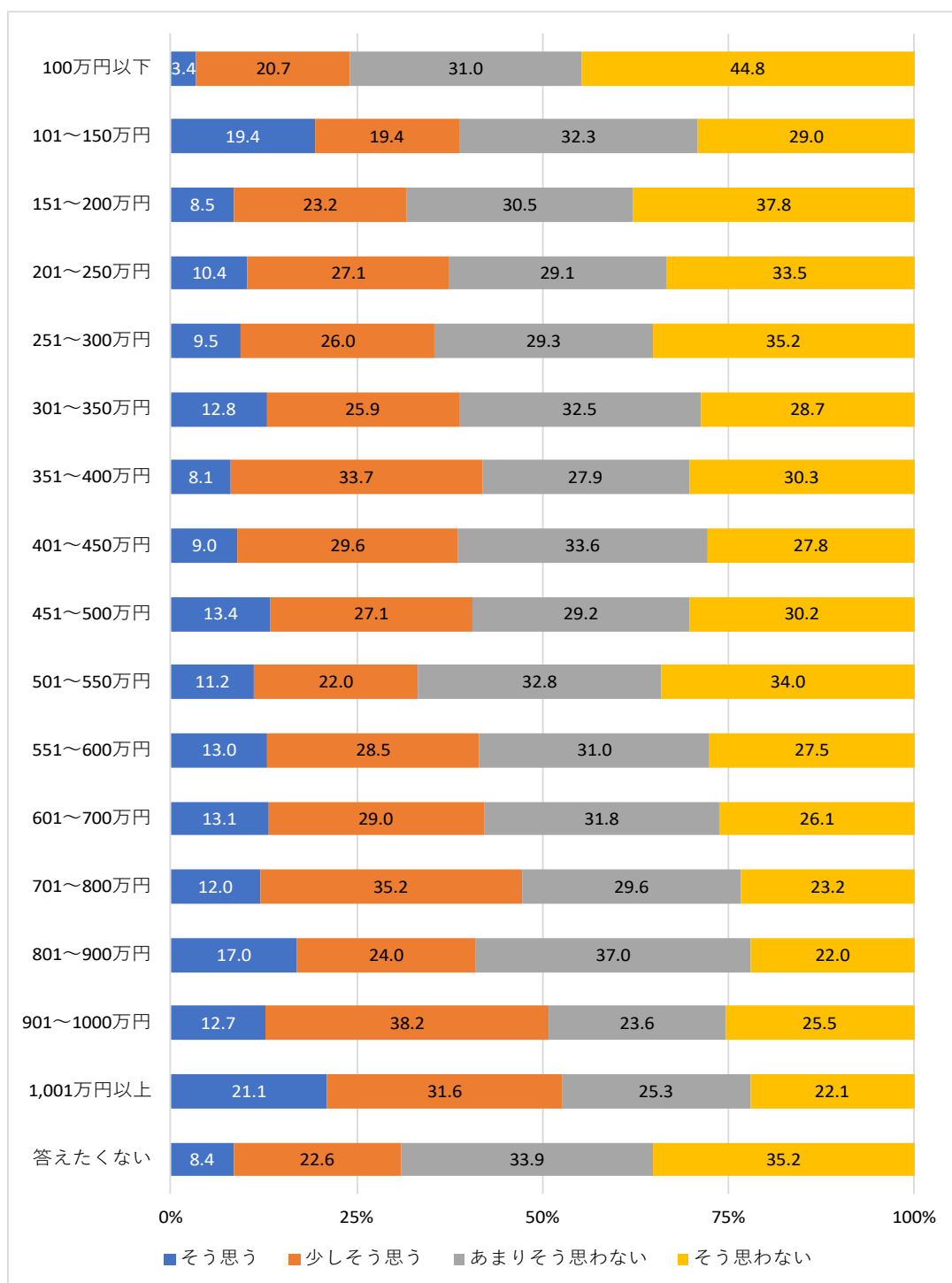
e) 職種

図表 65 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか(職種別)



f) 年収

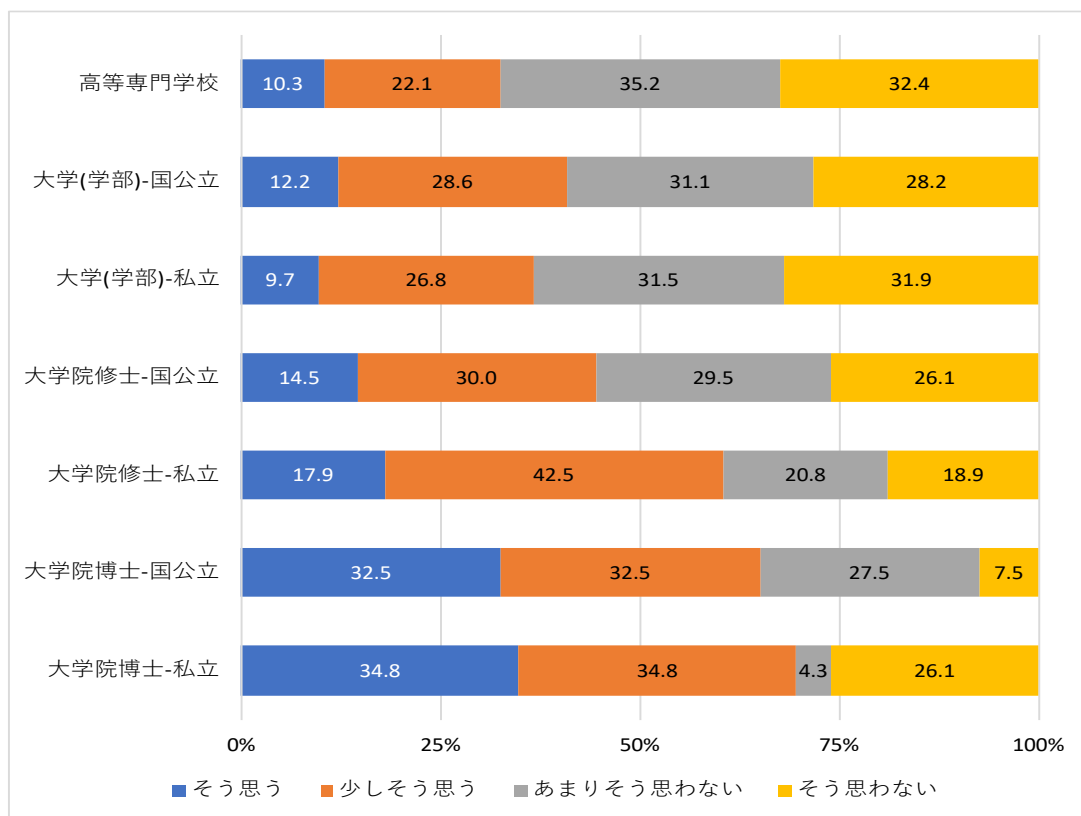
図表 66 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか(年収別)





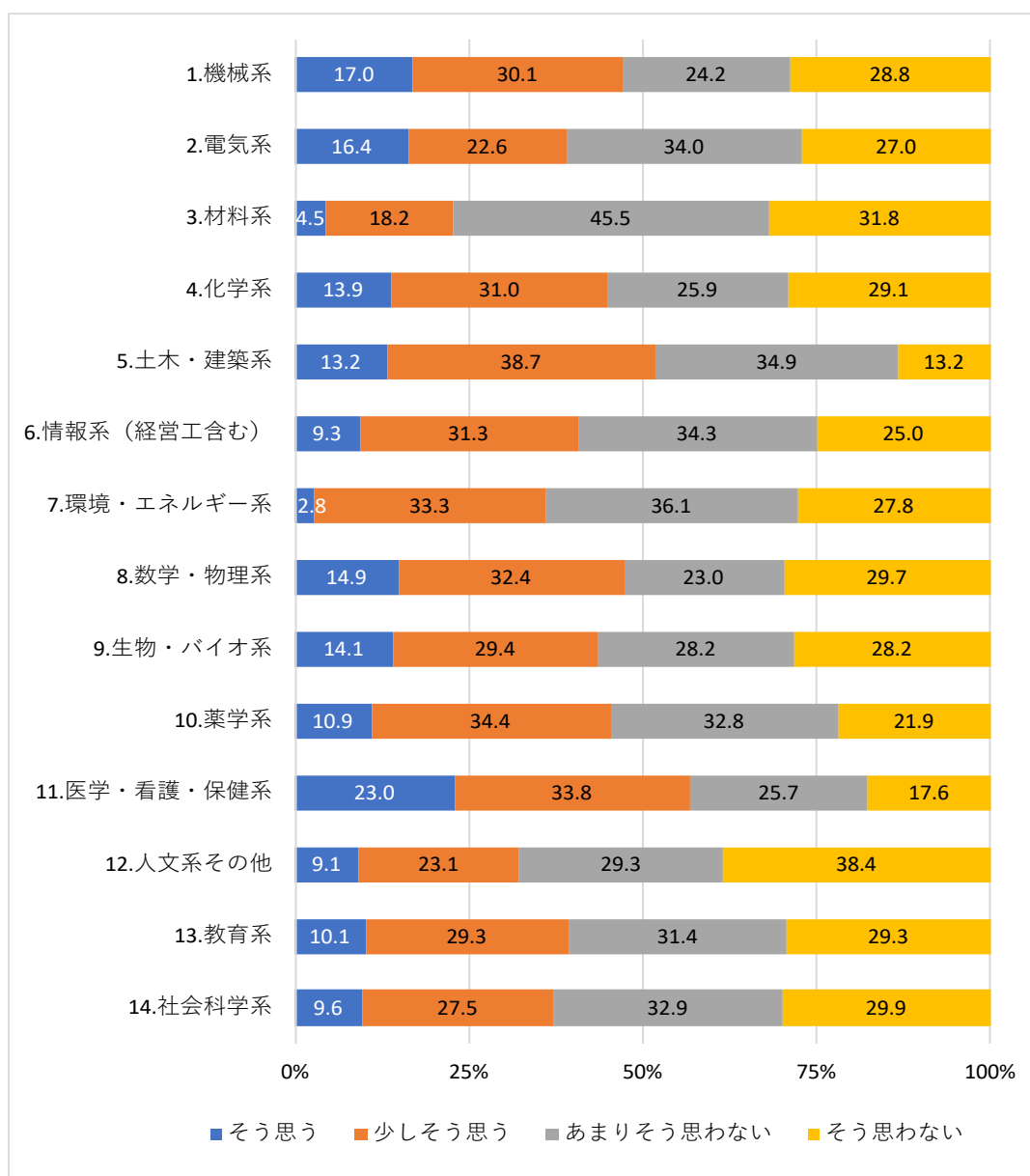
g) 最終学歴

図表 67 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 68 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、実社会や産業界との関連性を研究室やゼミで学んだか(学部・学科別)



問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）

7. 高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだ

【選択肢】

そう思う

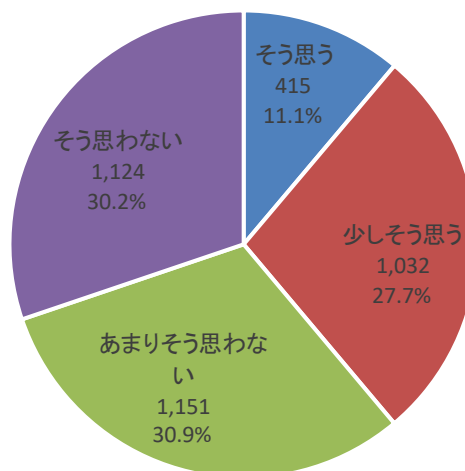
少しそう思う

あまりそう思わない

そう思わない

【単純集計結果】

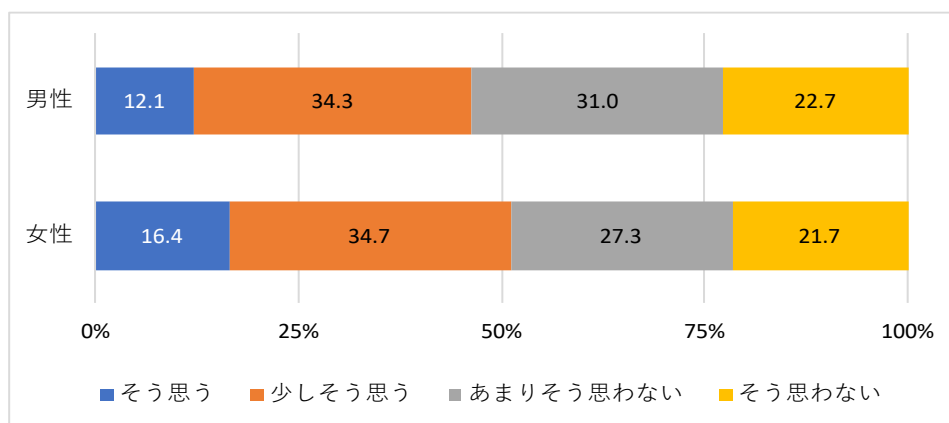
図表 69 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか



【クロス集計結果】

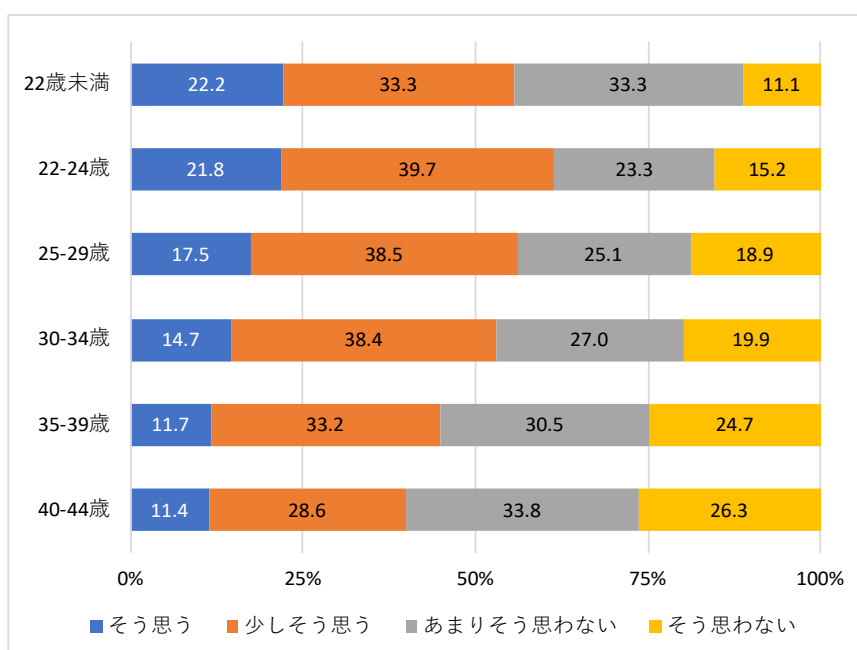
a) 性別

図表 70 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか(性別)



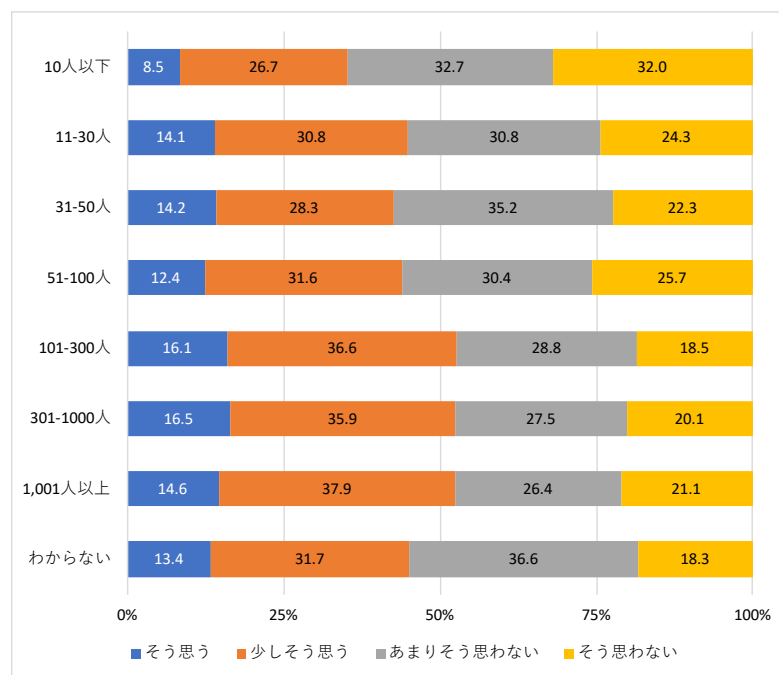
b) 年齢

図表 71 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか(年齢別)



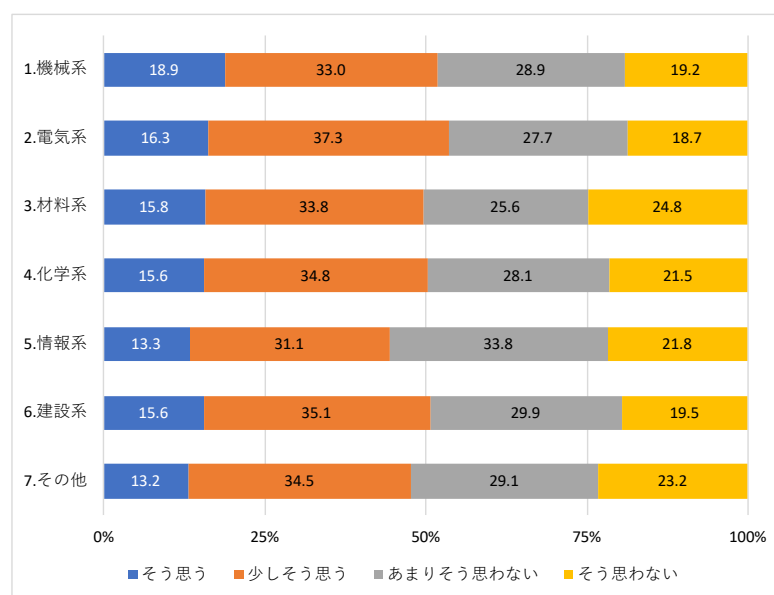
c) 従業員数

図表 72 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか(従業員数別)



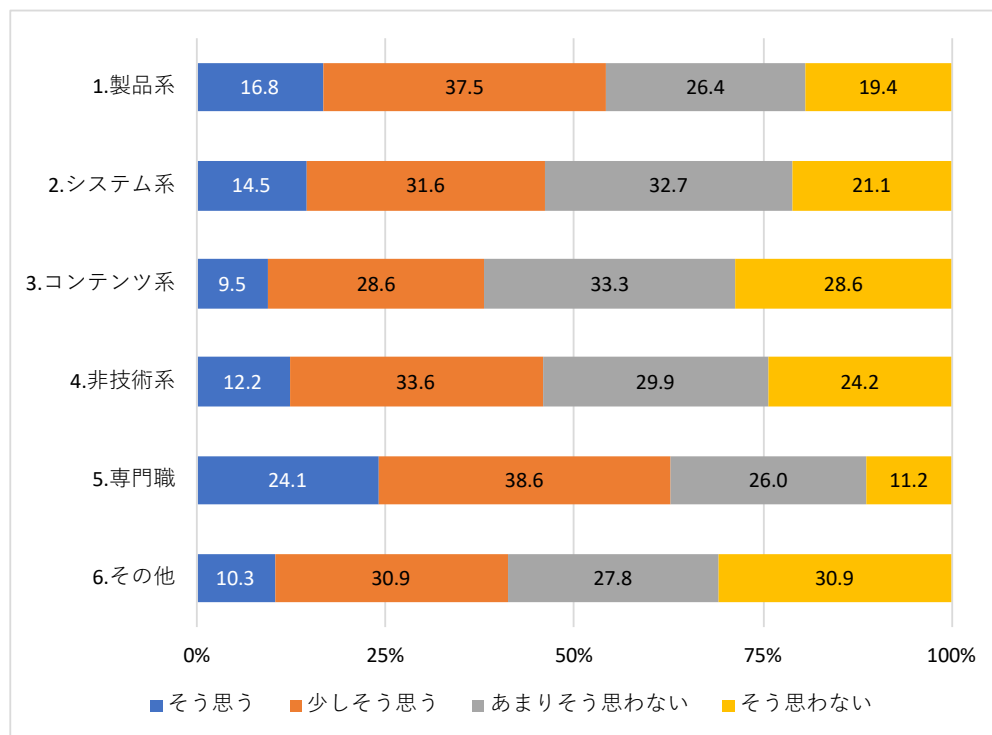
d) 業種

図表 73 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか(業種別)



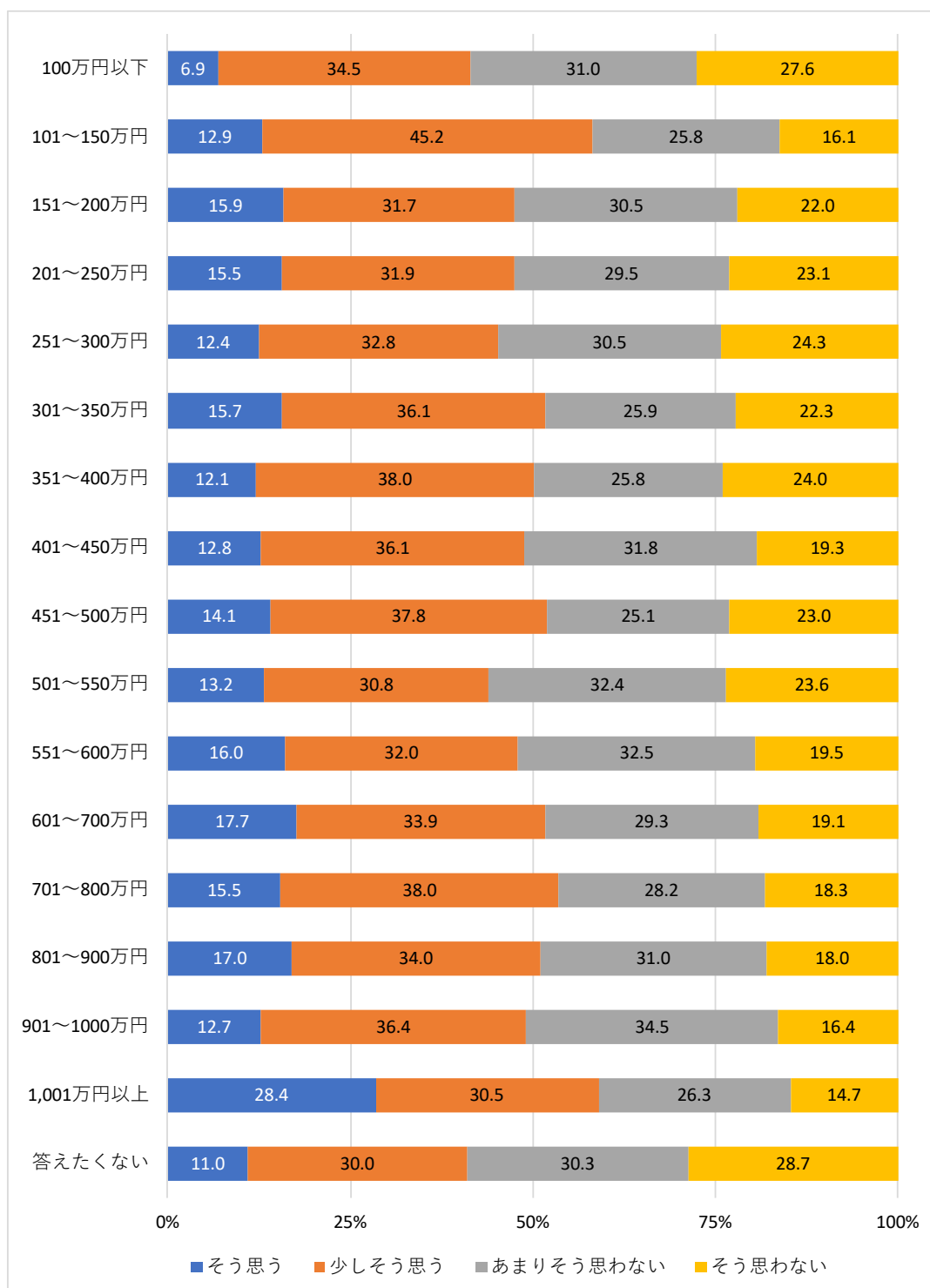
e) 職種

図表 74 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか(職種別)



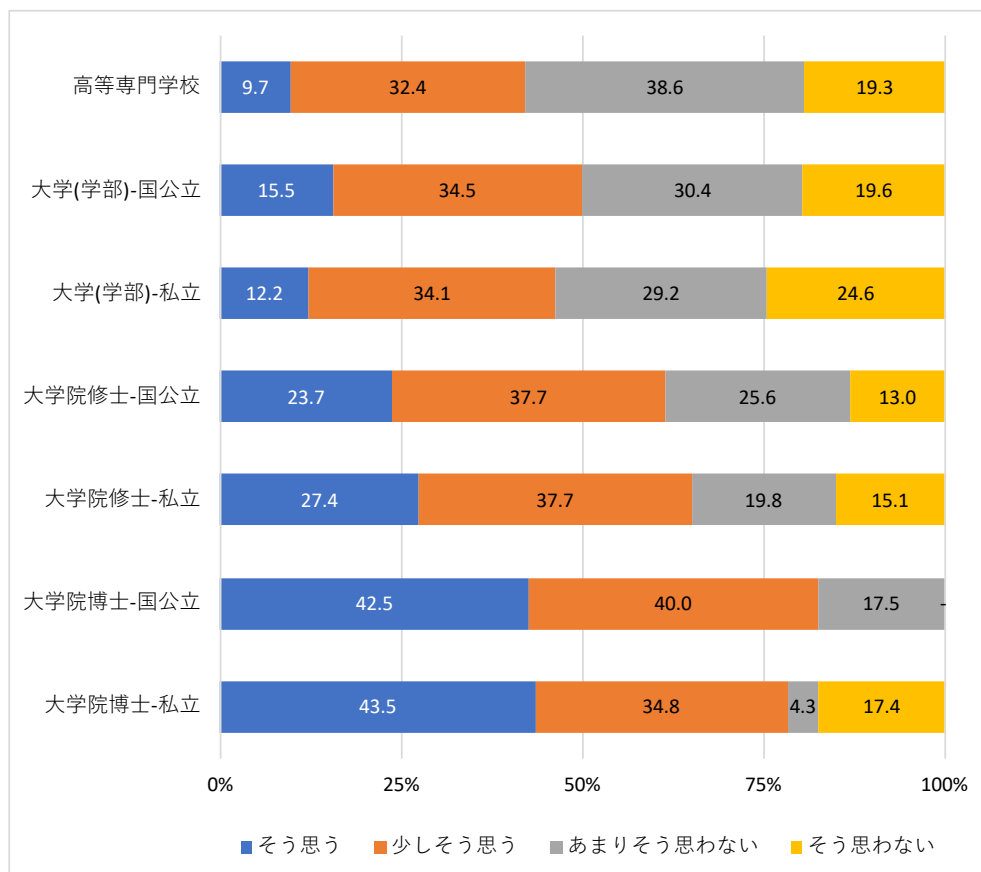
f) 年収

図表 75 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか  
(年収別)



g) 最終学歴

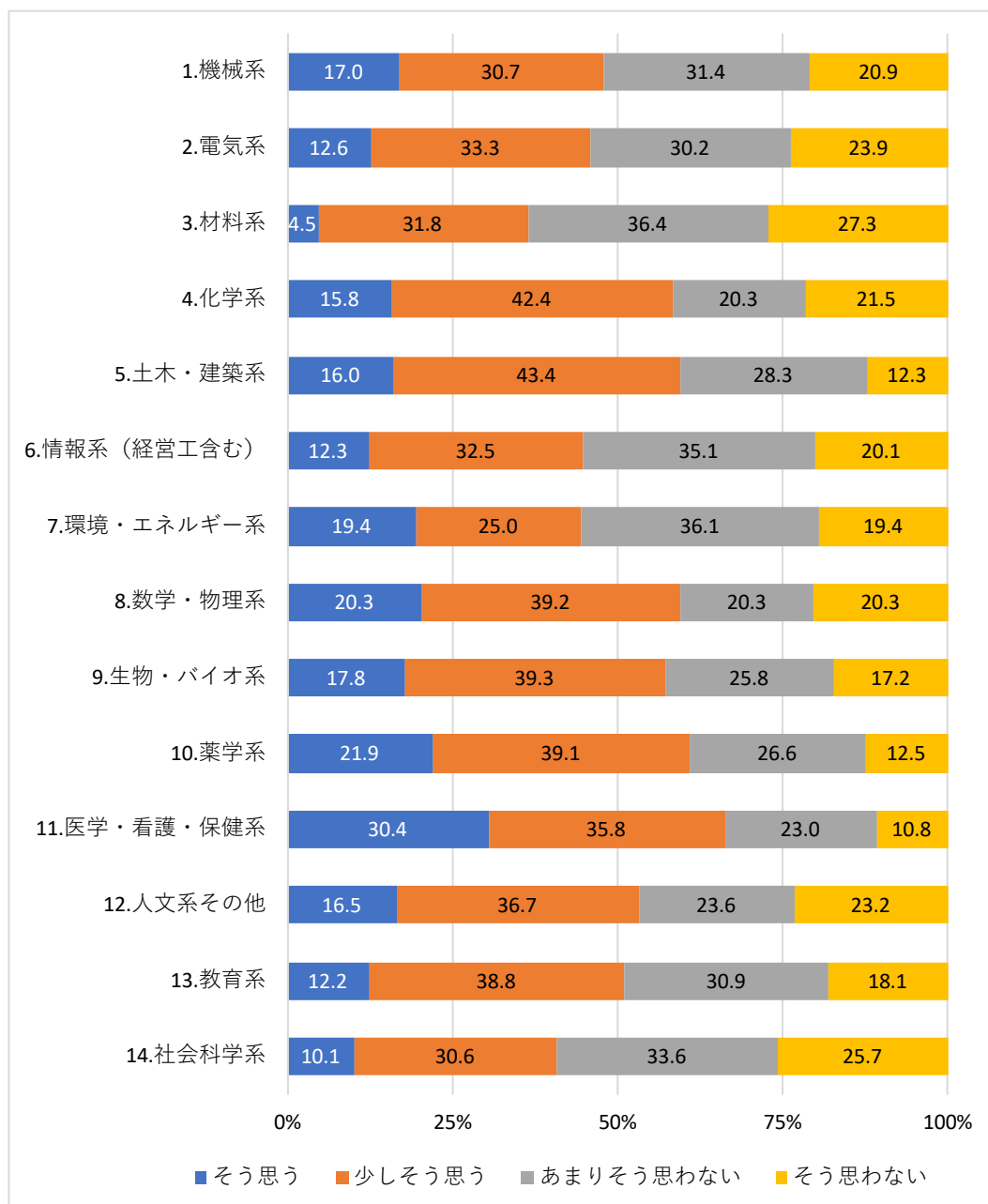
図表 76 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか (最終学歴別)





h) 学部・学科

図表 77 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野を、高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだか(学部・学科別)



問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）

8. 大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあった

【選択肢】

そう思う

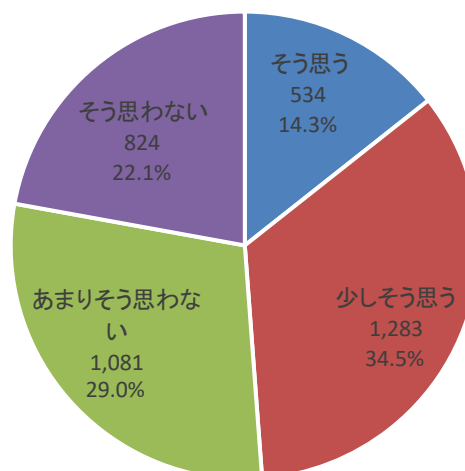
少しそう思う

あまりそう思わない

そう思わない

【単純集計結果】

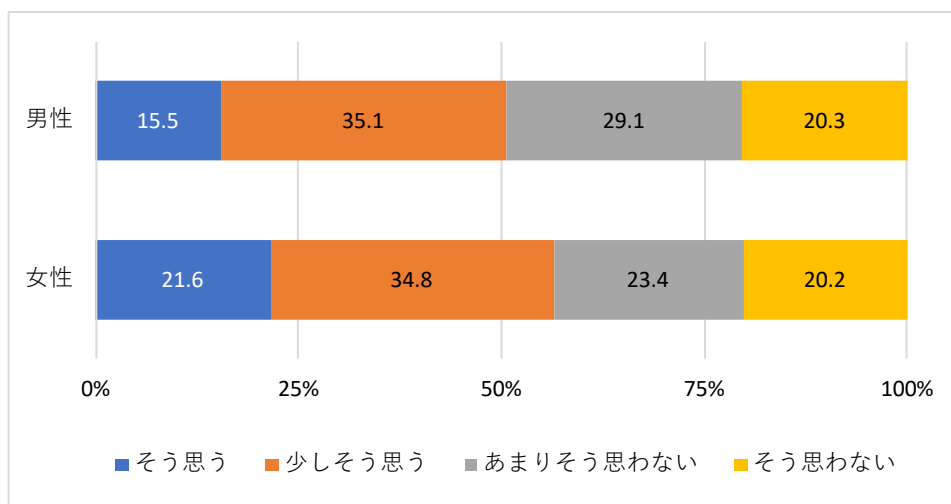
図表 78 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか



【クロス集計結果】

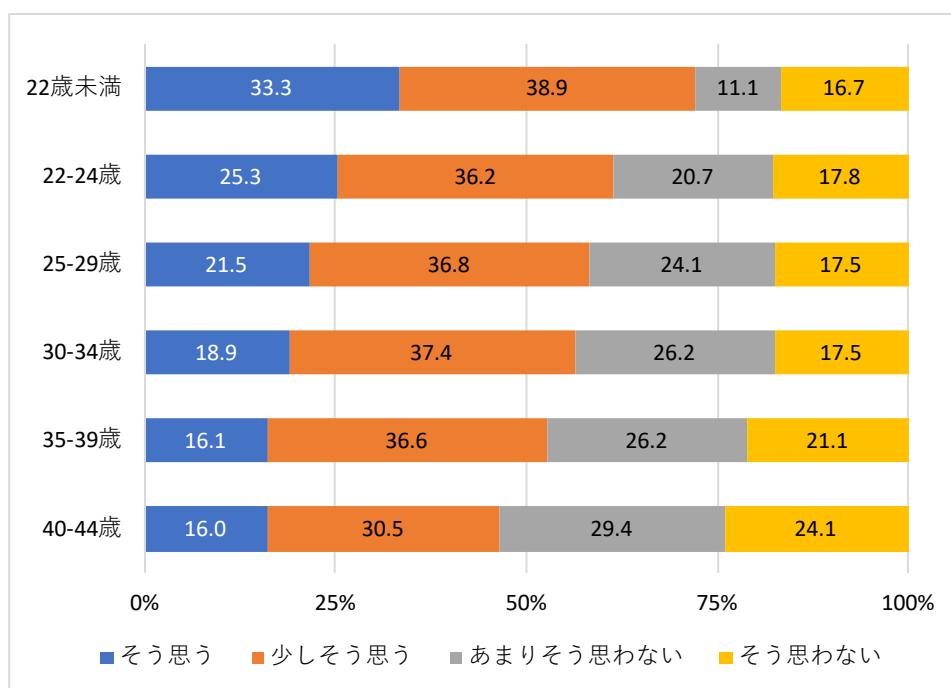
a) 性別

図表 79 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか(性別)



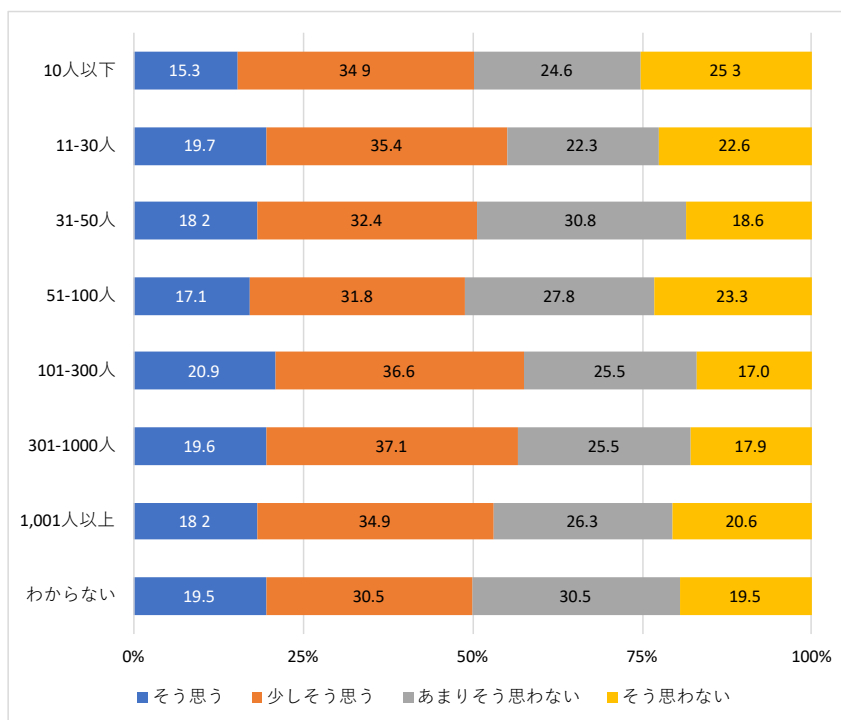
b) 年齢

図表 80 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか(年齢別)



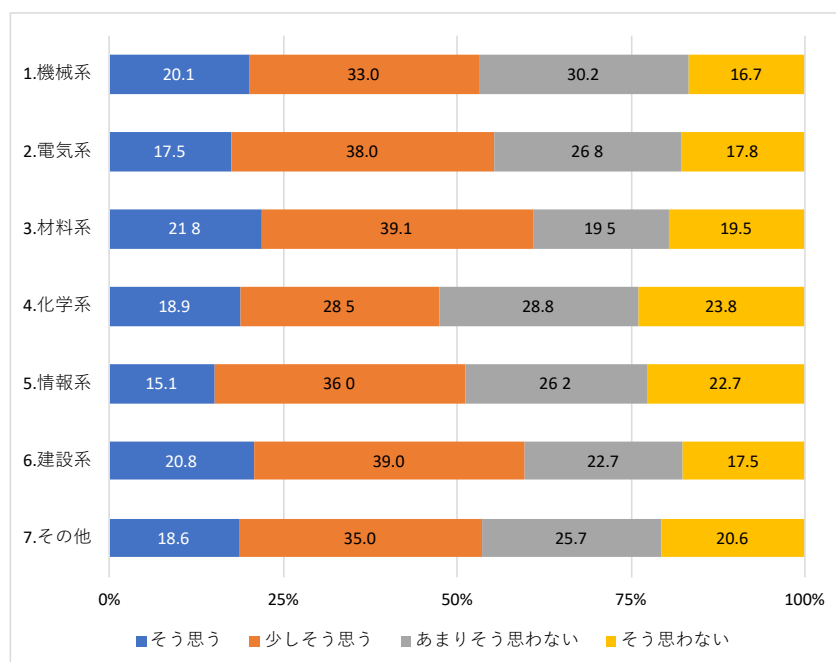
c) 従業員数

図表 81 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか(従業員数別)



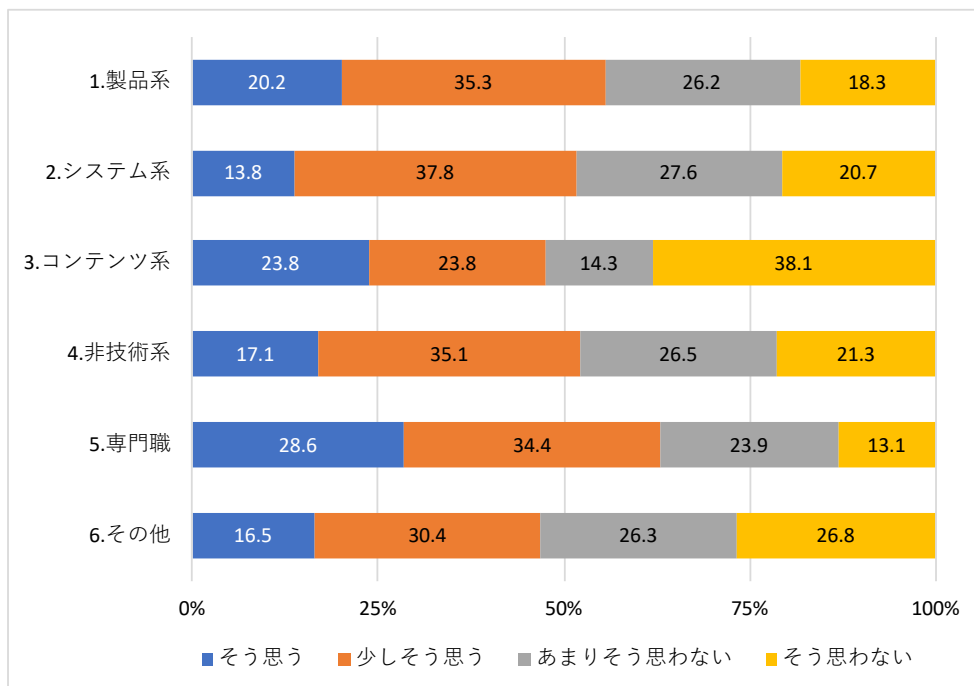
d) 業種

図表 82 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか(業種別)



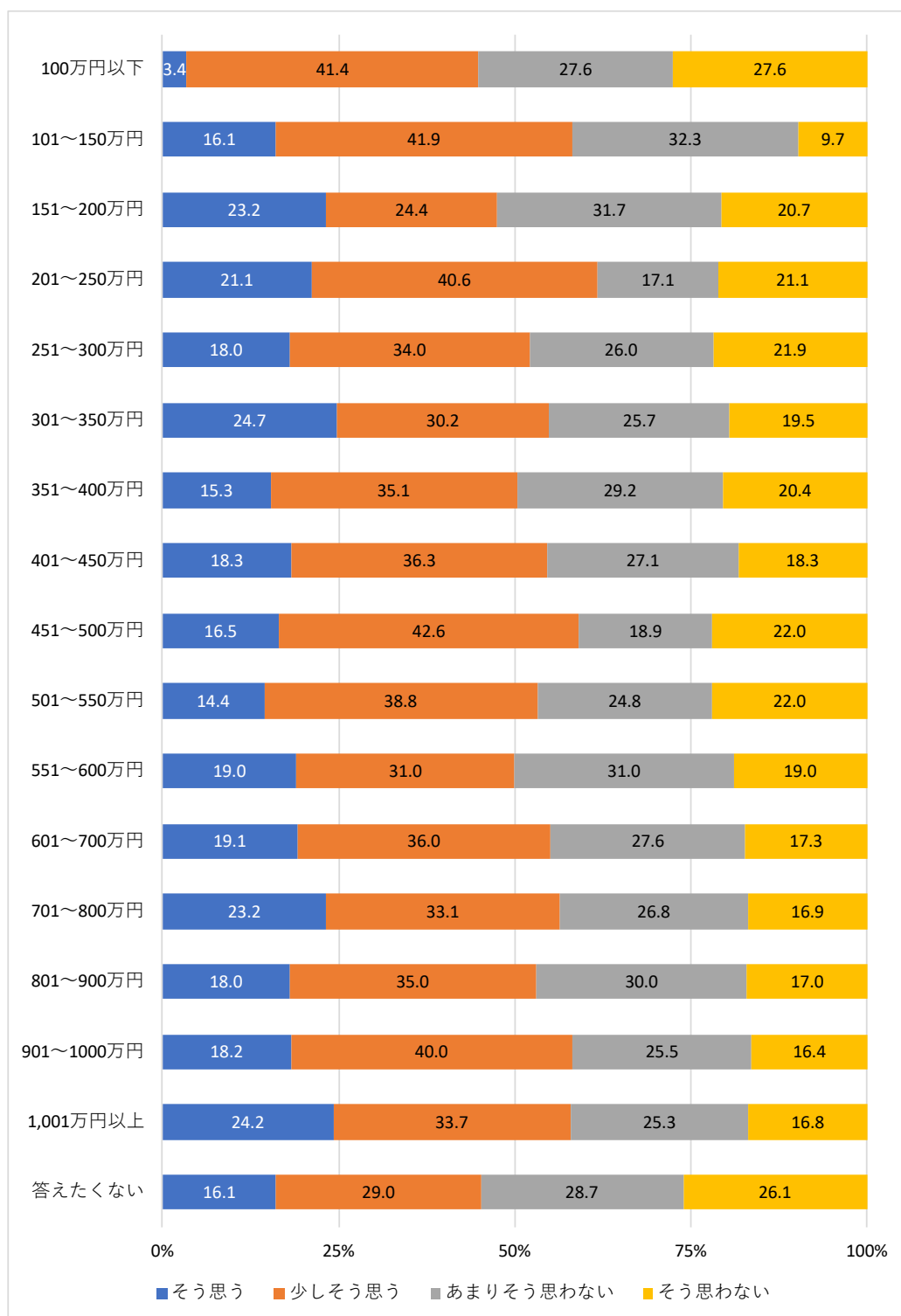
e) 職種

図表 83 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか(職種別)



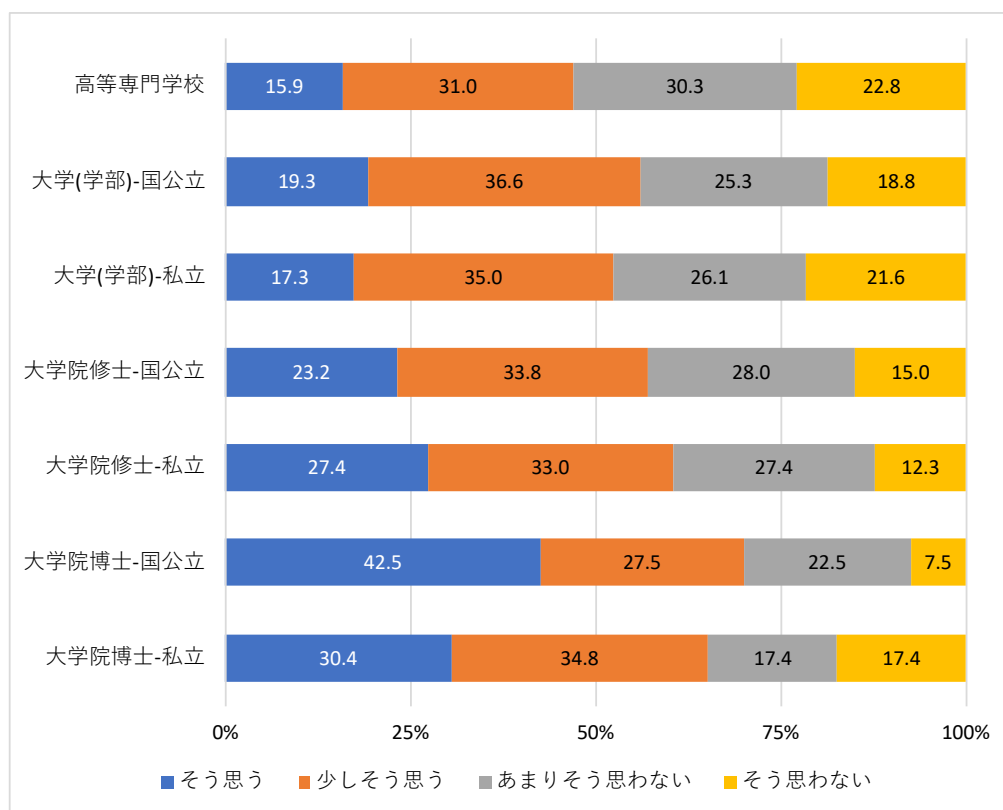
f) 年収

図表 84 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか(年収別)



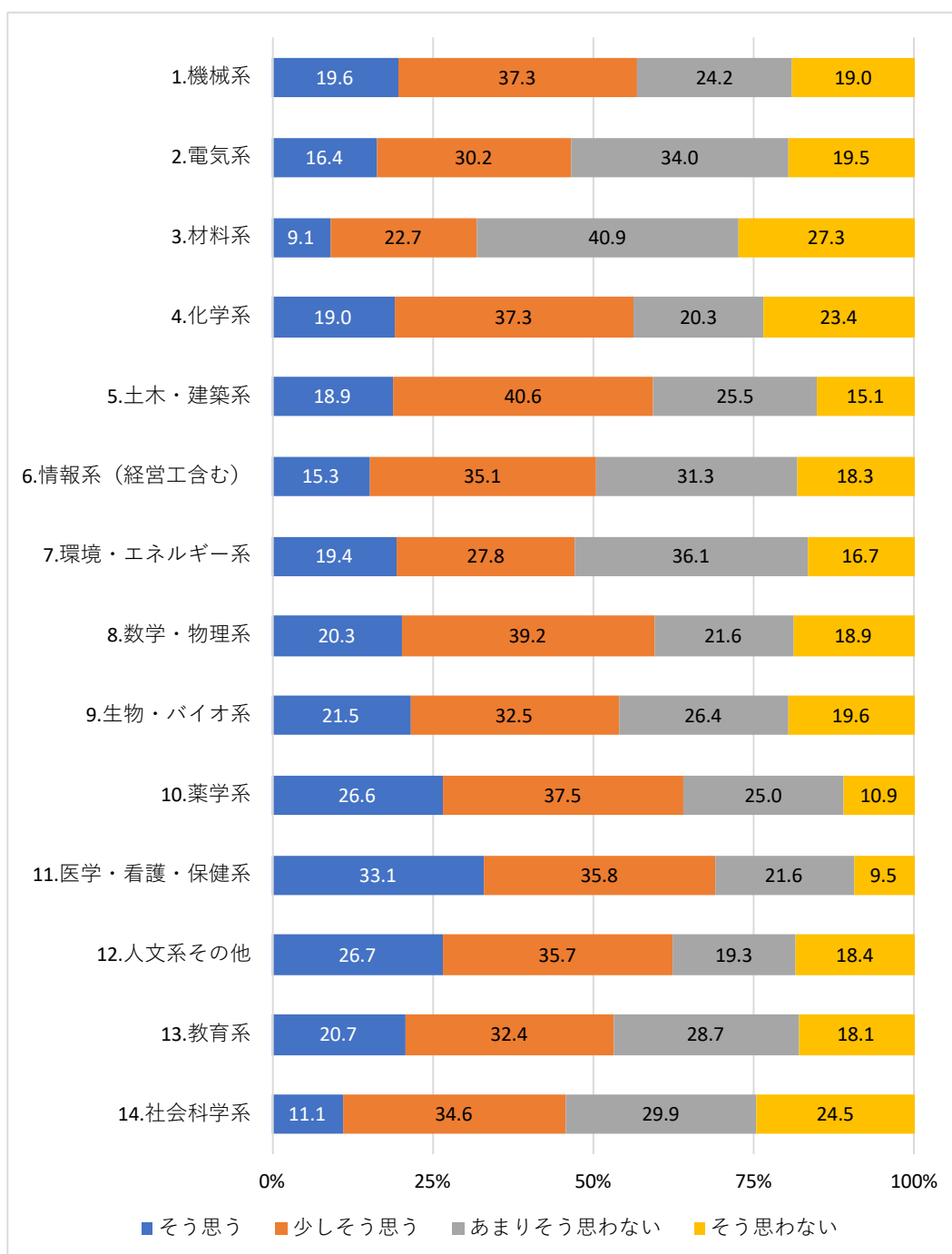
g) 最終学歴

図表 85 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 86 在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識(スキル)分野について、大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあったか(学部・学科別)





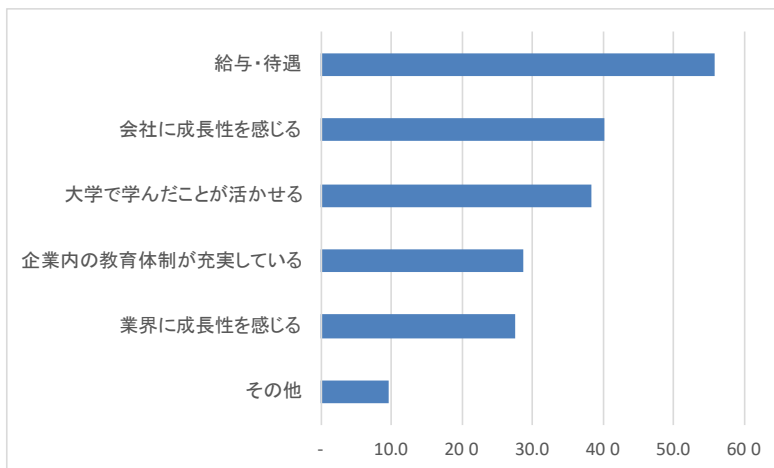
**問16 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたって優先した項目をお選びください。(3つ選択)**

**【選択肢】**

1. 大学で学んだことが活かせる
2. 企業内の教育体制が充実している
3. 会社に成長性を感じる
4. 業界に成長性を感じる
5. 給与・待遇
6. その他

**【単純集計結果】**

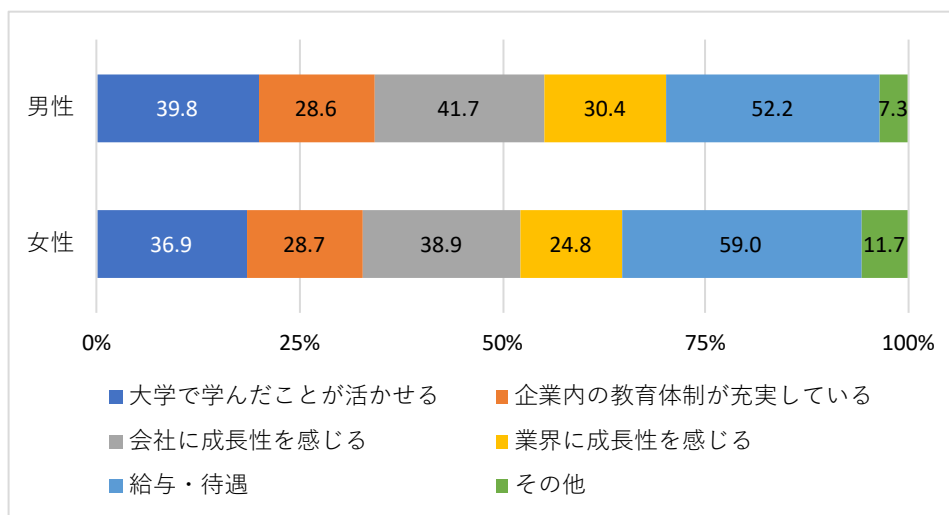
**図表 87 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か**



【クロス集計結果】

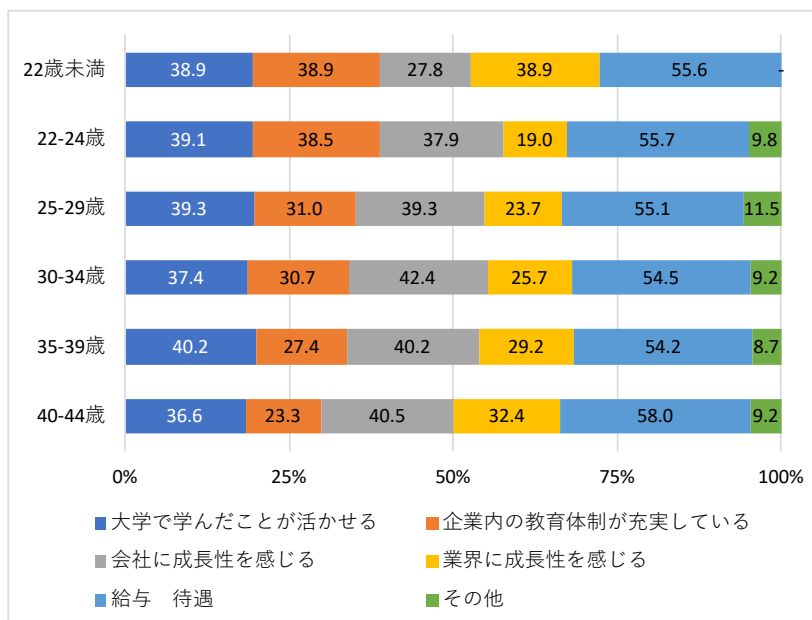
a) 性別

図表 88 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か(性別)



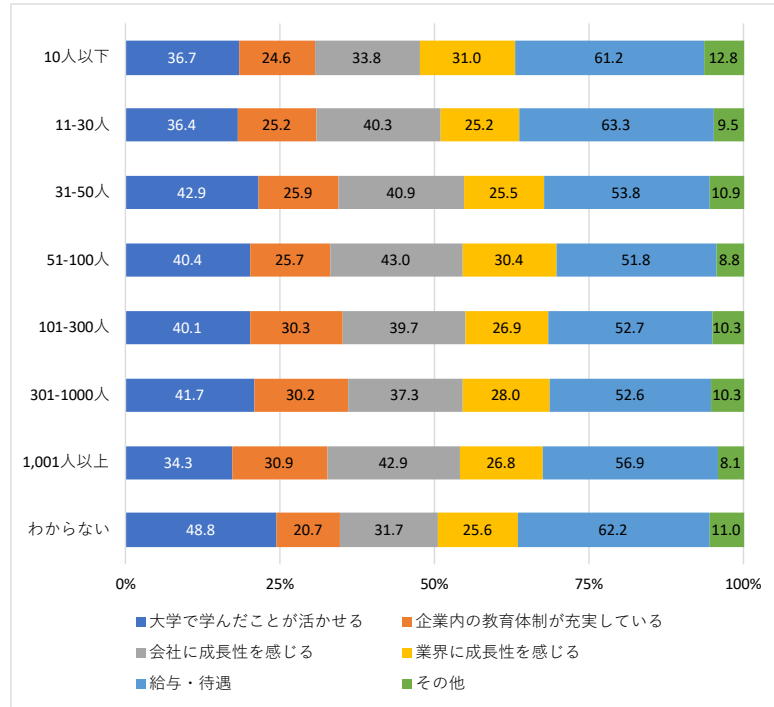
b) 年齢

図表 89 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か(年齢別)



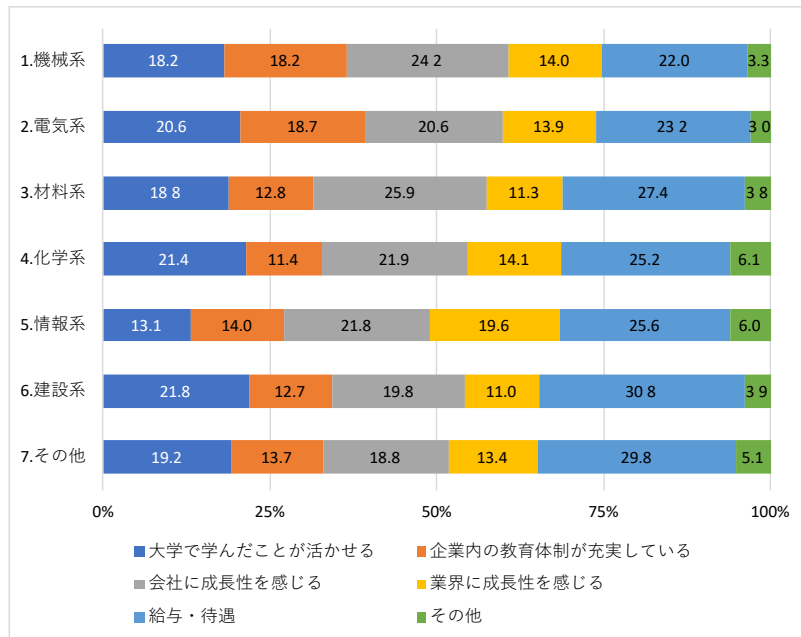
c) 従業員数

図表 90 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か(従業員数別)



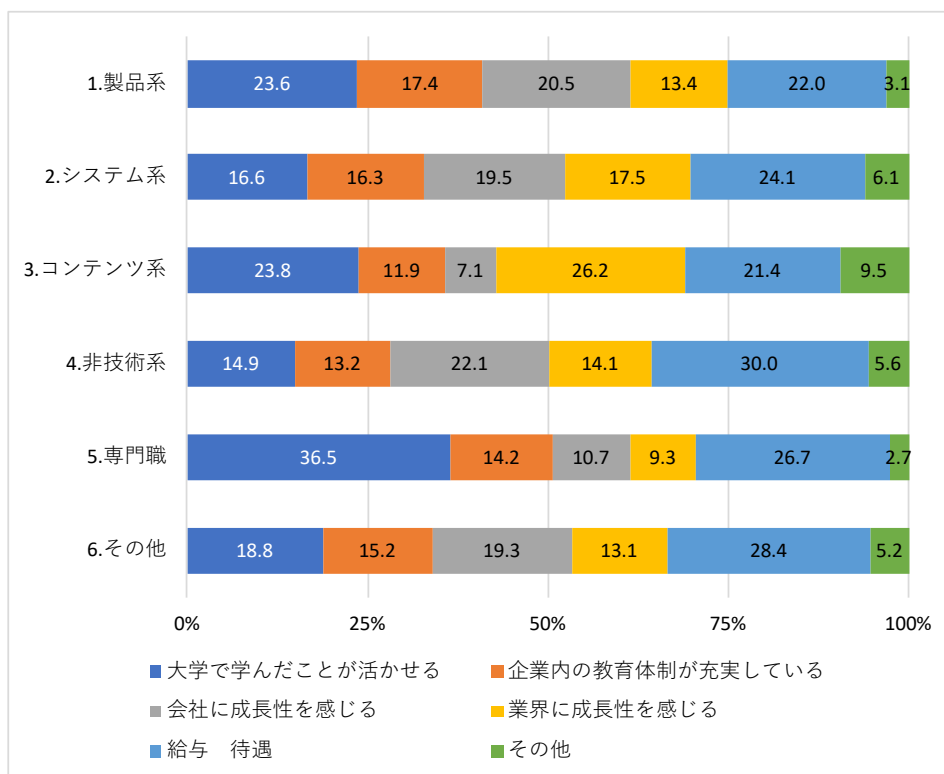
d) 業種

図表 91 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か(業種別)



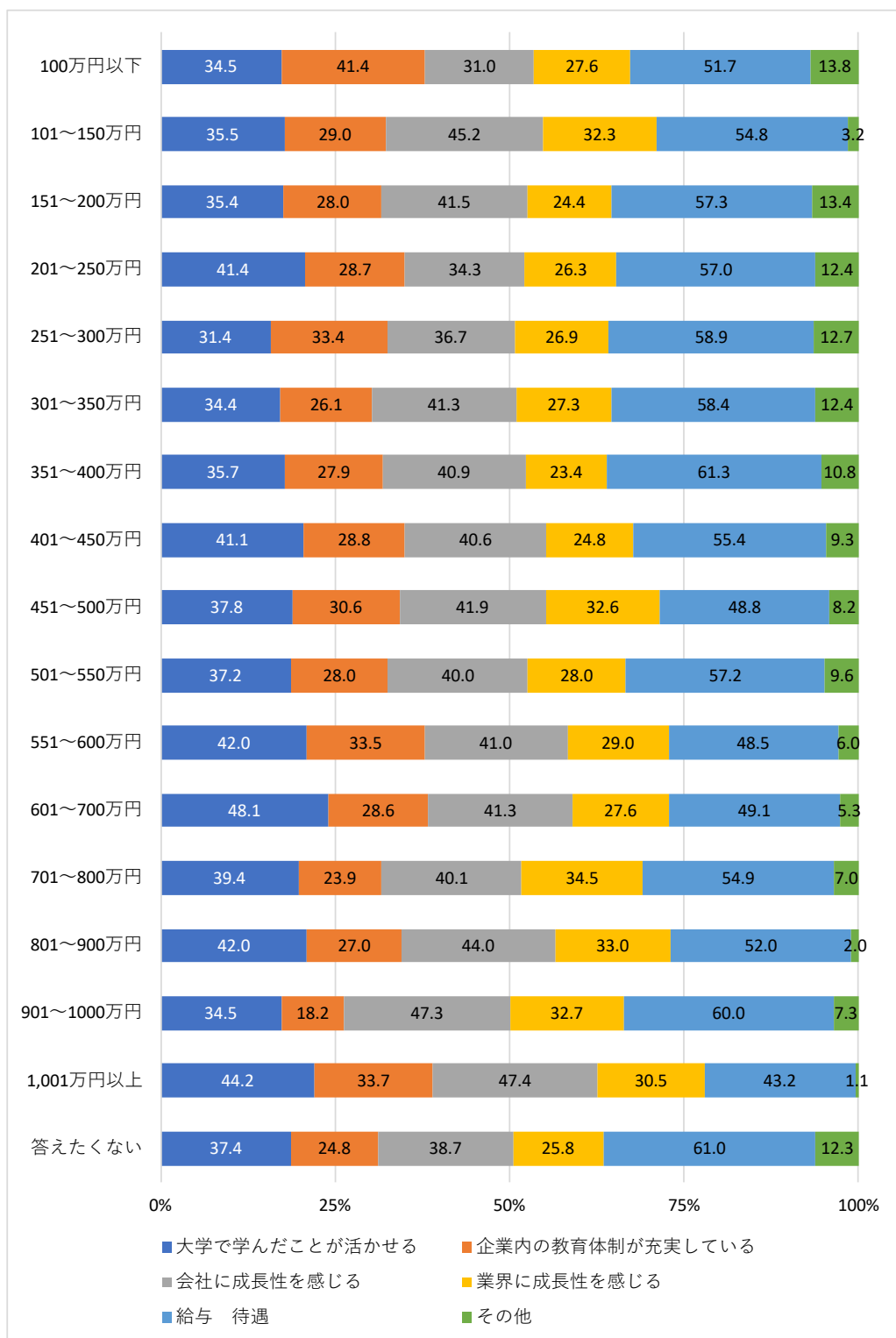
e) 職種

図表 92 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か(職種別)



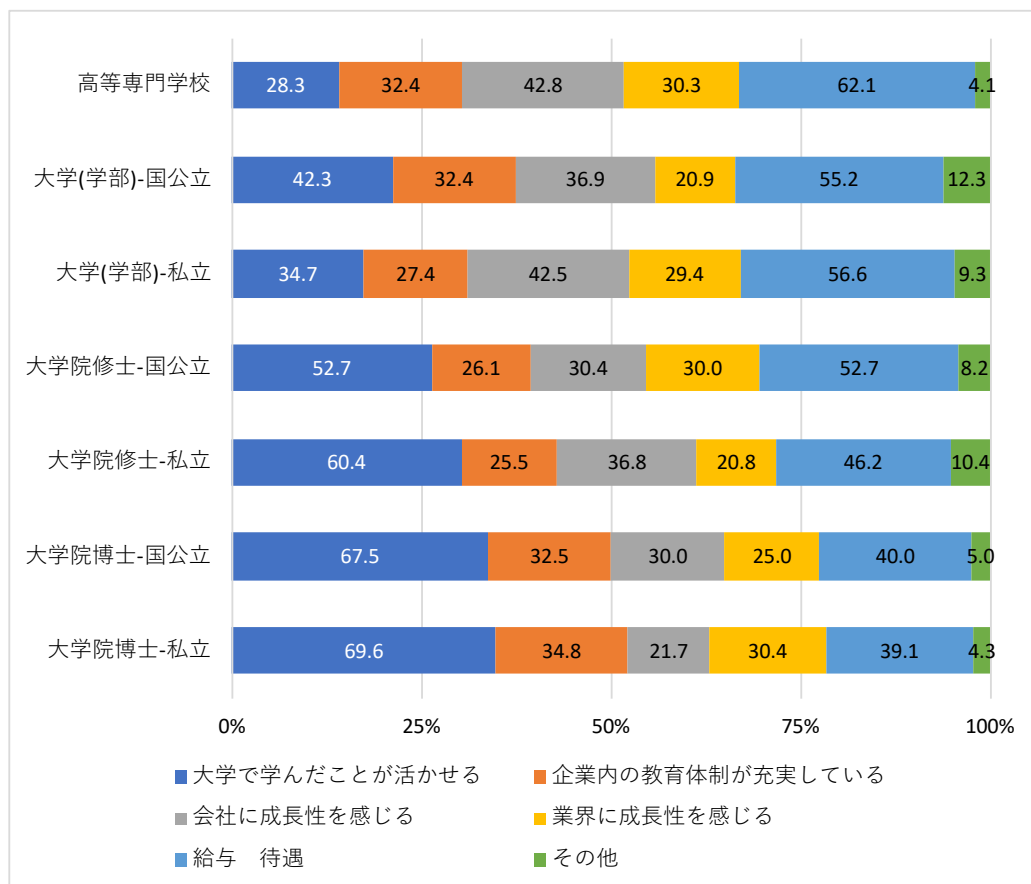
f) 年収

図表 93 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か(年収別)



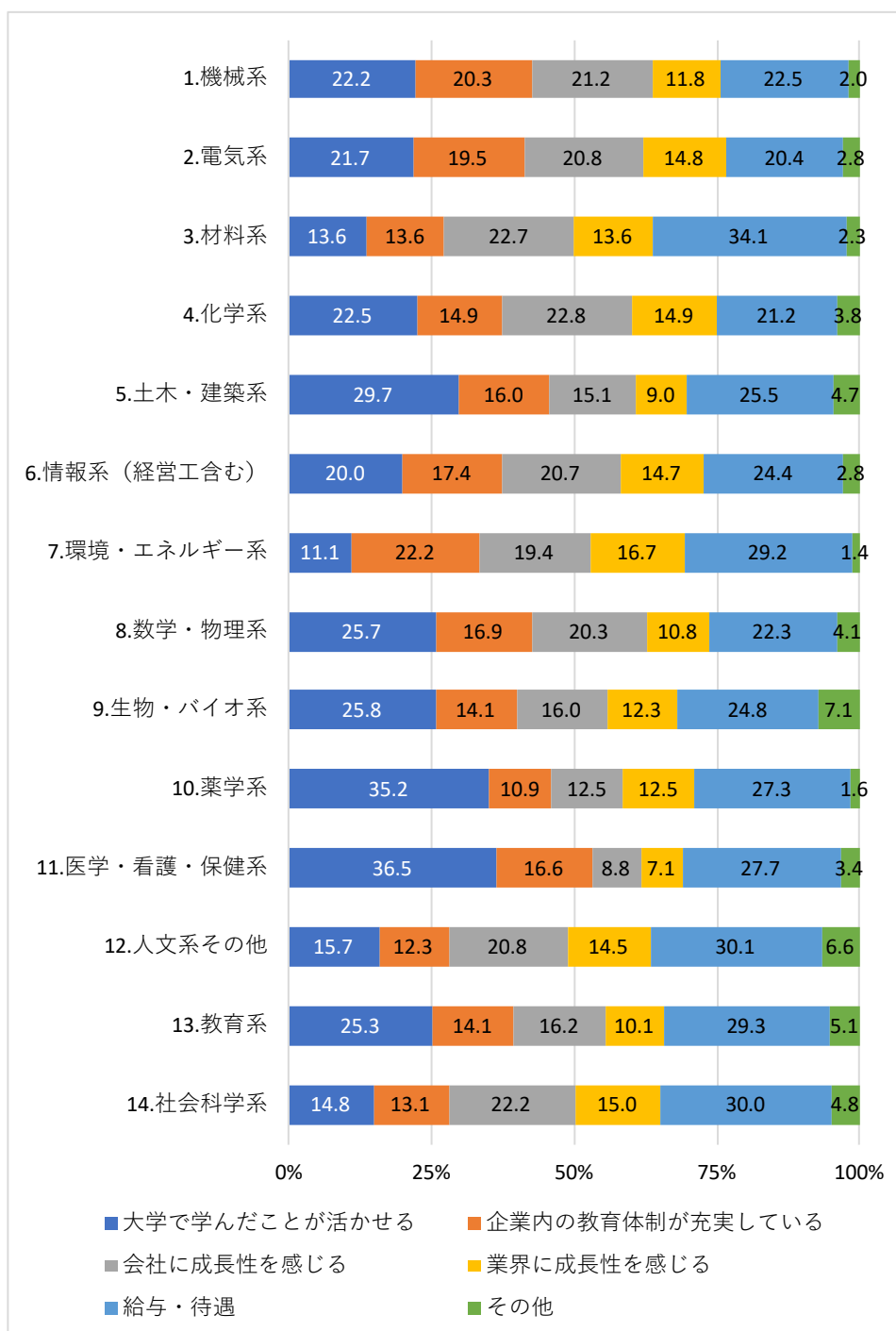
g) 最終学歴

図表 94 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 95 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたり優先したものは何か(学部・学科別)



問17 応募時に履修履歴（成績証明証等）の提出を求められた企業の割合をお答え下さい。ただし、応募した全ての企業数を100%として下さい。

【選択肢】

- 応募時                   %
- 1次選考時           %
- 2次選考時           %
- 3次選考～最終選考   %
- 内定後提出           %
- その他（全く提出していないなど）   %

【単純集計結果】

図表 96 応募時に履修履歴（成績証明証等）の提出を求められた企業の割合はどれ位となるか。ただし、応募した全ての企業数を100%とする。

	全体	統計量母数	合計	平均	標準偏差
応募時	3722	3722	158500	42.58	45.280
1次選考時	3722	3722	81174	21.81	35.813
2次選考時	3722	3722	56655	15.22	30.672
3次選考～最終選考	3722	3722	63372	17.03	32.861
内定後提出	3722	3722	101372	27.24	41.509
その他（全く提出していないなど）	3722	3722	79810	21.44	39.263



問18-1~3 現在、あなたが担当する業務（仕事）に、最も（2番目、3番目）  
関係が深い専門知識（スキル）分野をお選びください。（1つ選択）

【選択肢】

※<22 学系→267 小分類（の専門知識（スキル）分野リスト）>

#### 【単純集計結果】

当設問は、需給ギャップ分析の需要量を把握するための設問である。需給ギャップについては、「2.1.1 社会人アンケートによる需給分析結果」を参照のこと。

#### 【クロス集計結果】

需給ギャップのクロス集計については、性別、業種、職種、最終学歴、学部・学科で実施している。詳細は「2.1.1 社会人アンケートによる需給分析結果」を参照のこと。

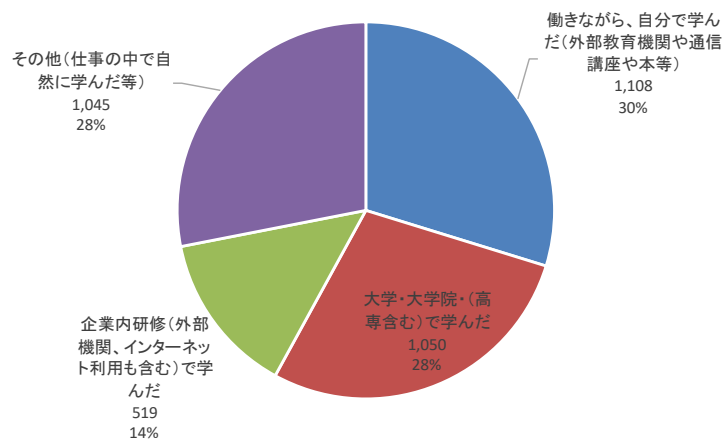
問19 あなたが、現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだところを1つお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

1. 大学・大学院・(高専含む)で学んだ
2. 企業内研修(外部機関、インターネット利用も含む)で学んだ
3. 働きながら、自分で学んだ(外部教育機関や通信講座や本等)
4. その他(仕事の中で自然に学んだ等)

【単純集計結果】

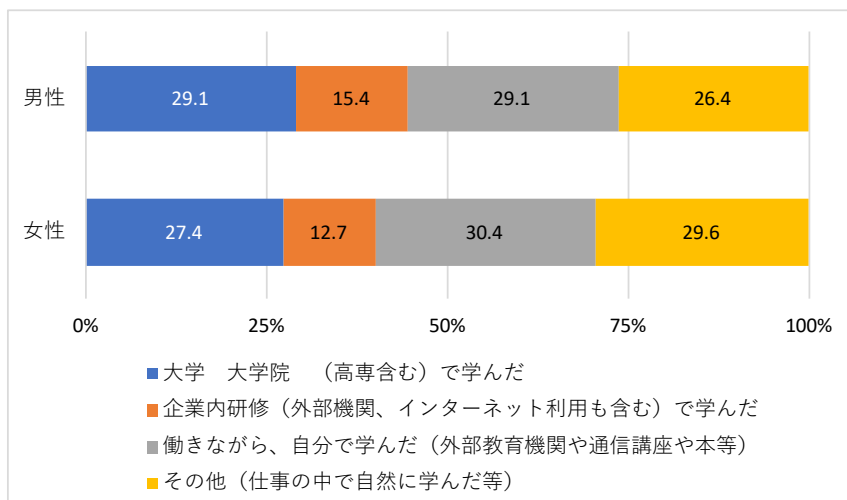
図表 97 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか。



【クロス集計結果】

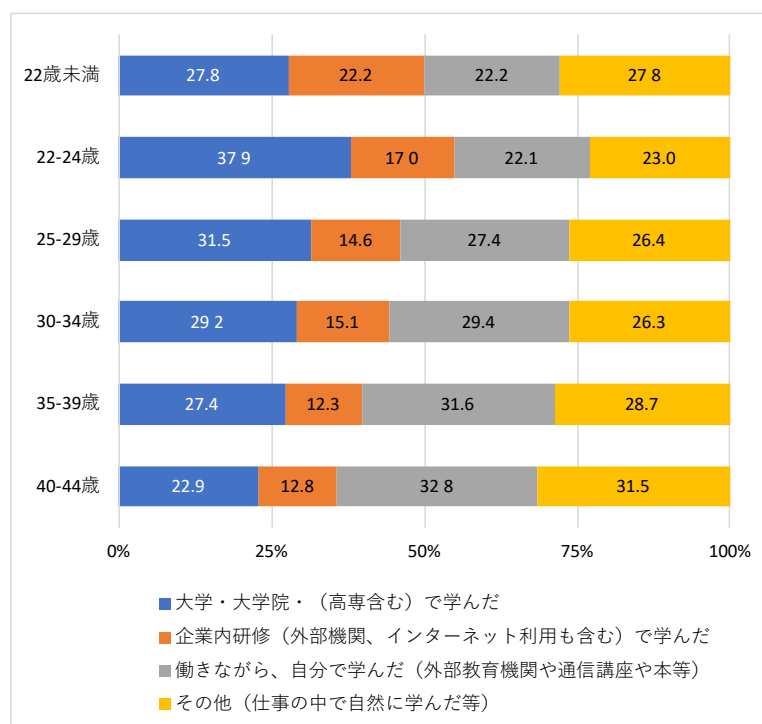
a) 性別

図表 98 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか(性別)



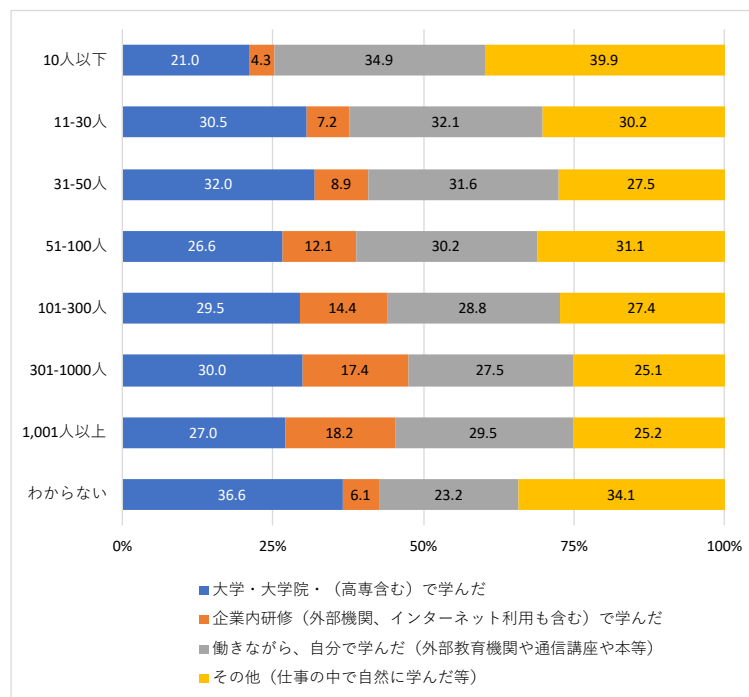
b) 年齢

図表 99 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか(年齢別)



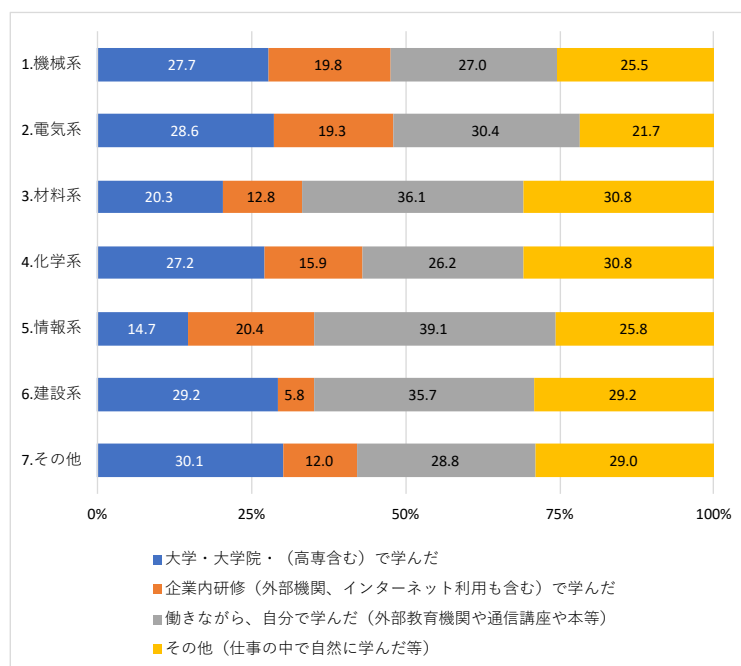
c) 従業員数

図表 100 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか(従業員数別)



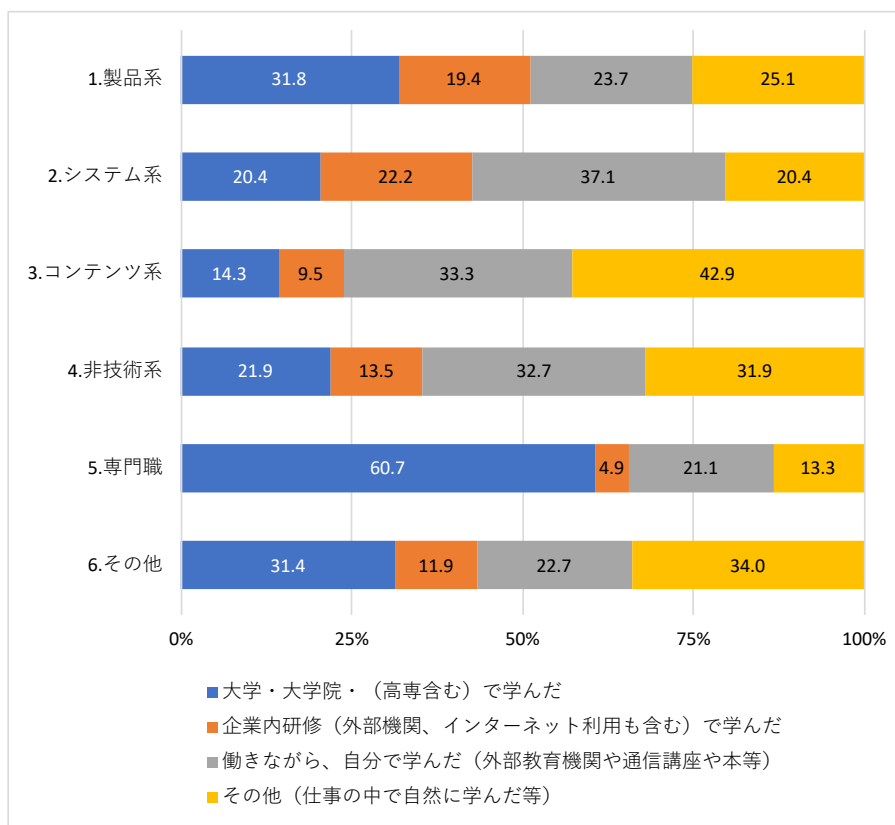
d) 業種

図表 101 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか(業種別)



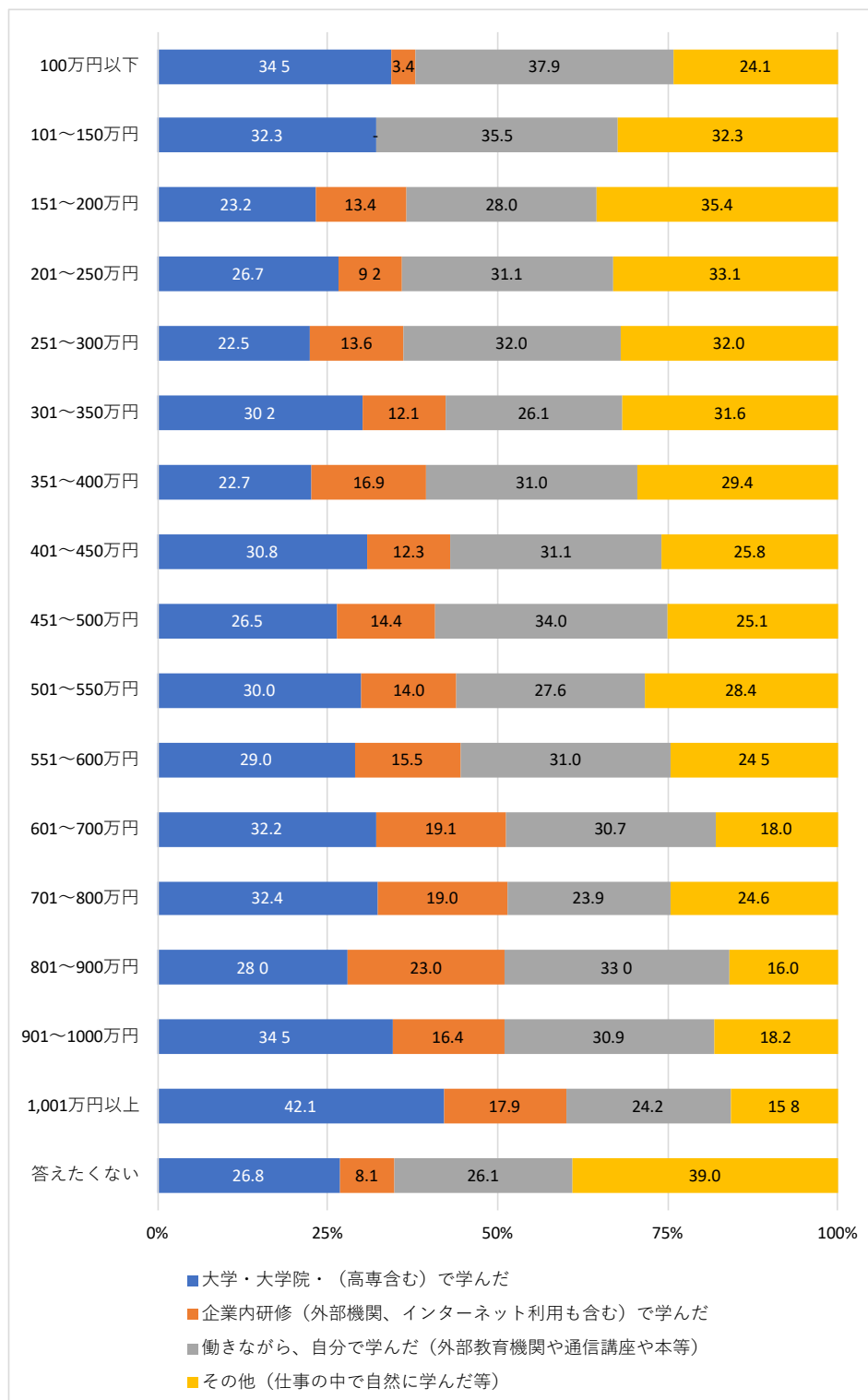
e) 職種

図表 102 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか(職種別)



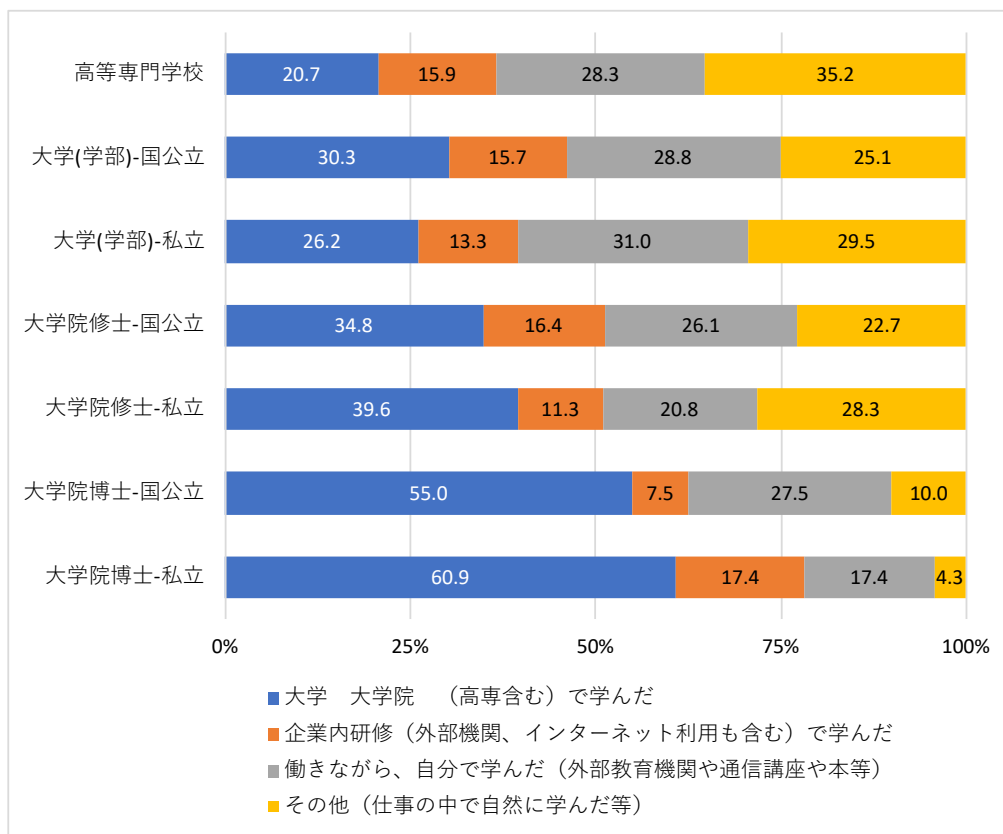
f) 年収

図表 103 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか(年収別)



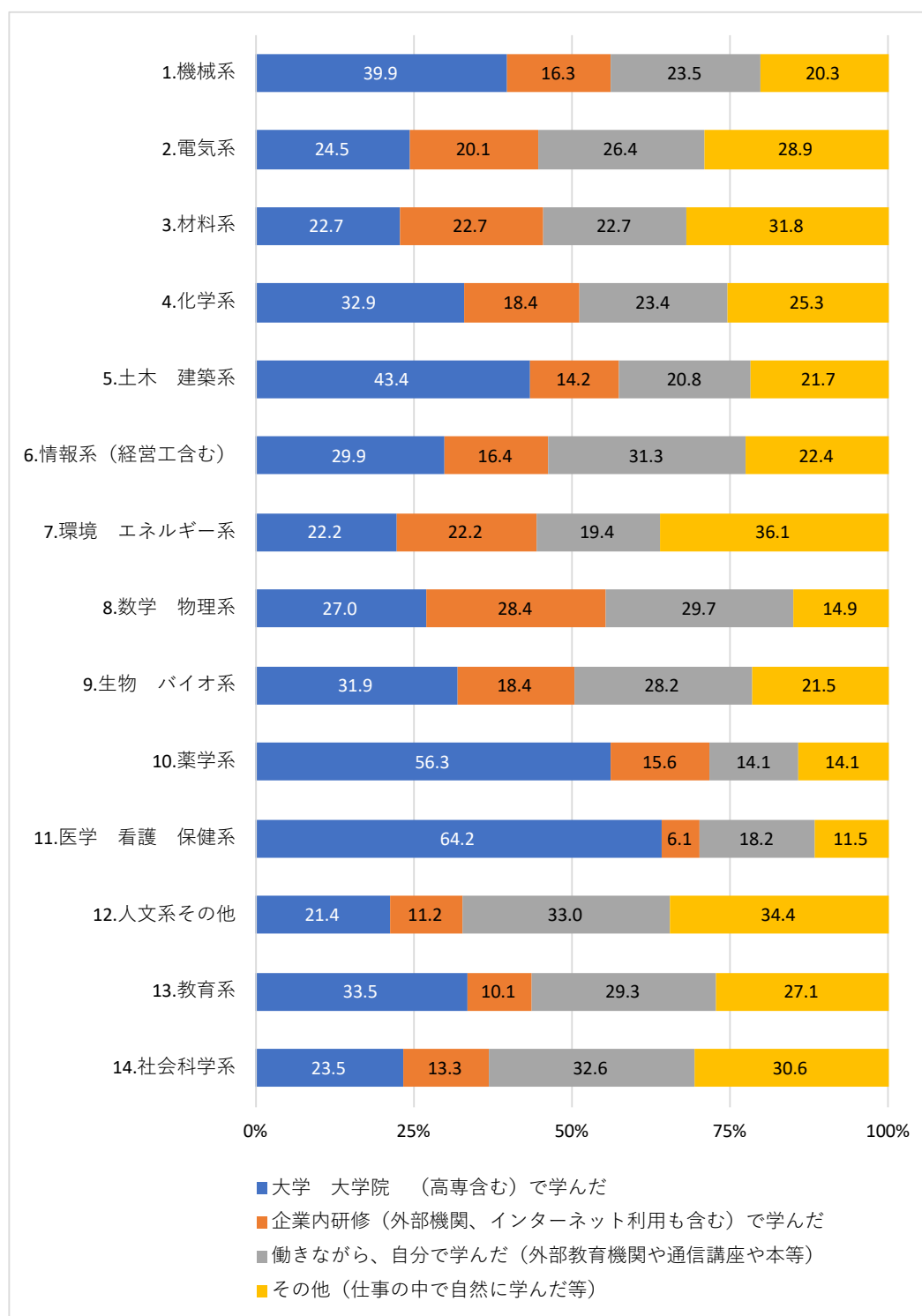
g) 最終学歴

図表 104 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 105 現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだのはどこか(学部・学科別)





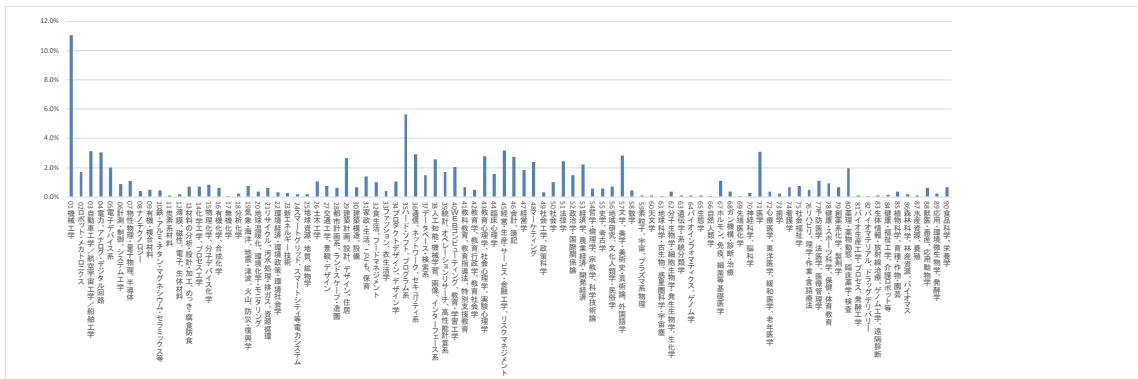
問20-1~3 あなたが、自らの2-3年後をイメージして、仮に、今、大学（または大学院）に入り直して学ぶ機会が与えられたなら、どのような分野を学びますか。最も（2番目、3番目）希望する分野について選択して下さい。特に仕事での自分をイメージして、お考えください。以下の「学び直したい理由」も考慮し、学びたい分野を、下記のリストの中からお選びください。（1つ選択）

【選択肢】

※<22 学系→267 小分類（の専門知識（スキル）分野リスト）>

【単純集計結果】

図表 106 学び直したい分野



問21-1 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をお持ちですか。あてはまるものをお選びください。（1つ選択）

1. 業務全般に対する満足感

【選択肢】

ある

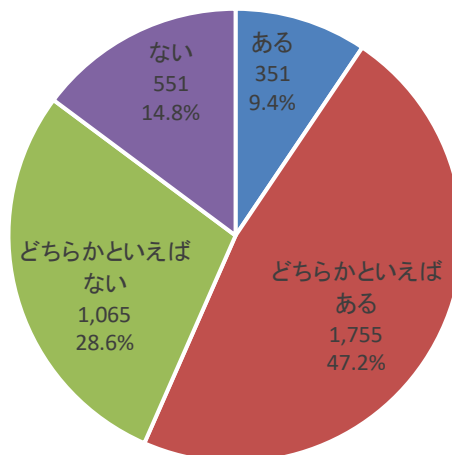
どちらかといえばある

どちらかといえばない

ない

【単純集計結果】

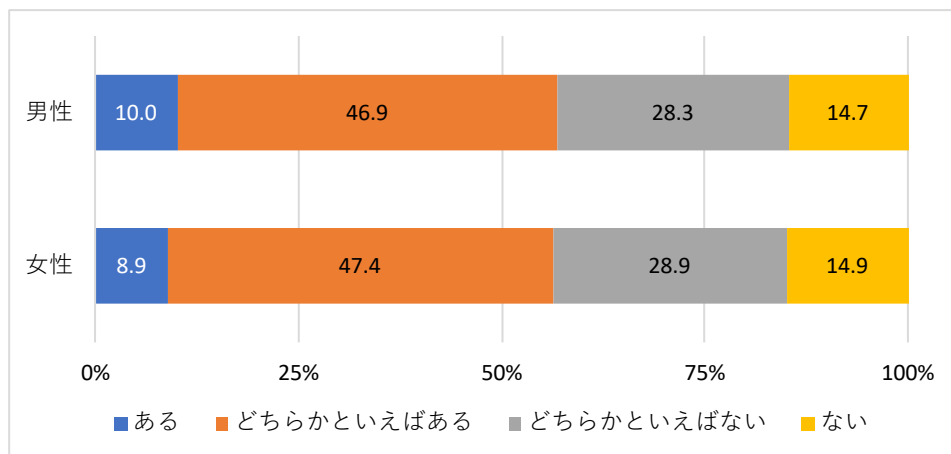
図表 107 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか



【クロス集計結果】

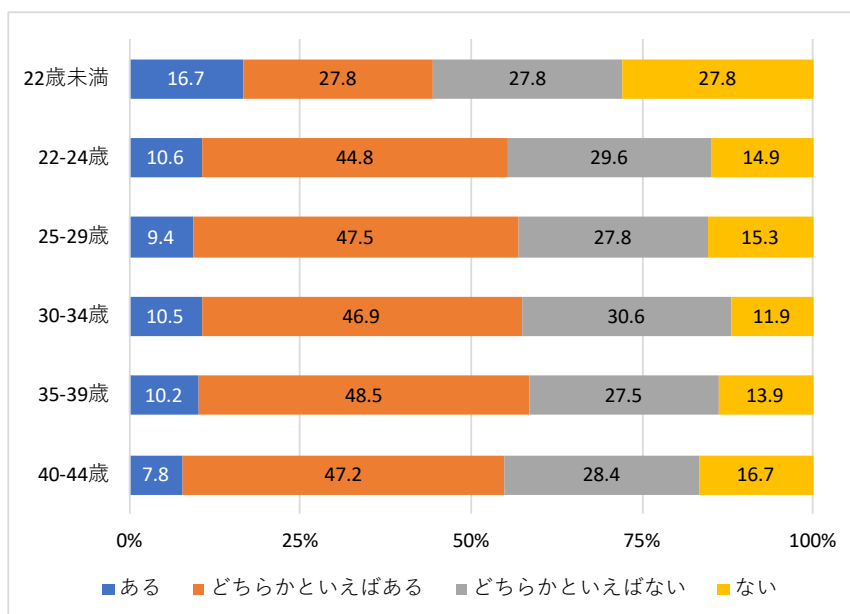
a) 性別

図表 108 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか(性別)



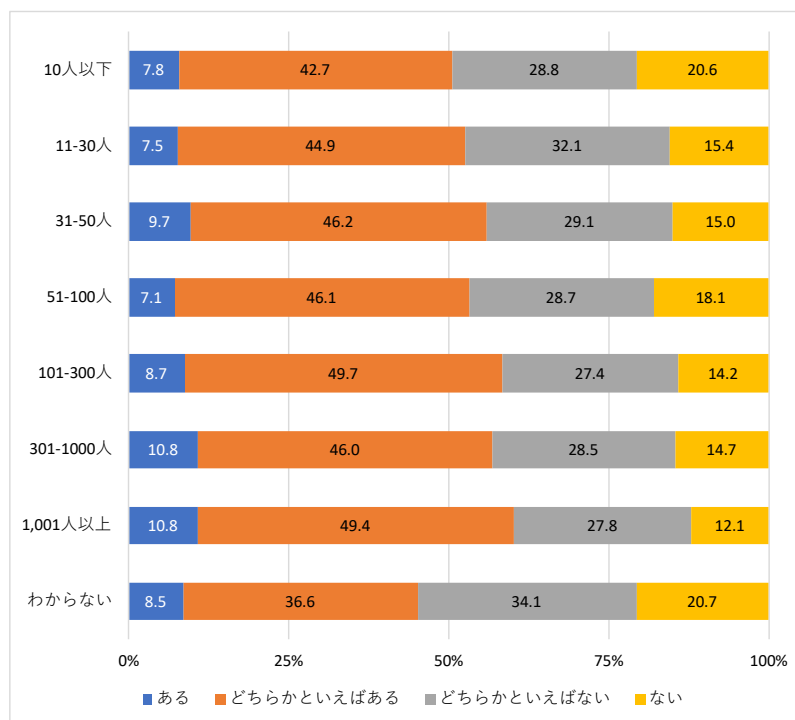
b) 年齢

図表 109 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか(年齢別)



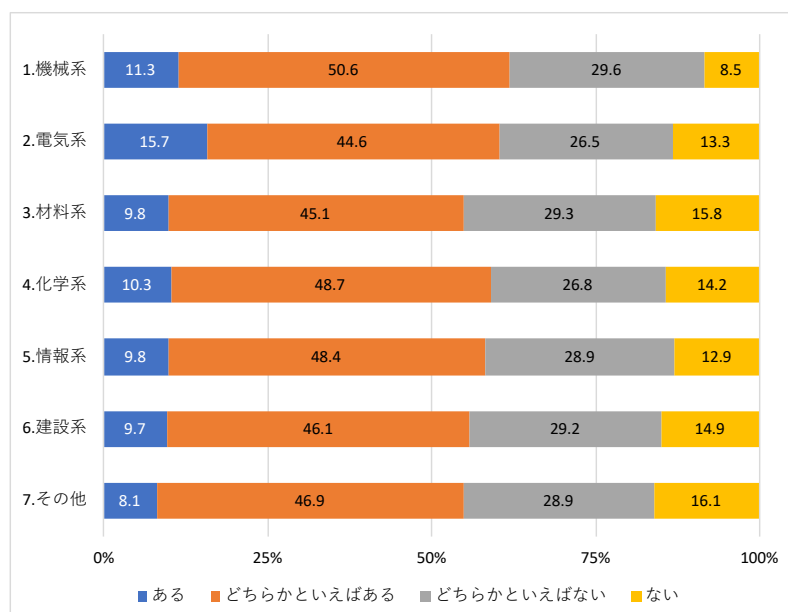
c) 従業員数

図表 110 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか(従業員数別)



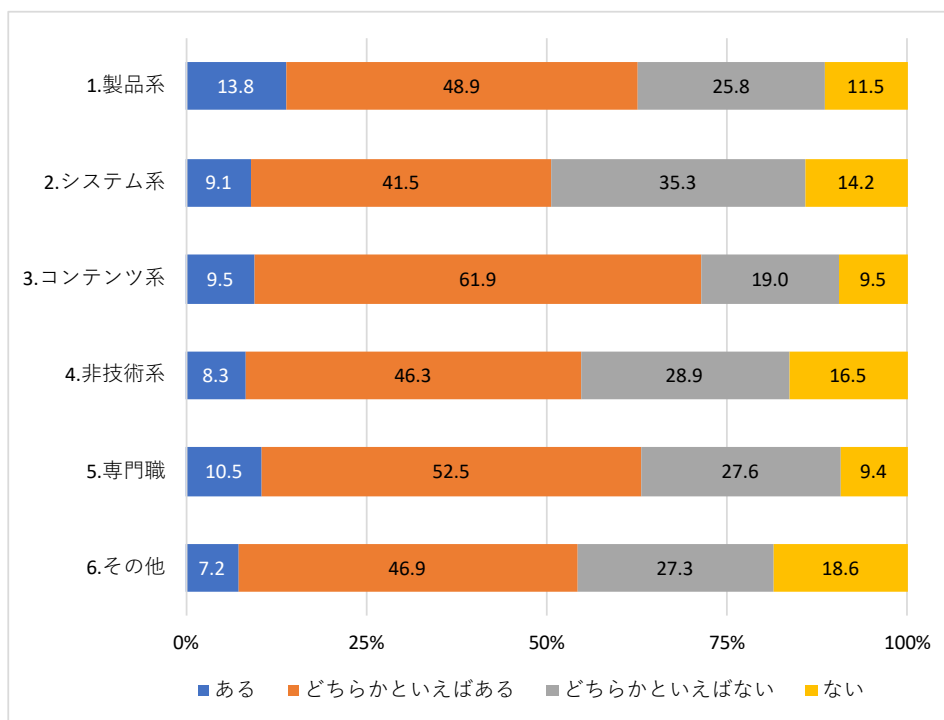
d) 業種

図表 111 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか(業種別)



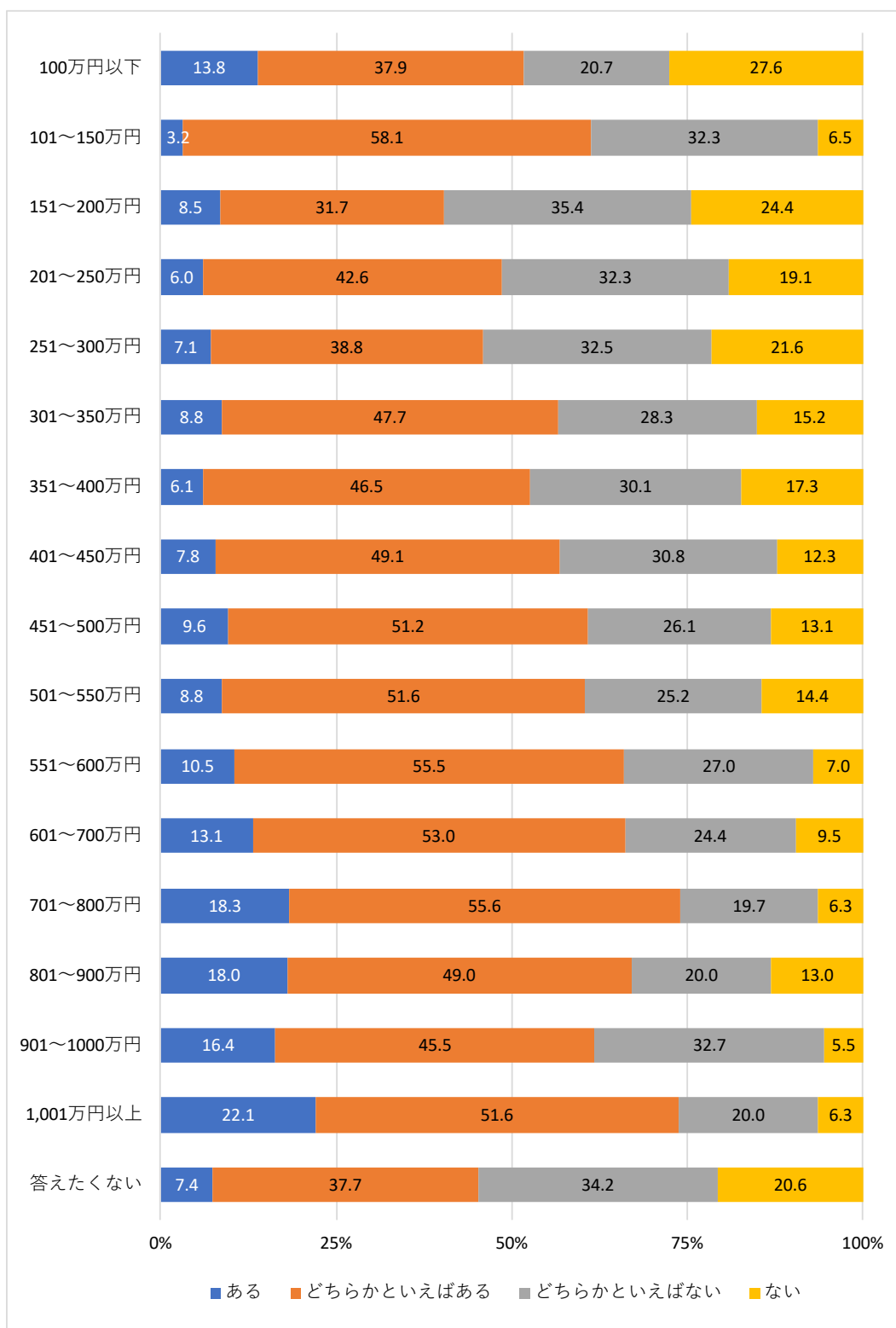
e) 職種

図表 112 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか(職種別)



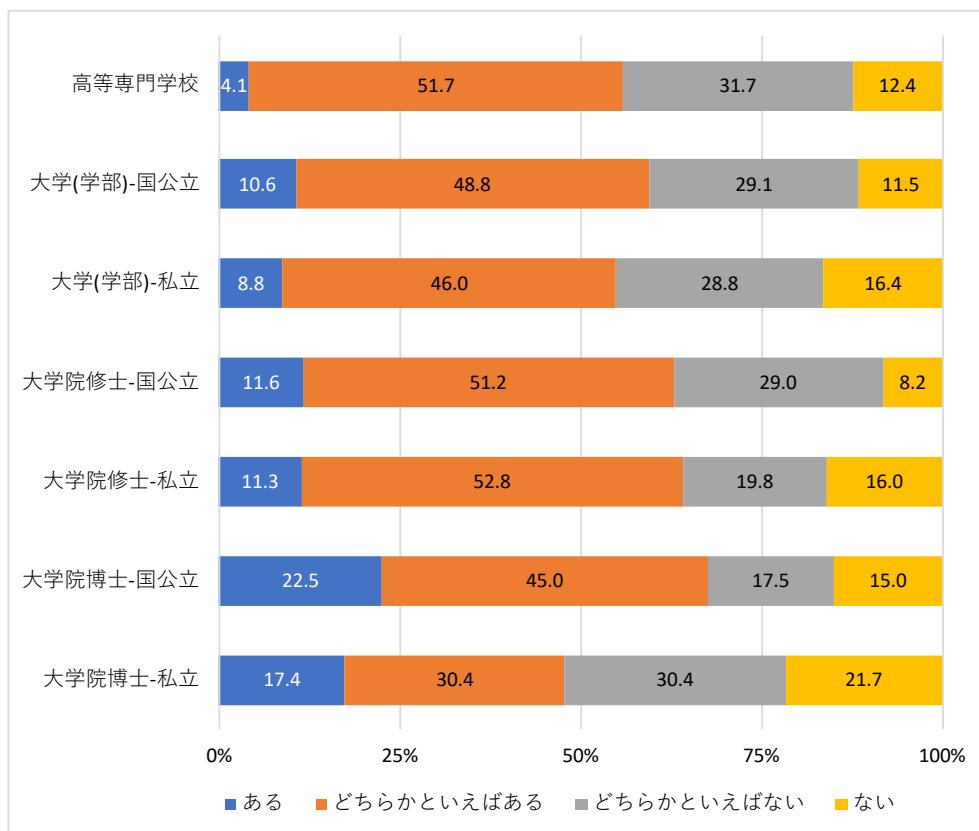
f) 年収

図表 113 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか(年収別)



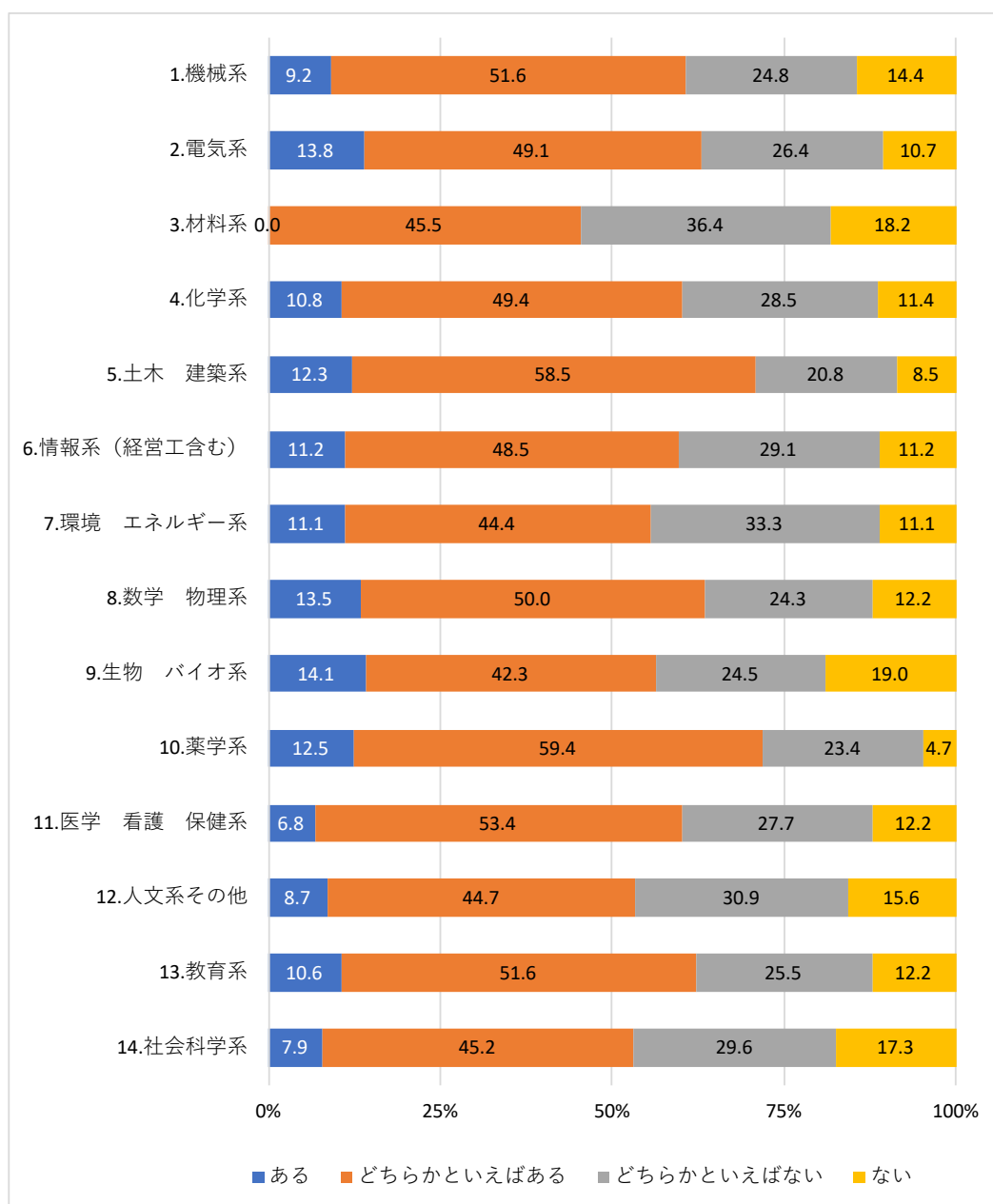
g) 最終学歴

図表 114 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 115 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をもっているか(学部・学歴別)





問21-2 あなたは、業務における下記の項目について、どんな実感や満足感などをお持ちですか。(それぞれ1つ選択)

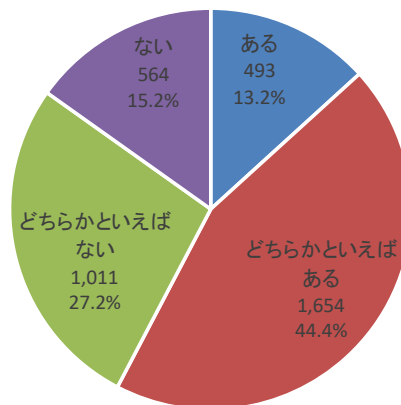
1. 社会に貢献できている実感

【選択肢】

- ある
- どちらかといえばある
- どちらかといえばない
- ない

【単純集計結果】

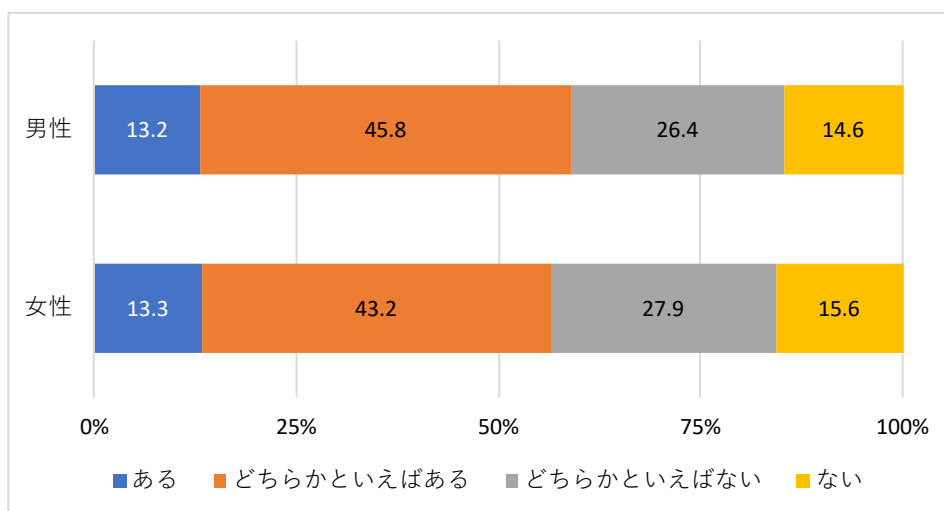
図表 116 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか



## 【クロス集計結果】

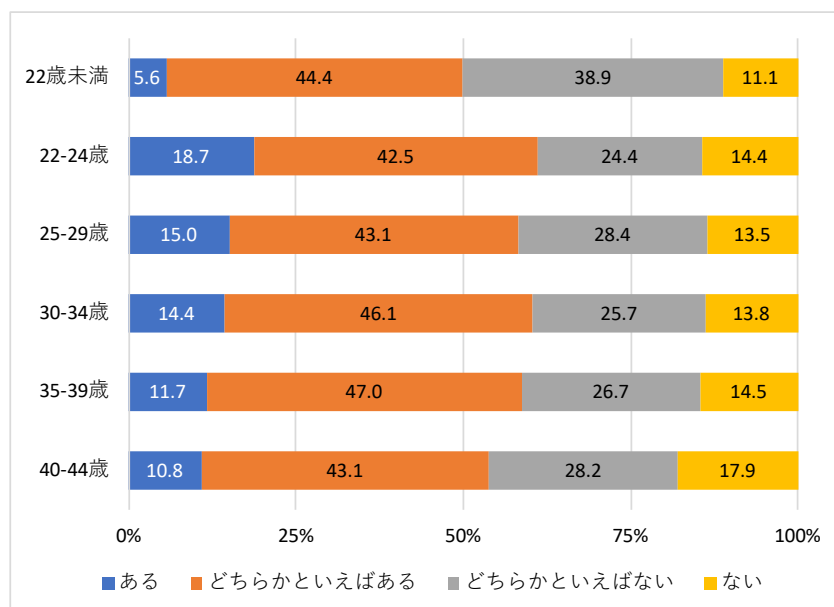
### a) 性別

図表 117 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか(性別)



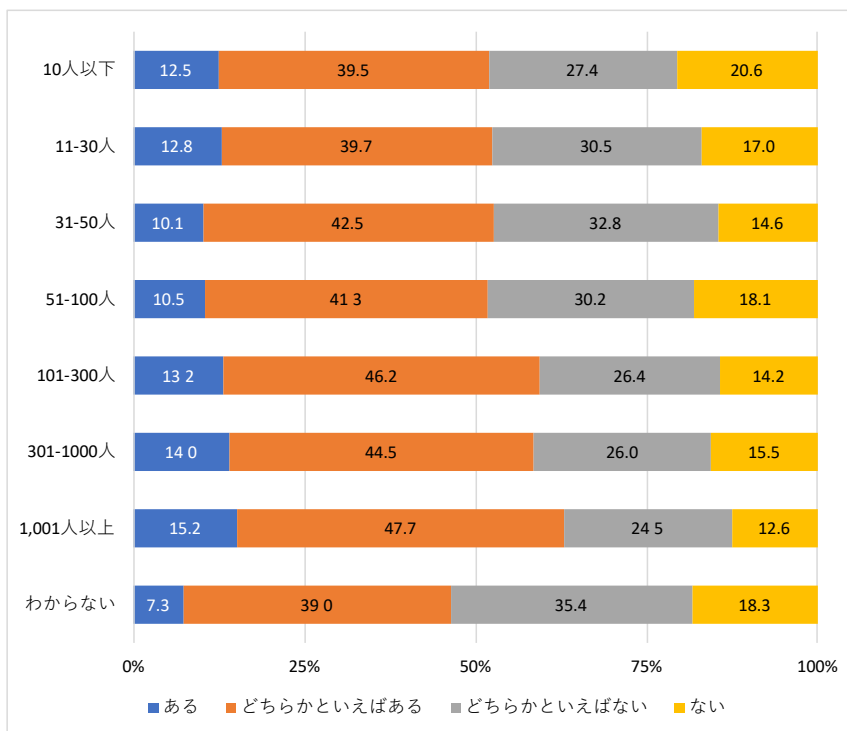
### b) 年齢

図表 118 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか(年齢別)



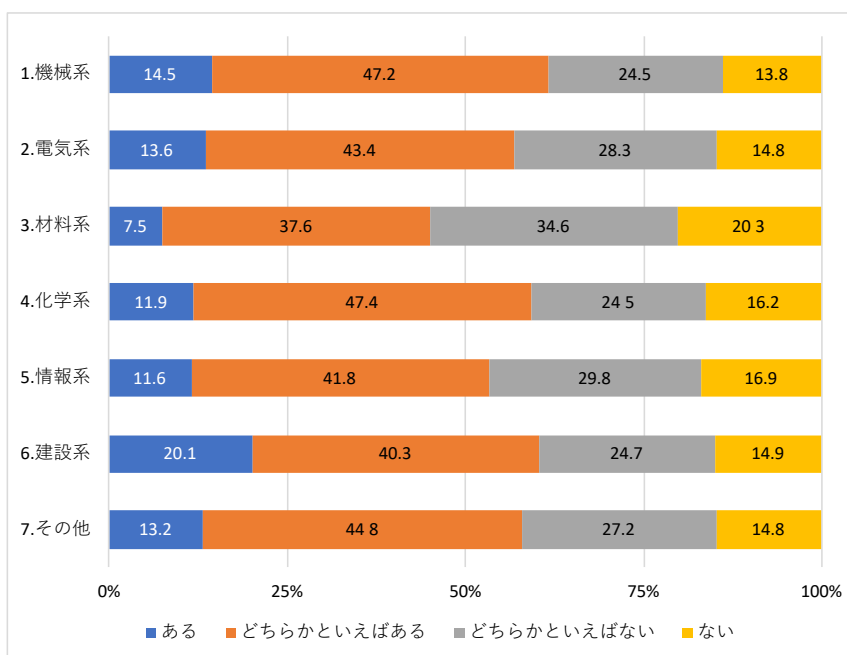
c) 従業員数

図表 119 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか(従業員別)



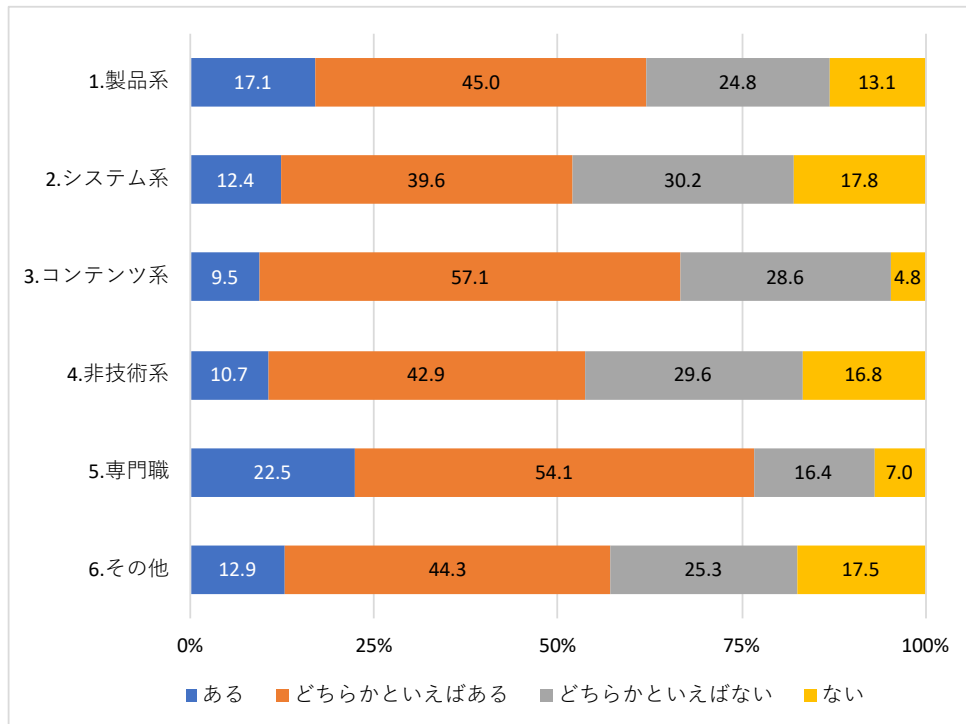
d) 業種

図表 120 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか(業種別)



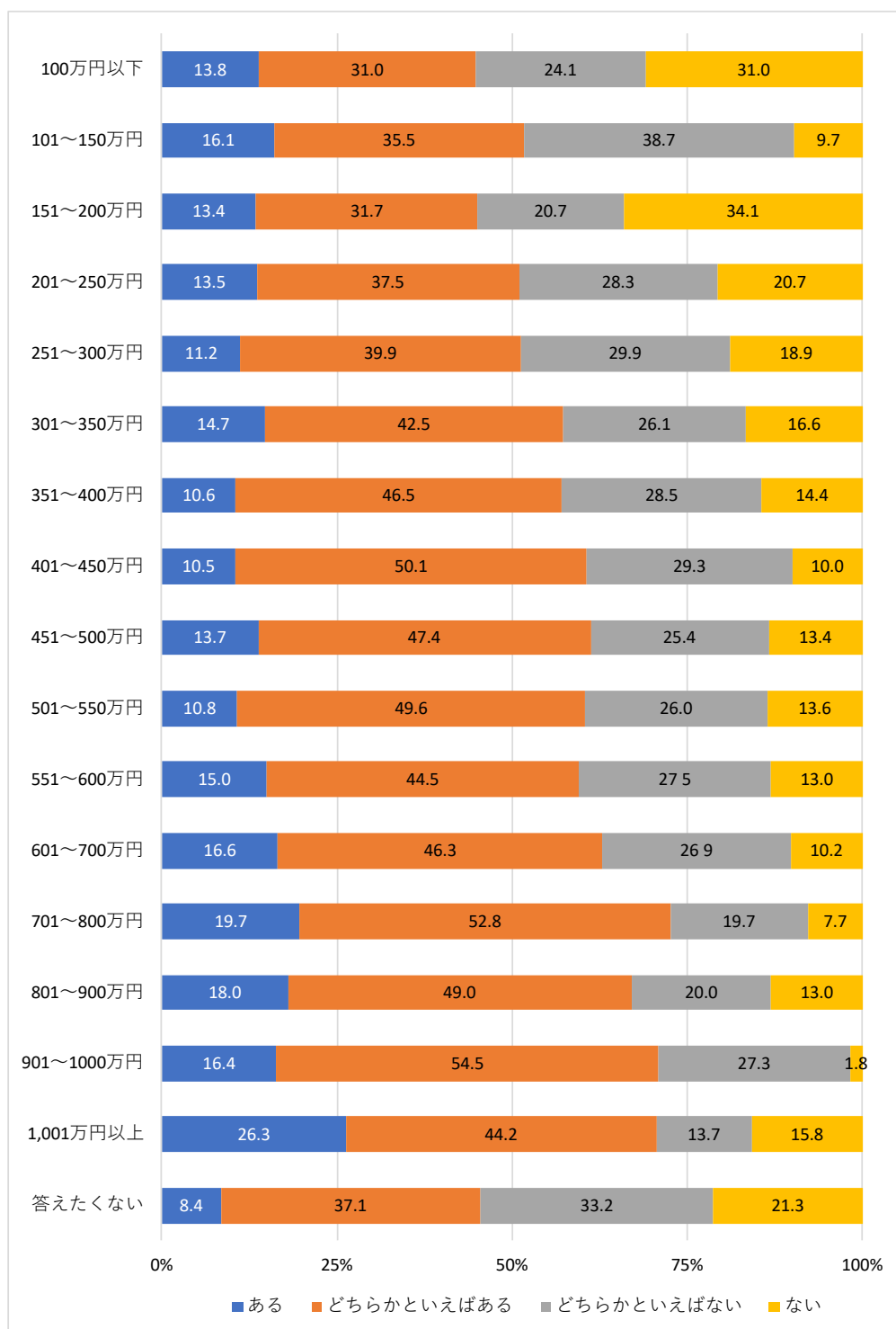
e) 職種

図表 121 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか(職種別)



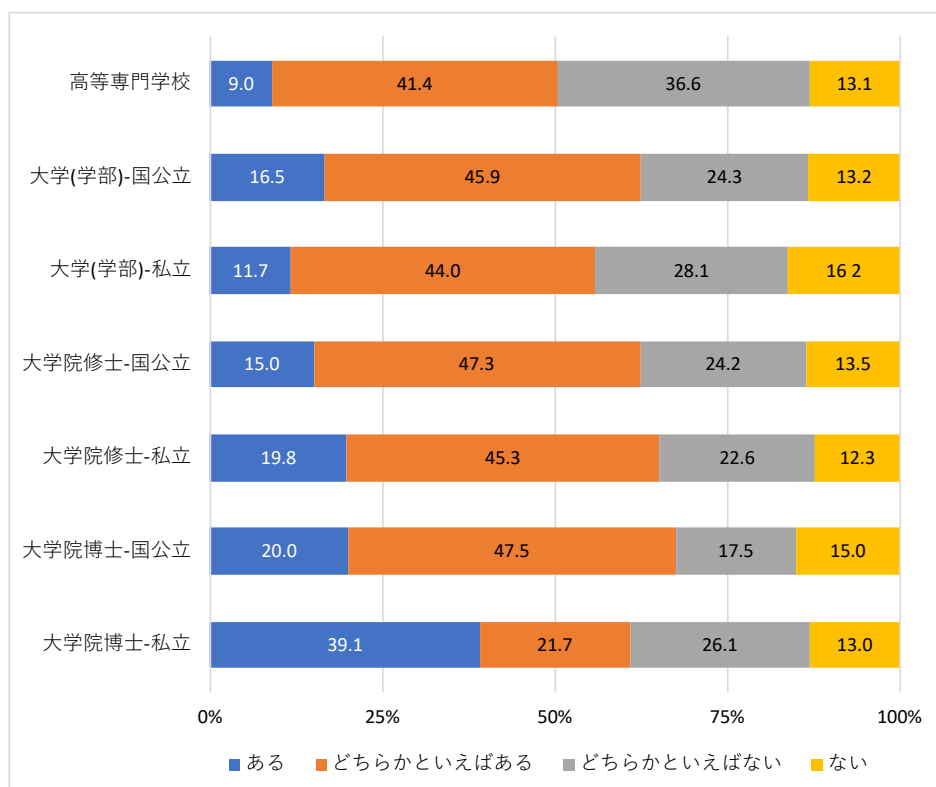
f) 年収

図表 122 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか(年収別)



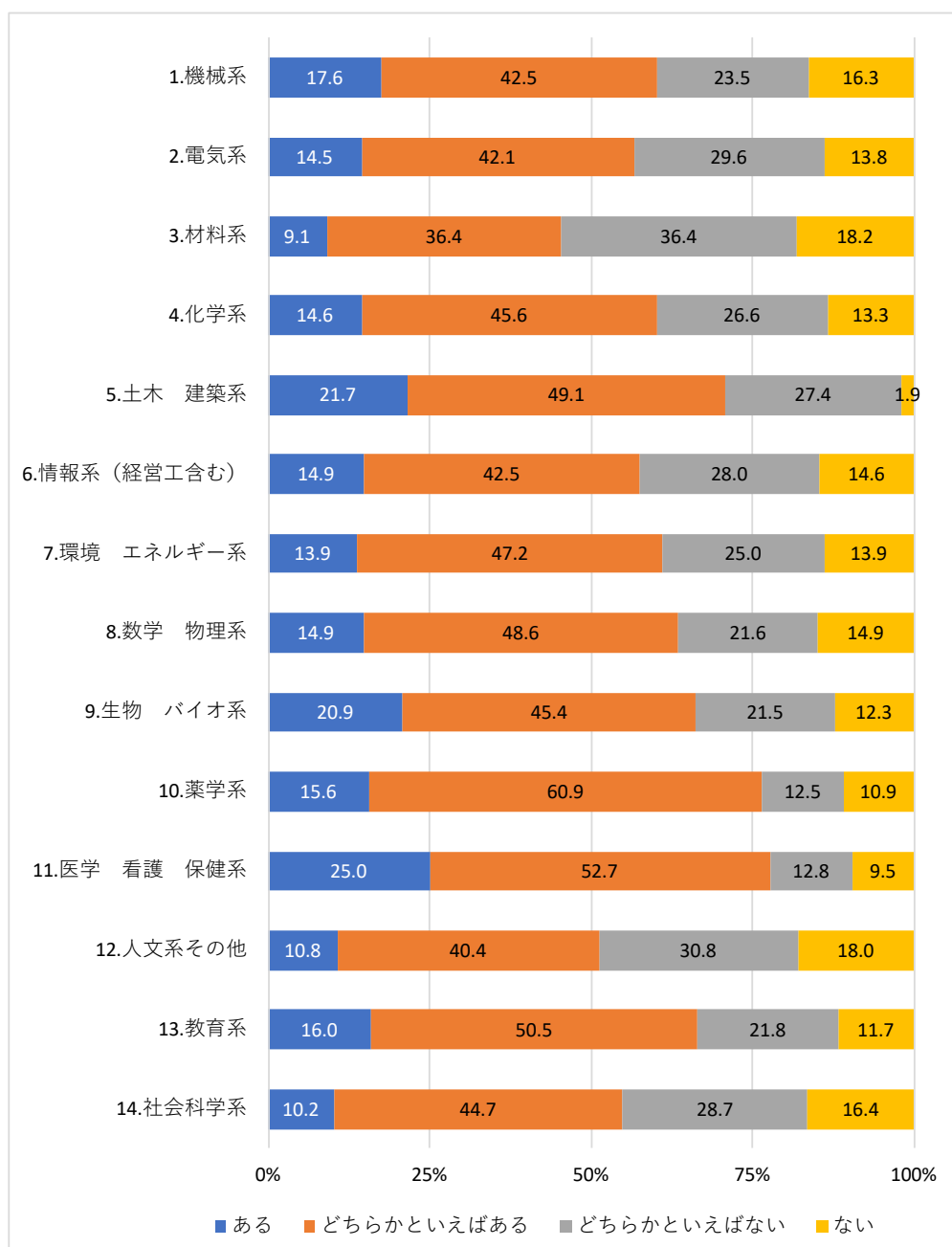
g) 最終学歴

図表 123 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 124 業務において、社会に貢献できているとの実感を持っているか(学部・学科別)



問21-2 あなたは、業務における下記の項目について、どんな実感や満足感などをお持ちですか。(それぞれ1つ選択)

2. 高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活きている実感

【選択肢】

ある

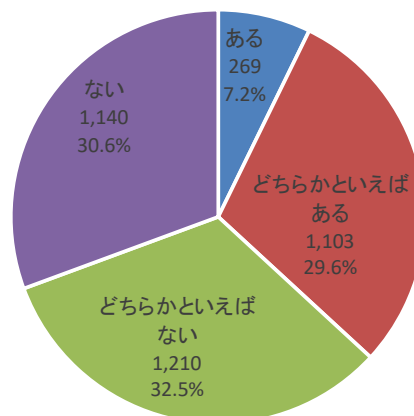
どちらかといえばある

どちらかといえばない

ない

【単純集計結果】

図表 125 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活きているとの実感を持っているか(年収別)

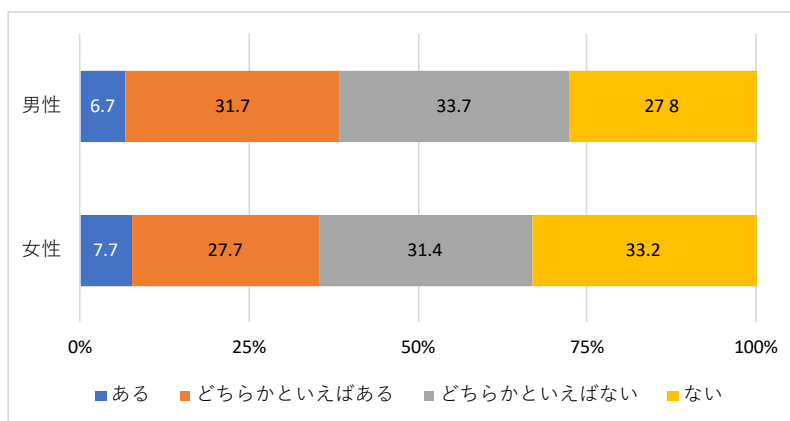




【クロス集計結果】

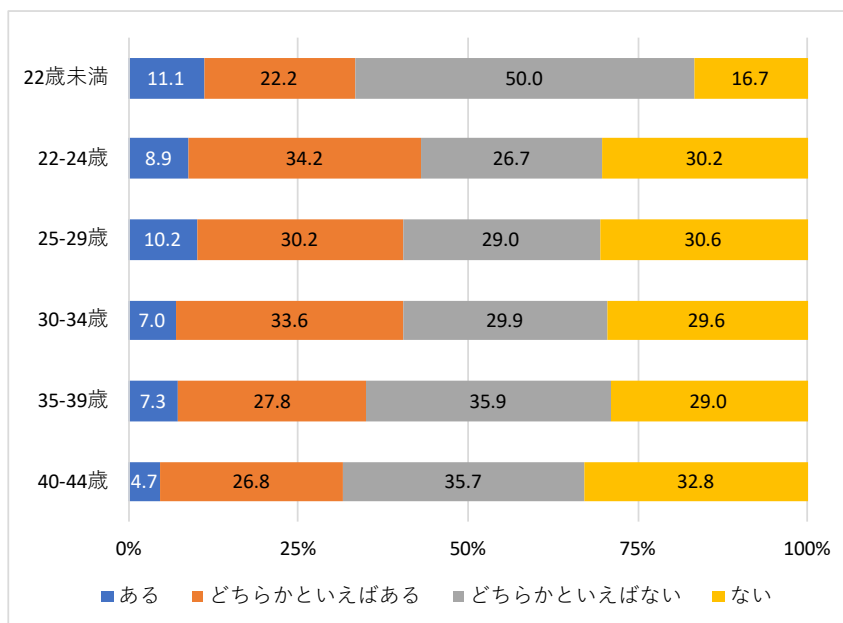
a) 性別

図表 126 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活着ているとの実感を持っているか(性別)



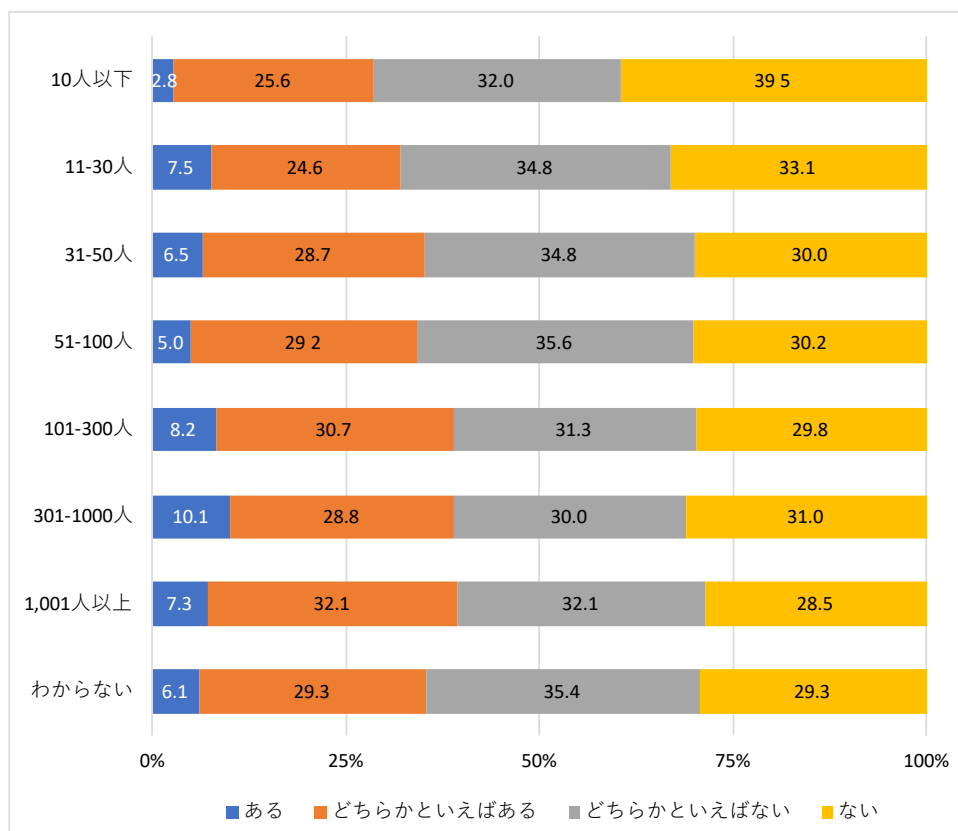
b) 年齢

図表 127 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活着ているとの実感を持っているか(年齢別)



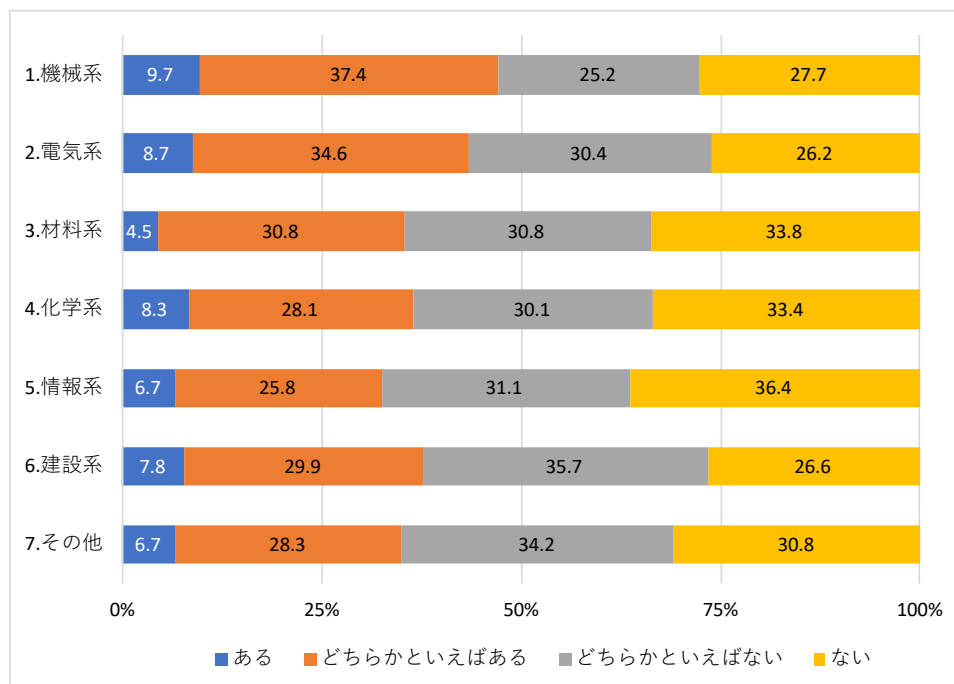
c) 従業員数

図表 128 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活きているとの実感を持っているか(従業員別)



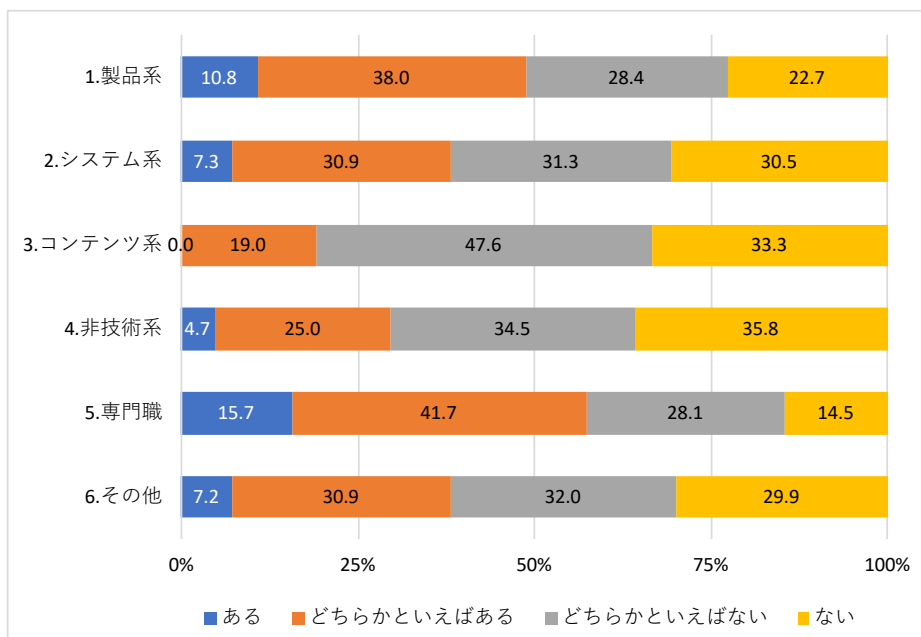
d) 業種

図表 129 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活かされているとの実感を持っているか(業種別)



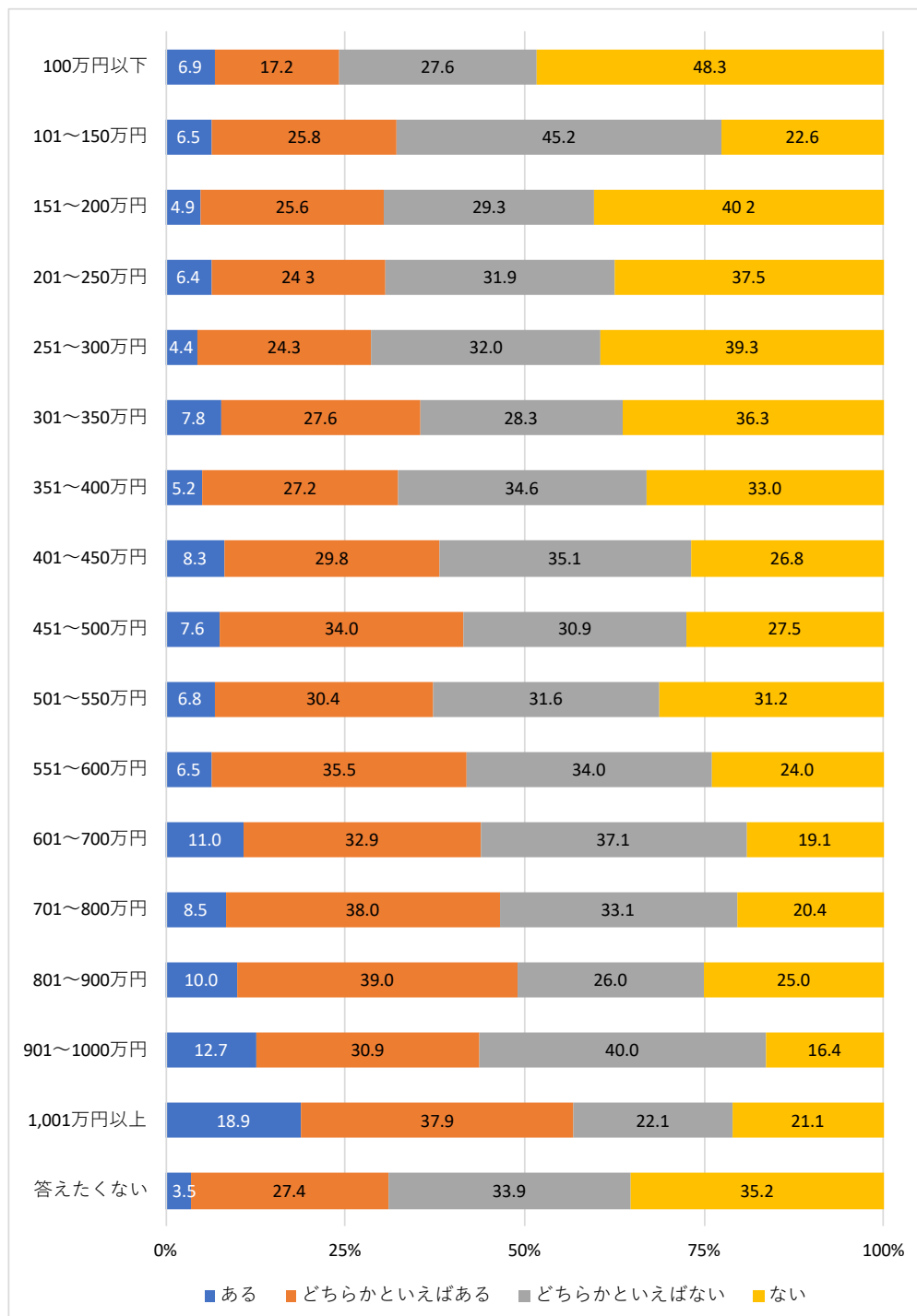
e) 職種

図表 130 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活きているとの実感を持っているか(職種別)



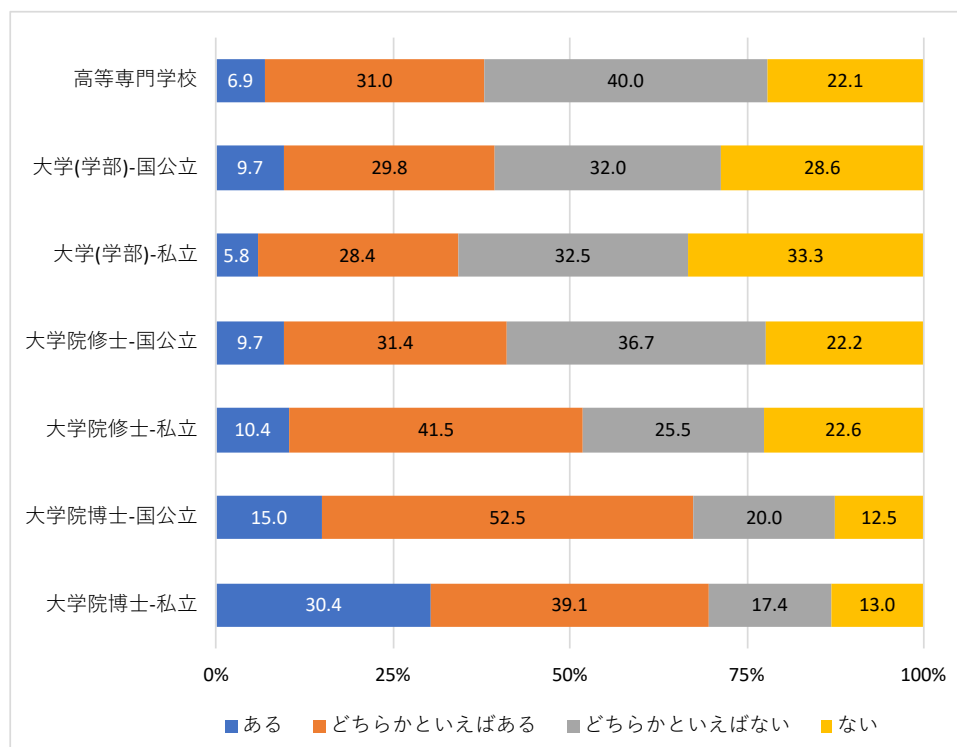
f) 年収

図表 131 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活きているとの実感を持っているか(年収別)



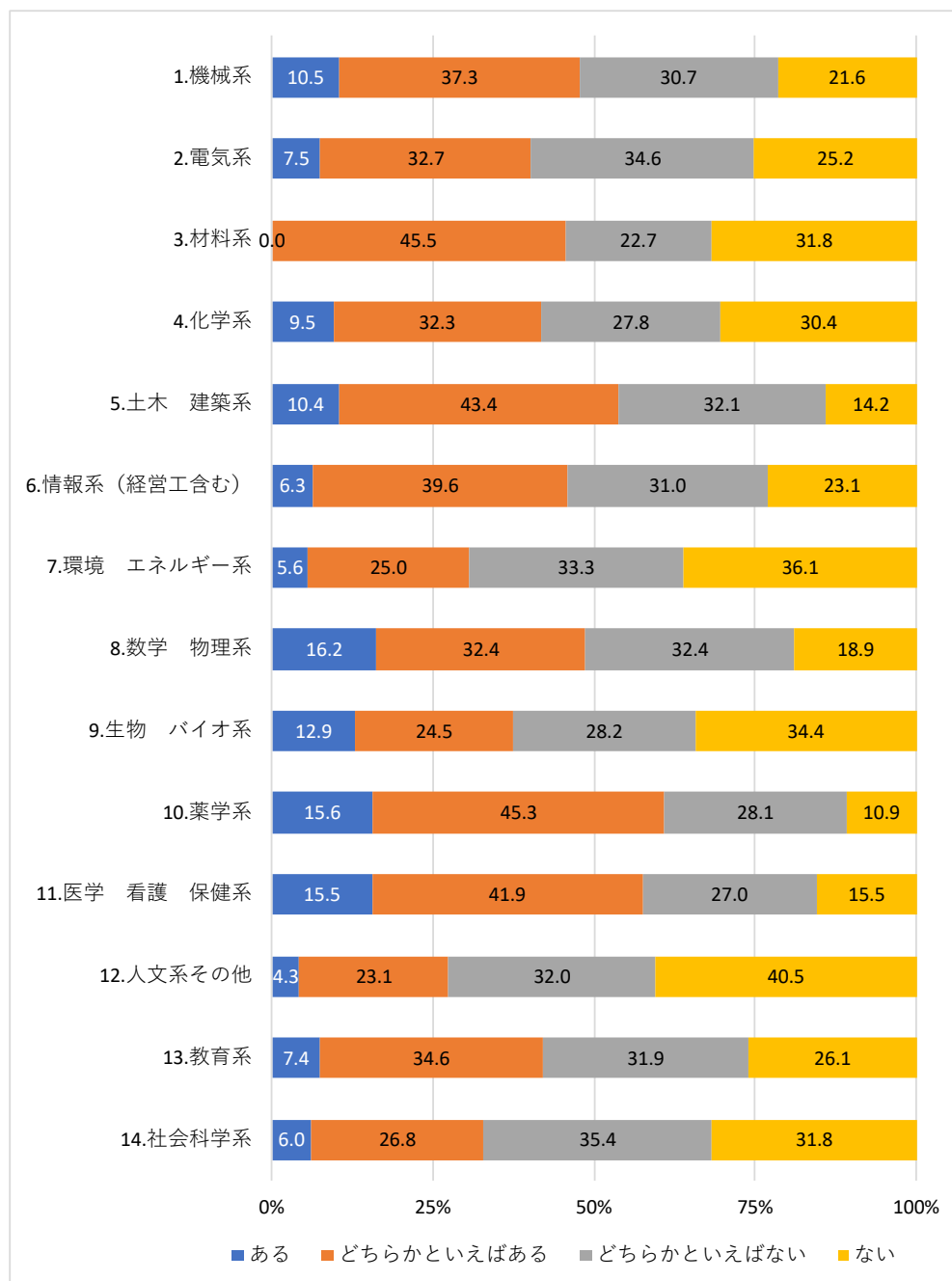
g) 最終学歴

図表 132 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活かしているとの実感を持っているか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 133 業務において、高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活きているとの実感を持っているか(学部・学科別)



問21-2 あなたは、業務における下記の項目について、どんな実感や満足感などをお持ちですか。(それぞれ1つ選択)

#### 4. 給与・収入に対する満足感

【選択肢】

ある

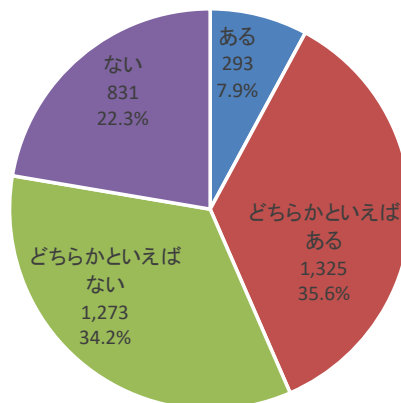
どちらかといえばある

どちらかといえばない

ない

#### 【単純集計結果】

図表 134 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか

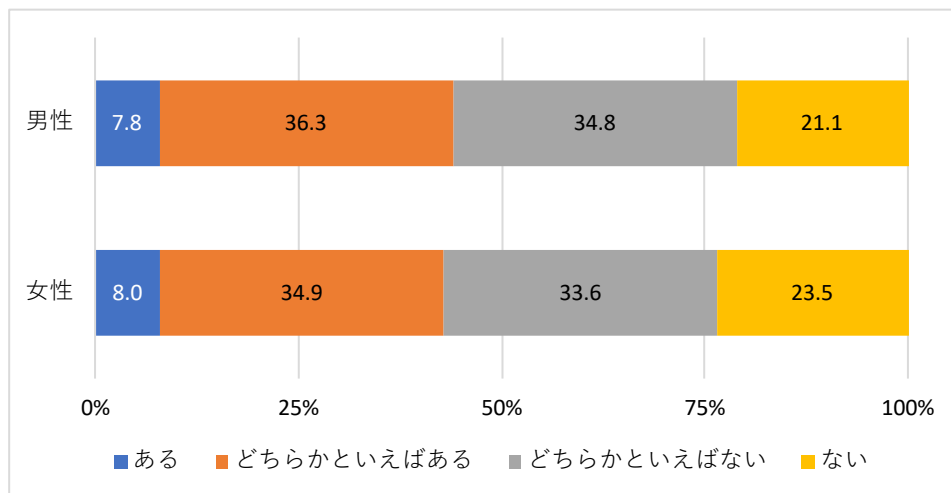




【クロス集計結果】

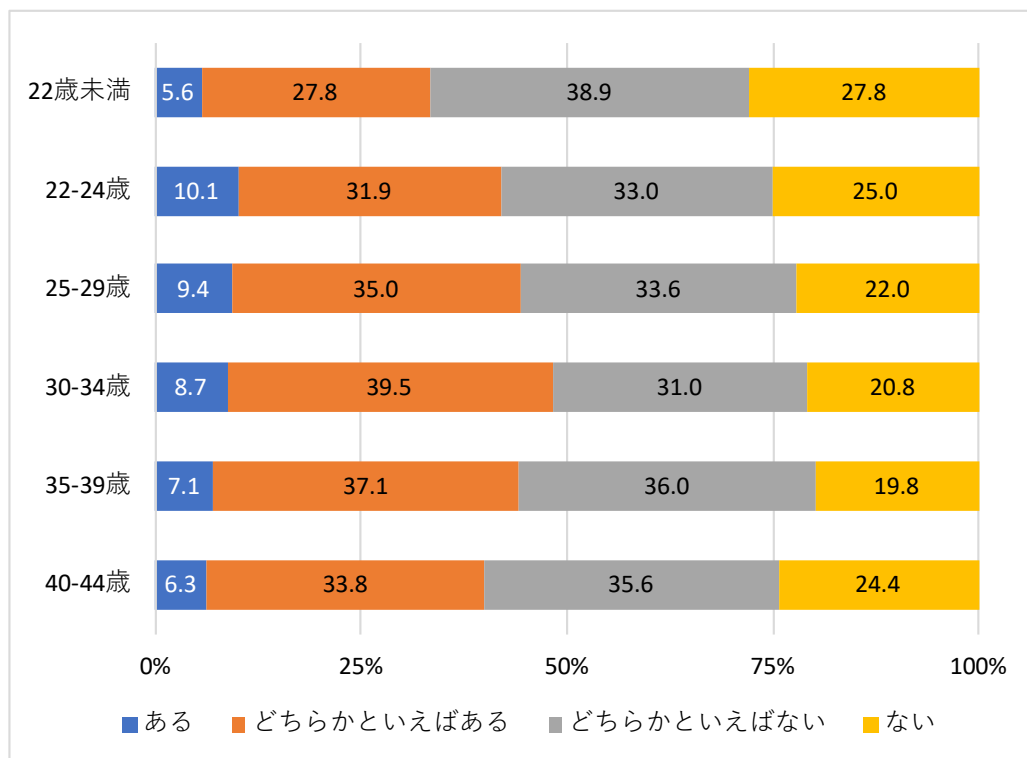
a) 性別

図表 135 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか(性別)



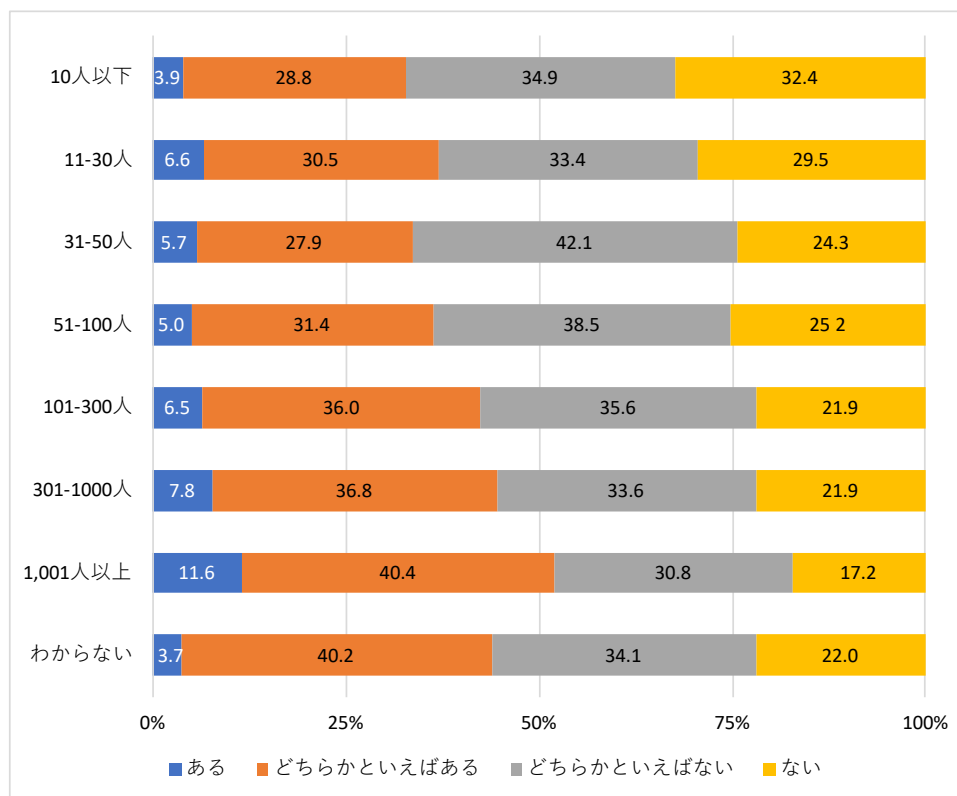
b) 年齢

図表 136 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか(年齢別)



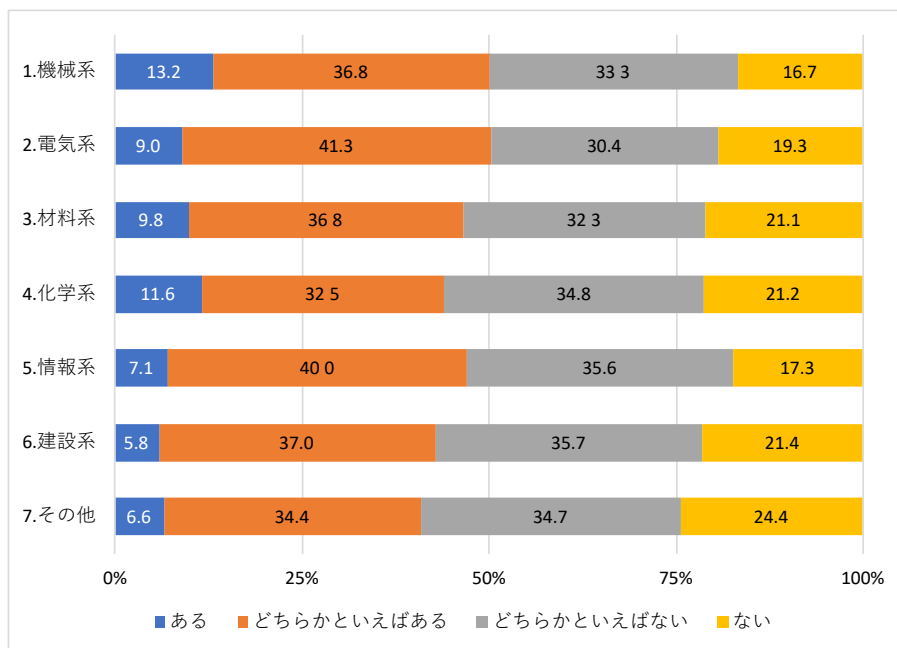
c) 従業員数

図表 137 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか(従業員数別)



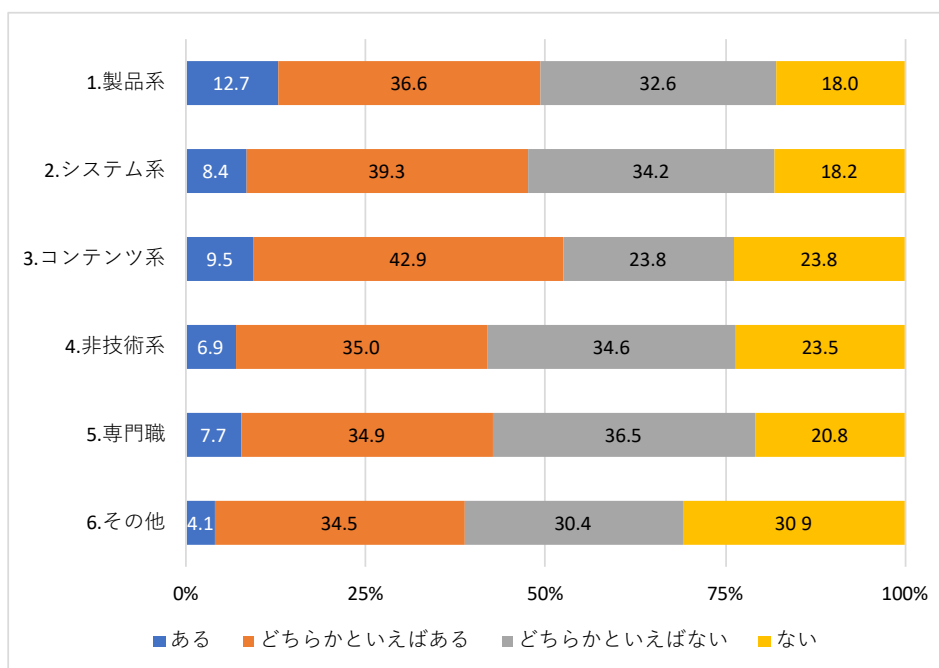
d) 業種

図表 138 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか(業種別)



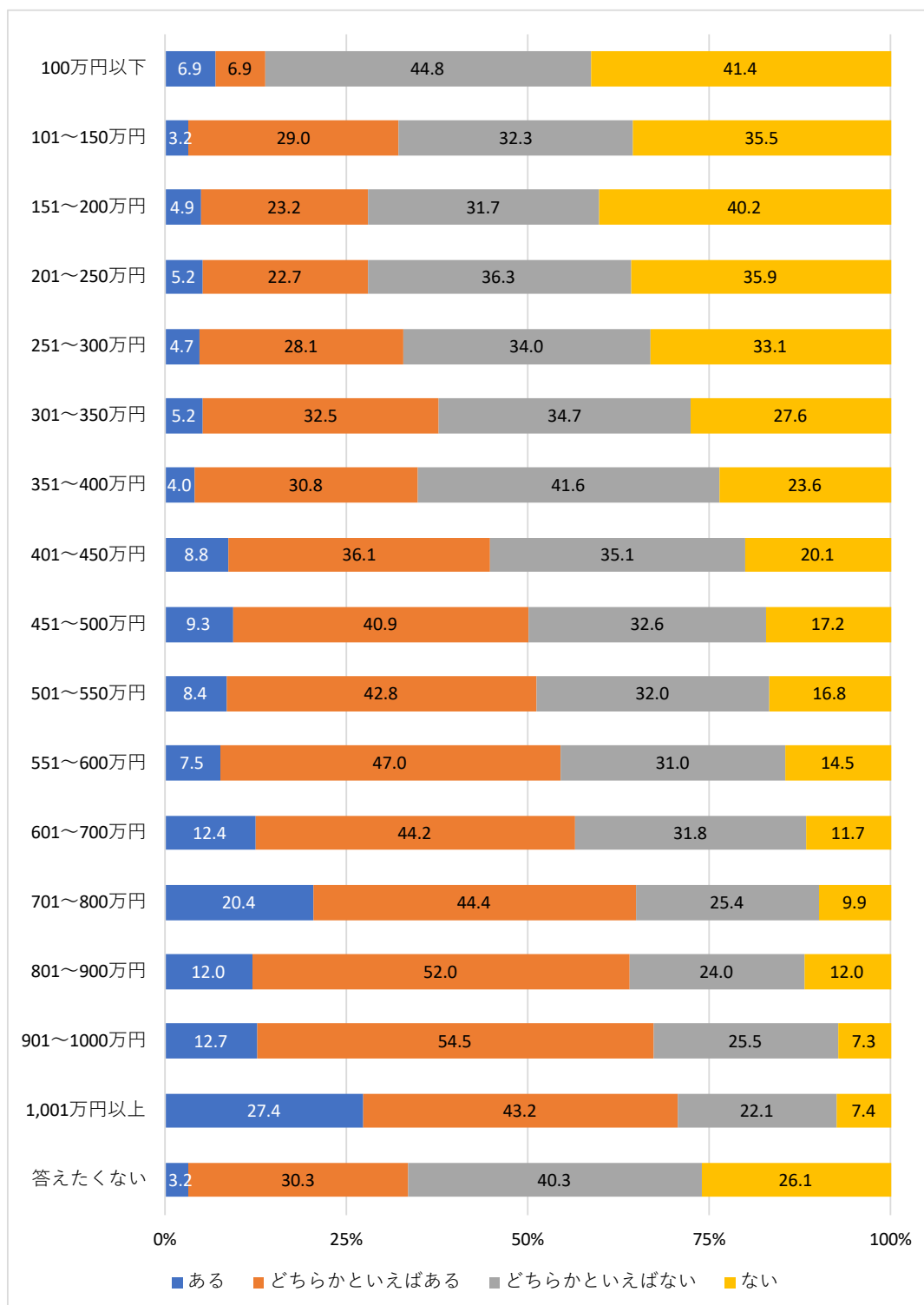
e) 職種

図表 139 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか(職種別)



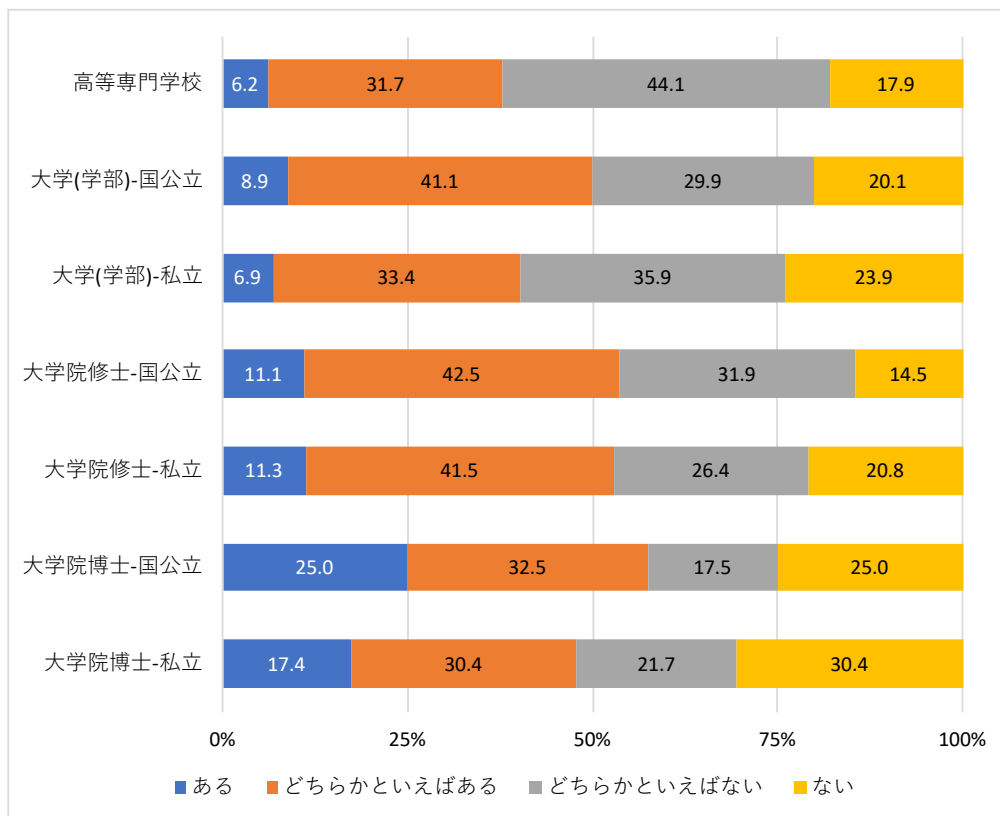
f) 年収

図表 140 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか(年収別)



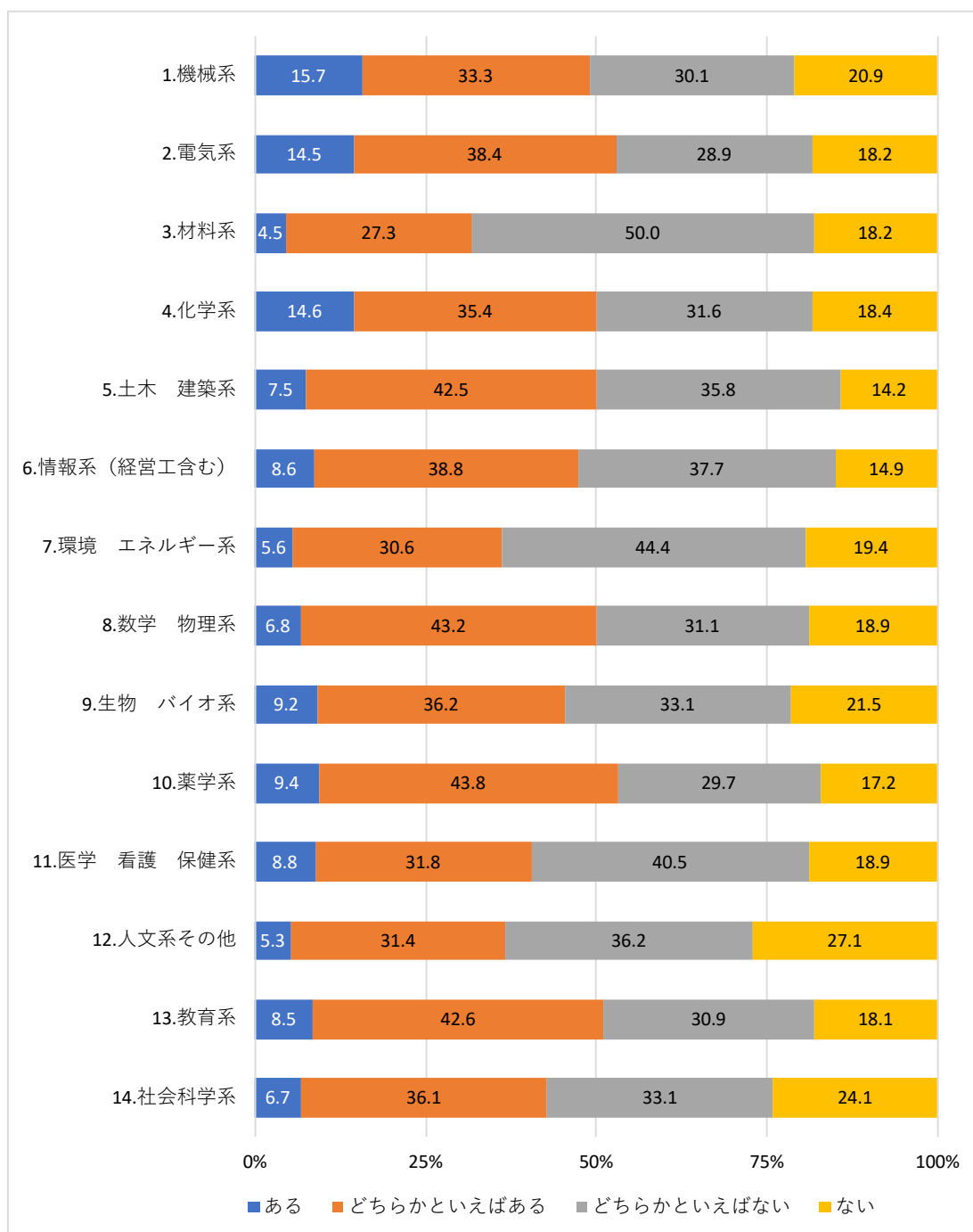
g) 最終学歴

図表 141 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか(最終学歴別)



## h) 学部・学科

図表 142 業務において、給与・収入に対する満足感を持っているか(学部・学科別)



問22 問21-1～21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶならどんな方法が考えられますか。有効であると思われる方法をいくつでもお選びください。また、あなたが実際にその方法で学ぶとした際の費用負担について、あなたのお考えを1つお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

(学ぶ方法)

1. 自社内での研修
2. 外部教育機関(大学を除く、研修機関・専門学校等)での学習
3. インターネットなどを利用したオンライン講座(放送大学や MOOCs<※>も)の履修
4. 大学(院)の授業の科目ごとの履修
5. 大学(院)での短期集中型プログラムの履修
6. 社会人大学院修士課程での履修
7. 社会人大学院博士課程での履修
8. 退社しての修士課程への進学
9. 退社しての博士課程への進学
10. 参考書などを活用しての独学
11. 自主的な勉強会・研究会への参加(社内・社外、特別講演会やセミナー、外部交流会、学会・研究会等)

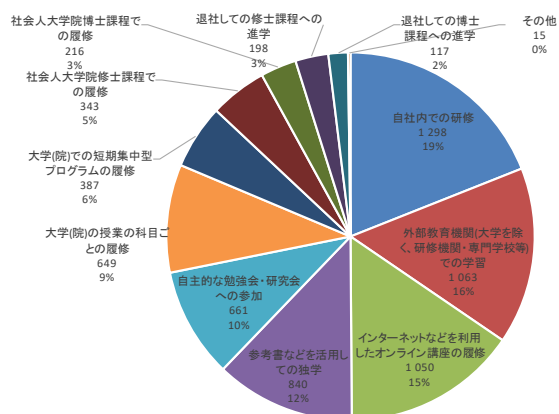
(費用負担)

1. 全額、勤め先や公的給付金等による費用負担があるなら学ぶ
2. 一部、勤め先や公的給付金等による費用負担があるなら学ぶ
3. 全額自己負担であっても学ぶ
4. その他

(1) 学ぶ方法

【単純集計結果】

図表 143 問21-1～21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか

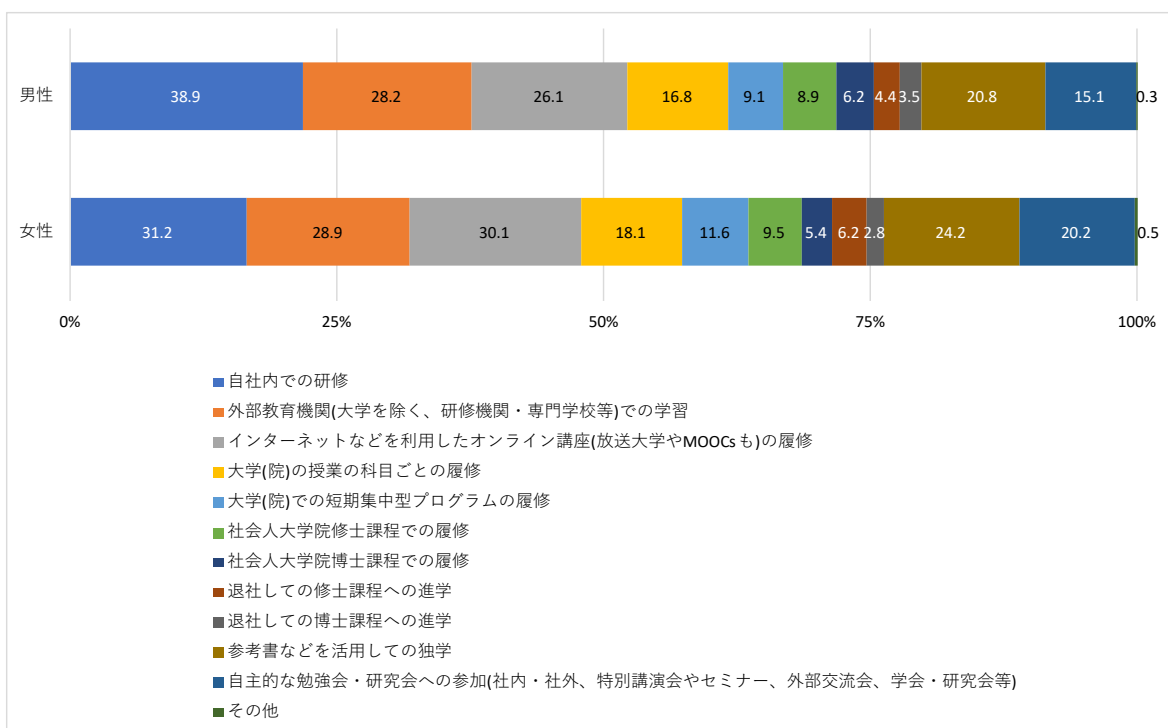




【クロス集計結果】

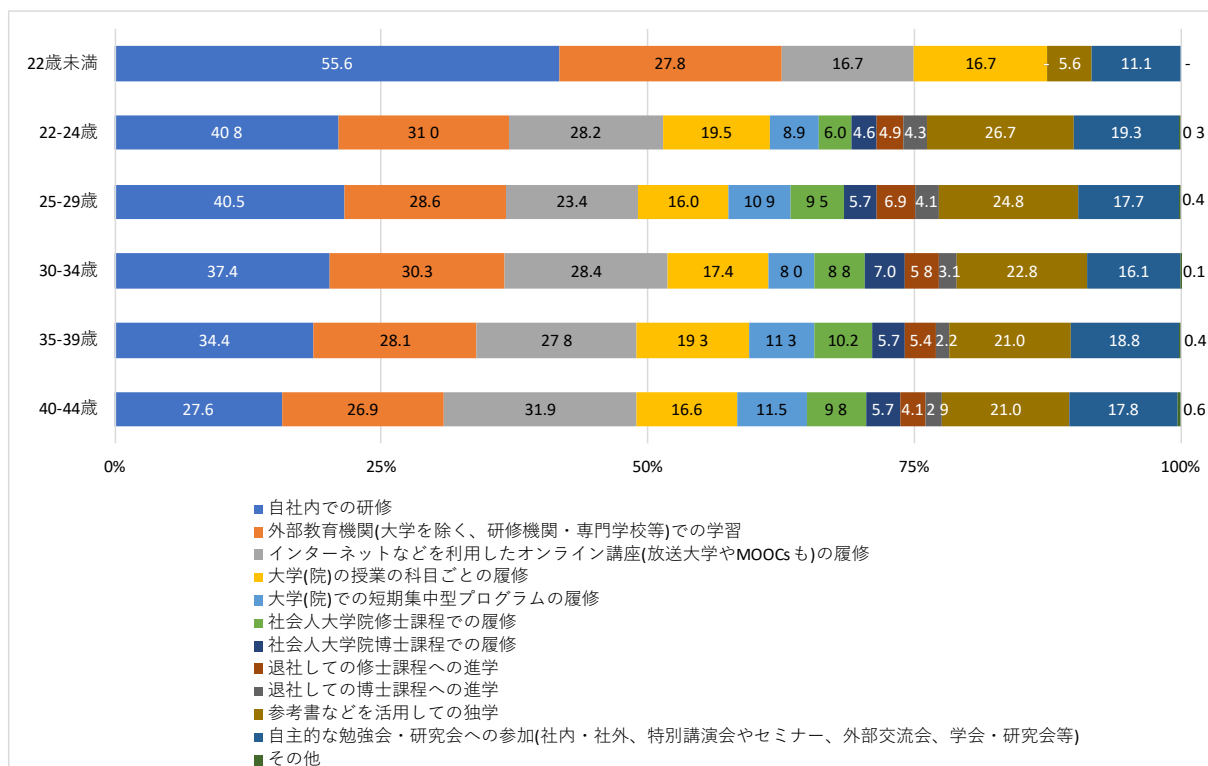
a) 性別

図表 144 問21-1～21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか(性別)



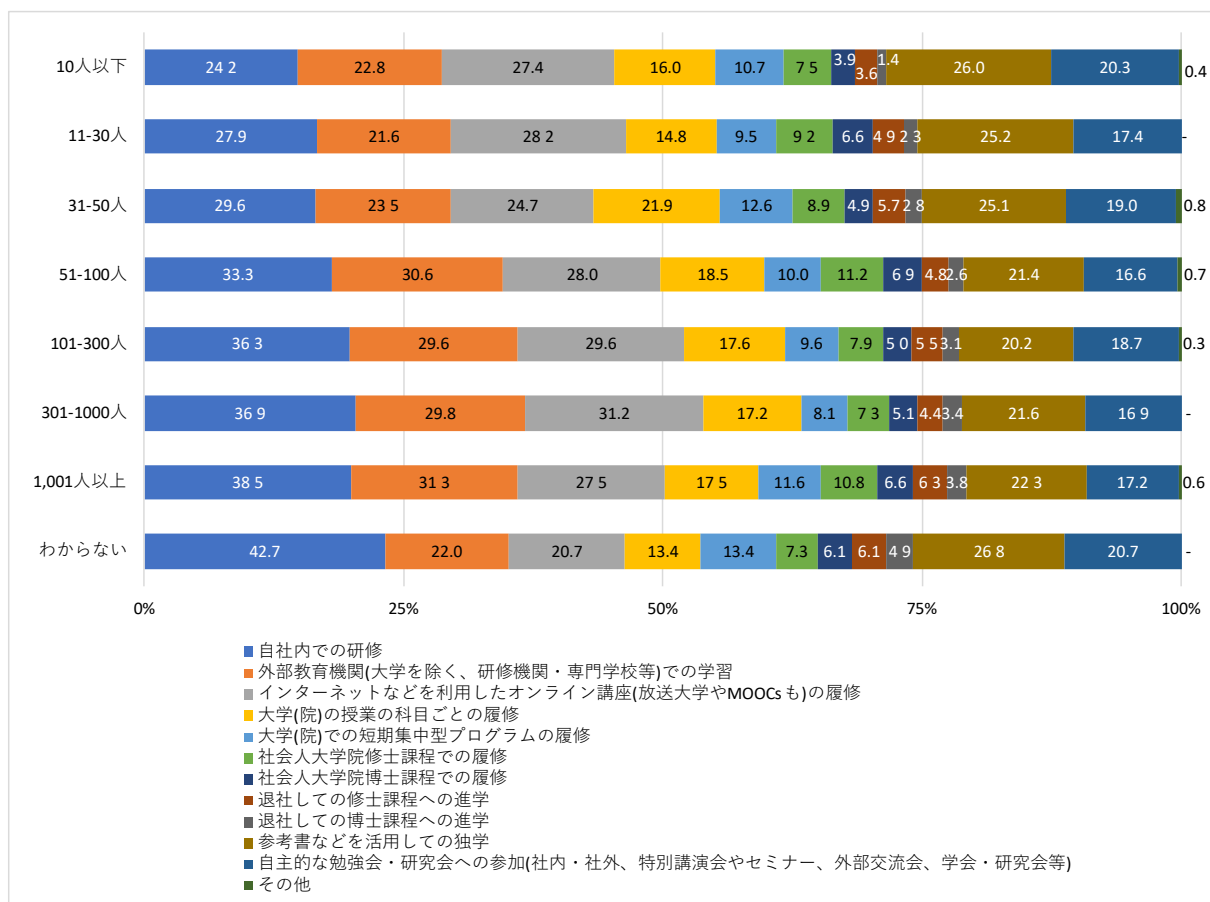
b) 年齢

図表 145 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか(年齢別)



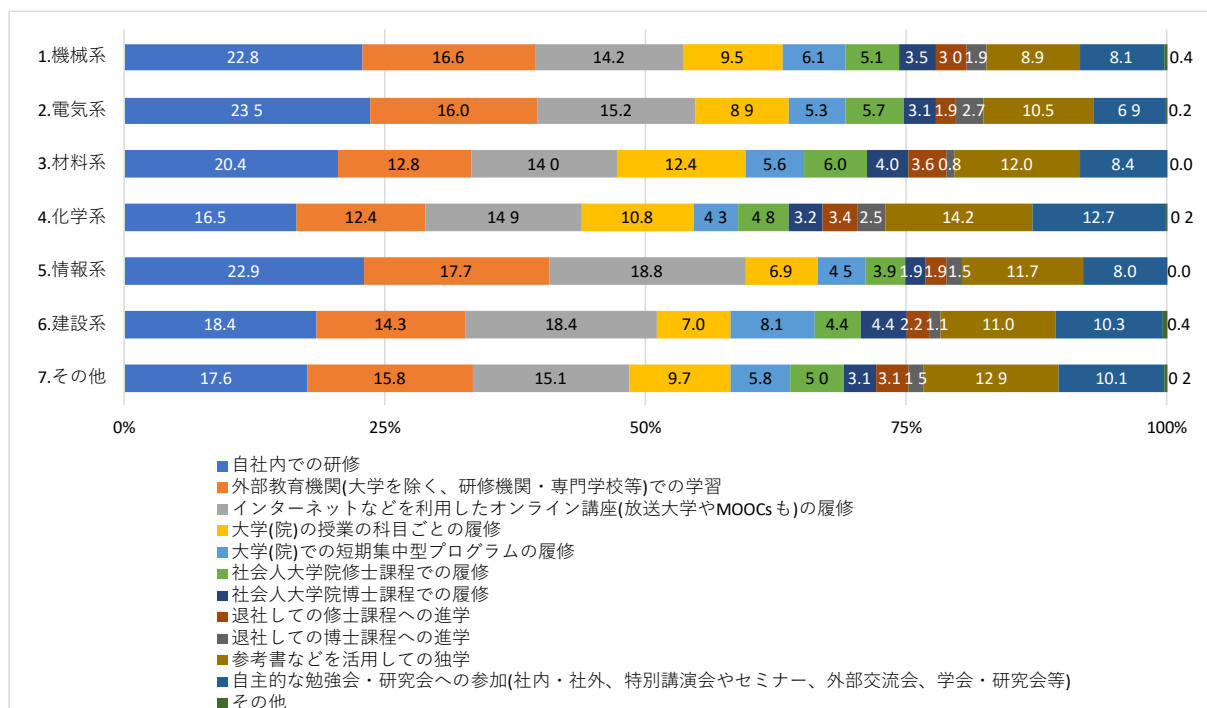
c) 従業員数

図表 146 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか。(従業員別)



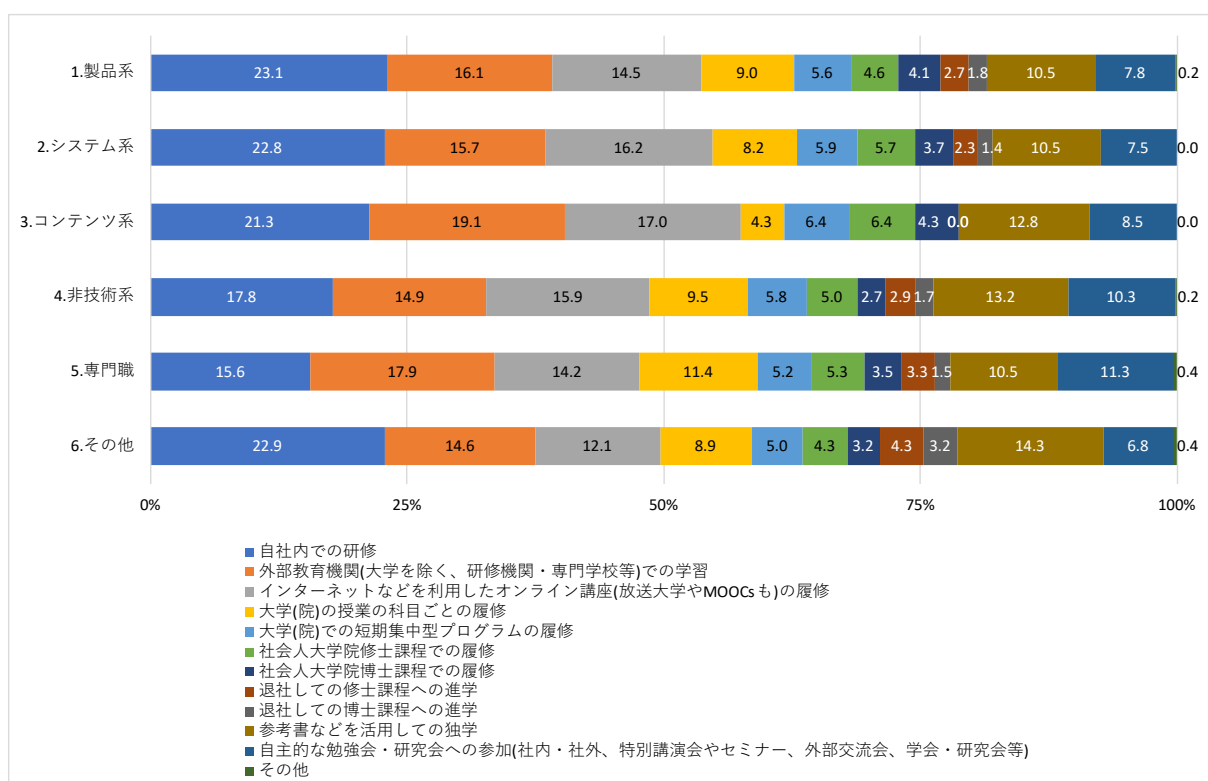
d) 業種

図表 147 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか。(業種別)



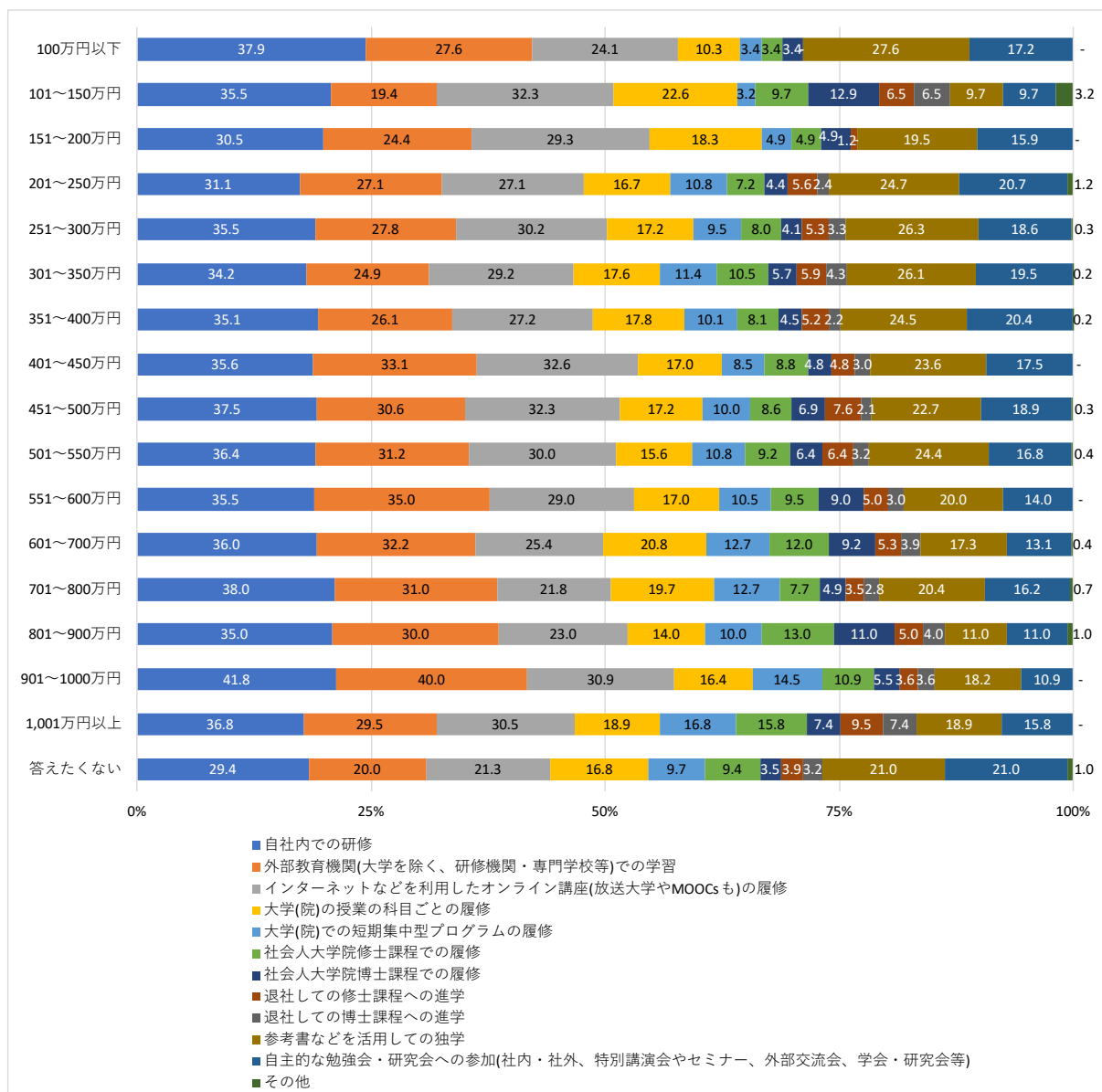
e) 職種

図表 148 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか。(職種別)



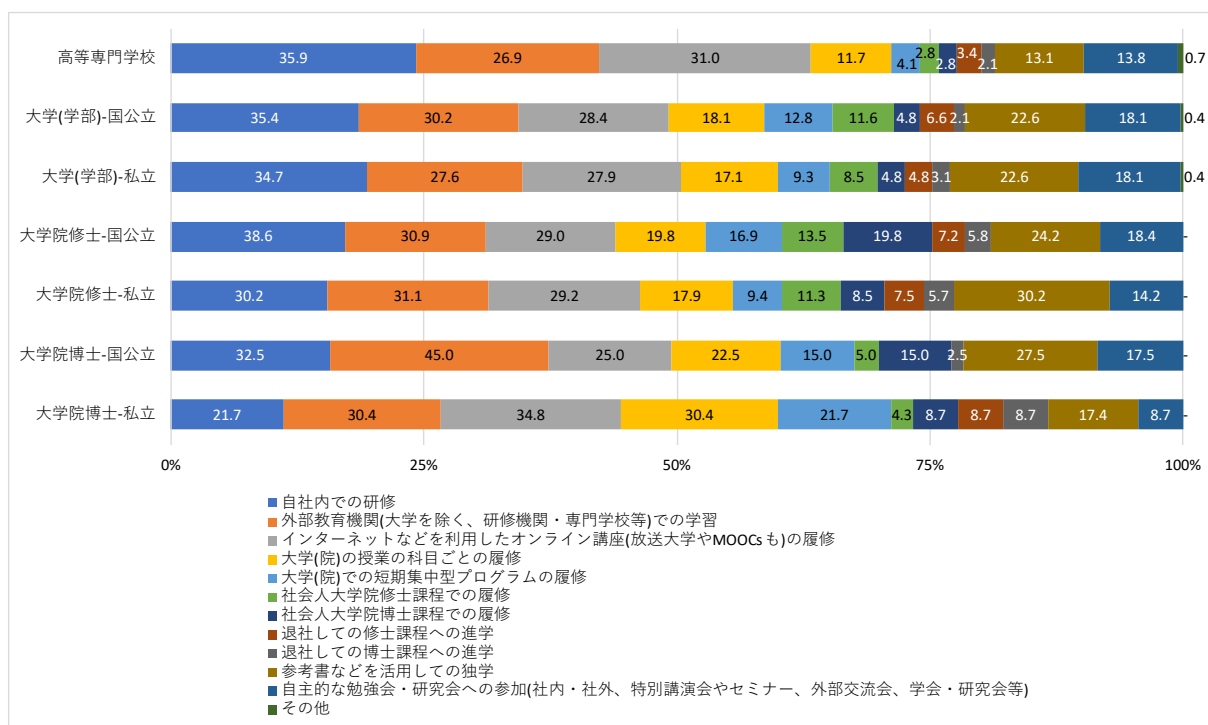
f) 年収

図表 149 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか。(年収別)



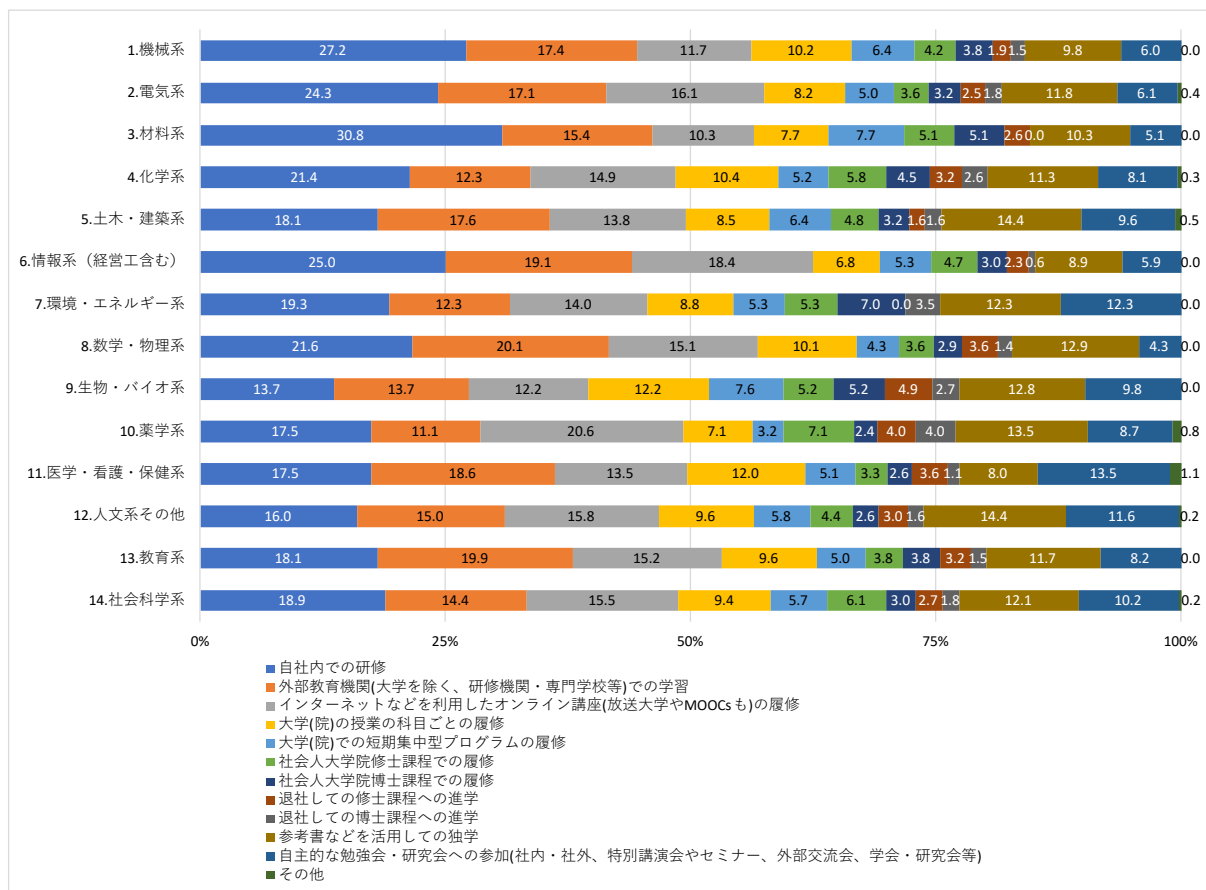
g) 最終学歴

図表 150 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか。(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 151 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶために有効であると思われる方法は何になると思うか。(学部・学科別)

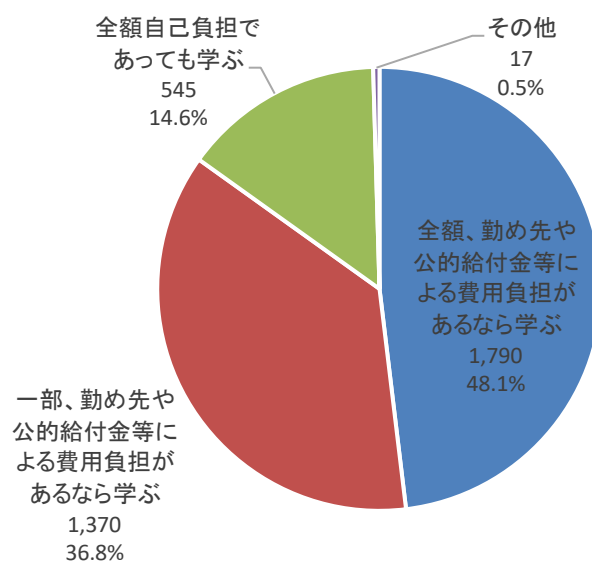




(2) 費用負担

【単純集計結果】

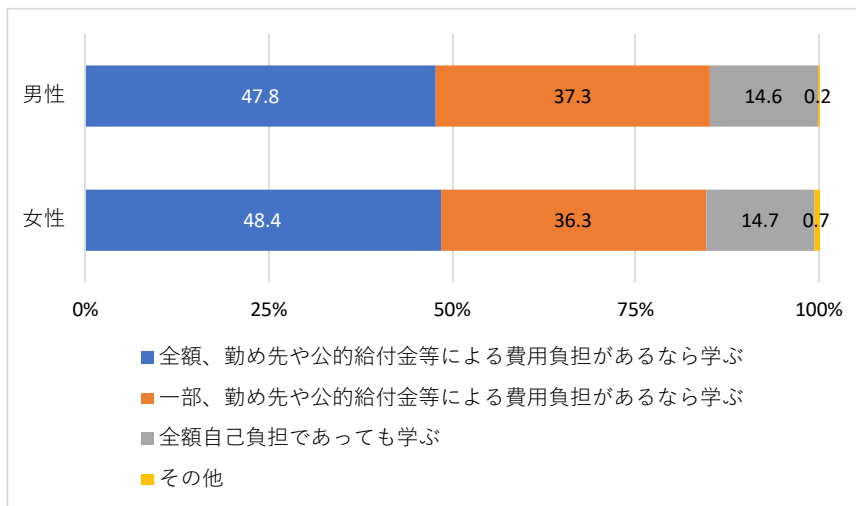
図表 152 問21-1～21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか



【クロス集計結果】

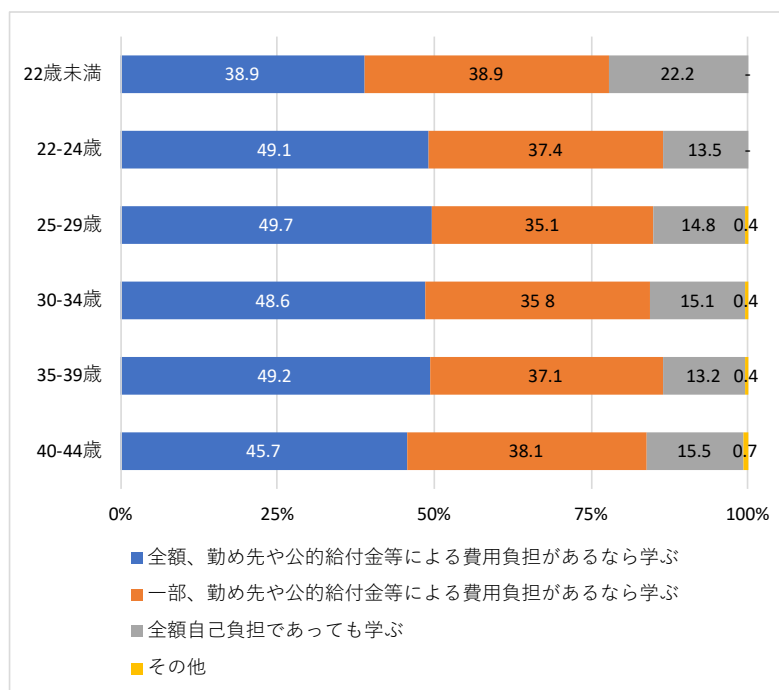
a) 性別

図表 153 問21-1～21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか(性別)



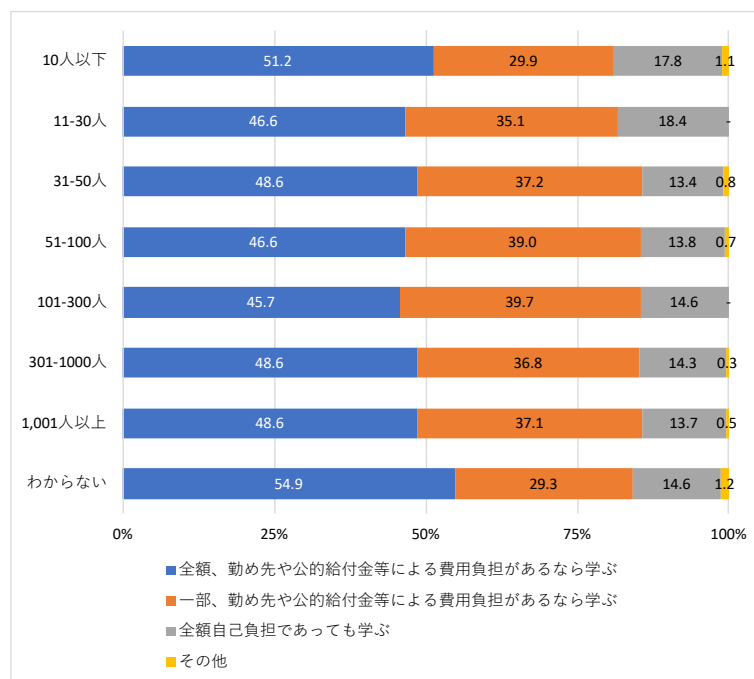
b) 年齢

図表 154 問21-1～21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか(年齢別)



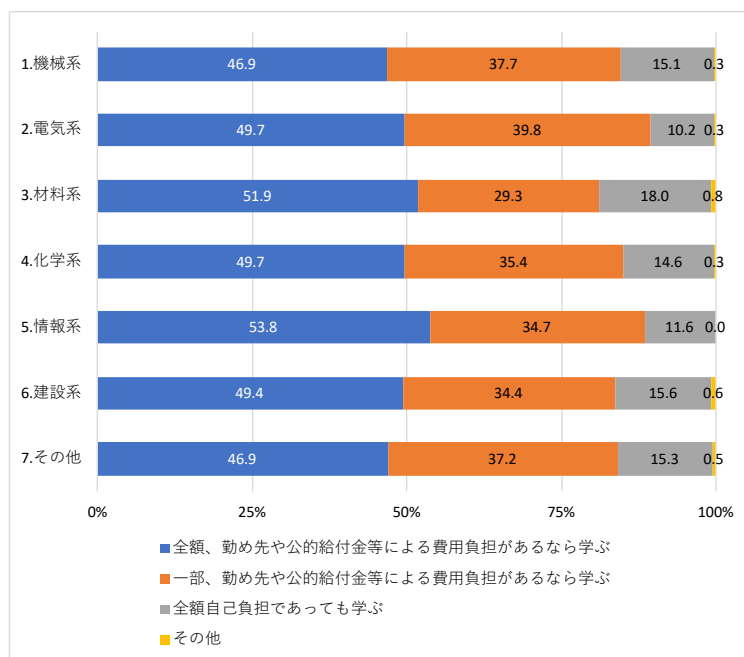
c) 従業員数

図表 155 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか(従業員数別)



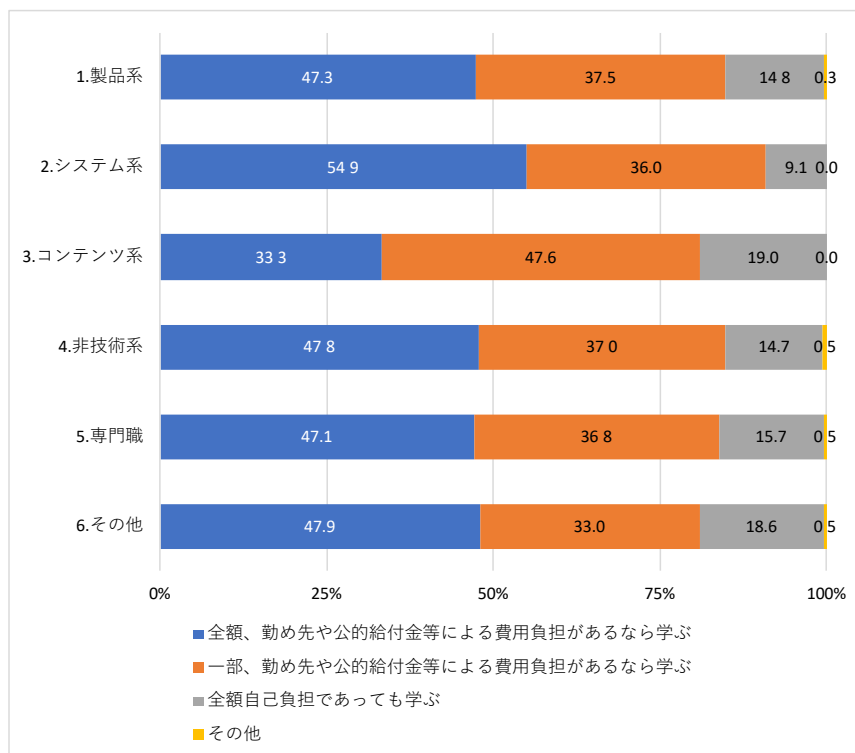
d) 業種

図表 156 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか(業種別)



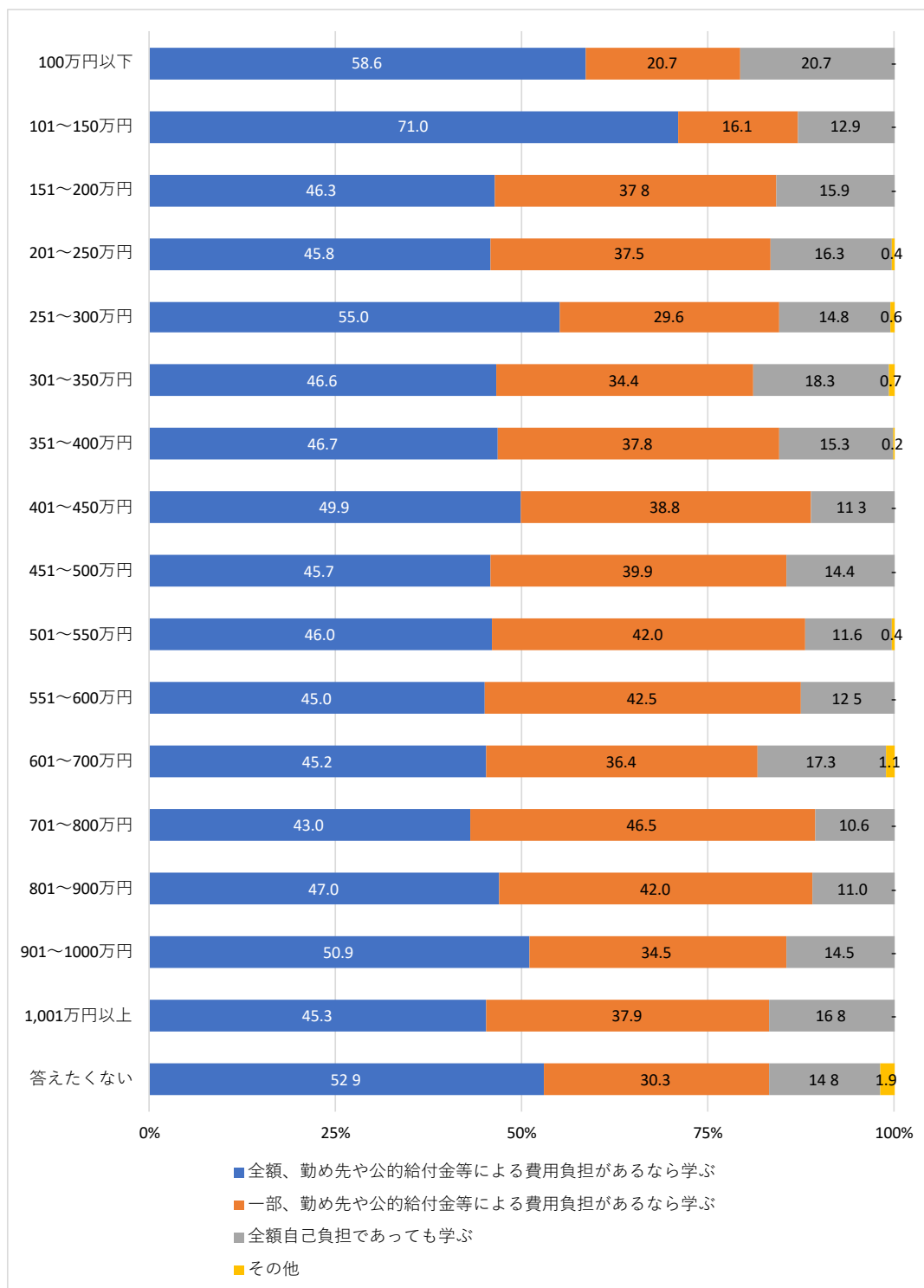
e) 職種

図表 157 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか(職種別)



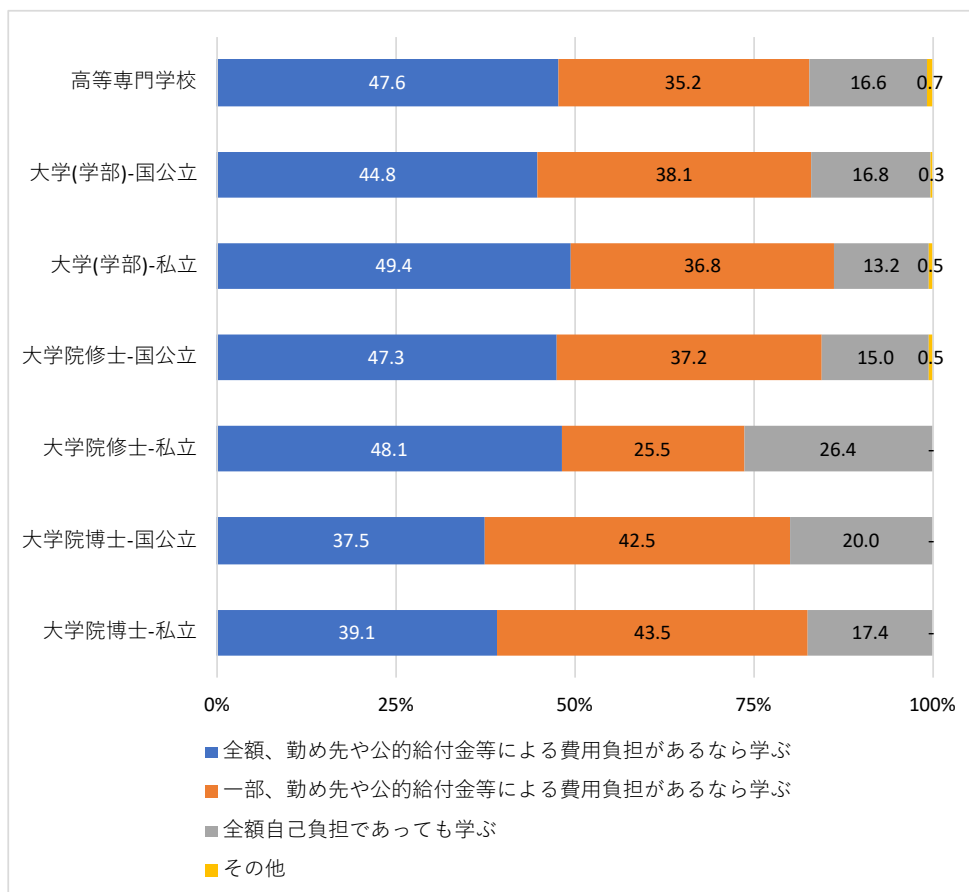
f) 年収

図表 158 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか(年収別)



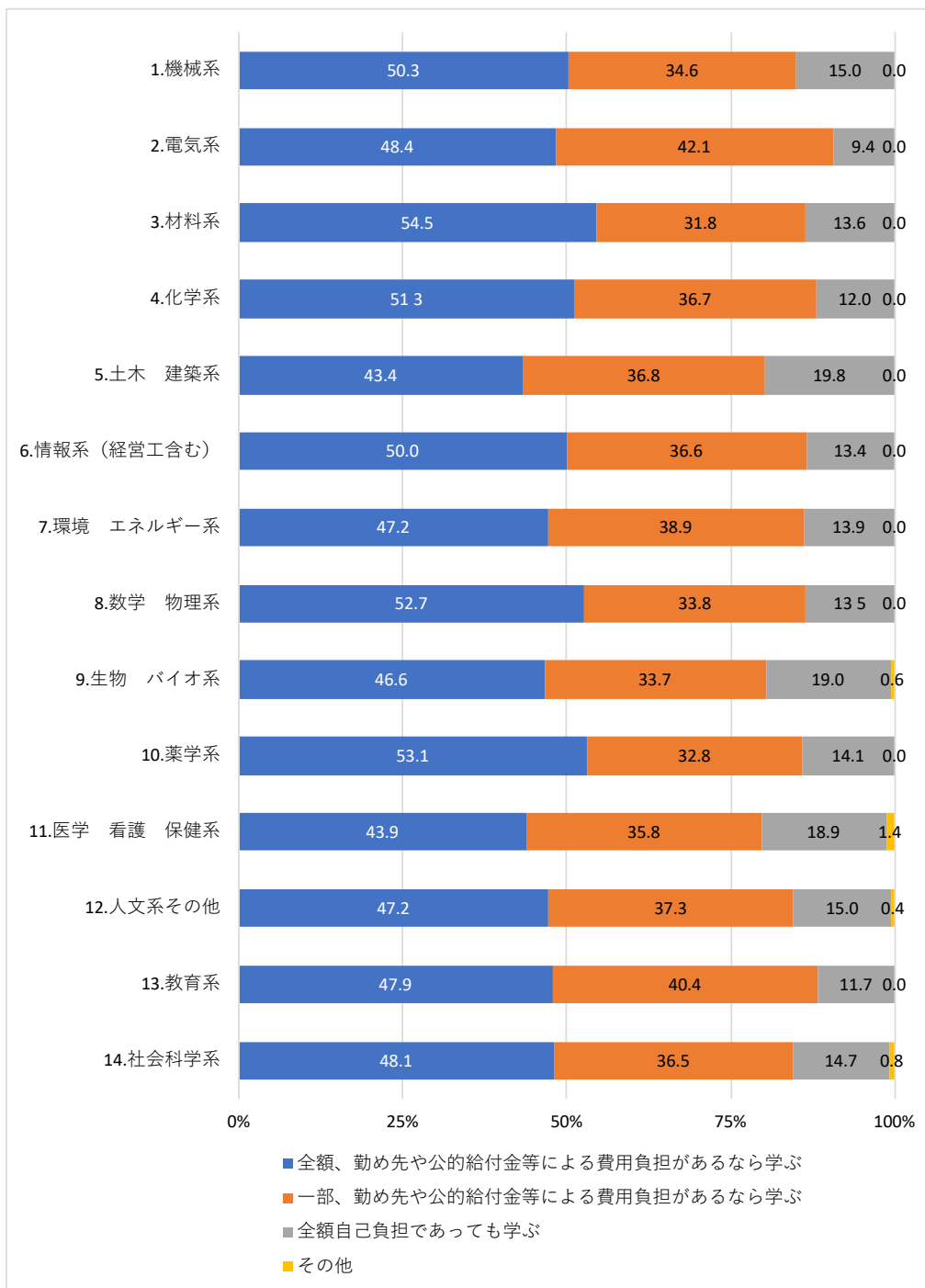
g) 最終学歴

図表 159 問21-1～21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 160 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶための費用負担について、どう考えるか(学部・学科別)



問23 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットとデメリットは、何だとお考えになりますか。該当するものを、いくつでもお選びください。

【選択肢】

(メリット)

1. 時間の自由が利く
2. 通勤中スマホ・タブレットでも見られる
3. 有名講師の良質講座が多い
4. 費用が安い
5. メニューが豊富である
6. 修了証書が出る
7. 入学・履修に対しての敷居が低い

(デメリット)

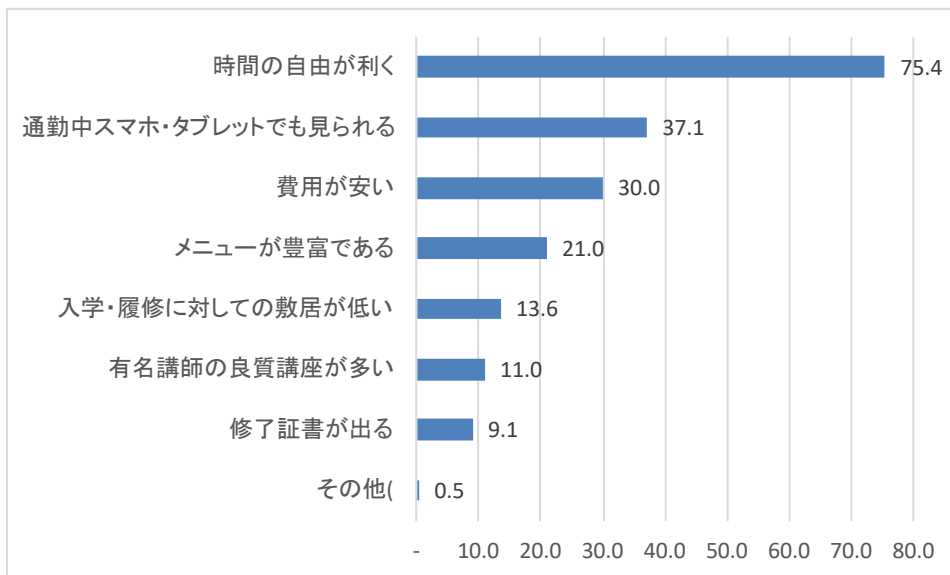
1. 学びたい(学ばせたい)講座がない、講座のメニューが豊富ではない
2. 産業界に必要な知識・スキルに関する講座が少ない
3. 実践的なスキル習得ができない
4. そもそもどんなオンライン講座があるのか探せない
5. 双方向ではないので学びや知識が深まらない
6. 学んだことが、仕事で評価されにくい(評価しにくい)
7. どのオンライン講座が良質なのか判断がつかない
8. 会社からの褒賞がない
9. 自己管理が必要で確実な履修が難しい
10. 費用が高い



(1) メリット

【単純集計結果】

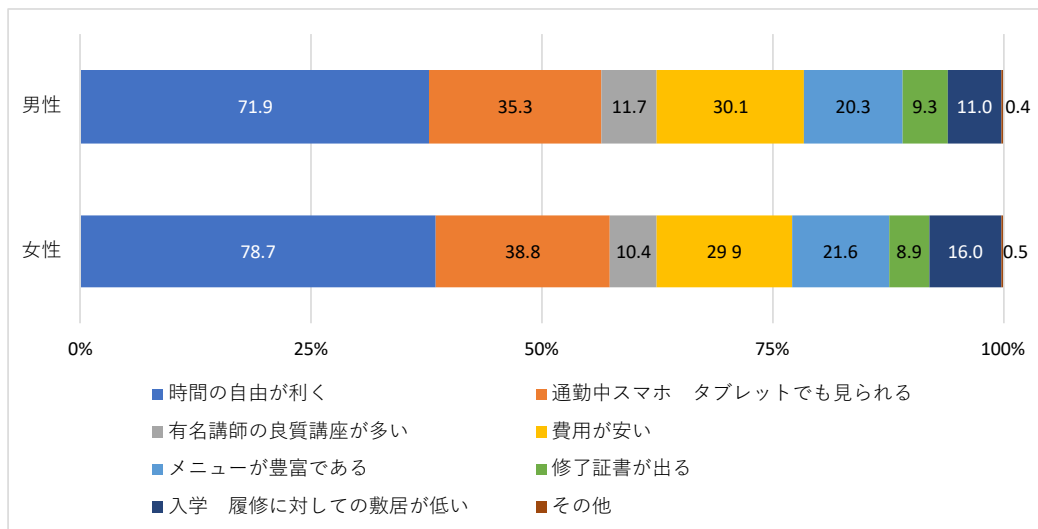
図表 161 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か



【クロス集計結果】

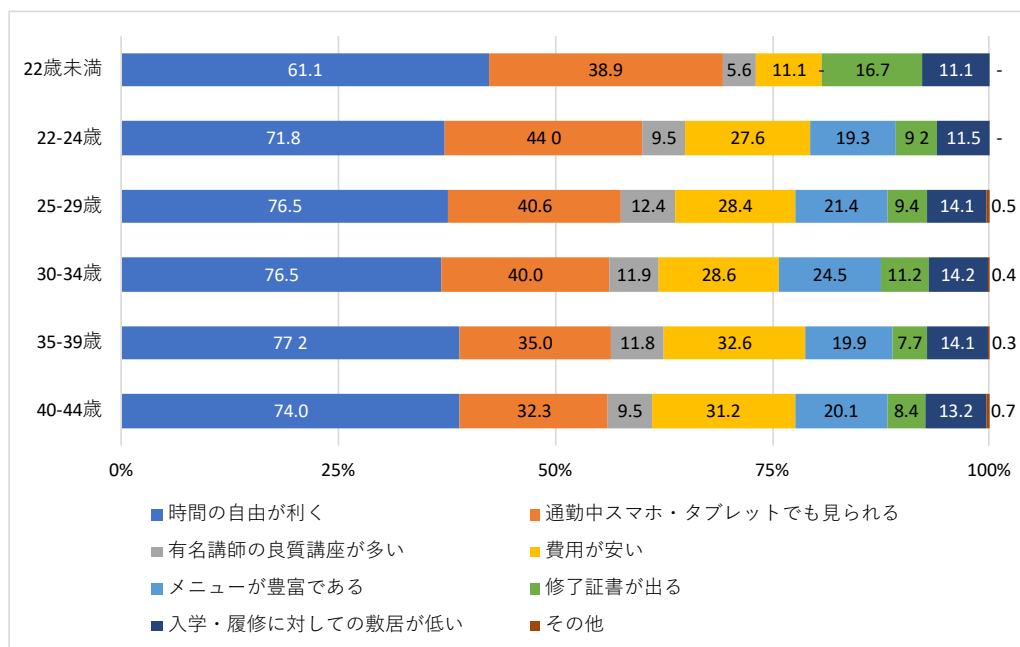
a) 性別

図表 162 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か(性別)



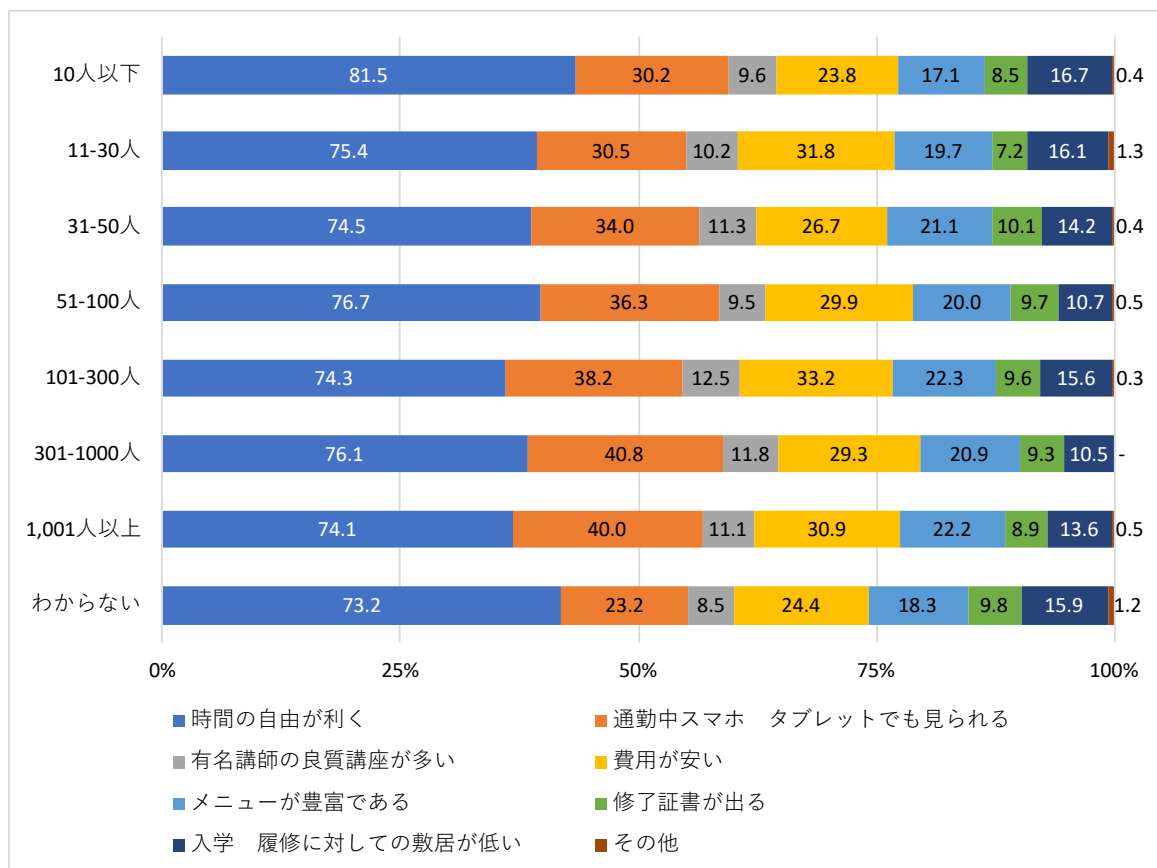
b) 年齢

図表 163 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か(年齢別)



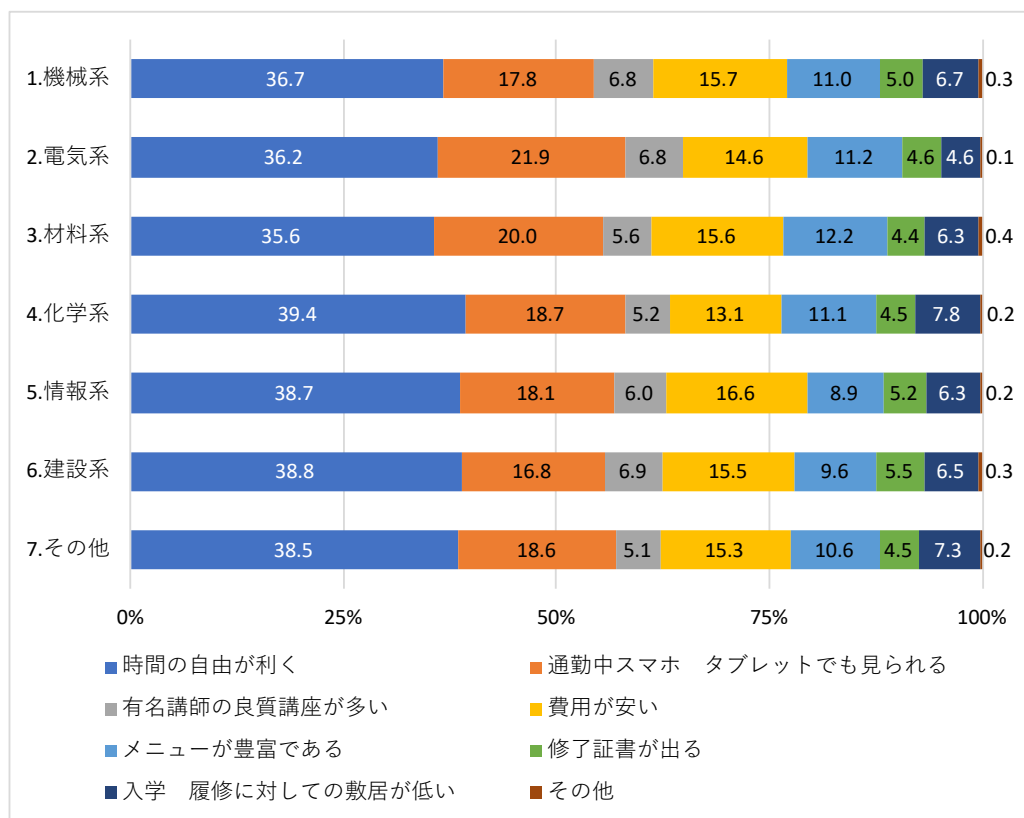
c) 従業員数

図表 164 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か(従業員別)



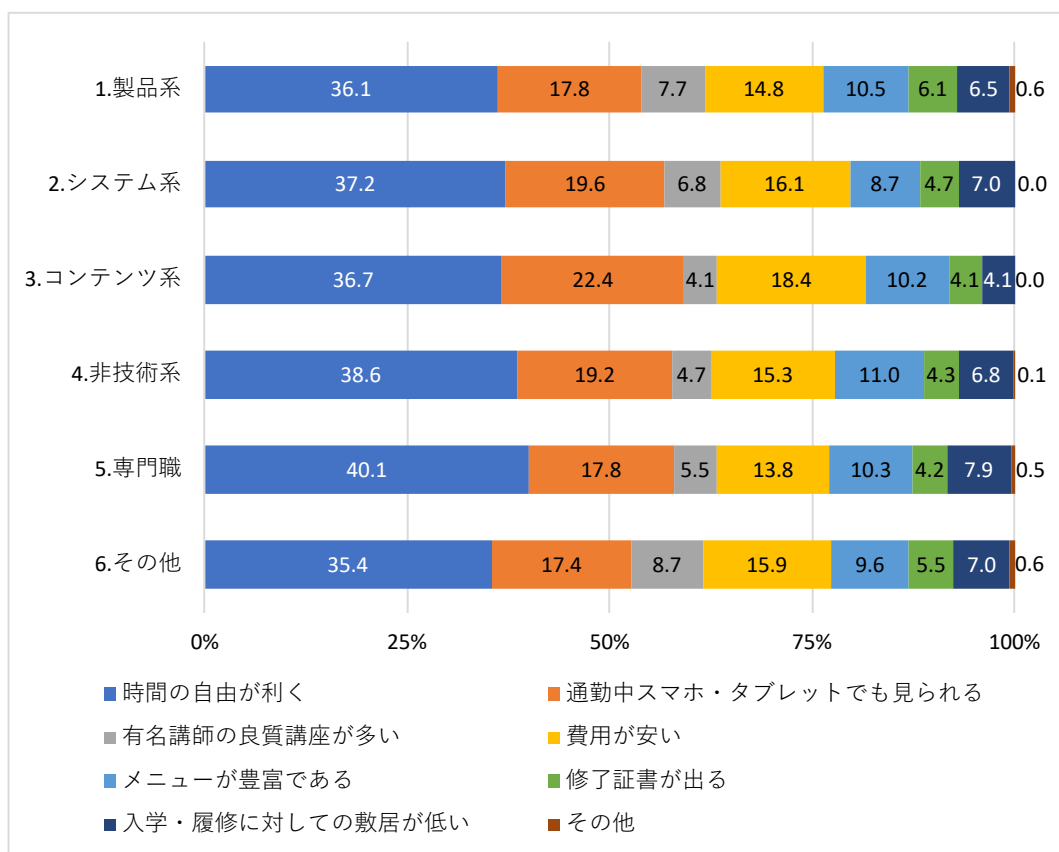
d) 業種

図表 165 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か(業種別)



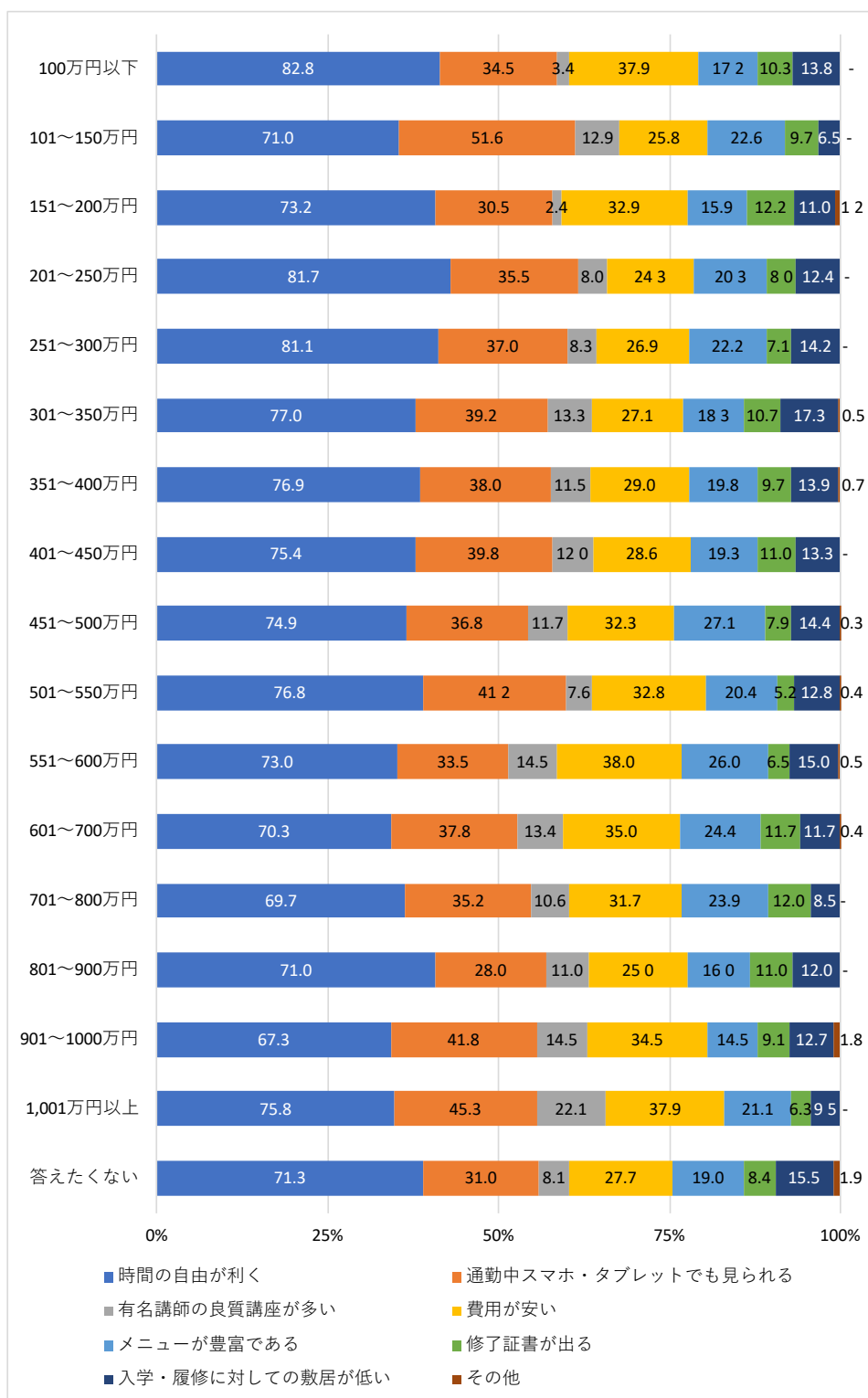
e) 職種

図表 166 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か(職種別)



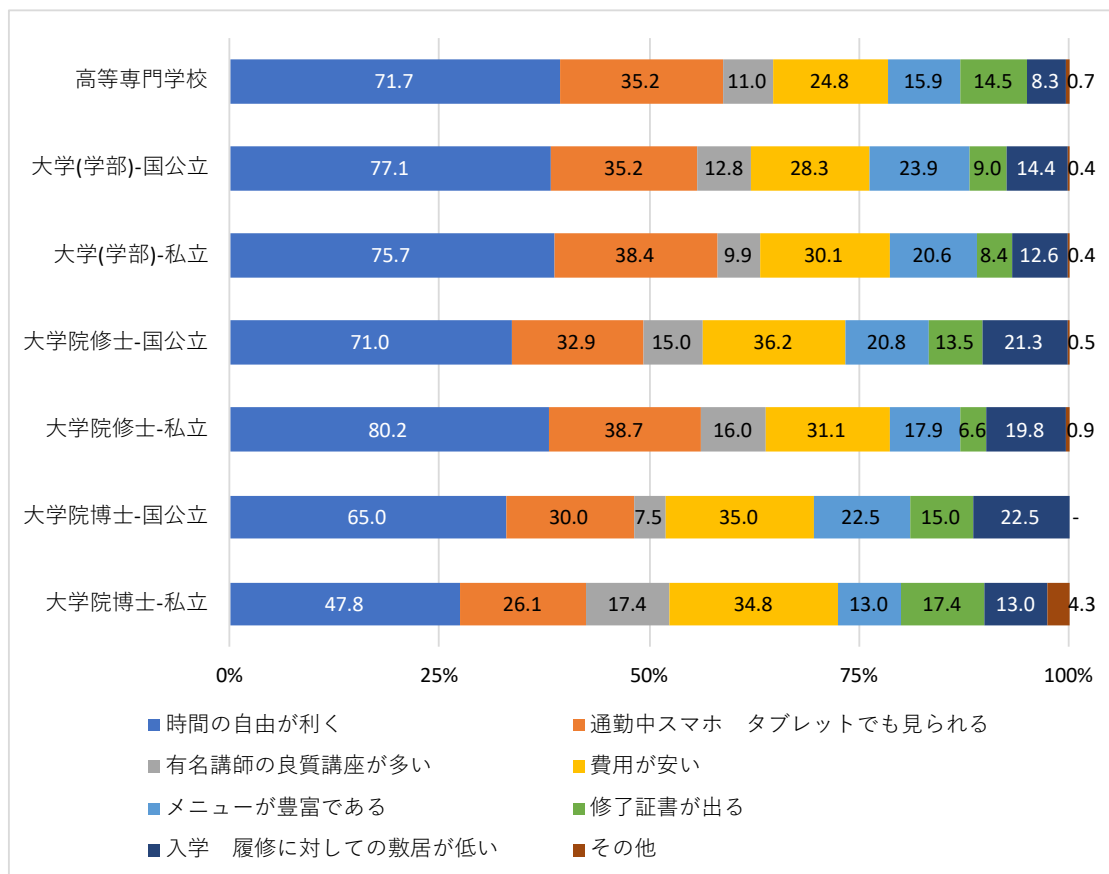
f) 年収

図表 167 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か(年収別)



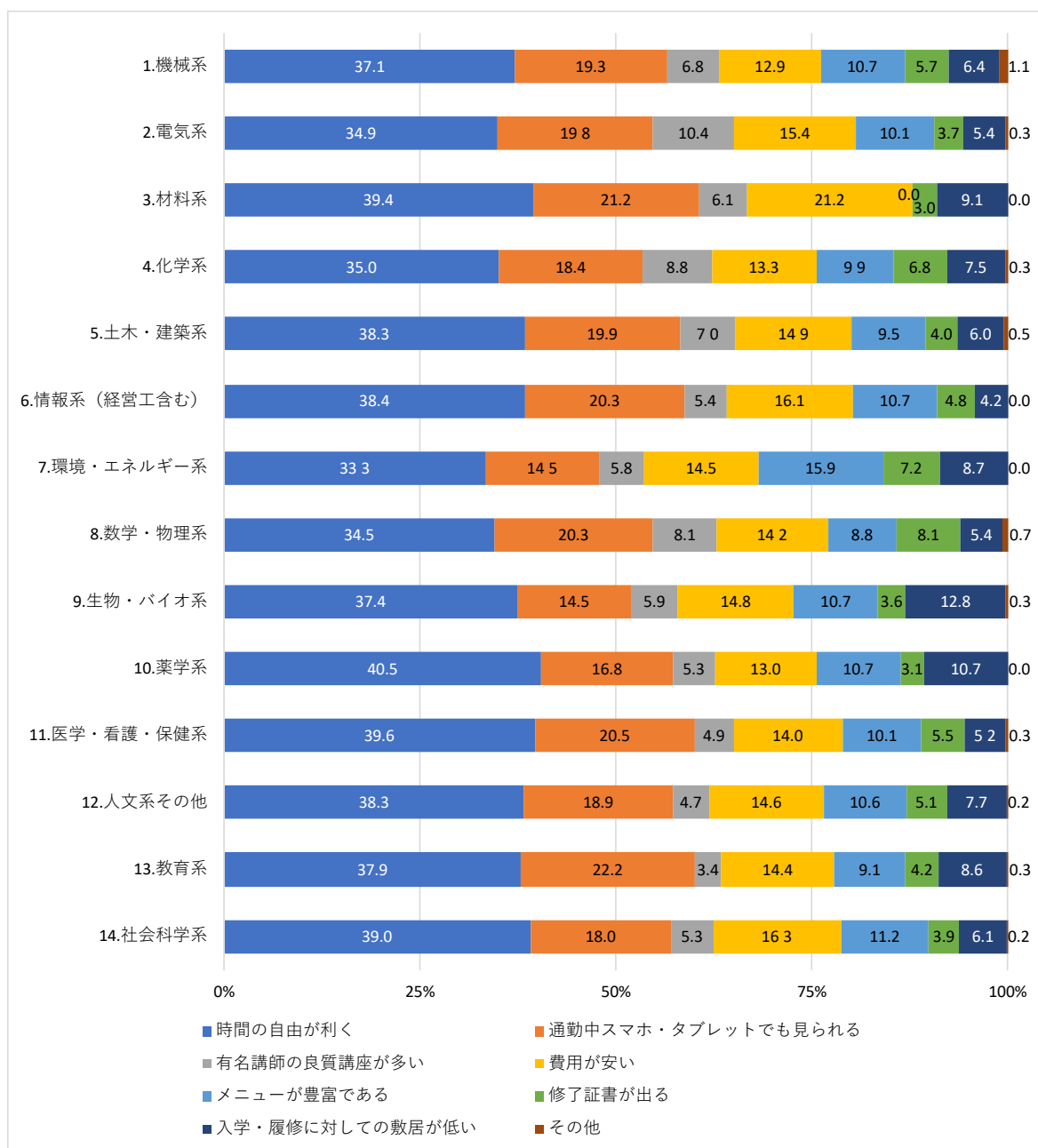
g) 最終学歴

図表 168 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か(最終学歴別)



## h) 学部・学科

図表 169 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットは何か(学部・学科別)

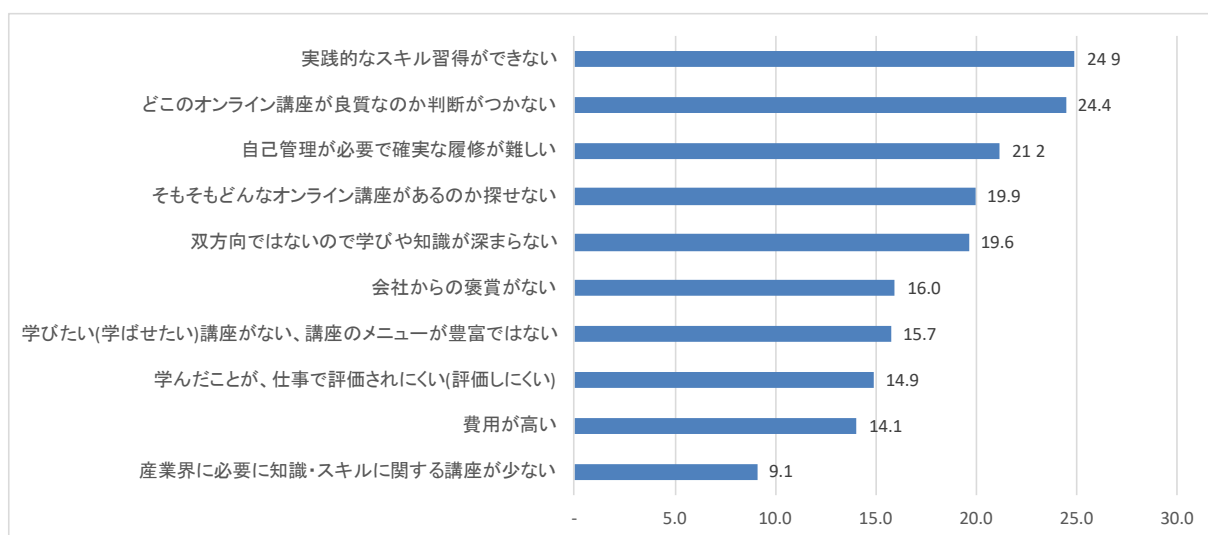




## (2) デメリット

### 【単純集計結果】

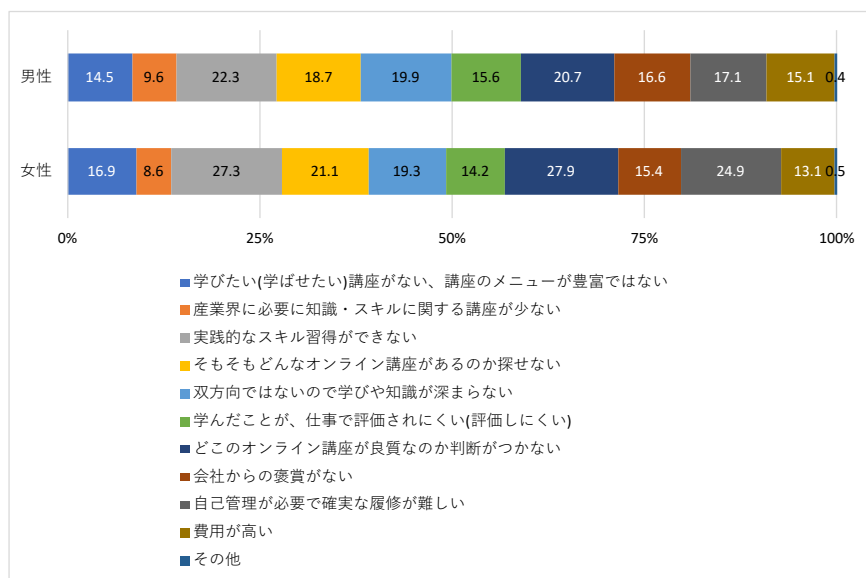
図表 170 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か



【クロス集計結果】

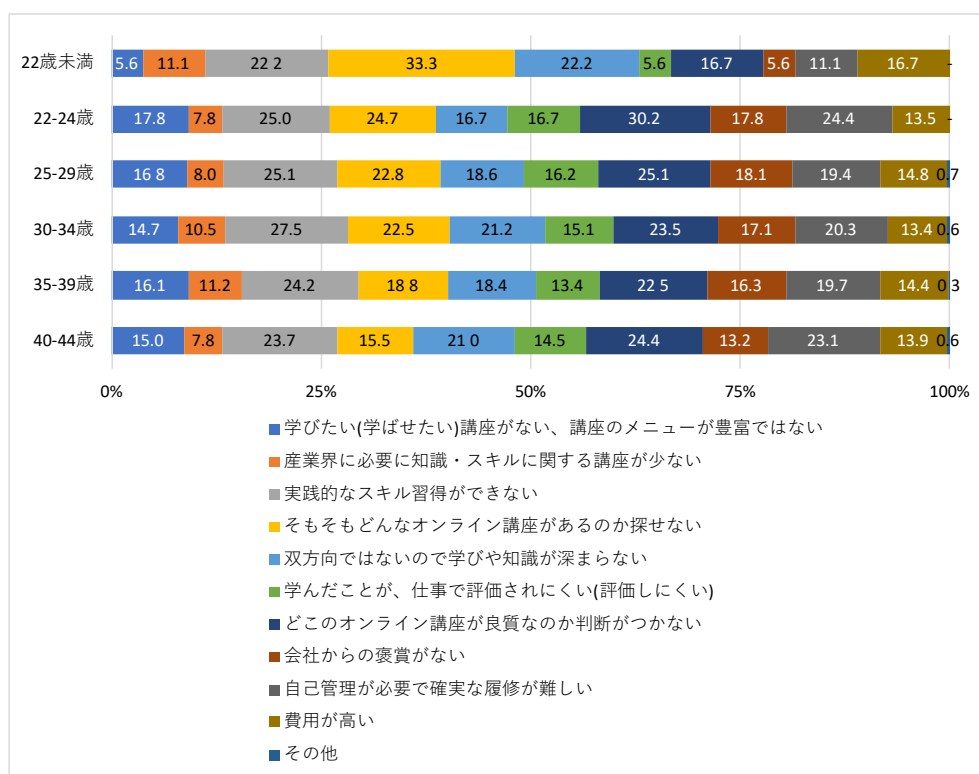
a) 性別

図表 171 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か(性別)



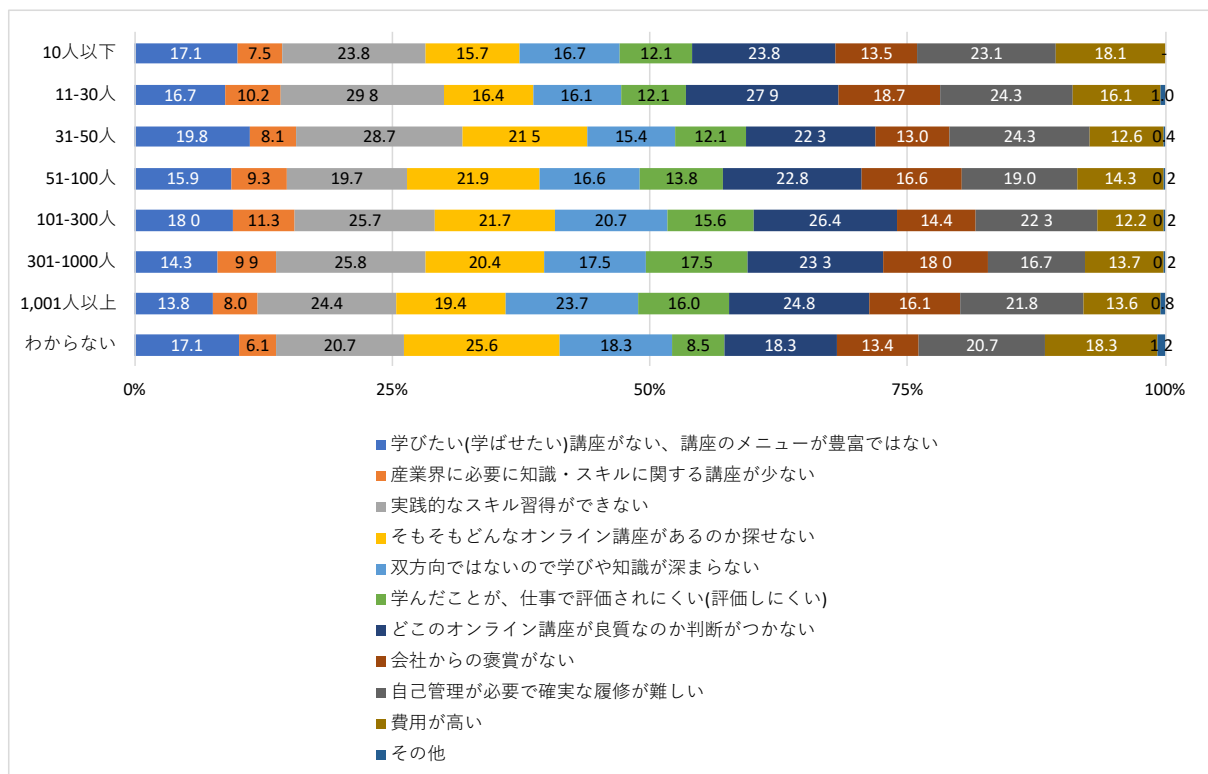
b) 年齢

図表 172 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か(年齢別)



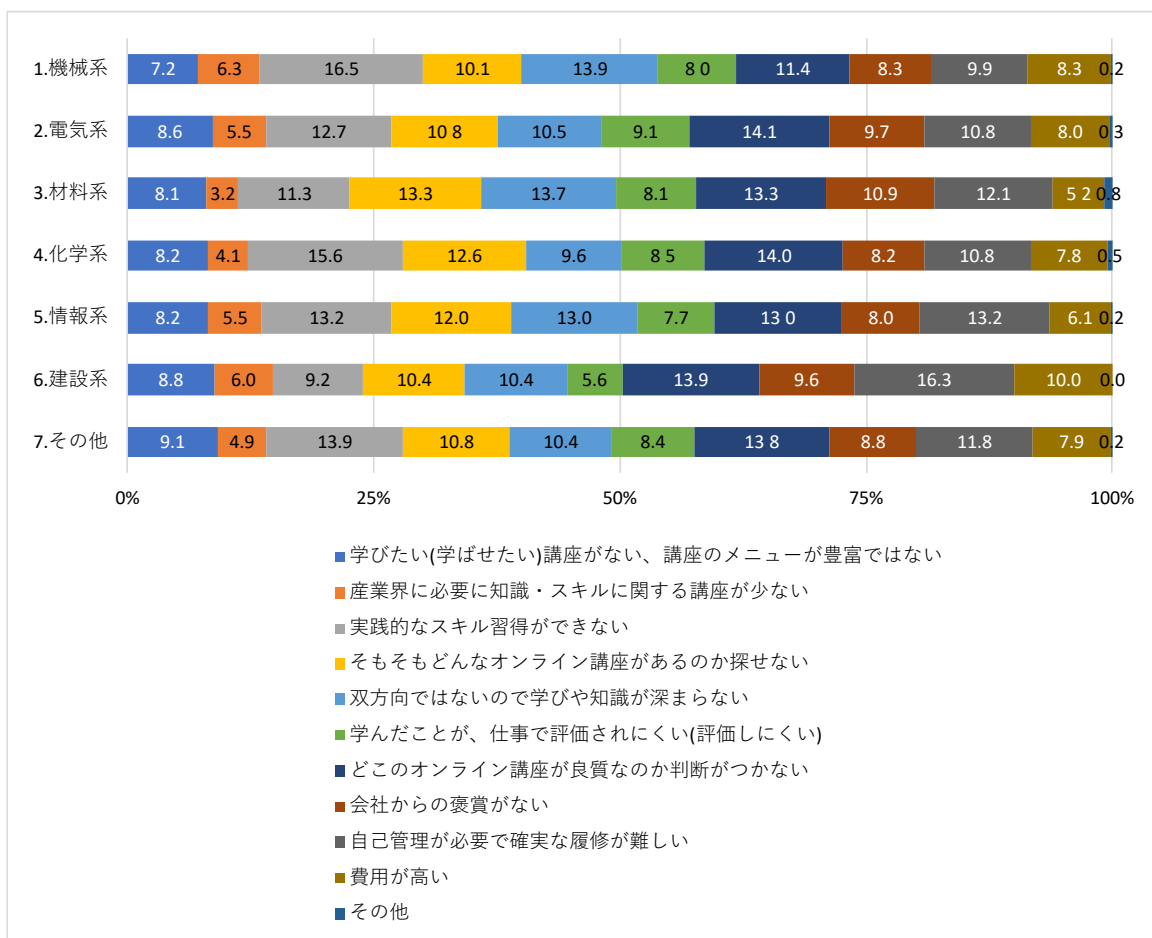
c) 従業員数

図表 173 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か(従業員数別)



d) 業種

図表 174 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か(業種別)



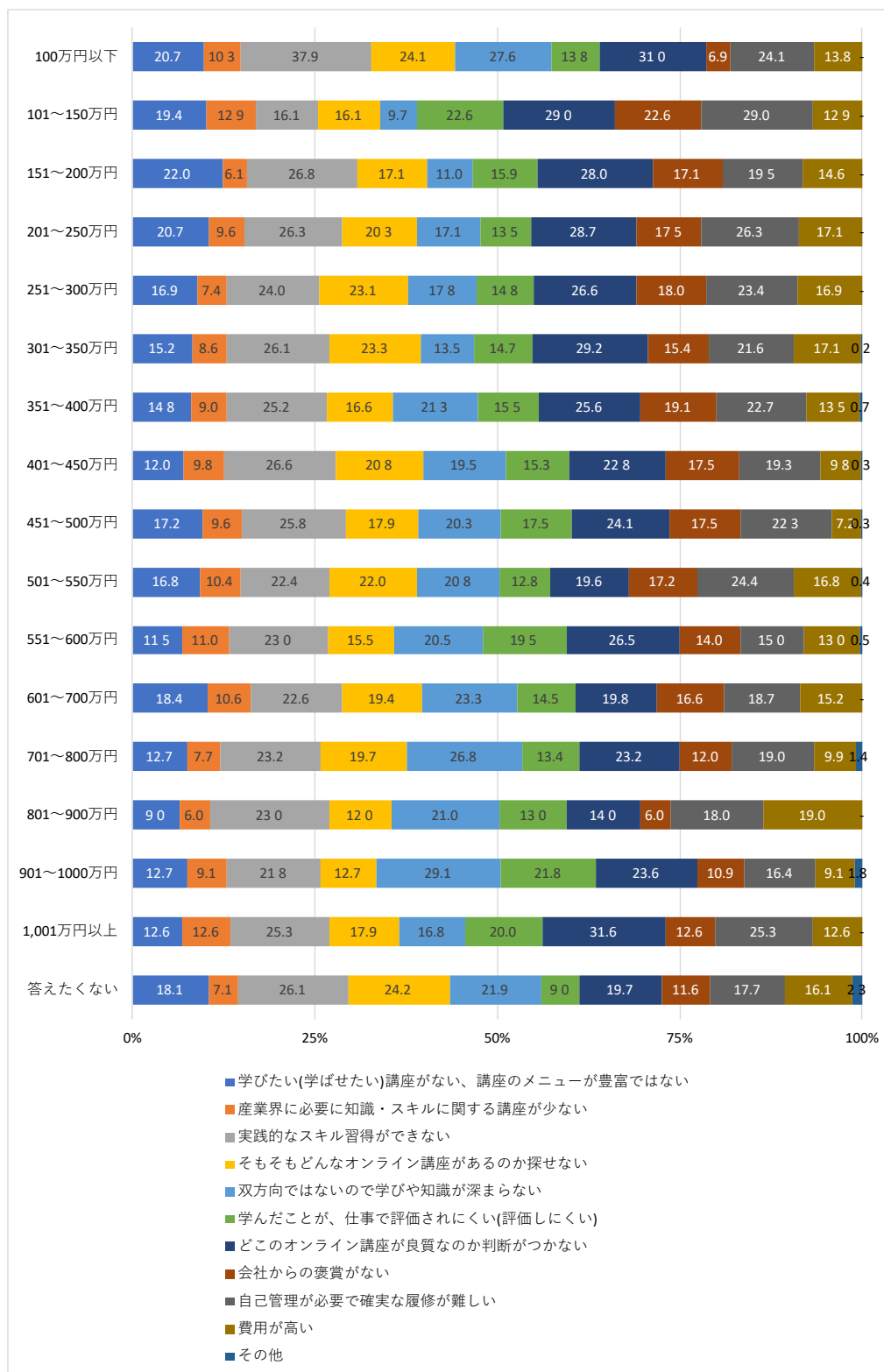
e) 職種

図表 175 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か(職種別)



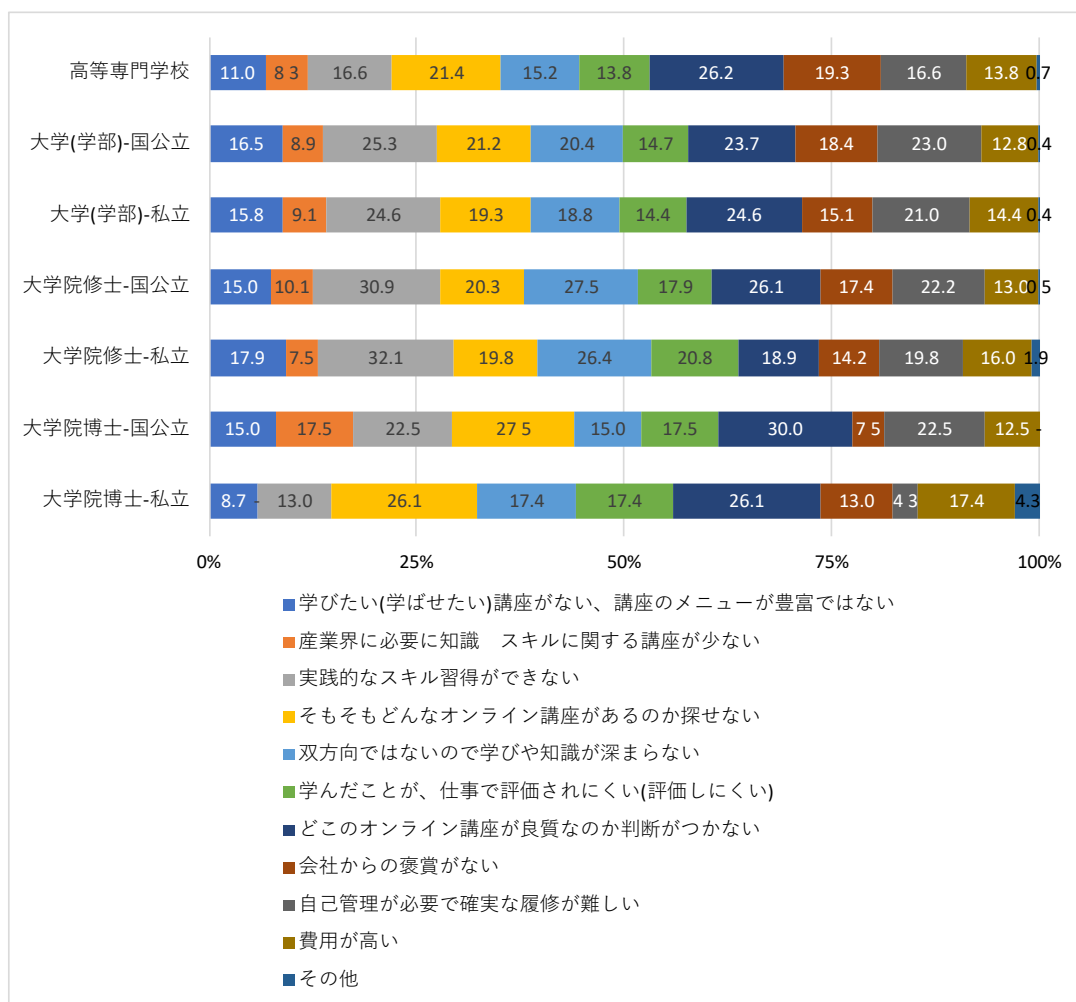
f) 年収

図表 176 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か(年収別)



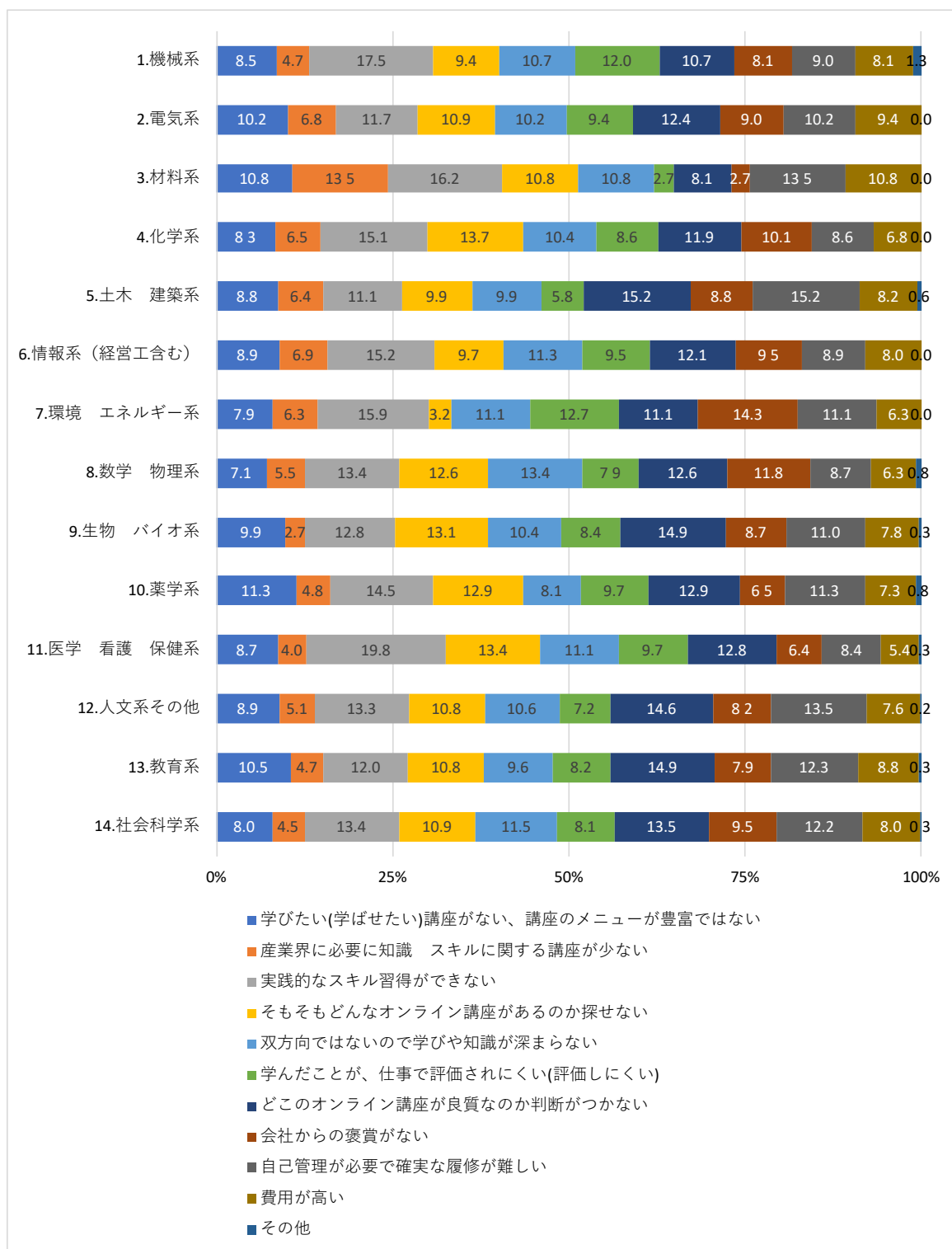
g) 最終学歴

図表 177 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か(最終学歴別)



## h) 学部・学科

図表 178 MOOCsなどオンライン講座で学ぶデメリットは何か(学部・学科別)

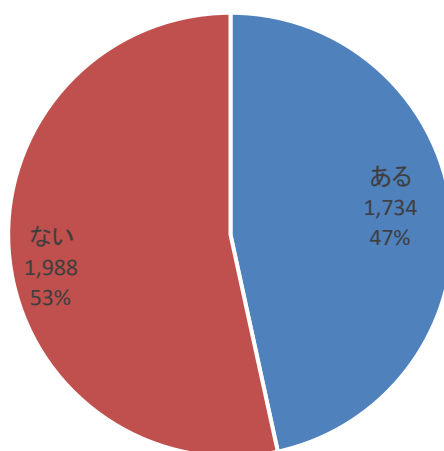




<b>問24 転職経験はありますか。(1つ選択)</b>
【選択肢】
1. ある
2. ない

【単純集計結果】

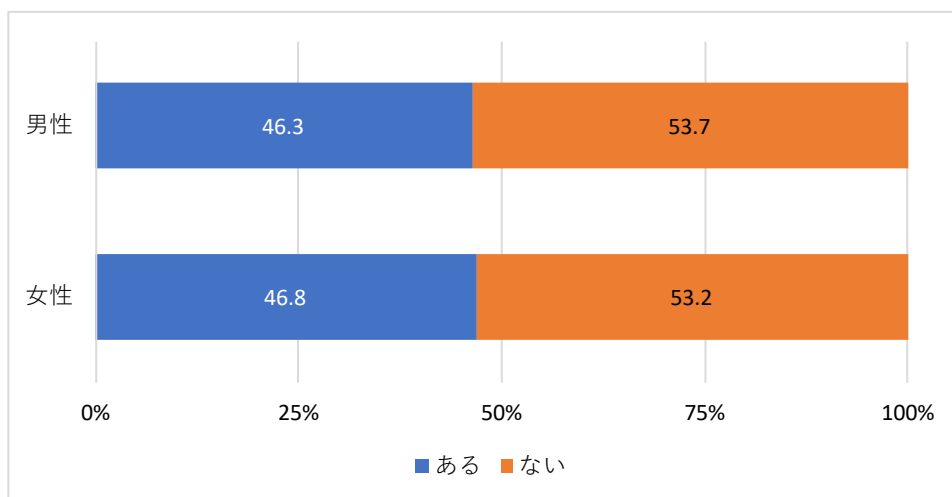
図表 179 転職経験はあるか



【クロス集計結果】

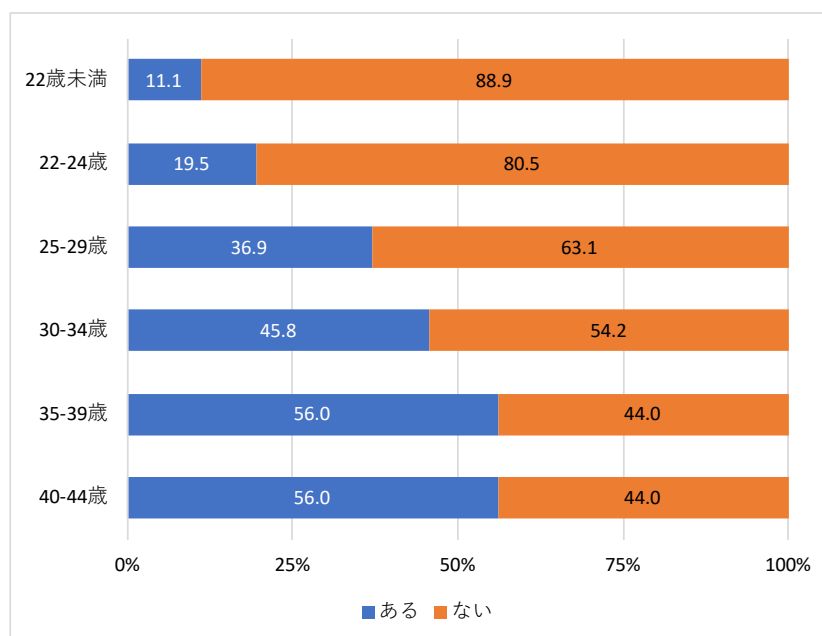
a) 性別

図表 180 転職経験はあるか(性別)



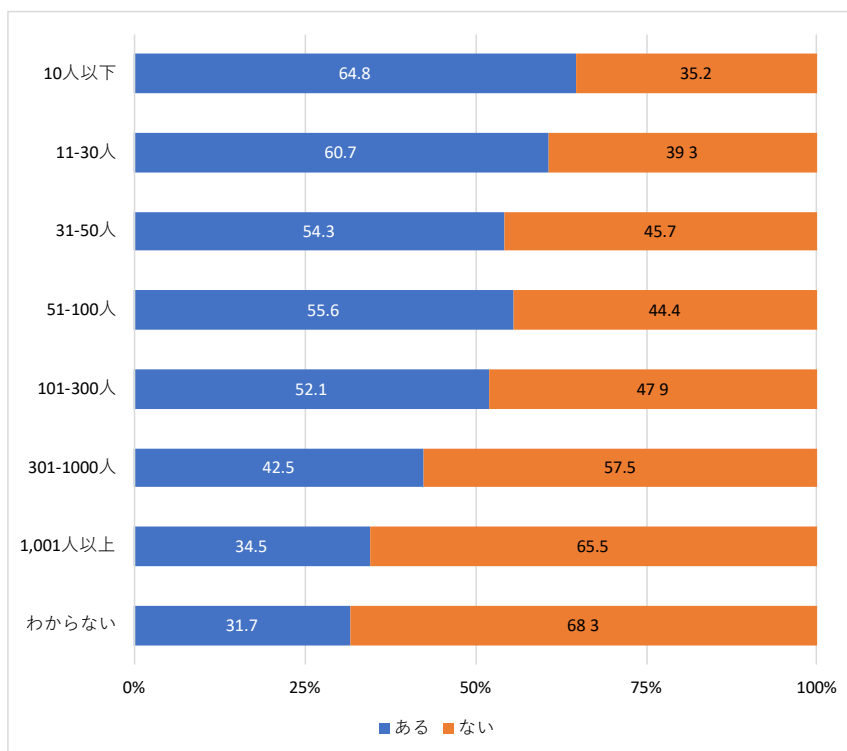
b) 年齢

図表 181 転職経験はあるか(年齢別)



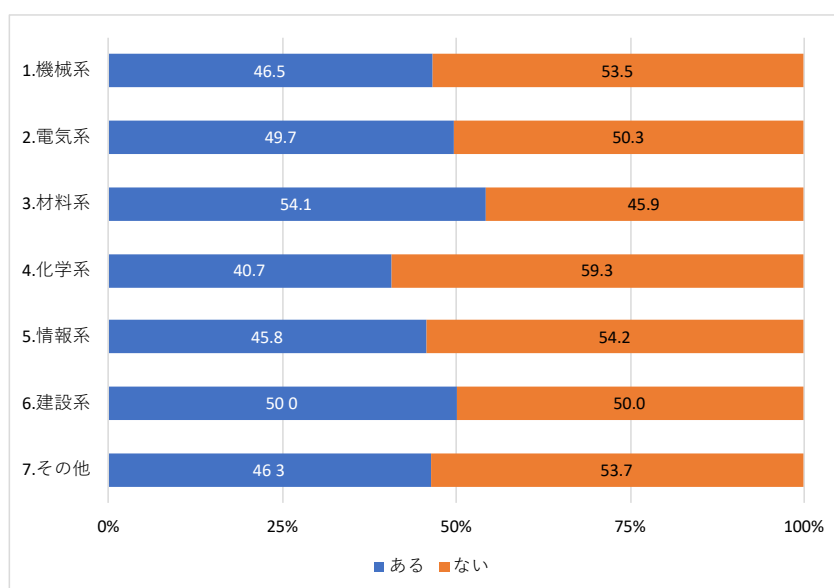
c) 従業員数

図表 182 転職経験はあるか(従業員別)



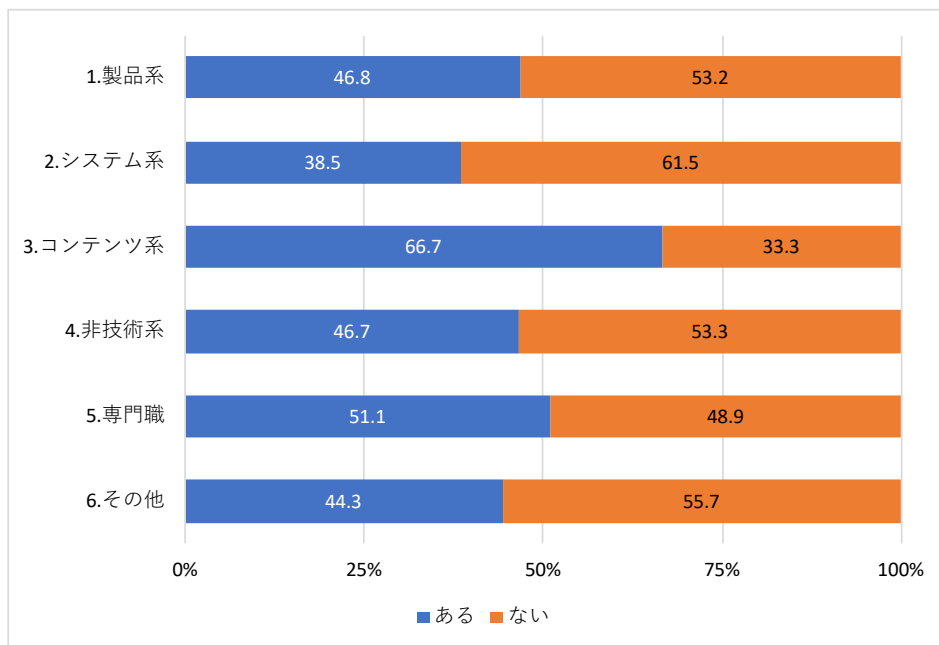
d) 業種

図表 183 転職経験はあるか(業種別)



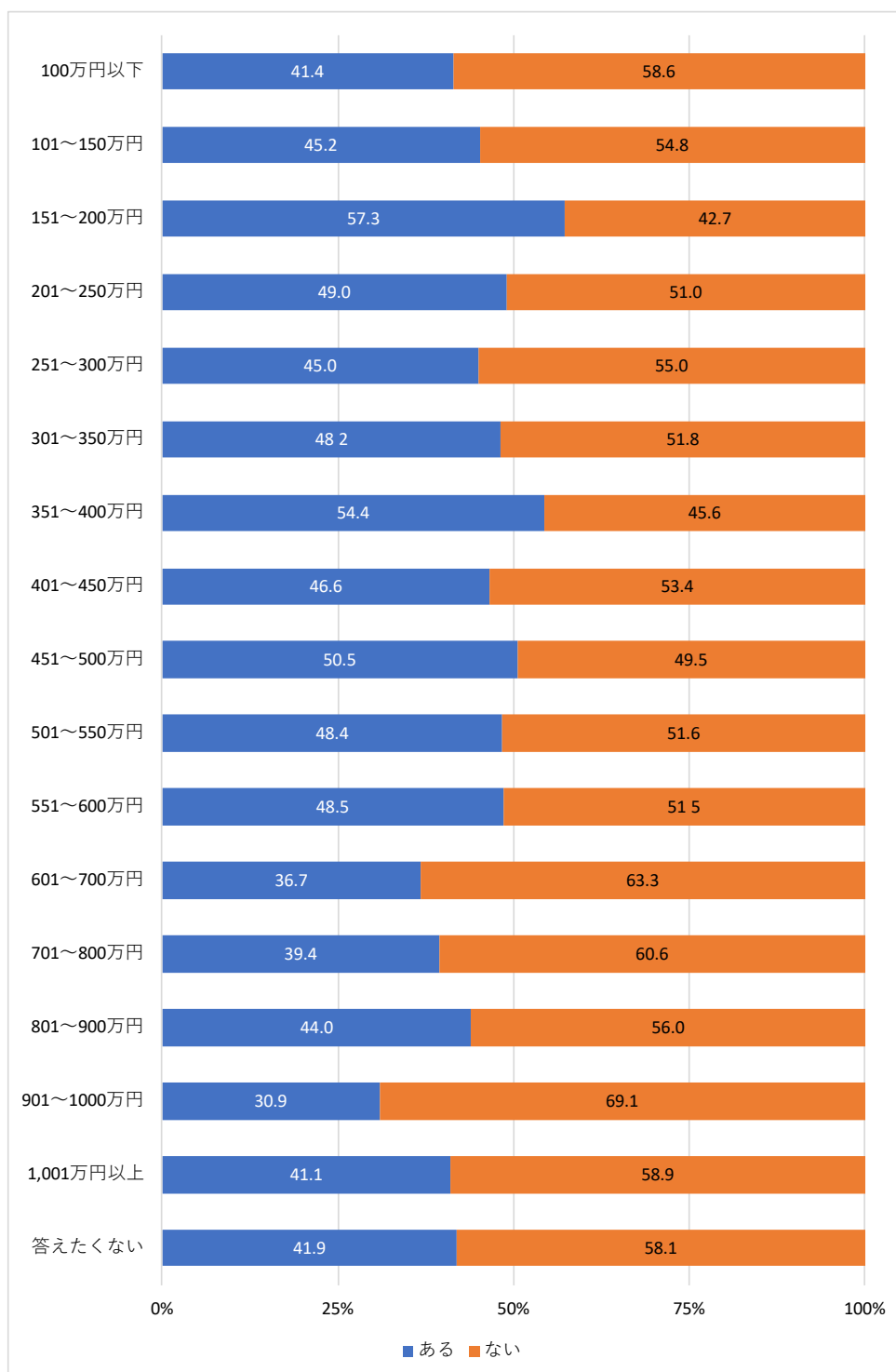
e) 職種

図表 184 転職経験はあるか(職種別)



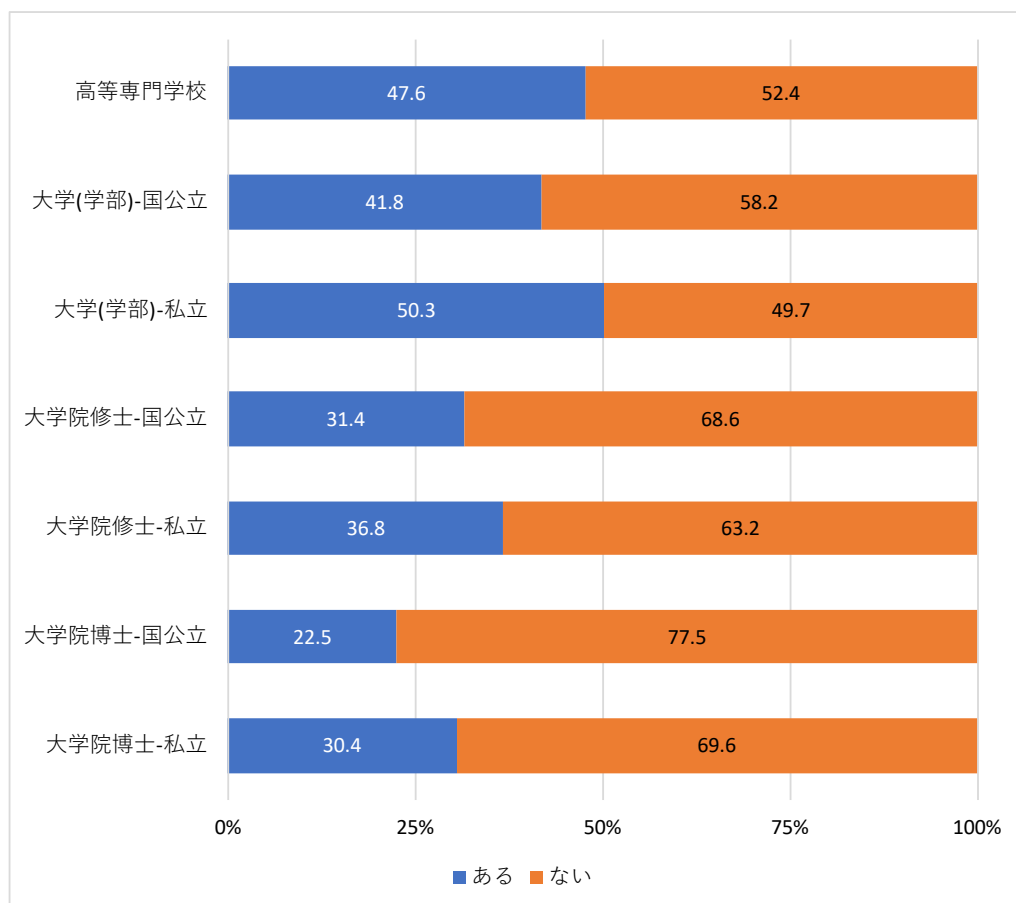
f) 年収

図表 185 転職経験はあるか(年収別)



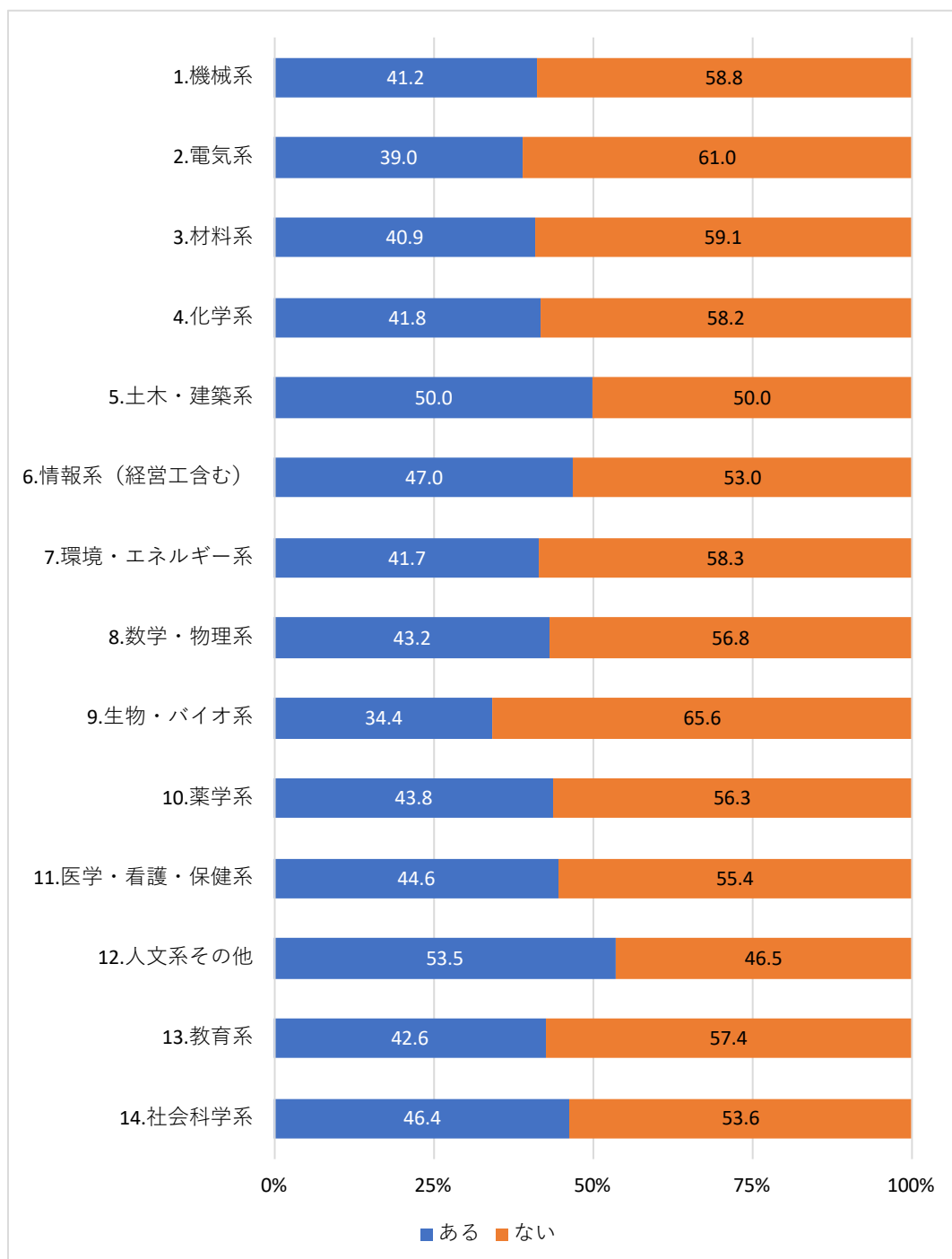
g) 最終学歴

図表 186 転職経験はあるか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 187 転職経験はあるか(学部・学歴別)



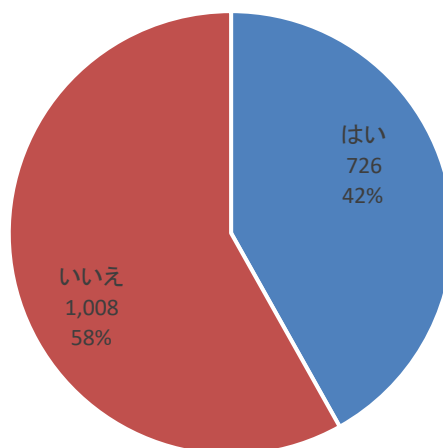
問25-1 あると答えた方に伺います。複数回、転職された方は、直近の転職についてお答えください。最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務だった（1つ選択）

【選択肢】

1. はい
2. いいえ

【単純集計結果】

図表 188 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか

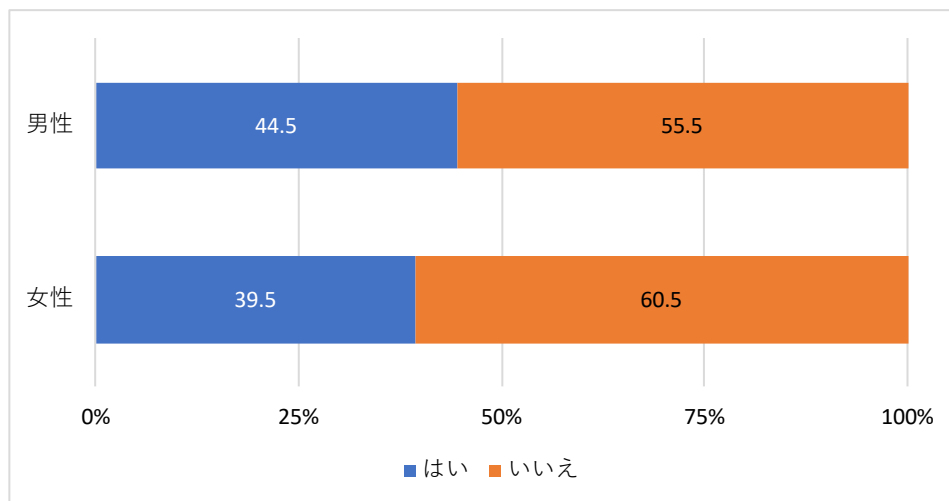




【クロス集計結果】

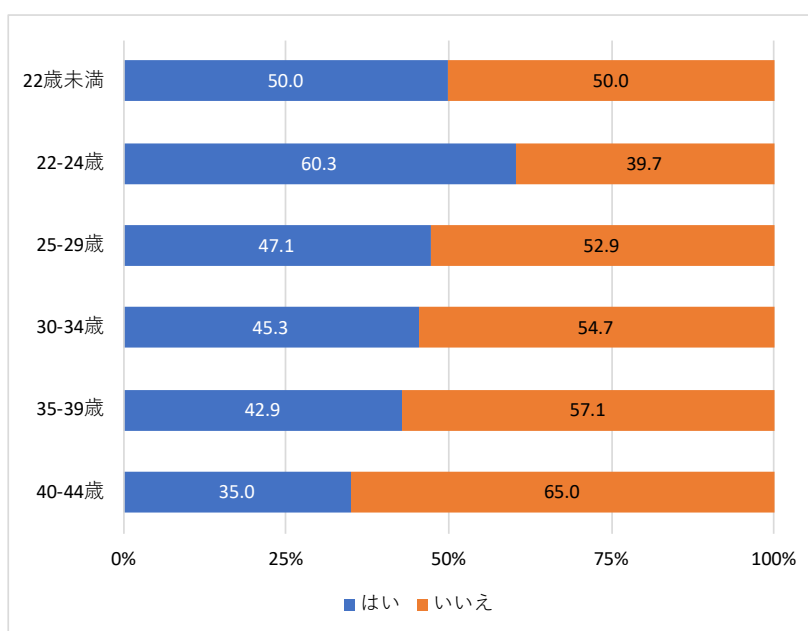
a) 性別

図表 189 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか(性別)



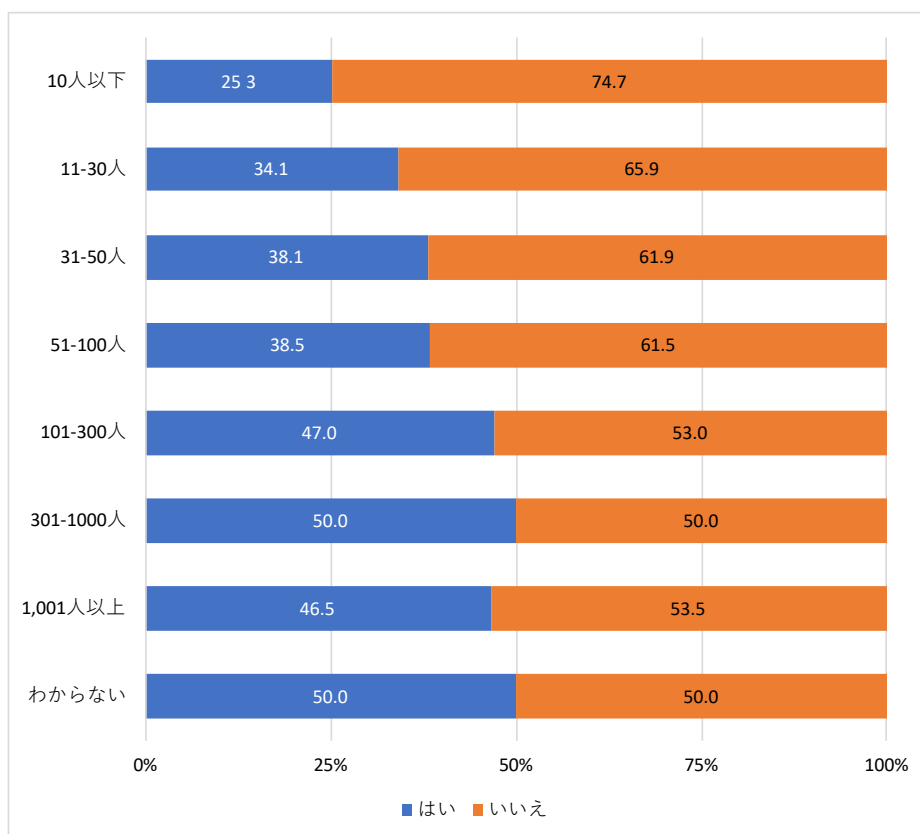
b) 年齢

図表 190 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか(年齢別)



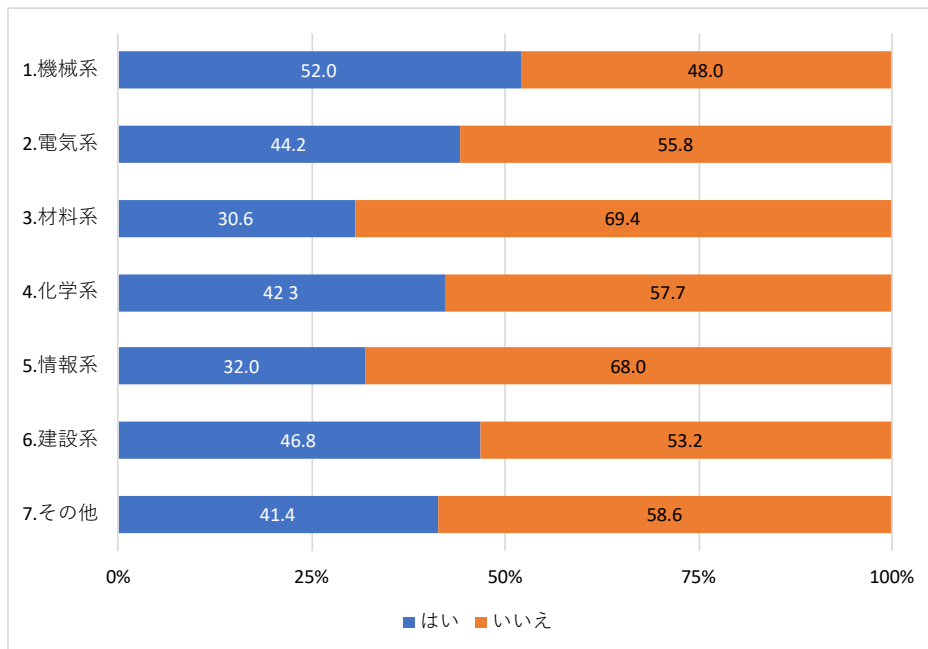
c) 従業員数

図表 191 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか(従業員別)



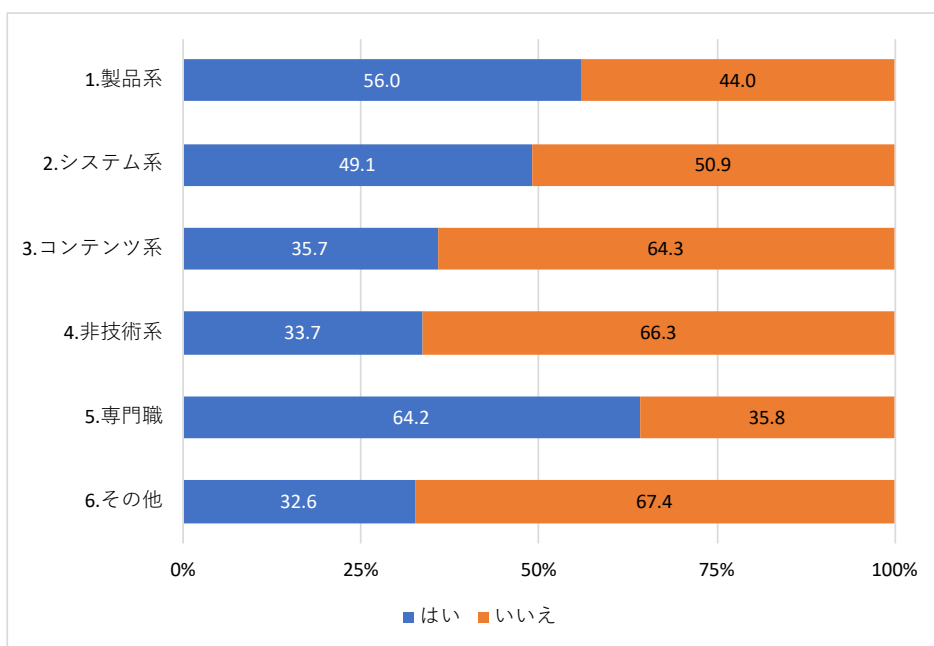
d) 業種

図表 192 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか(業種別)



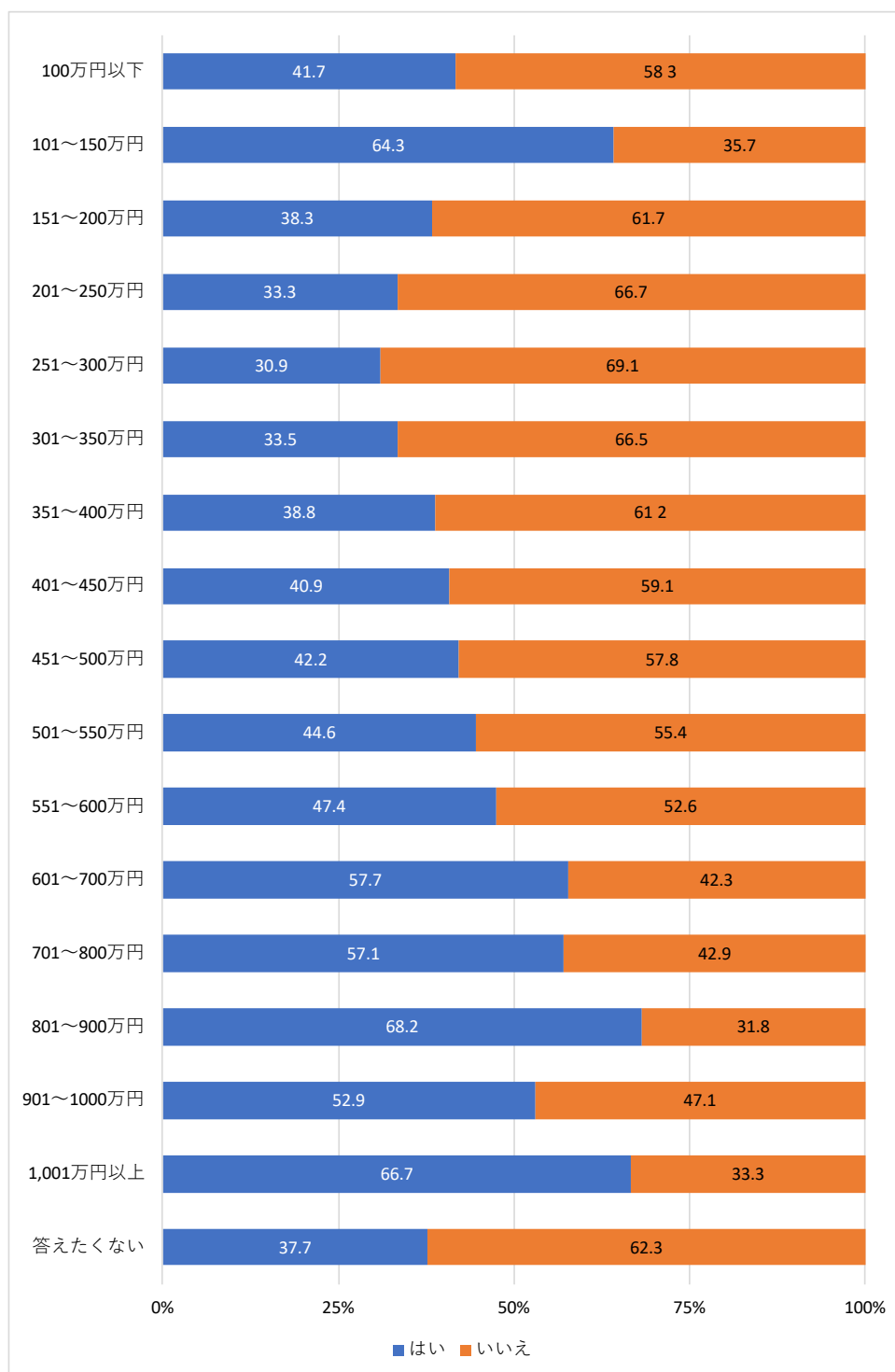
e) 職種

図表 193 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか(職種別)



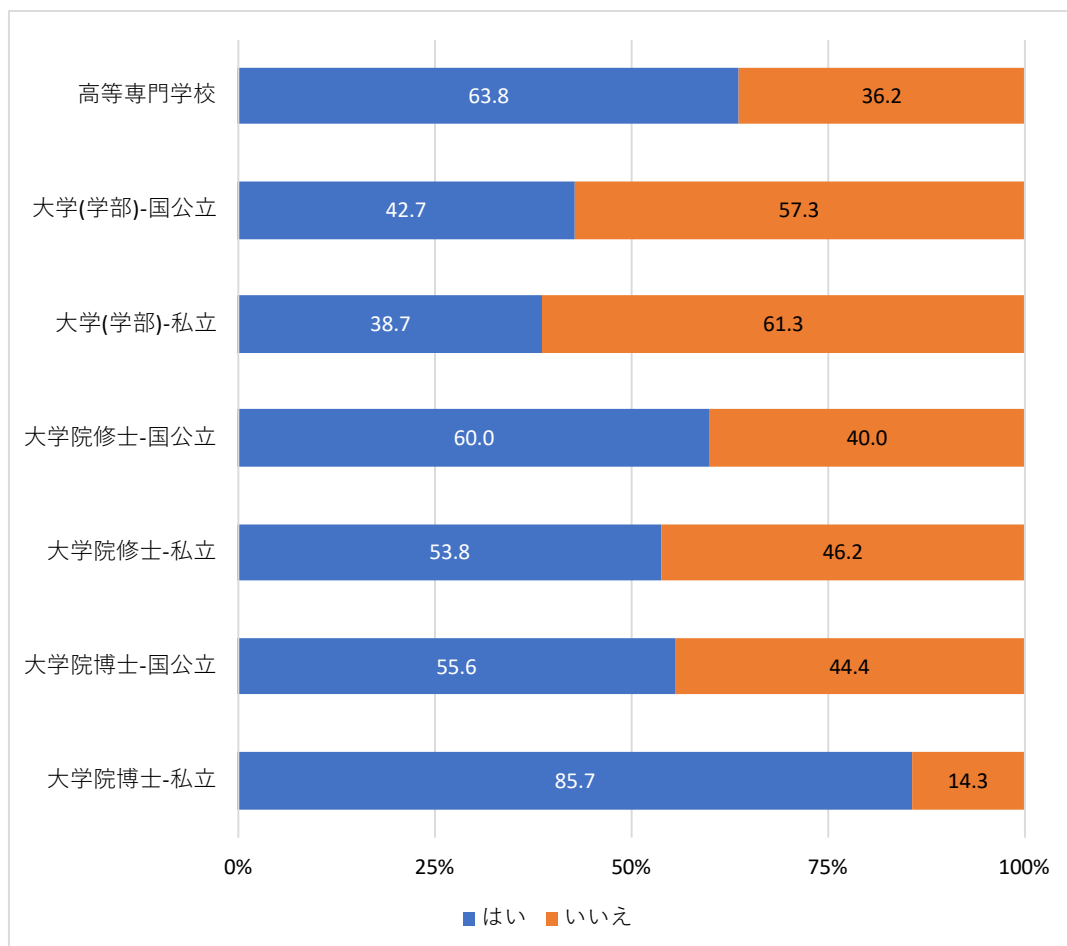
f) 年収

図表 194 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか(年収別)



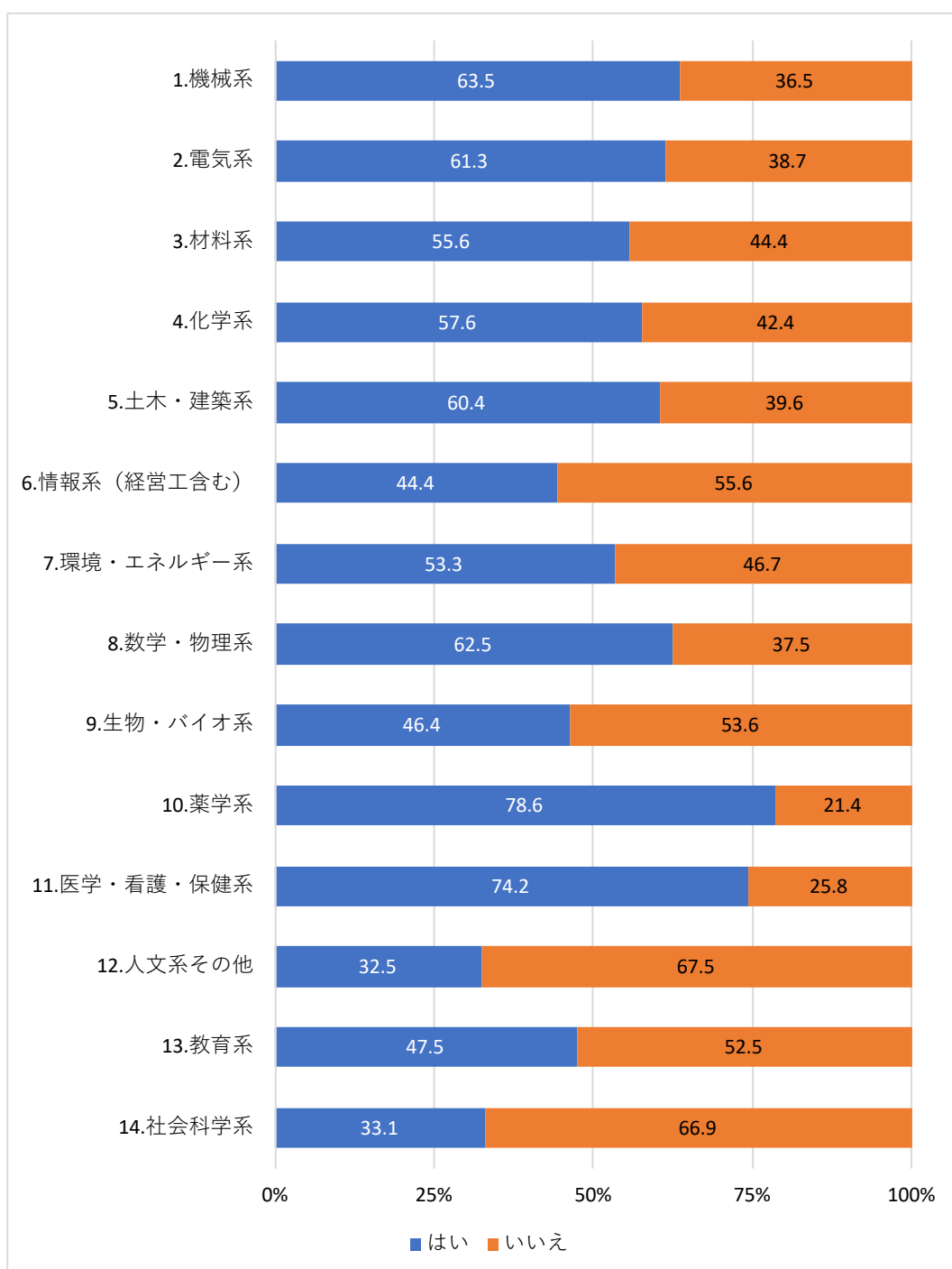
g) 最終学歴

図表 195 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 196 転職経験はある方は、最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務であったか(学部・学科別)



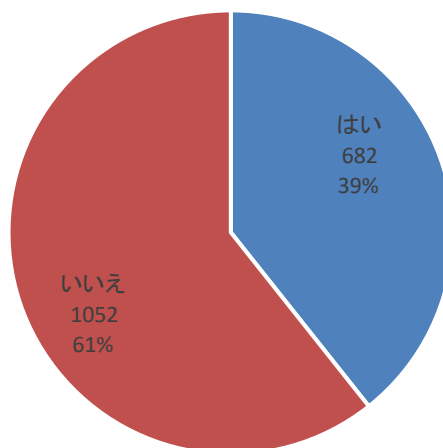
問25-2 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務である（1つ選択）

【選択肢】

1. はい
2. いいえ

【単純集計結果】

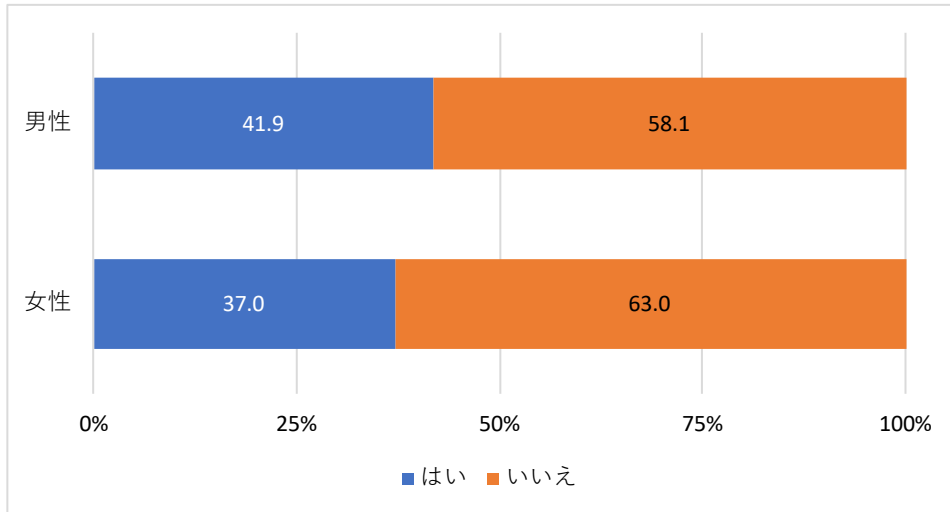
図表 197 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務である



【クロス集計結果】

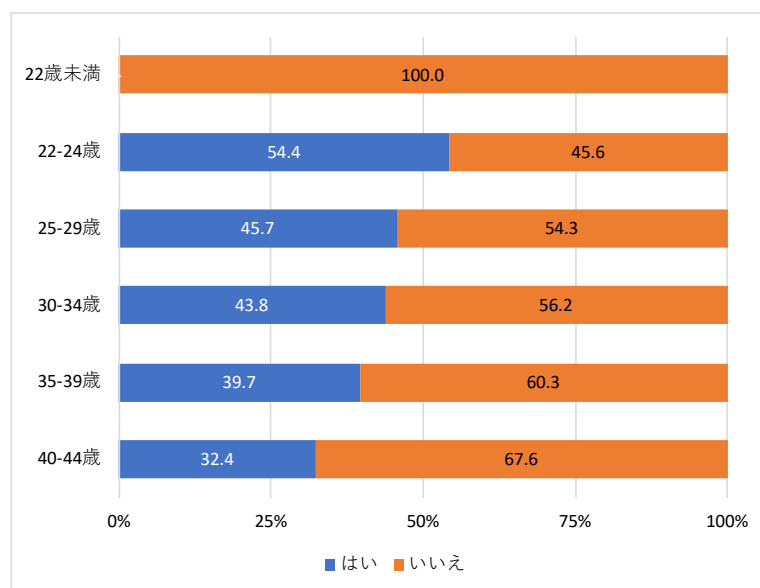
a) 性別

図表 198 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関する業務である(性別)



b) 年齢

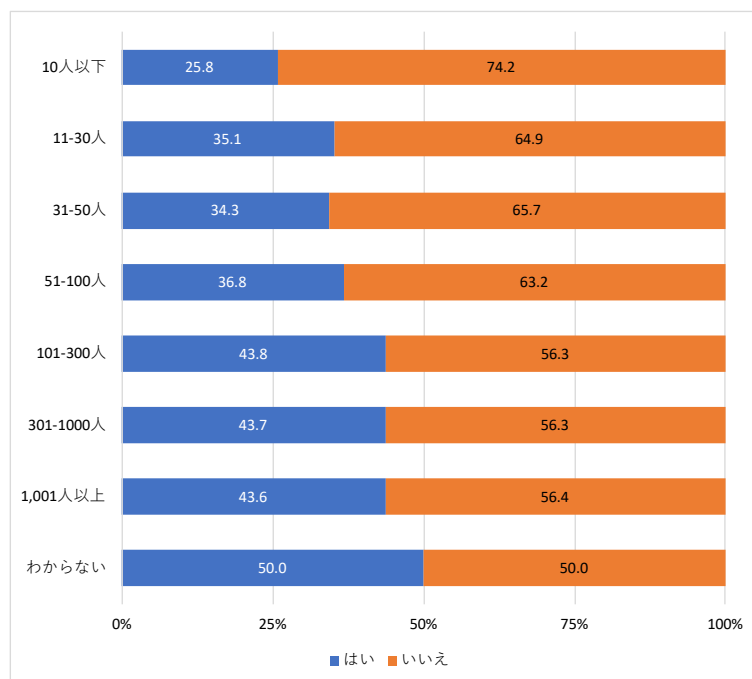
図表 199 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関する業務である(年齢別)





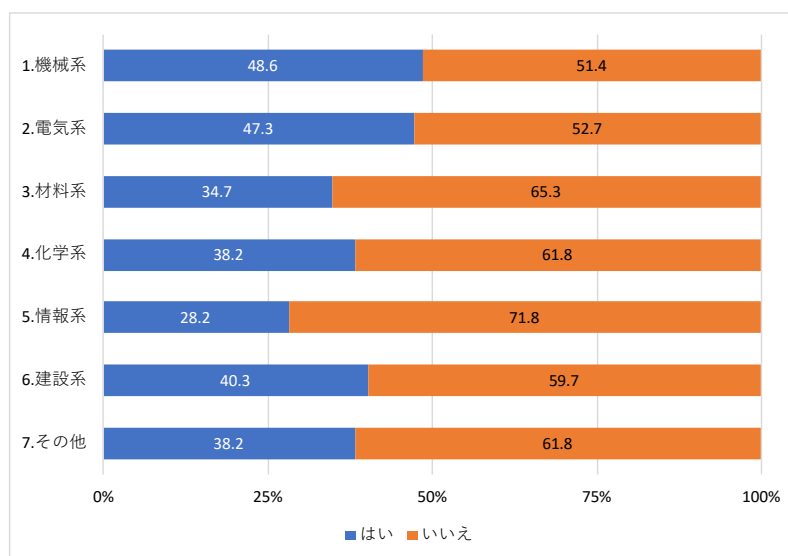
c) 従業員数

図表 200 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務である(従業員別)



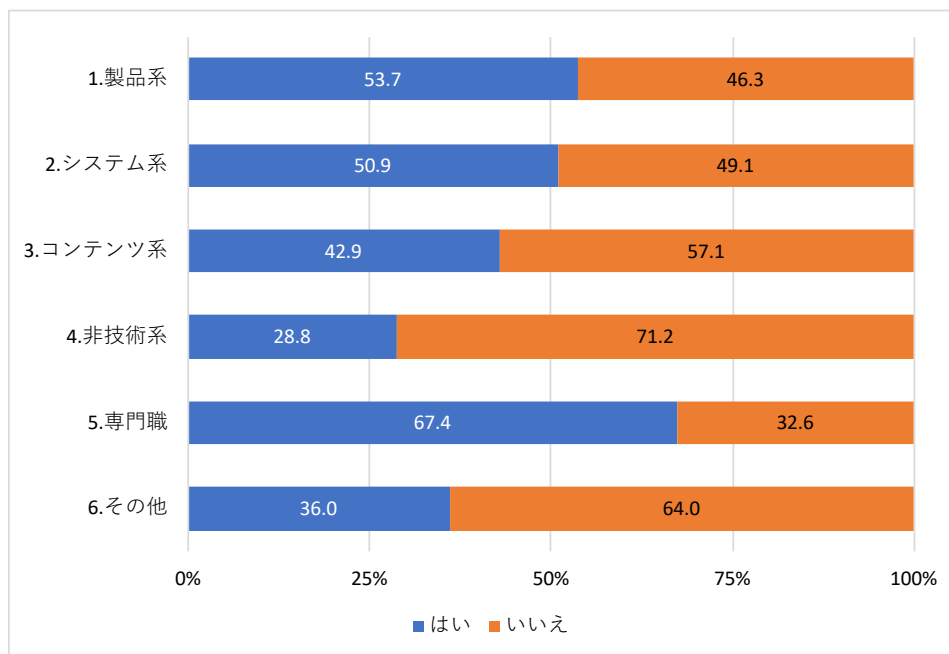
d) 業種

図表 201 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務である(業種別)



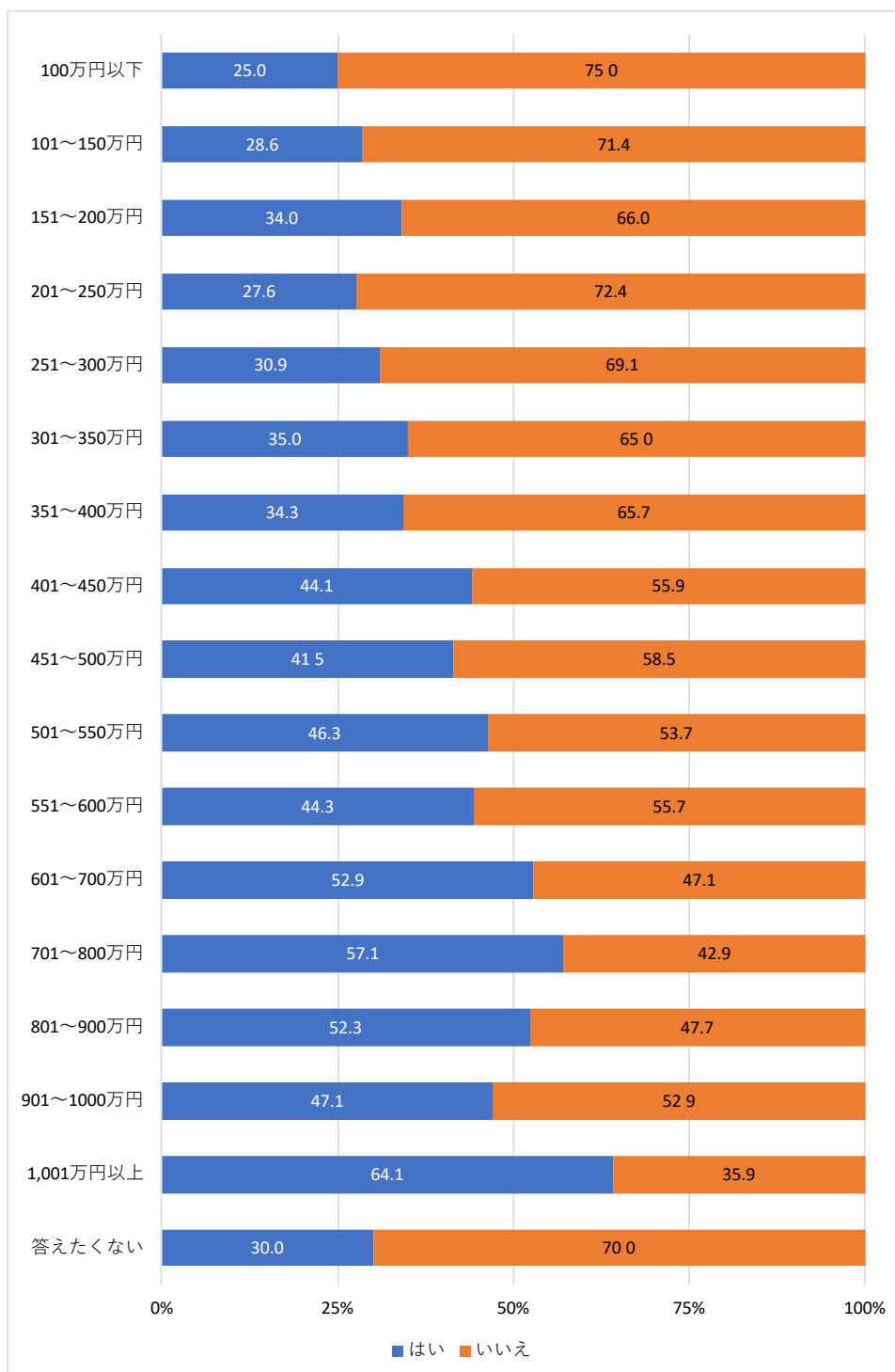
e) 職種

図表 202 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関する業務である(職種別)



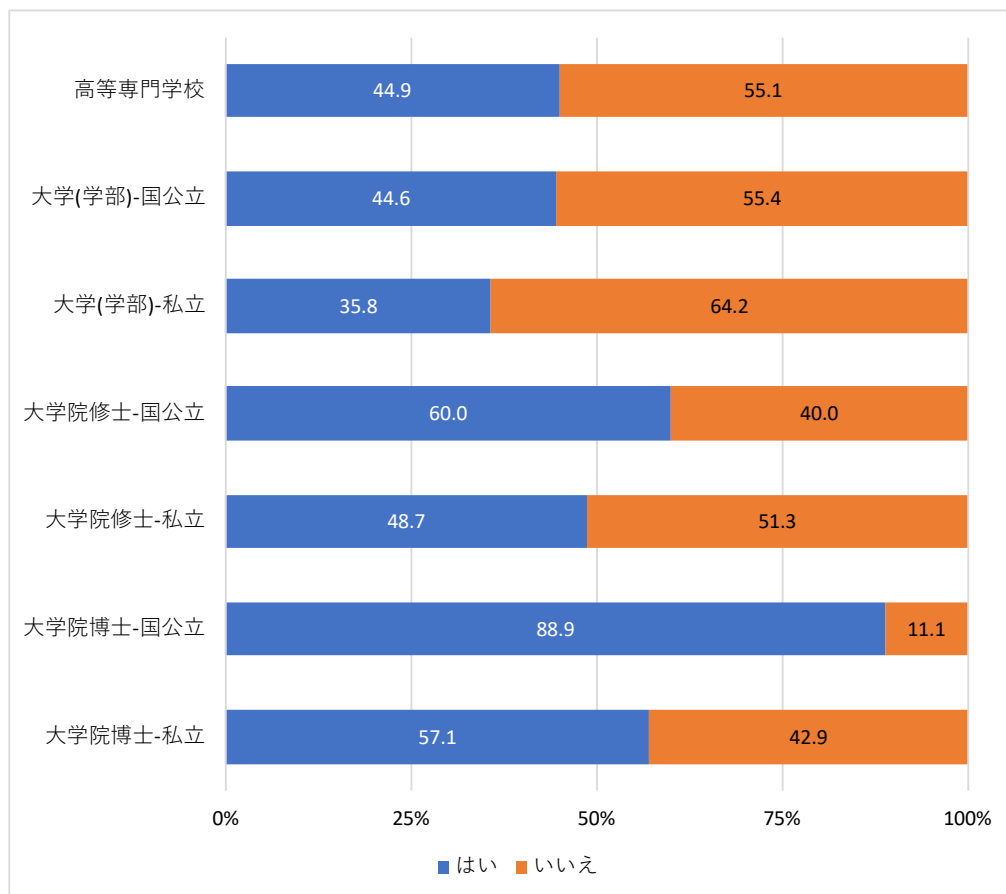
f) 年収

図表 203 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務である(年収別)



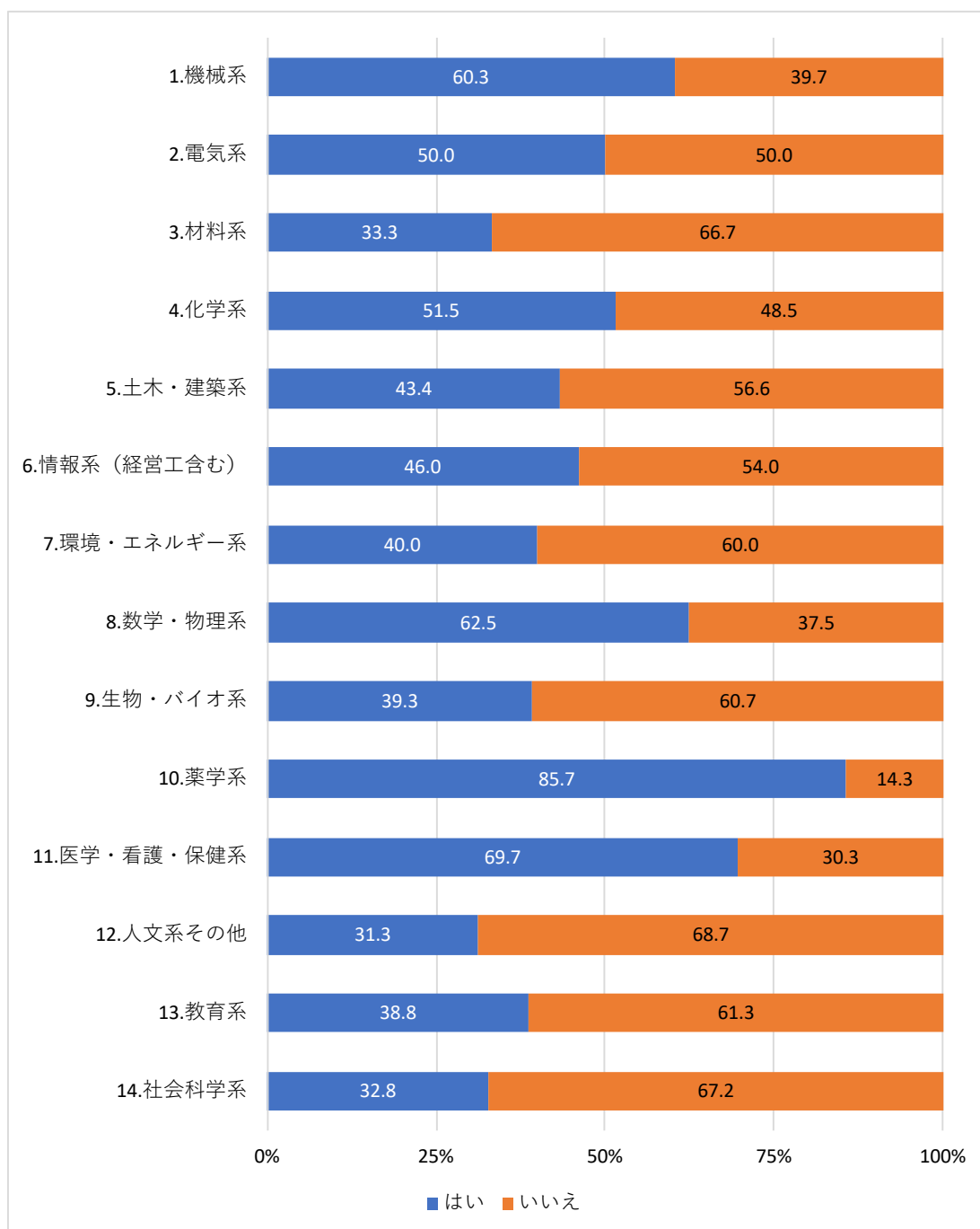
g) 最終学歴

図表 204 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関する業務である(最終学歴別)



h) 学部・学科

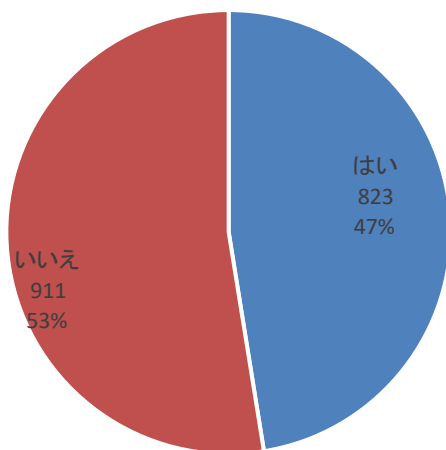
図表 205 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関する業務である(学部・学科別)



<b>問25-3 転職後は、転職前と似た業務や業界である（1つ選択）</b>
【選択肢】
1. はい
2. いいえ

【単純集計結果】

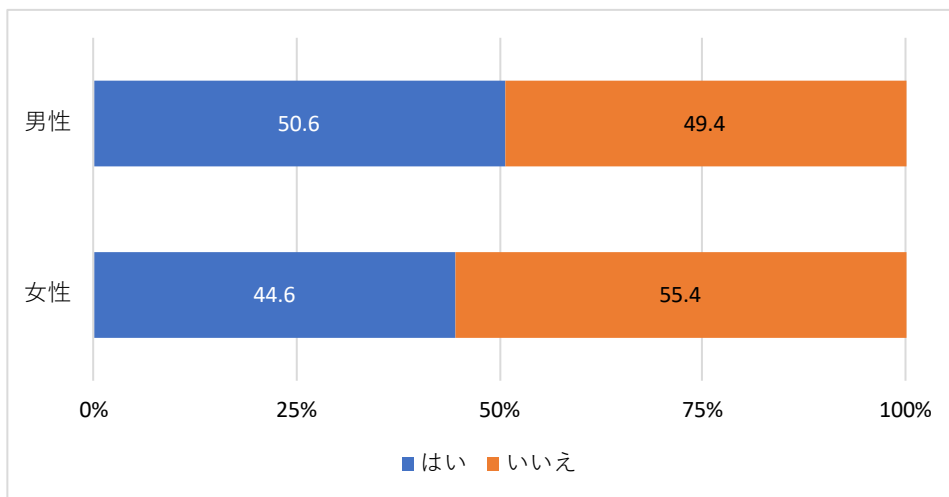
図表 206 転職後は、転職前と似た業務や業界である



【クロス集計結果】

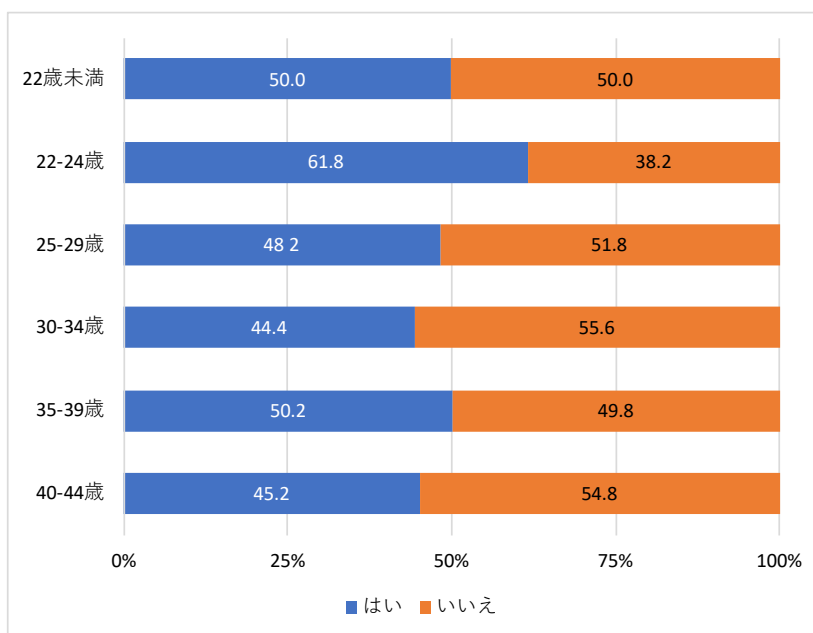
a) 性別

図表 207 転職後は、転職前と似た業務や業界である(性別)



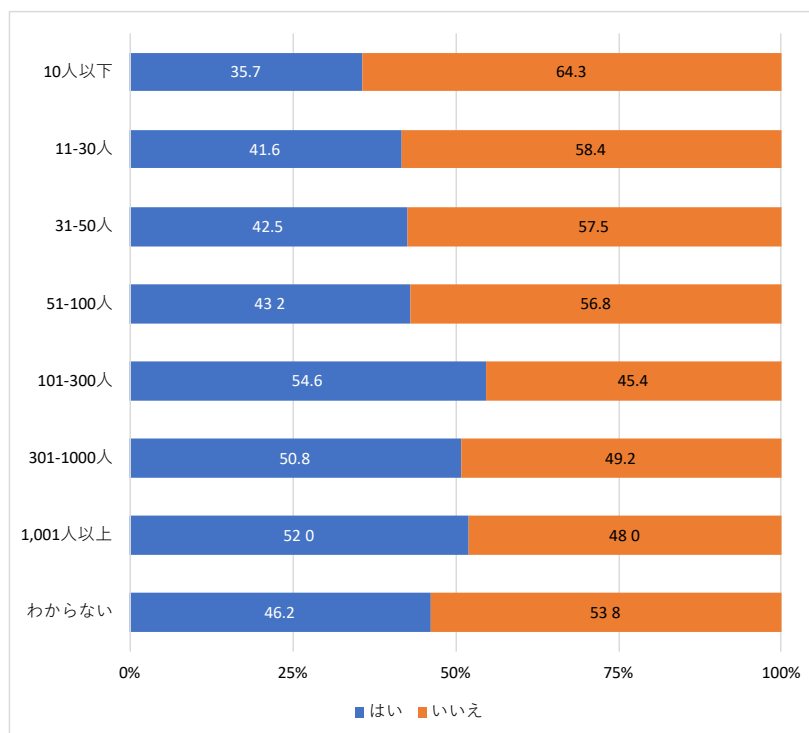
b) 年齢

図表 208 転職後は、転職前と似た業務や業界である(年齢別)



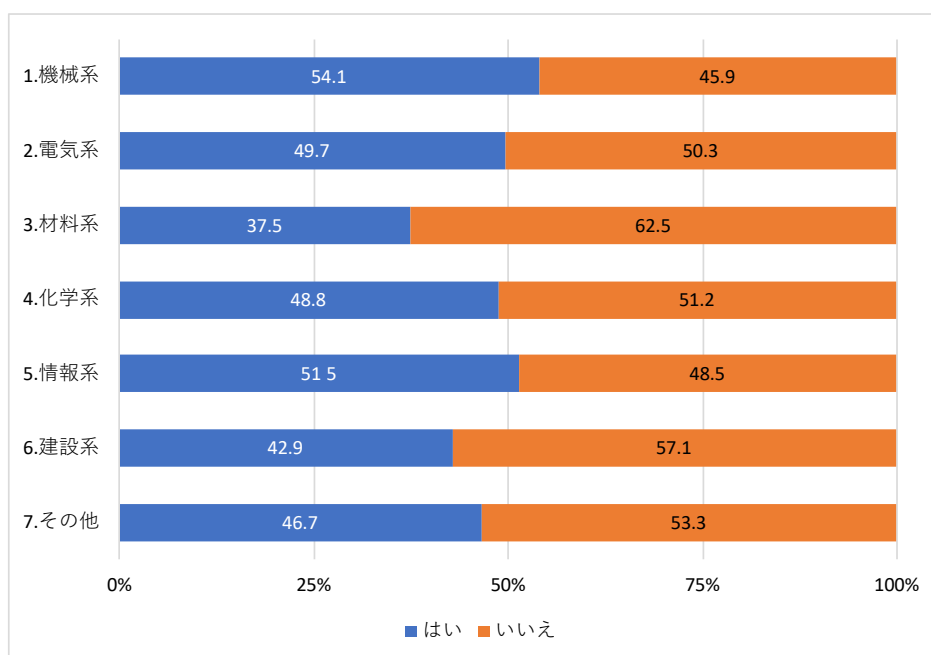
c) 従業員数

図表 209 転職後は、転職前と似た業務や業界である(従業員別)



d) 業種

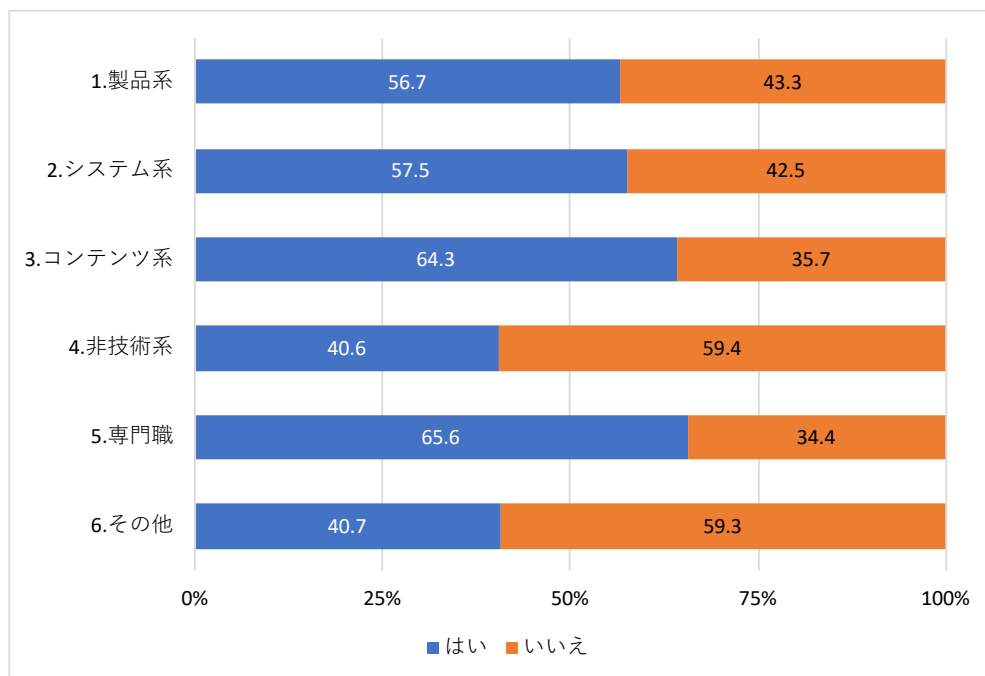
図表 210 転職後は、転職前と似た業務や業界である(業種別)





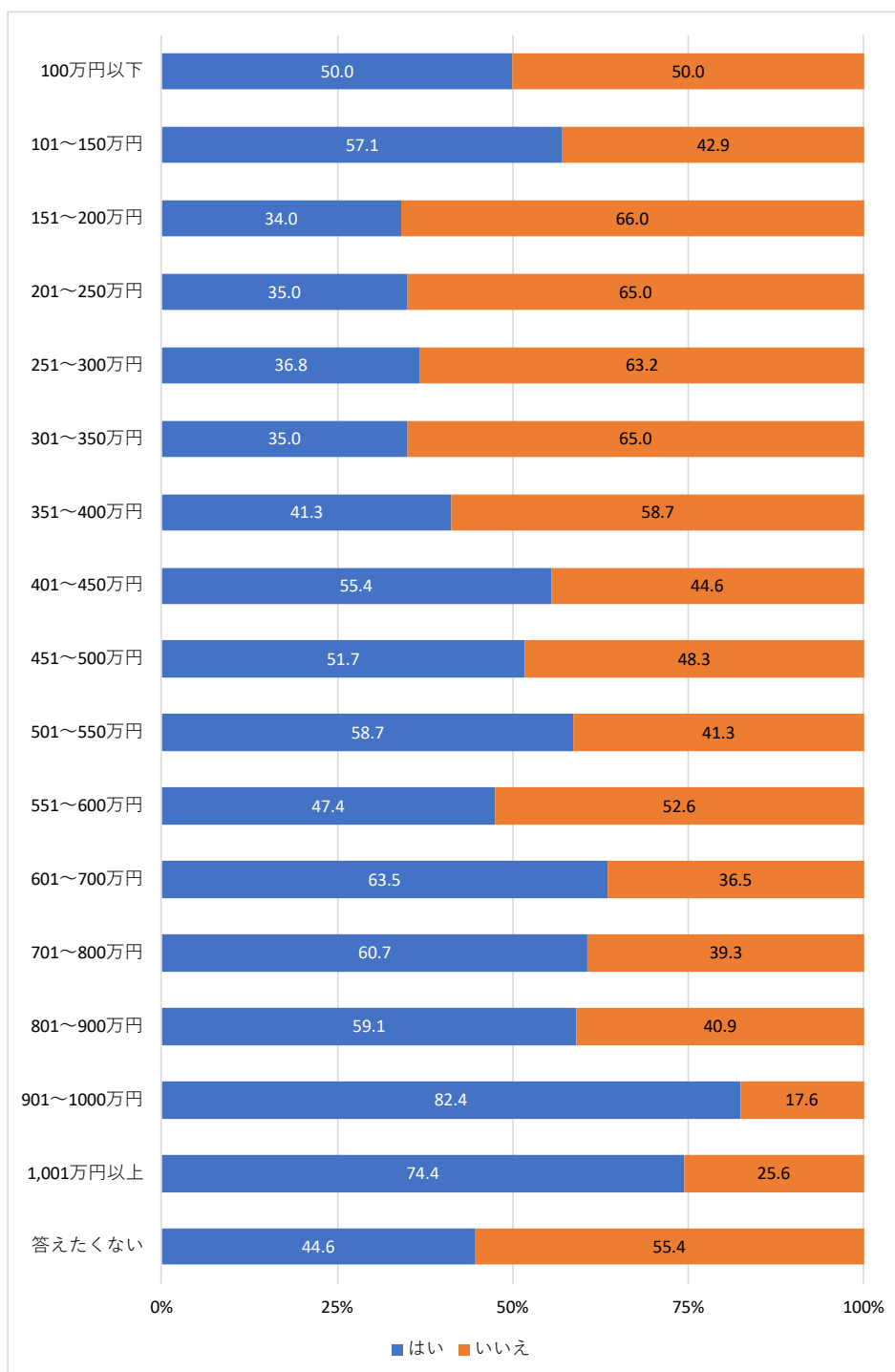
e) 職種

図表 211 転職後は、転職前と似た業務や業界である(職種別)



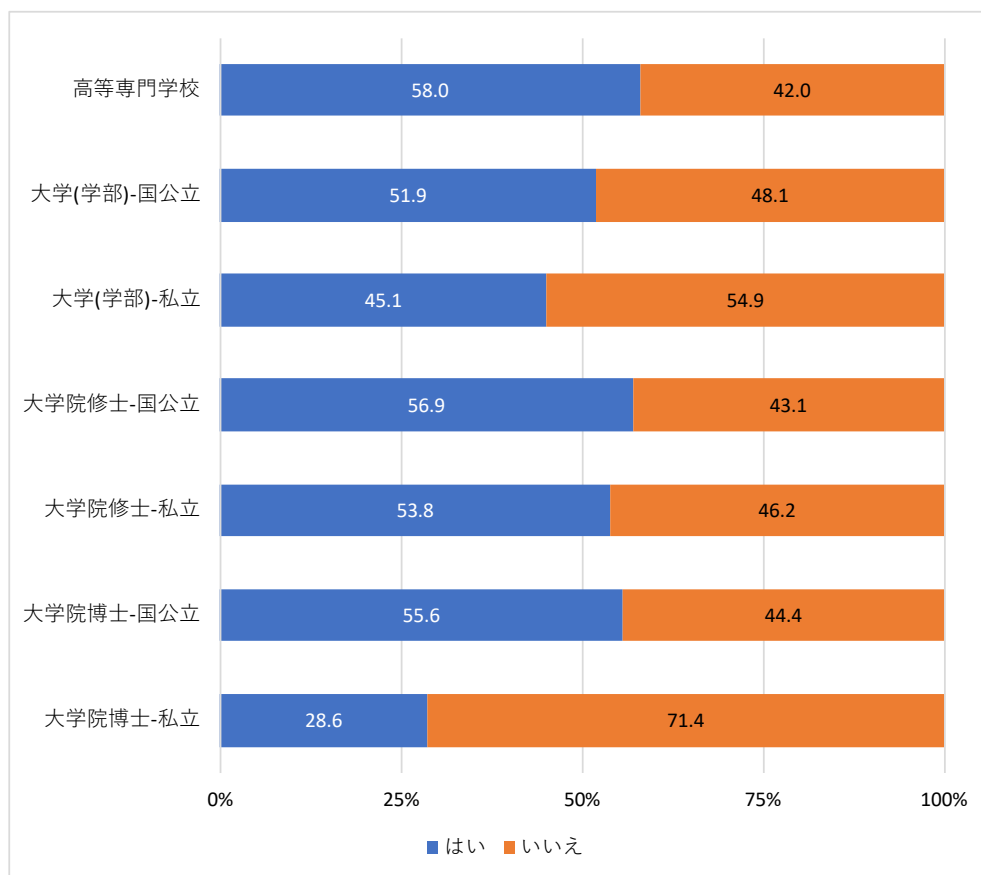
f) 年収

図表 212 転職後は、転職前と似た業務や業界である(年収別)



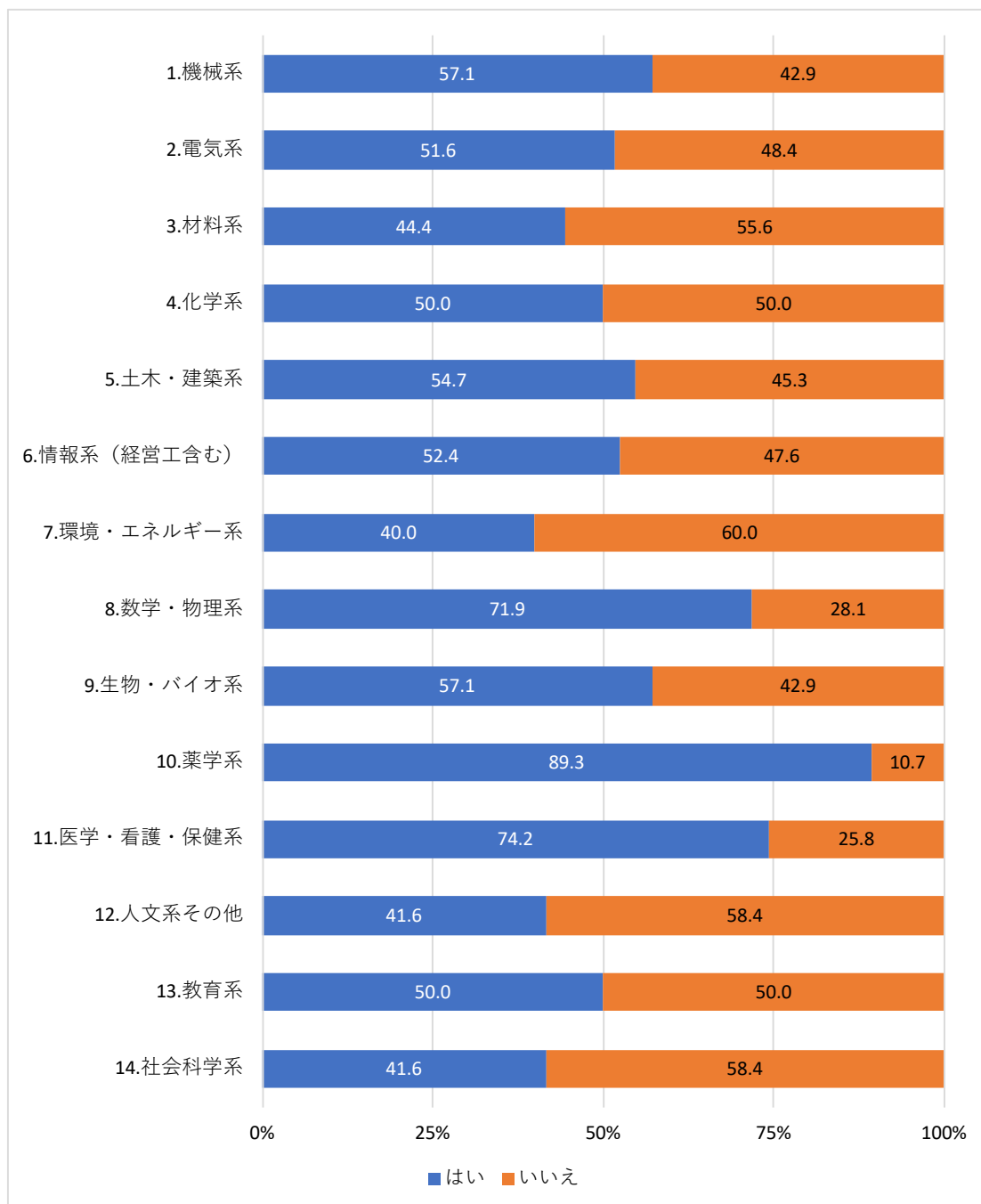
g) 最終学歴

図表 213 転職後は、転職前と似た業務や業界である(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 214 転職後は、転職前と似た業務や業界である(学部・学科別)



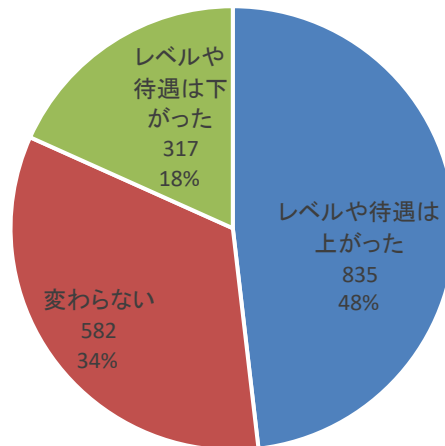
問25-4 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(1つ選択)

【選択肢】

1. レベルや待遇は上がった
2. 変わらない
3. レベルや待遇は下がった

【単純集計結果】

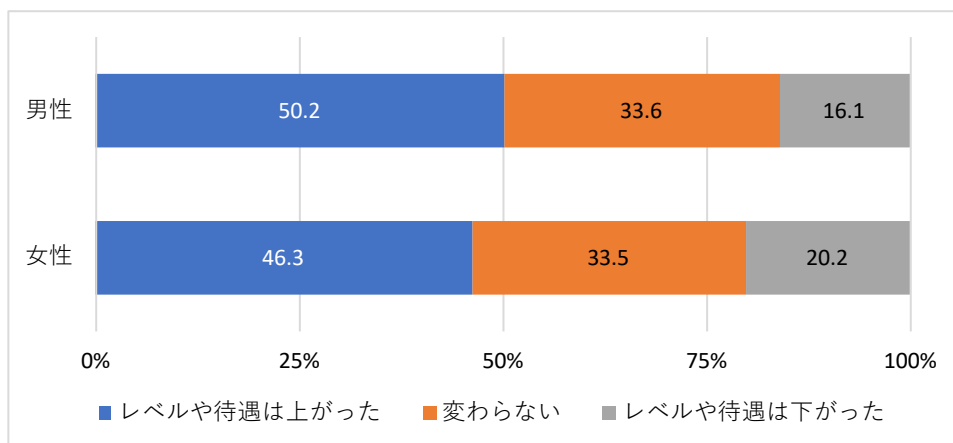
図表 215 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった



【クロス集計結果】

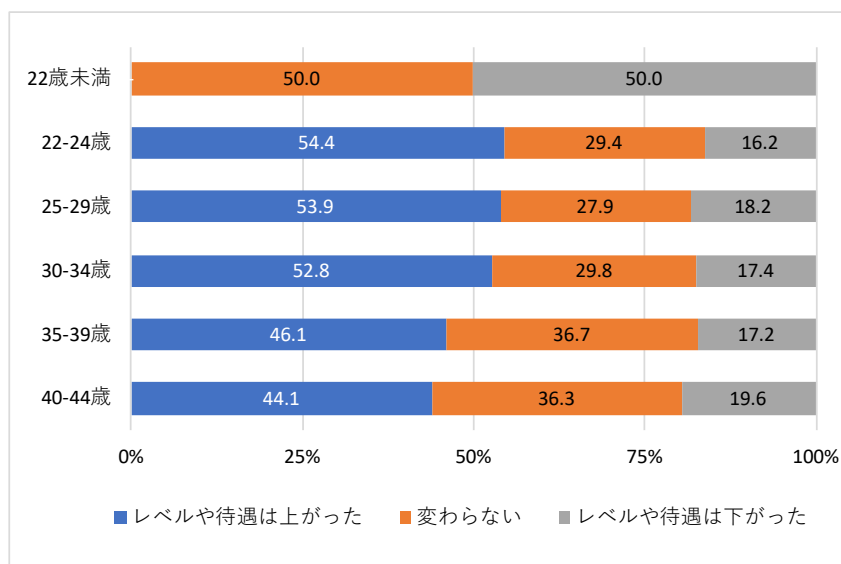
a) 性別

図表 216 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(性別)



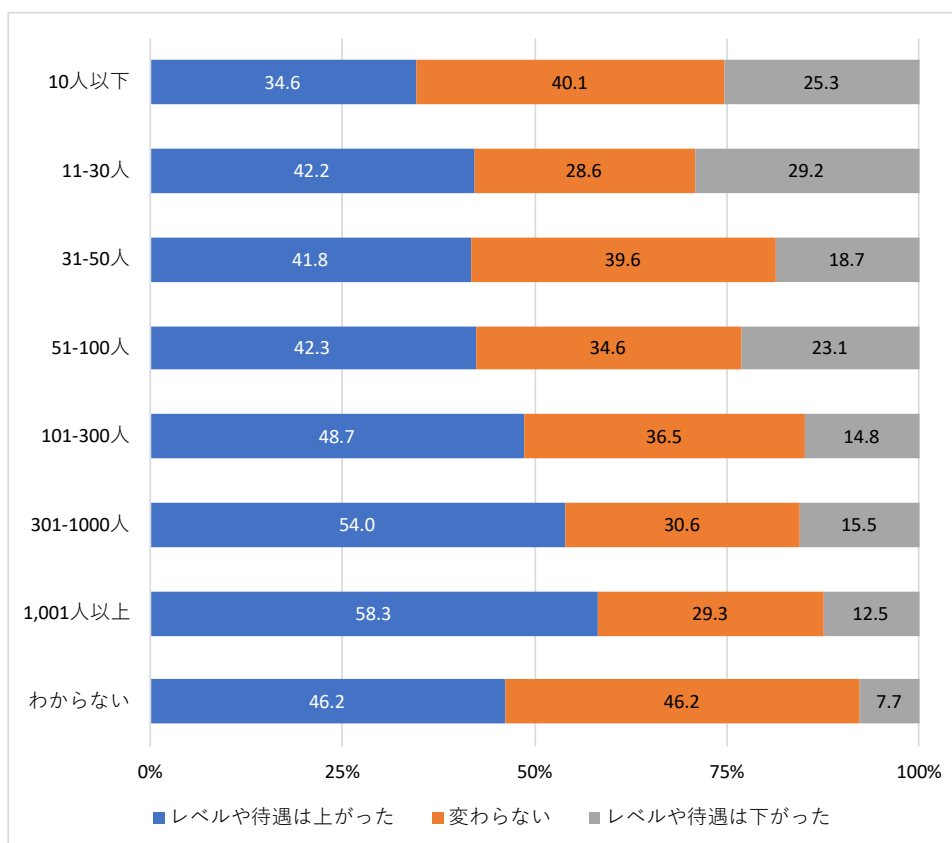
b) 年齢

図表 217 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(年齢別)



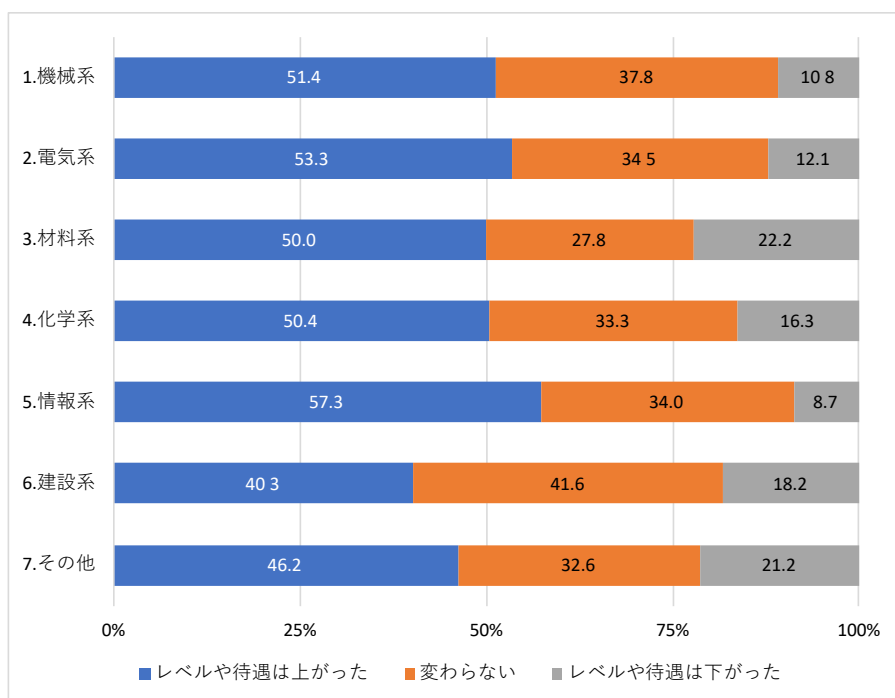
c) 従業員数

図表 218 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(従業員別)



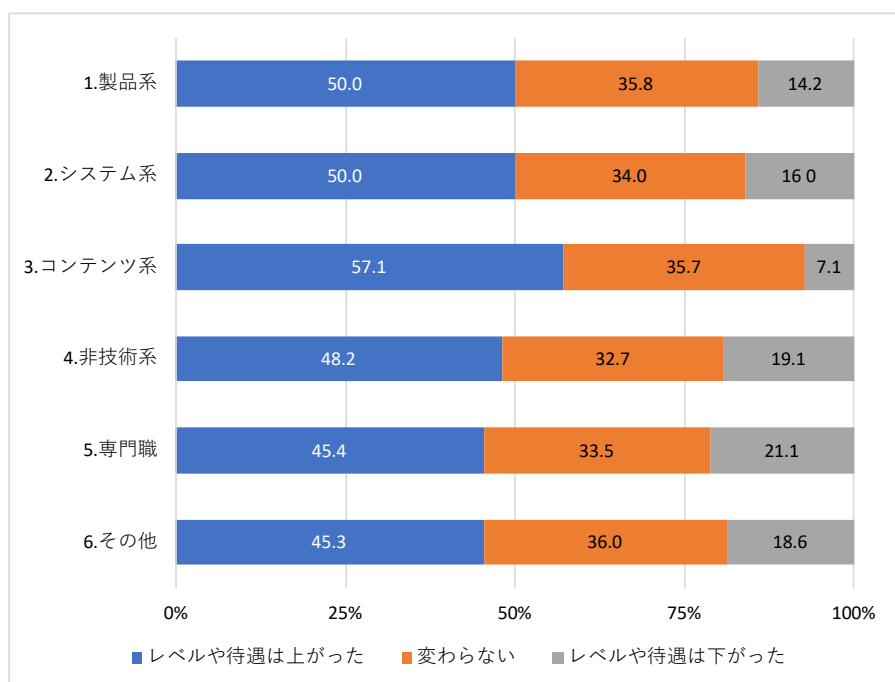
d) 業種

図表 219 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(業種別)



e) 職種

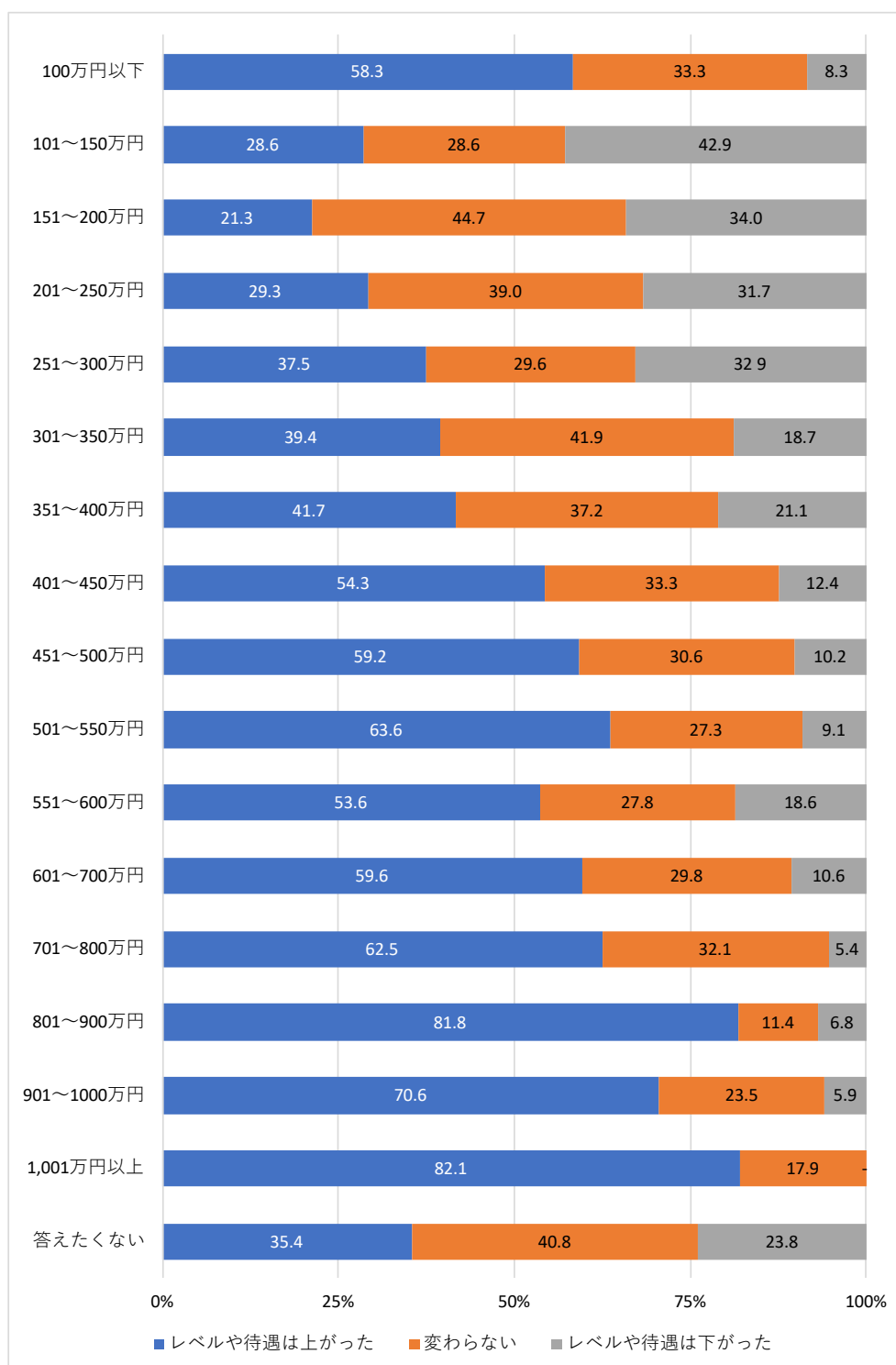
図表 220 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(職種別)





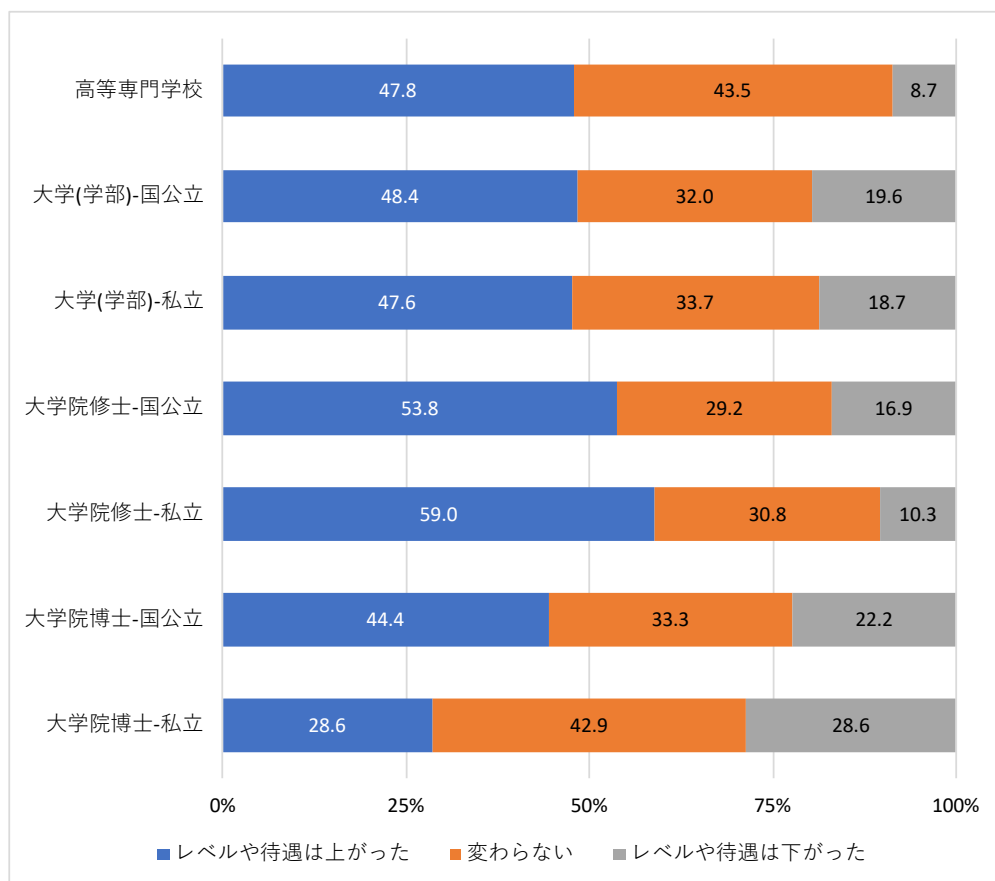
f) 年収

図表 221 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(年収別)



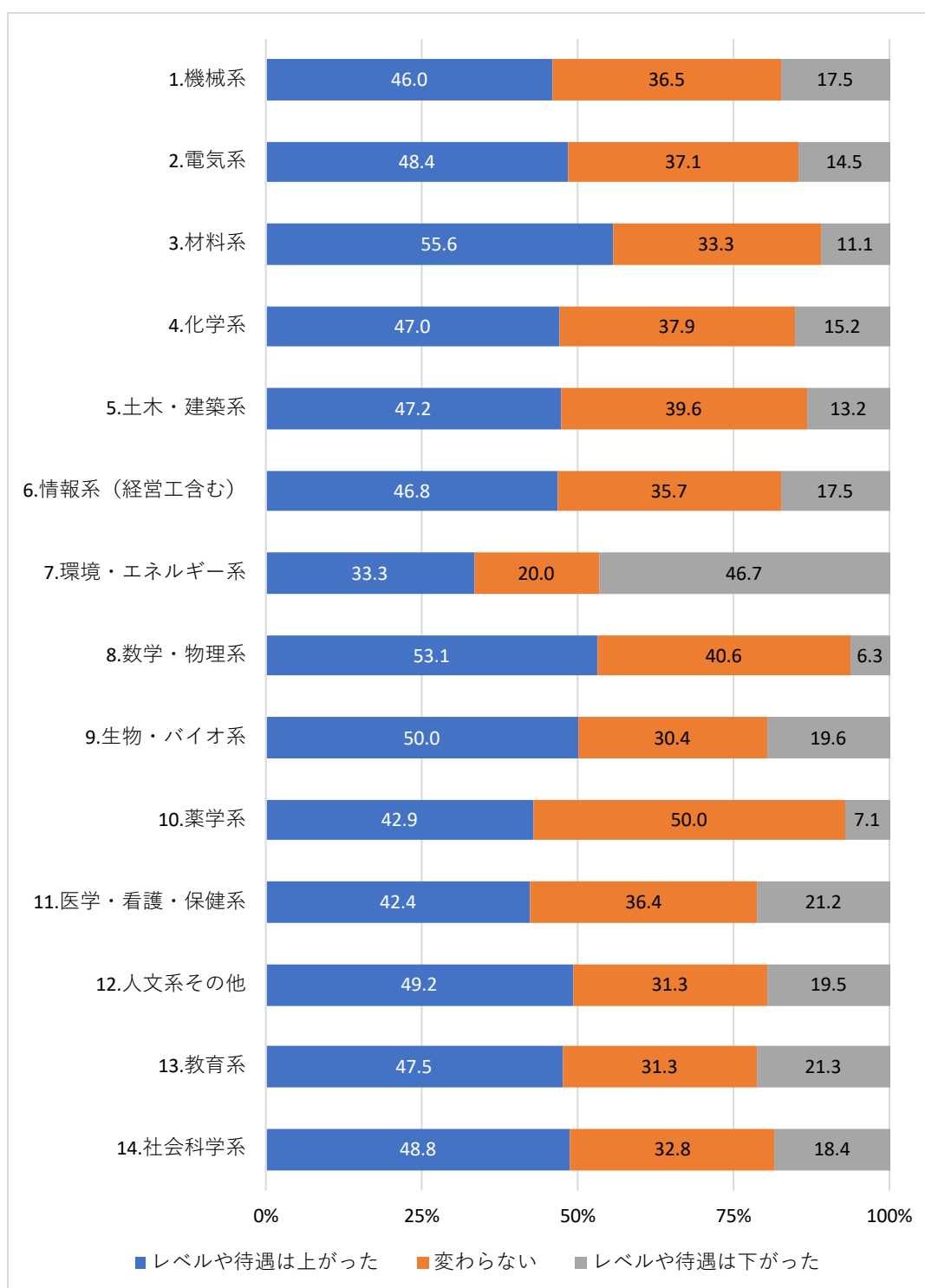
g) 最終学歴

図表 222 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(最終学歴別)



h) 学部・学科

図表 223 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった(学部・学科別)



問26 あなたの現在の業務は、どの専門系統に当たりますか。最も当てはまる(一番近い)ものをお選びください。(1つ選択)

【選択肢】

※<業務系統リスト>

【単純集計結果】

図表 224 該当者の専門系統

業務系等	N	%
管理、営業・販売、事務等系	758	20.4
その他	510	13.7
情報系	329	8.8
医学・看護・薬学、その他医療系	319	8.6
機械系	266	7.1
会計系	186	5.0
金融(工学)系	186	5.0
教育系	181	4.9
電気系	153	4.1
法律系	152	4.1
建築系	112	3.0
化学系	92	2.5
材料系	67	1.8
土木系	59	1.6
食品科学系	53	1.4
デザイン系	49	1.3
薬理系	37	1.0
経営工学・管理工学系	29	0.8
体育・スポーツ系	23	0.6
心理系	18	0.5
動物・獣医系	17	0.5
森林・木材系	16	0.4
栄養系	15	0.4
芸術(アート)系	15	0.4
化学工学・プロセス工学系	14	0.4
有機合成系	13	0.3
水産系	13	0.3
物理系、応用物理系	12	0.3
数理系、統計系	11	0.3
生物・分子生物・生化学系	11	0.3
植物系	6	0.2

# 参考資料2(分類表)

企業アンケートにおける分類一覧 (問9~問14)

【問9~問11-3, 問14-1~14-3】  
90分類

1	機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)
2	ロボット/メカトロニクス
3	自動車工学/航空宇宙工学/船舶工学
4	電力、アナログ・デジタル回路
5	電子デバイス系(ネット家電、ディスプレイ等)
6	計測・制御、システム工学(ファジー、センシング)
7	物性物理・量子物理、半導体
8	ナノテクノロジー
9	有機・複合材料(有機EL、繊維強化プラスチック等)
10	炭・アルミ・チタン・マグネシウム・セラミックス等
11	炭素系材料(炭素繊維・飛行機体等)
12	薄層、膜性、電子、生体材料
13	材料の分析・設計・加工、めっき・腐食防食
14	化学工学、プロセス工学
15	物理化学、分子デバイス化学(液晶、光触媒等)
16	有機化学、合成化学(薬設計の技術)
17	無機化学(触媒等)
18	分析化学(スペクトル、クロマトグラフィー)
19	気象・海洋、地震・津波、火山、防災・復興学
20	地球環境化、環境化学・モニタリング
21	リサイクル、汚水処理・排ガス、資源循環
22	環境経済・環境政策・環境社会学
23	新エネルギー技術(燃料電池、ワイヤレス電力伝送等)
24	スマートグリッド、スマートシティ等電力システム
25	地球資源、地質、鉱物学
26	土木工学(構造・施工、海岸、地盤等)
27	交通工学、交通・デザイン
28	都市計画系、ランドスケープ・造園
29	建築計画、設計、デザイン、住居
30	建築構造、防災
31	家庭・生活、こども、教育
32	食生活、フードマネジメント
33	ファッション、衣生活学
34	プロダクトデザイン、デザイン学
35	ハード・ソフト(OB、アプリ)、プログラム系
36	通信、ネットワーク、セキュリティ系
37	データベース・検索系
38	人工知能・機械学習、画像(CG等)、インターフェース系
39	統計、オペレーションリサーチ、真偽統計学系
40	WEBコンピューティング(SNS等)、教育・学習工学
41	教科教育、教育指導法、特別支援教育
42	教育学、教育行政学、教育社会学
43	教育心理学、社会心理学、実験心理学
44	臨床心理学
45	経営・生産・サービス・金融工学、リスクマネジメント
46	会計、簿記
47	経営学(組織・経営、ベンチャー論)
48	マーケティング

【問13】  
22分類

1	機械系
2	電気・電子、応用物理、ナノテクノロジー
3	材料系
4	化学工学系
5	化学系
6	環境系
7	エネルギー・資源系
8	土木系
9	建築・住宅系
10	家庭・生活、デザイン系
11	情報系
12	教育・心理系
13	生産・経営系
14	社会科系系
15	人文科系系
16	数学・農林・宇宙系
17	生物・バイオ系
18	基礎医学系・先端医療バイオ系
19	医療・健康系
20	薬学系
21	バイオ工学系
22	農学・バイオ系

49	社会工学、政策科学
50	社会学
51	法医学
52	政治学・国際関係論
53	経済学、農業経済・貿易経済
54	哲学・倫理学、宗教学、科学技術論
55	法学、考古学
56	地域研究、文化人類学・民俗学
57	文学、漢学・美術史・芸術論、外国語学
58	数学(解析、代数、幾何、確率系、離散数学等)
59	素粒子、宇宙、プラズマ物理学
60	天文学
61	地球科学・古生物、惑星科学・宇宙学
62	分子生物学・細胞生物学・発生生物学、生化学
63	遺伝学・系統分類学
64	バイオインフォマティクス、ゲノム学
65	生態学
66	自然人類学
67	ホルモン、免疫、細菌等基礎医学(放射線、環境ホルモンを含む)
68	がん治療・診断・治療(抗がん物質)
69	先端医学化学(ゲノム編集、遺伝子診断等)
70	神経科学、脳科学
71	医学(心臓、血液、消化器、呼吸器、整形・形成外科、皮膚・麻酔等)
72	心療医学、東洋医学、緩和医学、老年医学
73	歯学
74	獣医学
75	社会福祉学
76	リハビリ、理学・作業・言語療法
77	予防医学、法医学、医療管理学
78	健康・スポーツ科学、保健・体育教育
79	創薬系化学、製剤学(生薬等も含む)
80	薬理・薬物動態、臨床薬学・検査
81	バイオ産業工学・プロセス、食品工学
82	バイオマテリアル、ドラッグデリバリー
83	生体情報・放射線治療、ゲノム工学、遺伝診断
84	健康・福祉工学、介護ロボット等
85	植物科学、育種・作物・園芸
86	森林科学、林産資源、バイオマス
87	水産資源、養殖
88	獣医・畜産、応用動物学
89	広間・環境微生物学、食料学
90	食品科学、栄養学

・分類対応表

267分類	90分類	30分類	22分類
1 設計工学(人間工学も含む)	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
2 機械工学(機械要素(歯車等))	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
3 トライボロジー(摩擦・摩耗・潤滑)	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
4 加工工学(機械加工工学、工作機械など)	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
5 燃焼・熱機関(冷凍・空調、熱力学等)	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
6 伝熱・熱物性(移動速度論など)	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
7 流体工学、流体機械	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
8 機械材料	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
9 材料工学(構造、破壊など)	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	1 機械	1 機械系
10 生産工学(生産モデリング、工程設計等)	11 機械工学(設計、エンジン、材料、流体等)	23 生産・安全・経営・社会	1 機械系
11 機械力学(振動、騒音等制御工学を含む)	22 ロボット・メカトロニクス	1 機械	1 機械系
12 メカトロニクス・ロボティクス	22 ロボット・メカトロニクス	1 機械	1 機械系
13 自動車工学(水素自動車等)	33 自動車工学/航空宇宙工学/船舶工学	2 輸送機械	1 機械系
14 航空宇宙工学	33 自動車工学/航空宇宙工学/船舶工学	2 輸送機械	1 機械系
15 船舶工学	33 自動車工学/航空宇宙工学/船舶工学	2 輸送機械	1 機械系
16 海洋工学	33 自動車工学/航空宇宙工学/船舶工学	2 輸送機械	1 機械系
17 電力工学・電力変換(送電・配電等)	44 電力・アナログ・デジタル回路	3 電力・電気機器・回路系	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
18 電気機器(パワーエレクトロニクス・照明(モーター工学も含む))	44 電力・アナログ・デジタル回路	3 電力・電気機器・回路系	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
19 アナログ回路(電源、高周波、超高速演算、パルス等)	44 電力・アナログ・デジタル回路	3 電力・電気機器・回路系	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
20 デジタル回路、LSI(FPGA等)	44 電力・アナログ・デジタル回路	3 電力・電気機器・回路系	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
21 電子デバイス(半導体工学等)	55 電子デバイス系(ネットワーク家電、ディスプレイ等)	4 電子系デバイス	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
22 電子機器・パッケージ	55 電子デバイス系(ネットワーク家電、ディスプレイ等)	4 電子系デバイス	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
23 ディスプレイ(薄膜ディスプレイ、大面積、可視性、色情報、画像、動画、情報家電等)	55 電子デバイス系(ネットワーク家電、ディスプレイ等)	4 電子系デバイス	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
24 カーエレクトロニクス(AV、CAN、電気自動車など)	55 電子デバイス系(ネットワーク家電、ディスプレイ等)	4 電子系デバイス	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
25 光エレクトロニクス・デバイス(光工学を含む)	66 計測・制御・システム工学(フジオー、センシング)	5 計測・制御・システム系	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
26 計測工学(光計測を含む)	66 計測・制御・システム工学(フジオー、センシング)	5 計測・制御・システム系	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
27 制御工学	66 計測・制御・システム工学(フジオー、センシング)	5 計測・制御・システム系	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
28 システム工学	66 計測・制御・システム工学(フジオー、センシング)	5 計測・制御・システム系	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
29 結晶工学、厚膜(アモルファス、非結晶も含む)	77 物性物理・量子物理、半導体	6 物性・電気・電子材料	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
30 薄層・表面界面物性	77 物性物理・量子物理、半導体	6 物性・電気・電子材料	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
31 物性物理(応用系、電子材料・半導体、誘電体、磁性体、絶縁体等)	77 物性物理・量子物理、半導体	6 物性・電気・電子材料	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
32 物性物理(超伝導、低温、スピン物性等)	77 物性物理・量子物理、半導体	6 物性・電気・電子材料	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
33 数値物理、統計物理(第一原理による)・熱力学	77 物性物理・量子物理、半導体	6 物性・電気・電子材料	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
34 原子・分子物理、量子物理、量子エレクトロニクス	77 物性物理・量子物理、半導体	6 物性・電気・電子材料	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
35 凝縮物性化学(光、電子、スピン等)	77 物性物理・量子物理、半導体	6 物性・電気・電子材料	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
36 基礎物理(力、熱、光、波、電磁気等)	77 物性物理・量子物理、半導体	6 物性・電気・電子材料	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
37 フラクタル構造・材料・物性(フラーレン、ナノチューブ・グラフェン、量子ドット・デバイス、分子量子線)	88 ナノテクノロジー	7 ナノ、マイクロ	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
38 ナノマイクロデバイス・システム(MEMS、NEMS等)	88 ナノテクノロジー	7 ナノ、マイクロ	2 電気・電子・応用物理、ナノテク系
39 有機・ハイブリッド材料(有機半導体等)	99 有機・複合材料(有機EL、有機酸化プラスチック等)	8 材料化学・工学	3 材料系
40 複合材料(繊維強化プラスチック、金属、プラスチック・セラミックス系等)	99 有機・複合材料(有機EL、有機酸化プラスチック等)	8 材料化学・工学	3 材料系
41 金属工学・材料、無機物性・材料(金属、セラミックス、アモルファス、耐火物、物性、超伝導等)	1010 鉄・アルミ・チタン・マグネシウム・セラミックス等	8 材料化学・工学	3 材料系
42 腐食材料(アルミニウム・チタン、マグネシウム等)	1010 鉄・アルミ・チタン・マグネシウム・セラミックス等	8 材料化学・工学	3 材料系
43 金属工学(反応・分離・精製、製造プロセス、省エネプロセス、化学熱力学等)	1010 鉄・アルミ・チタン・マグネシウム・セラミックス等	8 材料化学・工学	3 材料系
44 炭素系物質・材料	1111 炭素系材料(炭素繊維・飛行機>等)	8 材料化学・工学	3 材料系
45 構造・機能材料(薄層、生体、電子、磁性など)	1212 薄層、磁性、電子、生体材料	8 材料化学・工学	3 材料系
46 表面工学(物性、表面処理、めっき、腐食防食等)	1313 材料の分析・設計・加工、めっき・腐食防食	8 材料化学・工学	3 材料系
47 溶接・接合・接着	1313 材料の分析・設計・加工、めっき・腐食防食	8 材料化学・工学	3 材料系
48 材料加工・組織制御(熱処理、塑性加工、粉末冶金、3次元加工等)	1313 材料の分析・設計・加工、めっき・腐食防食	8 材料化学・工学	3 材料系
49 物質・材料設計	1313 材料の分析・設計・加工、めっき・腐食防食	8 材料化学・工学	3 材料系
50 物質・材料の分析・評価(機器分析、結晶解析、材料試験、非破壊検査など)	1313 材料の分析・設計・加工、めっき・腐食防食	8 材料化学・工学	3 材料系
51 化学工学<基礎系>(物性、反応、分離、精製等)	1414 化学工学・プロセス工学	9 プロセス・化学工学	4 化学工学系
52 反応工学(反応速度論、重合等)	1414 化学工学・プロセス工学	9 プロセス・化学工学	4 化学工学系
53 物性工学(物性論系、粉体加工等)	1414 化学工学・プロセス工学	9 プロセス・化学工学	4 化学工学系
54 社説、プロセス制御、システム設計	1414 化学工学・プロセス工学	9 プロセス・化学工学	4 化学工学系
55 エネルギー変換工学(触媒・資源化学プロセス)	1414 化学工学・プロセス工学	9 プロセス・化学工学	4 化学工学系
56 環境化学	1515 物理化学・分子デバイス化学(液晶、光触媒等)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
57 基礎物理化学(構造・分子動力学・分子分光等)	1515 物理化学・分子デバイス化学(液晶、光触媒等)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
58 核・放射化学	1515 物理化学・分子デバイス化学(液晶、光触媒等)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
59 エネルギー関連化学(氷結凍等)	1515 物理化学・分子デバイス化学(液晶、光触媒等)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
60 分子デバイス化学(半導体・光・電池等)	1515 物理化学・分子デバイス化学(液晶、光触媒等)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
61 生物・化学等、現象の物理(高分子、コロイド、光合成、生体等)	1616 有機化学・合成化学(薬設計の技術)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
62 基礎有機化学(薬学系も含む・天然物等も含む)	1616 有機化学・合成化学(薬設計の技術)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
63 合成化学(有機金属触媒、コンビナトリアルも含む、天然物合成等)	1616 有機化学・合成化学(薬設計の技術)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
64 高分子化学・機能性高分子(繊維も含む)	1616 有機化学・合成化学(薬設計の技術)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
65 天然物・生物有機化学(生薬・薬用資源・構造活性相関、合成、化学生薬学など)	1616 有機化学・合成化学(薬設計の技術)	28 薬学系	5 化学系
66 基礎無機化学(錯体等)	1717 無機化学(錯体等)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
67 分析化学	1818 分析化学(スペクトル、クロマトグラフィ)	10 化学(理論を含む)	5 化学系
68 気象・大気・海洋・プラズマ圏	1919 気象・海洋・地震・津波、火山、防災・復興学	11 環境	6 環境系
69 自然地理学(地形・気候・水文、土地利用、地図、地理情報システム等)	1919 気象・海洋・地震・津波、火山、防災・復興学	11 環境	6 環境系
70 自然災害科学、防災学(地震・津波・火山学、地震、気象等各種自然災害、地域防災、復興学、災害予測・対策・リスク等)	1919 気象・海洋・地震・津波、火山、防災・復興学	11 環境	6 環境系
71 地球温暖化・環境変動・循環モデル・評価(アセスメント等)	2020 地球温暖化・環境化学・モニタリング	11 環境	6 環境系
72 環境化学(環境計測、センサーモニタリング、汚染物質評価等)	2020 地球温暖化・環境化学・モニタリング	11 環境	6 環境系
73 環境負荷低減、保全修復(排水・排ガス、廃棄物発生制御、騒音・振動、地盤調査、汚染除去、修復、生物修復利用等)	2121 リサイクル、汚水処理・排ガス、資源循環	11 環境	6 環境系
74 資源・リサイクル工学(資源分離・確保、環境調和、リサイクル等)	2121 リサイクル、汚水処理・排ガス、資源循環	11 環境	6 環境系
75 土木環境システム、衛生工学	2121 リサイクル、汚水処理・排ガス、資源循環	13 土木	6 環境系
76 環境政策・社会学(経済・法等)	2222 環境経済・環境政策・環境社会学	11 環境	6 環境系
77 エネルギー変換、貯蔵等(太陽光活用、炭酸ガス活用、燃料電池、バッテリー、ワイヤレス電力伝送等)	2323 新エネルギー技術(燃料電池、ワイヤレス電力伝送等)	12 エネルギー・資源	7 エネルギー・資源系
78 原子力工学(安全設計、反応制御、原子炉炉稼、環境修復)	2323 新エネルギー技術(燃料電池、ワイヤレス電力伝送等)	12 エネルギー・資源	7 エネルギー・資源系
79 核融合学	2323 新エネルギー技術(燃料電池、ワイヤレス電力伝送等)	12 エネルギー・資源	7 エネルギー・資源系
80 エネルギー<電力系>(エネルギーシステム、スマートグリッド等)	2424 スマートグリッド、スマートシティ等電力システム	12 エネルギー・資源	7 エネルギー・資源系
81 地質学・鉱物学	2525 地球資源、地質、鉱物学	12 エネルギー・資源	7 エネルギー・資源系
82 地球・資源システム工学(地質工学、資源開発、廃棄物処分、地層汚染等)	2525 地球資源、地質、鉱物学	12 エネルギー・資源	7 エネルギー・資源系
83 構造工学・維持管理工学	2626 土木工学(構造・施工、海洋、地盤系)	13 土木	8 土木系
84 地震工学	2626 土木工学(構造・施工、海洋、地盤系)	13 土木	8 土木系
85 土木材料	2626 土木工学(構造・施工、海洋、地盤系)	13 土木	8 土木系
86 土木施工・建設マネジメント	2626 土木工学(構造・施工、海洋、地盤系)	13 土木	8 土木系
87 地盤工学	2626 土木工学(構造・施工、海洋、地盤系)	13 土木	8 土木系
88 水理・河川工学、海洋・港湾工学	2626 土木工学(構造・施工、海洋、地盤系)	13 土木	8 土木系
89 農業土木、地域環境工学(計画(水利、保全、生態系、景観等))	2626 土木工学(構造・施工、海洋、地盤系)	13 土木	8 土木系







## 参考資料3(企業アンケート)

## 平成 29 年度産業技術調査 (産業振興に寄与する理工系人材の需給実態等調査)

以下のアンケート回答にあたり、下記の定義に沿って回答願います。

- ・採用人数：国内を対象とした正社員採用人数を指します  
(海外子会社の現地採用等は除きます)
- ・従業員数：正社員・正職員に限定してお答え下さい

### 問 1 会社名をご記入ください (自由記入)

※会社名を記入

### 問 2 本社所在地をお選びください。(1つ選択)

※47 都道府県リストから選択

### 問 3 創業年をご記入ください

※創業年を記入

### 問 4 資本金をお選びください。(1つ選択)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 1,000 万円以下          | 4. 5,000 万円～1 億円未満 |
| 2. 1,000 万円～2,000 万円未満 | 5. 1 億円～10 億円未満    |
| 3. 2,000 万円～5,000 万円未満 | 6. 10 億円以上         |

### 問 5 業種をお選びください。(1つ選択)

※業種リストから選択

### 問 6 売上高及び利益状況について、3 年前と直近の事業年度とを比較した際の推移、ならびに今後 1 年間の見込みをお選びください。(それぞれ 1 つ選択)

	売上高			経常利益		
3 年前と直近の事業年度	1.増加	2.横ばい	3.減少	1.増加	2.横ばい	3.減少
今後1年間見込み	1.増加	2.横ばい	3.減少	1.増加	2.横ばい	3.減少

### 問 7 現時点の従業員数(正社員・正職員)をお選びください。(1つ選択)

- |            |               |                |
|------------|---------------|----------------|
| 1. 10 人以下  | 4. 51-100 人   | 7. 1001-3000 人 |
| 2. 11-30 人 | 5. 101-300 人  | 8. 3001-5000 人 |
| 3. 31-50 人 | 6. 301-1000 人 | 9. 5001 人以上    |

※契約社員やパートタイマー・アルバイトは除きます。取締役は含みます。

問8 従業員数(正社員・正職員)について、3年前と直近の事業年度とを比較した際の推移、ならびに今後1年間の見込みをお選びください。(事務系、技術系別) (それぞれ1つ選択)

職種	年度	従業員数の推移		
事務系	3年前と直近の事業年度との比較	1.増加	2.横ばい	3.減少
	今後見込み	1.増加	2.横ばい	3.減少
技術系	3年前と直近の事業年度との比較	1.増加	2.横ばい	3.減少
	今後見込み	1.増加	2.横ばい	3.減少

問9 平成29年度4月入社の新入社員(大卒・院卒・高専を対象)として採用を予定した専門分野を全て選択して頂き、採用予定人数と、実際に採用した実績をご記入ください。(全部選択、記述)

※90分類のリストから選択

専門分野	採用予定人数	採用実績
1. 分野A	(自由記入)	(自由記入)
2. 分野B	(自由記入)	(自由記入)
3. ...	(自由記入)	(自由記入)

問10 次の分類の中で、平成31年度4月入社の新規採用として採用を希望する専門分野を全てお選び頂き、採用希望人数を記入下さい(全部選択、記述)

※90分類のリストから選択

専門分野	採用希望人数
1. 分野A	(自由記入)
2. 分野B	(自由記入)
3. ...	(自由記入)

問11-1 5年後、貴社において最も技術者が足りなくなると予想される分野をお選びください。(1つ選択)

※90分類のリストから選択

問 1 1 - 2 5年後、2番目に技術者が足りなくなると予想される分野をお選びください。(1つ選択)

※90分類のリストから選択

問 1 1 - 3 5年後、3番目に技術者が足りなくなると予想される分野をお選びください。(1つ選択)

※90分類のリストから選択

問 1 2 問 1 1 - 1 ~ 問 1 1 - 3 でお選びいただいた分野ごとに、技術者が不足する理由をお選びください。(3つまで選択)

問11で選択した分野	選択肢(3つまで選択ください。)
1. 分野A	1. 当該分野に対する社会的なニーズが高まっており、他社が当該分野の採用数を増やしているため 2. 当該分野を学んでいる学生数が少ないため 3. 業界や自社に対する学生認知が低く、応募が集まらず採用に至らないため 4. 団塊の世代等退職・離職のため 5. その他( )
2. 分野B	(同上)
3. ...	(同上)

問 1 3 下記分野ごとに、現在の従業員数と、5年後に不足すると思われる従業員数をご記入ください。(記述)

(22項目)	現在の従業員数	5年後に不足すると思われる従業員数
1. 分野A	(自由記入)	(自由記入)
2. 分野B	(自由記入)	(自由記入)
3. ...	(自由記入)	(自由記入)

問 1 4 - 1 この先15年後、新しい研究成果や知見によるイノベーションが生み出されるとすると、それはどの専門知識(スキル)分野になると思いますか。最も当てはまる専門分野を下記よりお選びください。(1つ選択)

※90分類のリストから選択

問 1 4 - 2 この先15年後、新しい研究成果や知見によるイノベーションが生み出されるとすると、それはどの専門知識(スキル)分野になると思いますか。2番目に当てはまる専門分野を下記よりお選びください。(1つ選択)

※90分類のリストから選択

問14-3 この先15年後、新しい研究成果や知見によるイノベーションが生み出されるとすると、それはどの専門知識（スキル）分野になると思いますか。3番目にあてはまる専門分野を下記よりお選びください。（1つ選択）

※90分類のリストから選択

問15 技術者の育成のために注力している取組をお選びください。（3つまで選択）

1. メンター制度の実施	5. 国内外留学・派遣制度の充実
2. 社内研修	6. 自己啓発支援
3. OJT	7. その他( )
4. Off-JT(外部研修)	8. 実施していない

問16 産学連携の取組について、実際に取り組んでいるものをお選びください。（全て選択）

1. 共同研究	6. 1週間程度のインターンシップ受入
2. 寄附講座	7. 1ヶ月以上の中長期インターンシップ受入
3. 講師派遣	8. 行っていない
4. 教材提供	9. その他( )
5. 学生を対象とした1日程度のセミナー実施	

問17 産学連携の取組について、これから行いたいものをお選びください。（全て選択）

1. 共同研究	6. 1週間程度のインターンシップ受入
2. 寄附講座	7. 1ヶ月以上の中長期インターンシップ受入
3. 講師派遣	8. 行う予定はない
4. 教材提供	9. その他( )
5. 学生を対象とした1日程度のセミナー実施	

## 参考資料4(社会人アンケート)

## 産業振興に寄与する理工系人材の需給実態等調査（社会人）

問1 あなたの性別をお答えください。（1つ選択）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 現在の年齢をお選びください。（1つ選択）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 22 歳未満  | 5. 35-39 歳 | 9. 55-59 歳 |
| 2. 22-24 歳 | 6. 40-44 歳 | 10. 60 歳以上 |
| 3. 25-29 歳 | 7. 45-49 歳 |            |
| 4. 30-34 歳 | 8. 50-54 歳 |            |

問3 現在の勤務先の雇用形態をお選びください。（1つ選択）

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 自営業                   |
| 2. 経営者・役員                |
| 3. 正規社員、正規教職員・研究員(公務員等)等 |
| 4. 契約・非正規の社員・教職員・研究員、嘱託等 |
| 5. 派遣の社員・教職員等            |
| 6. アルバイト・パート             |
| 7. 求職中                   |
| 8. その他( )                |

問4 あなたのお住まいの地域をお選びください。（1つ選択）

※47 都道府県リストから選択

問5 あなたの勤務地をお選びください。（1つ選択）

※47 都道府県リストから選択

問6 あなたの勤務先の従業員数をお選びください。（1つ選択）

- |            |               |              |
|------------|---------------|--------------|
| 1. 10 人以下  | 4. 51-100 人   | 7. 1,001 人以上 |
| 2. 11-30 人 | 5. 101-300 人  | 8. わからない     |
| 3. 31-50 人 | 6. 301-1000 人 |              |

**問 7 あなたの業務は、次のどの製品・サービス群を対象としていますか。最も当てはまる（一番近い）ものをお選びください。（1つ選択）**

※業種リストから選択

**問 8 あなたの職種は何ですか。最も当てはまる（一番近い）ものをお選びください。（1つ選択）**

※職種リストから選択

**問 9 あなたの年収をお答えください。（1つ選択）**

- |               |                |                 |
|---------------|----------------|-----------------|
| 1. 100 万円以下   | 7. 351～400 万円  | 13. 701～800 万円  |
| 2. 101～150 万円 | 8. 401～450 万円  | 14. 801～900 万円  |
| 3. 151～200 万円 | 9. 451～500 万円  | 15. 901～1000 万円 |
| 4. 201～250 万円 | 10. 501～550 万円 | 16. 1,001 万円以上  |
| 5. 251～300 万円 | 11. 551～600 万円 | 17. 答えたくない      |
| 6. 301～350 万円 | 12. 601～700 万円 |                 |

**問 10 あなたの最終学歴をお選びください。（1つ選択）**

- |           |               |              |
|-----------|---------------|--------------|
| 1. 高校     | 5. 大学(学部)-国公立 | 9. 大学院博士-国公立 |
| 2. 専門学校   | 6. 大学(学部)-私立  | 10. 大学院博士-私立 |
| 3. 短期大学   | 7. 大学院修士-国公立  |              |
| 4. 高等専門学校 | 8. 大学院修士-私立   |              |

**問 11 最終学歴の学校を卒業・修了（あるいは中退等も含む）した年次をお答えください。（1つ選択）**

※1980～2017 まで1年刻＋在学中

**問 12 あなたの最終学歴の教育機関の所在地をお選びください。（1つ選択）**

※47 都道府県＋海外

**問 13 あなたの最終学歴につき、その学部・学科（研究科・専攻）について最も近いものをお選びください。（1つ選択）**

※＜学部学科リスト＞



問14-1 あなたが、在学中に学んだ専門知識（スキル）分野において、最も専門性が高いものをお選びください。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

問14-2 あなたが、在学中に学んだ専門知識（スキル）分野において、2番目に専門性が高いものをお選びください。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

問14-3 あなたが、在学中に学んだ専門知識（スキル）分野において、3番目に専門性が高いものをお選びください。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

問15 問14-1で回答した「在学中に学んだ最も専門性が高い専門知識（スキル）分野」についてお答えください。（それぞれ1つ選択）

	そう思う	少しそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1. その知識やスキルは、これまでに従事してきた業務に活かされていると思う	1	2	3	4
2. その知識やスキルは、昇進や収入に有利に働いていると思う	1	2	3	4
3. その知識やスキルは、従事した業務を通してさらに高めることができていると思う	1	2	3	4
4. その知識やスキルは、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思う	1	2	3	4
5. その知識やスキルは、就職の際に有利に働いたと思う	1	2	3	4
6. その分野と実社会や産業界との関連性について、研究室やゼミで学んだ	1	2	3	4
7. 高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだ	1	2	3	4
8. 大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあった	1	2	3	4

問16 最終学歴の教育機関等を卒業する際に、就職先を選ぶにあたって優先した項目をお選びください。（3つ選択）

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1. 大学で学んだことが活かせる   | 4. 業界に成長性を感じる |
| 2. 企業内の教育体制が充実している | 5. 給与・待遇      |
| 3. 会社に成長性を感じる      | 6. その他( )     |

問17 応募時に履修履歴（成績証明証等）の提出を求められた企業の割合をお答え下さい。ただし、応募した全ての企業数を100%として下さい。

応募時	%
1次選考時	%
2次選考時	%
3次選考～最終選考	%
内定後提出	%
その他(全く提出していないなど)	%

問18-1 現在、あなたが担当する業務（仕事）に、最も関係が深い専門知識（スキル）分野をお選びください。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

問18-2 現在、あなたが担当する業務（仕事）に、2番目に関係が深い専門知識（スキル）分野をお選びください。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

問18-3 現在、あなたが担当する業務（仕事）に、3番目に関係が深い専門知識（スキル）分野をお選びください。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

問19 あなたが、現在の業務で最も関係している専門知識について、最も中心的に学んだところを1つお選びください。（1つ選択）

1. 大学・大学院・(高専含む)で学んだ	3. 働きながら、自分で学んだ(外部教育機関や通信講座や本等)
2. 企業内研修(外部機関、インターネット利用も含む)で学んだ	4. その他(仕事の中で自然に学んだ等)

問20-1 あなたが、自らの2-3年後をイメージして、仮に、今、大学（または大学院）に入り直して学ぶ機会が与えられたなら、どのような分野を学びますか。最も希望する分野について選択して下さい。特に仕事での自分をイメージして、お考えください。以下の「学び直したい理由」も考慮し、学びたい分野を、下記のリストの中からお選びください。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

問20-2 あなたが、自らの2-3年後をイメージして、仮に、今、大学（または大学院）に入り直して学ぶ機会が与えられたなら、どのような分野を学びますか。2番目に希望する分野について選択して下さい。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

問20-3 あなたが、自らの2-3年後をイメージして、仮に、今、大学（または大学院）に入り直して学ぶ機会が与えられたなら、どのような分野を学びますか。3番目に希望する分野について選択して下さい。（1つ選択）

※<22 学系→267 小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

（学び直したい理由）

1. 自らの業務や関連業務を、質的に高度化したり、領域を拡大したりするのに有効
2. 自らの企業や、業界や、事業全体を見渡すと重要な分野になりそうだから
3. 自らのキャリアを変えたり、キャリアアップを行うために有効

問21-1 あなたは、現在従事している業務全般に対して、満足感をお持ちですか。あてはまるものをお選びください。（1つ選択）

	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない
1. 業務全般に対する満足感	1	2	3	4

問21-2 あなたは、業務における下記の項目について、どんな実感や満足感などをお持ちですか。（それぞれ1つ選択）

	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない
1. 社会に貢献できている実感	1	2	3	4
2. 高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活かしている実感	1	2	3	4
3. 自身に対する会社・上司等からの期待や評価(昇進・昇給等も)を受けている実感	1	2	3	4
4. 給与・収入に対する満足感	1	2	3	4
5. 振り返ると、就職(求職)活動の苦労は少なかった実感(スムーズだった実感)	1	2	3	4
6. 高専・大学・大学院卒業後、1-2年目に就いた業務で、信頼され業務を任されていた実感	1	2	3	4

7. 高専・大学・大学院卒業後はじめに就職した会社での初任給に対する満足感	1	2	3	4
8. 職場環境に対する満足感(人間関係など)	1	2	3	4
9. 福利厚生等に対する満足感	1	2	3	4
10. 労働条件(労働時間、休日等)を守った働き方が出来ている実感	1	2	3	4
11. その他( )	1	2	3	4

**問22** 問21-1~21-3で選択した学び直したい分野について、実際に学ぶならどんな方法が考えられますか。有効であると思われる方法をいくつでもお選びください。また、あなたが実際にその方法で学ぶとした際の費用負担について、あなたのお考えを1つお選びください。(1つ選択)

(有効な方法)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自社内での研修</li> <li>2. 外部教育機関(大学を除く、研修機関・専門学校等)での学習</li> <li>3. インターネットなどを利用したオンライン講座(放送大学やMOOCs&lt;※&gt;もの)の履修</li> <li>4. 大学(院)の授業の科目ごとの履修</li> <li>5. 大学(院)での短期集中型プログラムの履修</li> <li>6. 社会人大学院修士課程での履修</li> <li>7. 社会人大学院博士課程での履修</li> <li>8. 退社しての修士課程への進学</li> <li>9. 退社しての博士課程への進学</li> <li>10. 参考書などを活用しての独学</li> <li>11. 自主的な勉強会・研究会への参加(社内・社外、特別講演会やセミナー、外部交流会、学会・研究会等)</li> </ol> |
|---|

<※>MOOCs=大学などの高等教育機関が連携しインターネットを通じて講義をオンライン公開する取り組み、あるいはシステムの集合体

(費用負担について)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全額、勤め先や公的給付金等による費用負担があるなら学ぶ</li> <li>2. 一部、勤め先や公的給付金等による費用負担があるなら学ぶ</li> <li>3. 全額自己負担であっても学ぶ</li> <li>4. その他( )</li> </ol> |
|---|

**問23 MOOCsなどオンライン講座で学ぶメリットとデメリットは、何だ  
とお考えになりますか。該当するものを、いくつでもお選びください。**

**(全て選択)**

**(メリット)**

1. 時間の自由が利く
2. 通勤中スマホ・タブレットでも見られる
3. 有名講師の良質講座が多い
4. 費用が安い
5. メニューが豊富である
6. 修了証書が出る
7. 入学・履修に対しての敷居が低い

**(デメリット)**

1. 学びたい(学ばせたい)講座がない、講座のメニューが豊富ではない
2. 産業界に必要な知識・スキルに関する講座が少ない
3. 実践的なスキル習得ができない
4. そもそもどんなオンライン講座があるのか探せない
5. 双方向ではないので学びや知識が深まらない
6. 学んだことが、仕事で評価されにくい(評価しにくい)
7. どこのオンライン講座が良質なのか判断がつかない
8. 会社からの褒賞がない
9. 自己管理が必要で確実な履修が難しい
10. 費用が高い

**問24 転職経験はありますか。(1つ選択)**

1. ある
2. ない

**問25-1 あると答えた方に伺います。複数回、転職された方は、直近の転職  
についてお答えください。最初の就職は、高専・大学・大学院で最  
も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務だった(1つ選択)**

1. はい
2. いいえ

**問25-2 転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門  
分野に関わる業務である(1つ選択)**

1. はい
2. いいえ

問25-3 転職後は、転職前と似た業務や業界である（1つ選択）

1. はい

2. いいえ

問25-4 転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった（1つ選択）

1. レベルや待遇は上がった

3. レベルや待遇は下がった

2. 変わらない

問26 あなたの現在の業務は、どの専門系統に当たりますか。最も当てはまる（一番近い）ものをお選びください。（1つ選択）

※<業務系統リスト>

# 参考資料5(平成 28 年度産業技術調査事業アンケート 票)

社会人アンケート・就職アンケート最終版

## 基本設問

### 基本設問 F1

あなたの性別をお答えください。

- 1 男性
- 2 女性

### 基本設問 F2

現在の年齢をお選びください。

- 1 22 歳未満
- 2 22-24 歳
- 3 25-29 歳
- 4 30-34 歳
- 5 35-39 歳
- 6 40-44 歳
- 7 45-49 歳
- 8 50-54 歳
- 9 55-59 歳
- 10 60 歳以上

### 基本設問 F3

現在の勤務先の雇用形態をお選びください。

- 1 自営業
- 2 経営者・役員
- 3 正社員、正規教職員・研究員(公務員等)等
- 4 契約・非正規の社員・教職員・研究員、嘱託等
- 5 派遣の社員・教職員等
- 6 アルバイト・パート
- 7 求職中
- 8 その他

### 基本設問 F4\_1

あなたのお住まいの地域をお選びください。

※47 都道府県リスト

#### 基本設問 F4\_2

あなたの勤務地をお選びください。

※47 都道府県リスト

#### 基本設問 F5

あなたの勤務先の従業員数をお選びください。

1 9人以下

2 10-29人

3 30-49人

4 50-99人

5 100-299人

6 300-999人

7 1,000人以上

8 わからない

#### 事前設問

##### 事前設問 SC1

あなたの業務は、次のどの製品・サービス群を対象としていますか。最も当てはまる(一番近い)ものをお選びください。

→選択肢<業種リスト>

##### 事前設問 SC2

あなたの職種は何ですか。最も当てはまる(一番近い)ものをお選びください。

→選択肢<職種リスト>

##### 事前設問 SC3

あなたの年収をお答えください。

1 100万円未満

2 100～149万円

3 150～199万円

4 200～249万円

5 250～299万円

6 300～349万円

7 350～399万円



- 8 400～449 万円
- 9 450～499 万円
- 10 500～549 万円
- 11 550～599 万円
- 12 600～699 万円
- 13 700～799 万円
- 14 800～899 万円
- 15 900～999 万円
- 16 1,000 万円以上
- 17 答えたくない

事前設問 SC4

あなたの最終学歴をお選びください。

- 1 高校
- 2 専門学校
- 3 短期大学
- 4 高等専門学校
- 5 大学(学部)・国公立
- 6 大学(学部)・私立
- 7 大学院修士・国公立
- 8 大学院修士・私立
- 9 大学院博士・国公立
- 10 大学院博士・私立

事前設問 SC4SQ

最終学歴の学校を卒業・修了(あるいは中退等も含む)した年次をお答えください。

※1980～2016 まで1年刻＋在学中

SC5

あなたの高校または高等専門学校の所在地と、その学校が「国立・公立」か「私立」かをお選びください。

※47 都道府県＋海外

事前設問 SC6

あなたの最終学歴の教育機関の所在地をお選びください。

※47 都道府県+海外

事前設問 SC7

あなたの最終学歴につき、その学部・学科(研究科・専攻)について最も近いものをお選びください。

→選択肢<学部学科リスト>

事前設問 SC8

あなたが、最終学歴で所属した研究室(または専門的な研究を行うゼミ)で、主に扱っていた専門知識(スキル)分野(属していない場合は、最も力を入れた専門知識(スキル)分野)として、最も当てはまる(一番近い)ものを1つお選びください。

→選択肢<22 学系→267 小分類 (の専門知識 (スキル) 分野リスト) >

事前設問 SC9

SC8 で回答した「最終学歴で所属した研究室(または専門的な研究を行うゼミ)で、主に扱っていた専門知識(スキル)分野」〇〇〇(SC8 回答テキスト再掲)についてお答えください。(それぞれひとつずつ)

そう思う 少しだけそう思う あまりそうは思わない そうは思わない

- 1 その知識やスキルは、これまでに従事してきた業務に関係していると思う
- 2 その知識やスキルは、昇進や収入に影響を与えていると思う
- 3 その知識やスキルは、従事した業務を通してさらに高めることができていると思う
- 4 その知識やスキルは、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思う
- 5 その知識やスキルは、就職の際に有利に働いたと思う
- 6 その分野と実社会や産業界との関連性について、研究室やゼミで学んだ
- 7 高専、大学、大学院時代に、その分野の研究や知識・スキル向上に熱心に取り組んだ
- 8 大学・高専等に進学前から、その分野への関心はあった

事前設問 SC10

現在、あなたが担当する業務(仕事)に、関係が深い専門知識(スキル)分野を、3つまでお選びください。

→選択肢<22 学系→267 小分類 (の専門知識 (スキル) 分野リスト) >

事前設問 SC11

SC10 で選んだ、「現在、あなたが担当する業務(仕事)に、関係が深い専門知識(スキル)分野」のうち、「最も関係している」分野を1つお選びください。

#### 事前設問 SC12

SC10 で選んだ、「現在、あなたが担当する業務(仕事)に、関係が深い専門知識(スキル)分野」に関してお答えください。その分野をあなたは学生時代に学びましたか。(それぞれひとつずつ)

- 1 しっかり学んだ
- 2 学んだがその内容は不足している
- 3 学んでいなかったが、振り返ると学んでおくべきだった
- 4 学んでいなかったし、学生時代に必ずしも学んでおく必要はなかった

#### 事前設問 SC13

SC11 で選んだ、「現在、あなたが担当する業務(仕事)に、最も関係している専門知識(スキル)分野」○○○(SC11 回答テキスト再掲)をどこで学びましたか。以下より、最も中心的に学んだところを1つお選びください。

- 1 高専・大学・大学院時代、学部・学科の講義で学んだ
- 2 高専・大学・大学院時代、研究室・ゼミで扱う分野として学んだ
- 3 高専・大学・大学院時代、外部教育機関や所属の学部・学科以外(大学附設の教育センター)の講義で学んだ
- 4 高専・大学・大学院卒業後、ふたたび、高専・大学・大学院を含め外部教育機関に入り学び、その後就職した
- 5 就職後1-2年に、企業内の研修で学んだ(会社内の一斉の研修など)
- 6 就職後1-2年に、企業の研修として、外部教育機関やインターネット利用も含めた通信講座などで学んだ
- 7 就職後1-2年に、自分で学んだ(外部教育機関や通信講座や本等)
- 8 就職後3年以降に、企業内の研修で学んだ
- 9 就職後3年以降に、企業の研修として、外部教育機関やインターネット利用も含めた通信講座などで学んだ
- 10 就職後3年以降に、自分で学んだ(外部教育機関や通信講座や本等)
- 11 就職後一旦退社し、大学や外部教育機関、インターネット利用も含めた通信講座、本などで学んだ
- 12 高専・大学に入る前に学んだ(高校、中学等)
- 13 その他、特に学んでいない等(仕事の中で自然に学んだも含む)

#### 事前設問 SC14

あなたが、自らの2-3年後をイメージして、仮に、今、大学(または大学院)に入り直して学ぶ機会が与えられたなら、どのような分野を学びますか。特に仕事での自分をイメージして、お考えください。以下の「学び直したい理由」も考慮し、学びたい分野を、下記のリストの中から2つまでお選びください。

<学び直したい理由>

●自らの業務や関連業務を、質的に高度化したり、領域を拡大したりするのに有効(出身の専門分野<〇〇〇(SC8回答テキスト再掲)>や業務に関わる分野<〇〇〇(SC11回答テキスト再掲)>に近いが、それ以外の専門分野など)

●自らの企業や、業界や、事業全体を見渡すと重要な分野になりそうだから(自分には不得意分野だが、新たな人材には必要そうなので、自分も学んでおく)(IoTなど新動向の学びなど)

●自らのキャリアを変えたり、上げたりしていくために有効(ネットワーク技術者が、システム系を学び、キャリアアップを目指す)

→選択肢<22学系→267小分類(の専門知識(スキル)分野リスト)>

#### 事前設問 SC14SQ

前問でお選びいただいた分野の学び直したい理由を1つお選びください。

1 自らの業務や関連業務を、質的に高度化したり、領域を拡大したりするのに有効(出身の専門分野<〇〇〇(SC8回答テキスト再掲)>や業務に関わる分野<〇〇〇(SC11回答テキスト再掲)>に近いが、それ以外の専門分野など)

2 自らの企業や、業界や、事業全体を見渡すと重要な分野になりそうだから(自分には不得意分野だが、新たな人材には必要そうなので、自分も学んでおく)(IoTなど新動向の学びなど)

3 自らのキャリアを変えたり、上げたりしていくために有効(ネットワーク技術者が、システム系を学び、キャリアアップを目指す)

#### 事前設問 SC15

あなたは、業務全般に対して、どんな実感や満足感などをお持ちですか。(それぞれひとつずつ)

ある    どちらかといえばある    どちらかといえばない    ない

- 1 業務全般に対する満足感
- 2 社会に貢献できている実感
- 3 高専・大学・大学院での専門性(に絡んだ活動<研究室・ゼミのみならず学外プロジェクト等も含め>)が業務に活かしている実感
- 4 自身に対する会社・上司等からの期待や評価(昇進・昇給等も)を受けている実感
- 5 給与・収入に対する満足感
- 6 振り返ると、就職(求職)活動の苦労は少なかった実感(スムーズだった実感)

- 7 高専・大学・大学院卒業後、1・2年目に就いた業務で、信頼され業務を任されていた実感
- 8 高専・大学・大学院卒業後、1・2年目に就いた業務における初任給に対する満足感

## 本調査

### 社会人アンケート

#### 本問 AQ1

(SC9の「その知識やスキルは、就職後、最初に就いた業務に関係していたと思うか」で、(そう思う)と回答した人にお伺いします。)

SC8で回答した「最終学歴で所属した研究室(または専門的な研究を行うゼミ)で、主に扱っていた専門知識(スキル)分野」〇〇〇(SC8回答テキスト再掲)についてお答えください。(それぞれひとつずつ)

そう思う　少しそう思う　あまりそう思わない　そう思わない

- 1 卒業後、1-2年目に就いた業務で求められたその知識(スキル)のレベルは、自分のレベルより高かったですか。
- 2 卒業後、1-2年目に就いた業務で、あなたの持っていたその知識(スキル)は、業務で発揮できたと思いますか。

#### 本問 AQ2

(SC13で、「就職後1-2年に、企業内の研修で学んだ(会社内の一斉の研修など)」または「就職後1-2年に、企業の研修として、外部教育機関やインターネット利用も含めた通信講座などで学んだ」に回答した人にお伺いします。)

SC11で選んだ、「現在、あなたが担当する業務(仕事)に、最も関係している専門知識(スキル)分野」〇〇〇(SC11回答テキスト再掲)を、あなたは、「就職後1-2年の研修」で学んでいます。その研修は、どんな内容でしたか。それぞれから一つずつ選んでください。(それぞれひとつずつ)

そう思う　少しそう思う　あまりそう思わない　そう思わない

- 1 基本から教えられる、丁寧な研修であった(中長期<2週間以上>に渡るなど)
- 2 その内容は、高専・大学・大学院時代でも、教えられることが望ましいと思った
- 3 その後の仕事で十分役立つ内容だった

#### 本問 AQ3

SC10で回答した、「現在、あなたが担当する業務(仕事)に、関係が深い専門知識(スキル)分野」について、あなたが担当する業務で、本来求められている業務を行うには、どの程度の知識レベルが有ることが望ましいと思いますか。(それぞれひとつずつ)

- 1 高校・短大レベル
- 2 高専・大学学部レベル
- 3 修士レベル

#### 4 博士レベル

##### 本問 AQ4

SC2(職種)で、

- 13 IT・システム系の基礎・応用研究、先行開発<国研も>
- 14 システム系エンジニア・プロジェクトマネージャー
- 15 システム系エンジニア・設計
- 16 システム系エンジニア・開発
- 17 システムの運用・保守、アドミニストレーター(一般企業等システム担当も含む)
- 18 システムの技術営業・セールスエンジニア・SIer
- 19 システムの技術系企画・調査・コンサルタント(一般企業等のIT企画・社内コンサル含む)を選んだ人に伺います。具体的に、あなたの職種において主に担当するのは下記のどれですか。1つお選びください。

- 1 ハードウェア・組込み(ハード)
- 2 基本ソフト(OS等)・組込み(ソフト)
- 3 ミドルウェア(クラウド等)
- 4 アプリケーション(業務アプリ、ASP、Webアプリ、ネットアプリ等)
- 5 ネットワーク(インターネット、無線、IoT等)
- 6 データベース
- 7 人工知能、ロボット
- 8 マルチメディア(音声・画像・VR/AR等)
- 9 セキュリティ
- 10 その他の専門分野(具体的に: )
- 11 全般

##### 本問 AQ5

(SC2(職種)で、13~19を選んだ人に伺います。)あなたの職種○○○(SC2 回答テキスト再掲)において、AQ4 で回答した、あなたが主に担当する○○○(AQ4 回答テキスト再掲)の業務についてお答えください。

##### 本問 AQ5\_1

<業務を担う人材は?>

- 1 かなり不足傾向にある
- 2 不足傾向にある
- 3 やや不足傾向にある
- 4 それほど不足傾向とは言えない

### 本問 AQ5\_2

<業務の今後の領域の拡大や質の高度化は?>

- 1 かなりあるだろう
- 2 あるだろう
- 3 どちらかと言えばあるだろう
- 4 ないだろう

### 本問 AQ5\_3

<あなたの勤務先の業務全般について、今後 3～5 年を考えた際、どの辺りの業務を担える人材(それに関する知識・スキルをバックボーンに持つ人材)を育てていくのが望ましいと思いますか。(特に、あなたの職種<○○○(SC2 回答テキスト再掲)>でお考えください。)2 つまでお選びください。

- 1 ハードウェア・組み込み(ハード)
- 2 基本ソフト(OS 等)・組み込み(ソフト)
- 3 ミドルウェア(クラウド等)
- 4 アプリケーション(業務アプリ、ASP、Web アプリ、ネットアプリ等)
- 5 ネットワーク(インターネット、無線、IoT 等)
- 6 データベース
- 7 人工知能、ロボット
- 8 マルチメディア(音声・画像・VR/AR 等)
- 9 セキュリティ
- 10 その他の専門分野(具体的に: )
- 11 全般

### 本問 AQ6

あなたに関わる業務や事業(SC1 で回答した、あなたが業務で対象とする「製品・サービス群」(○○○(SC1 回答テキスト再掲)))などで、この先 5～15 年後、新しい研究成果や知見によるイノベーションが生み出されるとすると、それはどの専門知識(スキル)分野になると思いますか。下記より 1 つお選びください。

→選択肢<22 学系→267 小分類 (の専門知識 (スキル) 分野リスト) >+ない・わからない

### 本問 AQ7

SC1 で回答した、あなたが業務で対象とする「製品・サービス群」(○○○(SC1 回答テキスト再掲))の事業において、その知識(スキル)や、その知識に基づく業務経験が重要にも関わらず、技術等が既にほぼ確立した等の理由で、日本の大学では新たな研究がなされていない、あるいは日本の大学では十分教えられなくなったと思われる知識(スキル)があれば、下記よ



り 1 つお選びください。(エンジンや空調機器設計のための燃焼工学や、システム設計のためのオペレーティングシステムなど)

→選択肢<22 学系→267 小分類 (の専門知識 (スキル) 分野リスト) >+ない・わからない

#### 本問 AQ8

SC1 で回答した、あなたが業務で対象とする「製品・サービス群」(〇〇〇(SC1 回答テキスト再掲))の事業動向は、成長傾向にある分野であると思われますか。

- 1 成長傾向にある
- 2 どちらかという成長傾向
- 3 どちらかという成長傾向ではない
- 4 成長傾向ではない

#### 本問 AQ9

SC1 で回答した、あなたが業務で対象とする「製品・サービス群」(〇〇〇(SC1 回答テキスト再掲))の事業で、現在、人材の不足傾向にある職種があれば下記からお選びください。(3 つまで)

→選択肢<職種リスト>+不足傾向にある職種はない

#### 本問 AQ10

人工知能、ロボティクス、IoT、ビッグデータなどの技術の業務や業界への影響をお答えください。あなたの関わる事業や業務、勤務先の製品やサービスにおいて、それらの技術を用いて今後 5 年以内に展開される事業や業務はありますか。

- 1 様々な分野であると思われる
- 2 特定分野であると思われる
- 3 あまりあるとは思われない、あっても限られる
- 4 多分ないと思われる

#### 本問 AQ11

上記、AQ10 で、人工知能、ロボティクス、IoT、ビッグデータなどの技術を用いて展開される事業や業務が「様々な分野であると思われる」「特定分野であると思われる」と答えた人に伺います。どの専門知識(スキル)分野の知識をベースに持った人材が重要になると思われますか。専門知識(スキル)分野から該当する分野を 2 つお選びください。

→選択肢<22 学系→267 小分類 (の専門知識 (スキル) 分野リスト) >

★社会人の学び直し・自己啓発に関して

本問 AQ12

SC14 で回答した、「仮に、今、大学(または大学院)に入り直して学ぶ機会が与えられたなら、学びたい分野」 <○○○(SC14 回答テキスト再掲)> に関してお答えください。

本問 AQ12\_1

その分野を、実際に(働きながらなど)学ぶならどんな方法が考えられますか。有効であると思われる方法をいくつでもお選びください。また、あなたが実際にその方法で学ぶとした際の費用について、あなたのお考えを1つお選びください。

<有効な方法>

- 1 自社内での研修
- 2 外部教育機関(大学を除く、研修機関・専門学校等)での学習
- 3 インターネットなどを利用したオンライン講座(放送大学や MOOCs<※>も)の履修
- 4 大学(院)の授業の科目ごとの履修
- 5 大学(院)での短期集中型プログラムの履修
- 6 社会人大学院修士課程での履修
- 7 社会人大学院博士課程での履修
- 8 退社しての修士課程への進学
- 9 退社しての博士課程への進学
- 10 参考書などを活用しての独学
- 11 自主的な勉強会・研究会への参加(社内・社外、特別講演会やセミナー、外部交流会、学会・研究会等)

<※>MOOCs=著名大学の授業をネット上の動画で無料受講でき、単位取得も可能なオンライン講座の集合システム

本問 AQ12\_1SQ

<費用負担>

- 1 全額、勤め先や公的給付金等による費用負担があるなら学ぶ
- 2 一部、勤め先や公的給付金等による費用負担があるなら学ぶ
- 3 全額自己負担であっても学ぶ
- 4 その他

本問 AQ12\_2

MOOCs などオンライン講座で学ぶメリットとデメリット<課題>は、(対面講座などと比較して)何だとお考えになりますか。該当するものを、いくつでもお選びください。 <※

>MOOCs=著名大学の授業をネット上の動画で無料受講でき、単位取得も可能なオンライン講座の集合システム

本問 AQ12\_2\_1

a メリット (いくつでも)

- 1 時間の自由が利く
- 2 通勤中スマホ・タブレットでも見られる
- 3 有名講師の良質講座が多い
- 4 費用が安い
- 5 メニューが豊富である
- 6 修了証書が出る
- 7 入学・履修に対しての敷居が低い

本問 AQ12\_2\_2

b デメリットとしての課題 (いくつでも)

- 1 学びたい(学ばせたい)講座がない、講座のメニューが豊富ではない
- 2 産業界に必要な知識・スキルに関する講座が少ない
- 3 実践的なスキル習得ができない
- 4 そもそもどんなオンライン講座があるのか探せない
- 5 双方向ではないので学びや知識が深まらない
- 6 学んだことが、仕事で評価されにくい(評価しにくい)
- 7 どこのオンライン講座が良質なのか判断がつかない
- 8 会社からの褒賞がない
- 9 自己管理が必要で確実な履修が難しい
- 10 費用が高い

本問 AQ13

転職経験はありますか。

- 1 ある
- 2 ない

本問 AQ13SQ

あると答えた方に伺います。下記の当てはまるものを選んでください。ただし、複数回、転職された方は、直近の転職についてお答えください。

本問 AQ13SQ\_1

最初の就職は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務だった

- 1 はい

2 いいえ

本問 AQ13SQ\_2

転職後の業務は、高専・大学・大学院で最も力を入れて学んだ専門分野に関わる業務である

- 1 はい
- 2 いいえ

本問 AQ13SQ\_3

転職後は、転職前と似た業務や業界である

- 1 はい
- 2 いいえ

本問 AQ13SQ\_4

転職後は、転職前と比べて仕事のレベルや待遇は変わった

- 1 レベルや待遇は上がった
- 2 変わらない
- 3 レベルや待遇は下がった

## 就職アンケート

### 設問 BQ1

あなたの現在の業務は、どの専門系統に当たりますか。最も当てはまる(一番近い)ものを1つお選びください。

→選択肢<業務系統リスト>

### 設問 BQ2

大学・大学院(高専含む)時代に、IT分野に関して、学んだ分野、習得した資格を下記からいくつでもお選びください。(いくつでも)(参考書やオンラインコンテンツ等での独学も含み、一般教育科目・共通科目や、所属の学部・学科以外や大学附設の教育センター等の講義、外部教育機関で学んだものなど)

→科目群<大学のIT科目と資格リスト>

### 設問 BQ2SQ

前問 BQ2 で学んだと回答したものについて、主に学んだところを1つお選びください。

- 1 研究室・ゼミ
- 2 学部・学科の講義
- 3 所属の学部・学科以外や大学附設の教育センター等の講義、外部教育機関
- 4 参考書等での独学

### 設問 BQ3\_1

高校時代、教科「情報」についてどの程度学んだと思いますか。1つお選びください。

- 1 しっかり学んだ
- 2 ある程度学んだ
- 3 学んだが、あまり力を入れて学ばなかった
- 4 学んだかどうか記憶がない
- 5 情報の授業はなかった(他の科目の授業に振り替えられていた等)

### 設問 BQ3\_2

また、これからの高校生は、高校の「情報」ではどのような内容を学ぶべきだと思いますか。(いくつでも)

- 1 プログラミングはできるようにしたほうがよい
- 2 アルゴリズムなどのコンピュータサイエンスの基礎は学んだほうがよい
- 3 機械学習などの人工知能の基礎は学んだほうがよい
- 4 統計の応用としてのデータ処理は学んだほうがよい
- 5 インターネットを含めた通信とネットワークの基礎は学んだほうがよい

- 6 情報セキュリティに関する知識は学んだほうがよい
- 7 Web デザインやコンテンツ制作の基礎は学んだほうがよい
- 8 ビジネススキルとしての情報リテラシー(Excel など)は学んだほうがよい
- 9 情報モラルや情報に関する法律は学んだほうがよい
- 10 その他
- 11 特にない

#### 設問 BQ4

最終学歴の教育機関等を卒業時に、就職先を選ぶにあたって優先した項目を 5 つまでお選びください。(5 つまで)

- 1 仕事内容が、高専・大学・大学院の専門の研究内容と密接に関係している
- 2 仕事内容が、高専・大学・大学院の専門の研究内容とは異なるが、関係が深い
- 3 仕事内容が、基礎的学力・スキル(IT や英語も含む)などを活かせる
- 4 仕事内容が、取得した資格を活かせる
- 5 就職後、仕事を通して知識・スキルを高められる
- 6 仕事内容が、サークル・アルバイト等と関連している、自分の趣味に近い
- 7 仕事内容が、自分のアイデアや発想を活かせそう
- 8 仕事内容が、社会貢献性が高い
- 9 仕事を通じて、人と接することができる
- 10 その企業や業界の今後の高い成長が見込まれる
- 11 その企業が人気がある、有名である(企業規模が大きいなど)
- 12 親・親類が勧める、つながりがある企業
- 13 雇用が安定している(正社員として採用など)
- 14 その企業や業界の給与が良い
- 15 その企業の文化や企業風土が良い、自分に合いそう
- 16 専門性や能力を、給与に反映させてくれる
- 17 専門職としての待遇が安定している
- 18 総合職として働くことができる
- 19 勤務場所がよい(地元に戻れるなども含め)
- 20 ワークライフバランスが保たれている(休日を取りやすい、労働時間が適正、など)、女性に対してのサポートが手厚い。家事・育児と両立できる

#### 設問 BQ5

内定先企業に応募した際の応募方式と応募先選定の決め手は何でしたか。それぞれ 1 つずつお選びください。

#### 設問 BQ5\_1

<内定先企業の応募方式>

- 1 教員による推薦あるいは学内推薦
- 2 (就職サイト等を介する)直接応募
- 3 親類・知人による紹介
- 4 公的機関(公務員、学校等)の公募
- 5 ハローワーク等によるあっせん
- 6 その他

設問 BQ5\_2

<応募先選定の決め手>

- 1 教員による助言
- 2 大学就職課による紹介
- 3 大学内外における企業説明会
- 4 就職サイトの情報や会社の求人情報
- 5 親類・知人による助言
- 6 共同研究による体験
- 7 2週間以上の実務に関わるインターンシップによる体験
- 8 数日(から1週間以内)のインターンシップによる体験
- 9 アルバイトによる体験
- 10 ハローワーク等による助言
- 11 その他

設問 BQ6

採用面接などの選考において、あなたがPRしたいと考えた観点を3つまで、就職先企業が重視していたと思われる観点を3つまで、それぞれお選びください。(それぞれ3つまで)

<高専・大学・大学院での専門性、教養、及びそれに基づく実践力>

専門研究の内容、計画、取り組み姿勢、及びそれに関する実践力

専門科目に関する知識やスキル、成績、取り組み姿勢

専門基礎科目(数学・物理・化学など)に関する知識やスキル、成績、取り組み姿勢

一般教育科目・共通科目に関する知識やスキル、成績、取り組み姿勢

課外プログラム等(地域連携、モノづくり等)に関する知識やスキル、成績、取り組み姿勢

<正課外活動>

部やサークル、学生団体での活動、ボランティア等の個別活動

アルバイト活動

留学

<応募先から出される課題への実践力>

インターンシップにおける態度・成果

採用時でのグループワークやビジネスゲーム等における態度・成果

<資格・スキル等一般的な能力>

資格・技能

語学力

IT リテラシー(Office ソフトや SNS 等)、統計等のスキル

文章力など国語系能力

コミュニケーション力、リーダーシップ等の社会人基礎力

<その他>

学歴(出身高校等)

大学入試の際の選抜方式

趣味等、個人的な事項

性格、人間性

わからない

#### 設問 BQ7

高専・大学・大学院卒業時の就職活動において、何件応募し、いつ、何件内定を得られましたか。また、就職した企業の内(内)定を得た時期はいつですか。

#### 設問 BQ7\_1

応募した企業等の数

※0~20 までは1つ刻み、21~100 までは5 刻み、101 以上

#### 設問 BQ7\_2

内定を得た企業等の数

※0~20 までは1つ刻み、21~100 までは5 刻み、101 以上

#### 設問 BQ7\_3

就職した企業の内(内)定が出た時期

- 1 大学1年・2年等最終学年の2年以上前
- 2 最終学年の1年前(大学3年、修士1年等)の4-5月
- 3 最終学年の1年前の6-7月
- 4 最終学年の1年前の8-9月
- 5 最終学年の1年前の10-11月
- 6 最終学年の1年前の12月
- 7 最終学年の1年前の1月
- 8 最終学年の1年前の2月
- 9 最終学年の1年前の3月
- 10 最終学年(大学4年、修士2年等)の4月



- 11 最終学年の 5 月
- 12 最終学年の 6 月
- 13 最終学年の 7 月
- 14 最終学年の 8 月
- 15 最終学年の 9 月
- 16 最終学年の 10 月
- 17 最終学年の 11 月
- 18 最終学年の 12 月
- 19 最終学年の 1 月
- 20 最終学年の 2 月
- 21 最終学年の 3 月
- 22 それ以降

#### 設問 BQ8

応募時に履修履歴(成績証明書等)の提出を求められた企業の割合をお答えください。ただし、応募したすべての企業数を 100%としてください。

応募時 %

1 次選考時 %

2 次選考時 %

3 次選考～最終選考時 %

内定後提出 %

その他(まったく提出していないなど) %

#### 設問 BQ9

科目の履修状況(や成績等)が採用選考において重視されていると感じた企業数の割合をお答えください。ただし、応募したすべての企業数を 100%としてください。

1 重視されていると感じた企業はなかった(提出しなかったも含む)

2 10%未満

3 10%以上 20%未満

4 20%以上 30%未満

5 30%以上 40%未満

6 40%以上 50%未満

7 50%以上 60%未満

8 60%以上 70%未満

9 70%以上 80%未満

10 80%以上 90%未満

11 90%以上

#### 設問 BQ10

BQ9 で重視されていると感じた理由、その際にあなたが思ったこと、重視されていないと感じた理由についてお伺いします。該当する項目をお選びください。(いくつでも)

<重視されていると感じた理由>

- 1 選考の早期から履修履歴(成績証明書等)の提出が求められた
- 2 面接において履修履歴(成績証明書等)に基づいて、成績や単位取得について質問された(話題になった)(科目名: )
- 3 面接において履修履歴(成績証明書等)に基づいて、特定科目の教育内容や得た知識について質問された(話題になった)(科目名: )
- 4 面接において履修履歴(成績証明書等)に基づいて、学問分野への関心や、仕事への意識などについて質問された(話題になった)(学問分野名や仕事内容など<具体的に書ければ>:)
- 5 重視されていると感じた企業はなかった(提出しなかったも含む)
- 6 その他

<あなたが思ったこと>

- 7 授業への出席は重要だったと思った
- 8 成績を上げるために勉強しておくべきだったと思った
- 9 履修科目の選択は、しっかり考えてした方がよいと思った
- 10 履修履歴(成績証明書等)が就活で重要であると、大学で1年次から教えてほしかった
- 11 どんな科目が産業界で重要なのか、大学で1年次から教えてほしかった
- 12 履修履歴(成績証明書等)を活用した面接を通して、大学での努力を評価してくれていると思った
- 13 履修履歴(成績証明書等)を活用した面接を通して、多面的な能力や関心などを評価してくれていると思った
- 14 履修履歴(成績証明書等)を活用した面接を通して、その企業が求める知識要件等がわかった
- 15 その他

<重視されていないと感じた理由>

- 16 履修履歴(成績証明書等)を選考早期から提出させなかった
- 17 単位取得状況や卒業可能性についての質問しかなかった
- 18 専門科目等の履修科目についての具体的な質問はなかった
- 19 履修科目について具体的な質問はあったが、他の質問内容に比べて関心を持った聞き方ではなかった
- 20 その選考の結果がほぼ出ているタイミングでの質問だった
- 21 その他

#### 設問 BQ11

振り返って、大学・大学院(高専含む)等に、あったら望ましいと思われる指導や仕組み・授業等をお選びください。(いくつでも)

- 1 多様な分野の科目を学べる学科(学部・学科を横断して学べる仕組み)

- 2 自分の専門以外の専門をサブのコースとして学べる仕組み(ダブルメジャー・副専攻の制度など、複数の専門を学べる仕組みなど)
- 3 大学に入ってから専門を決められる仕組み(細分化した学科募集などではなく)
- 4 社会・産業界の動向として重要な(重要になる)知識を中心に教育・研究が行われる学科やコース
- 5 社会や産業界の動向として重要な知識(スキル)を社会人と一緒に学べる特別科目やプログラム

- 
- 6 企業等との共同の研究、より実践的で実社会に貢献できる研究
  - 7 多くの産業界等、社会経験のある教員(研究者)の存在
  - 8 低学年から研究ができる仕組み(大学 1-3 年からの研究室所属)
  - 9 学部生からの学会発表
  - 10 大学ならではのアカデミックな研究

- 
- 11 企業における研究等を体験する中長期インターンシップ
  - 12 低学年からのインターンシップ
  - 13 研究室・ゼミ等の指導教員等によるキャリア形成支援(就職など)
  - 14 研究室・ゼミ等の指導教員等による就職以外のキャリア形成支援(進学など)

- 
- 15 仕事に関わる知識・スキルを学ぶ授業
  - 16 実社会で活用できる語学の教育
  - 17 IT 知識・スキル(プログラミング・ネットワーク等)の教育
  - 18 IT リテラシー(Office ソフトや SNS 等)の教育
  - 19 数学や統計に関する授業
  - 20 経営や会計に関する授業
  - 21 資格取得支援の授業
  - 22 履修単位となる、多様なオンライン(放送大学も含む)科目

- 
- 23 コミュニケーション力、リーダーシップなどを高める授業
  - 24 グループワークやディスカッション(を多く用いた)授業
  - 25 地域や企業などと共に、何かを作ったり、課題を解決したりする授業・プロジェクト
  - 26 教養、基礎科目におけるわかりやすい授業
  - 27 専門科目におけるわかりやすい授業
  - 28 大学でしか学べないアカデミックな科目や多様な関心を喚起させる教養科目

- 
- 29 大学低学年での、仕事に必要な知識(スキル)が何であるかの進路情報の提供
  - 30 高校時代からの、仕事に必要な知識(スキル)が何であるかの進路情報の提供(学科選択のため など)
  - 31 入学前に自分の学びたいことを考える期間(秋入学を前提とするギャップイヤーを通し

た多様な活動期間)

32 大学の内容を高校時代でも先行的に学べる仕組み

33 高校2年からも大学に進級できる飛び級の仕組み(高専5年からの進級も)

---

34 多くの海外留学の機会の提供や、多くの留学生と交流できるキャンパス環境

35 カリキュラム内におけるボランティア機会の提供

---

36 大学での科目履修や成績を評価する就職・採用の仕組み

37 仕事で発揮できる能力に合わせて、給与等待遇を変える大卒一括ではない就職・採用の仕組み

38 大学を卒業してから行う就職・採用の仕組み

---

39 その他